DENON

AV プリアンプ

AVP-A1HD

取扱説明書

安全にお使いいただくためにー必ずお守りください。

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになった後は後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

GUI *Graphical User Interface*

本書は、GUI画面に表示される操作ガイドと一緒にご覧ください。

GUIメニュー操作（☞28ページ）
GUIメニューマップ（☞29ページ）
リモコン操作（☞75ページ）

ご使用になる前に

安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

感電注意

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

分解禁止

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。

電源プラグをコンセントから抜け

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く（電源プラグをコンセントから抜け）

- 煙や異臭、異音が出たとき
- 落としたり、破損したとき
- 機器内部に水や金属類、燃えやすいものなどが入ったとき

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体と接続している機器の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、安全を確認してから販売店にご連絡ください。
お客様による修理などは危険ですので絶対におやめください。

ご使用は正しい電源電圧で（必ず実施）

表示された電源電圧以外で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

電源コードは大切に（必ず実施）

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着しているときは（必ず実施）

電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

内部に水などの液体や異物を入れない（禁止）

機器内部に水などの液体や金属類、燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

水をかけたり、濡らしたりしない（水ぬれ禁止）

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。
火災・感電の原因となります。

ねじを外したり、分解や改造したりしない（分解禁止）

内部には電圧の高い部分がありますので、火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

雷が鳴り出したら（接触禁止）

機器や電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。

乾電池は充電しない（禁止）

電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となります。

風呂・シャワー室では使用しない（水場での使用禁止）

火災・感電の原因となります。

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器、および小さな金属物を置かない（水ぬれ禁止）

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、
人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

注意 禁止

付属の電源コードを使用する
他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
また、付属の電源コードは本機以外には使用しないでください。
電流容量などの違いにより火災・感電の原因となることがあります。

必ず実施 禁止

電源コードは確実に接続し、束ねたまま使用しない
電源コードを接続するときは接続口に確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となることがあります。
根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないでください。その場合、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。
また、電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

禁止

電源コードを熱器具に近付けない
コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

電源プラグを抜くときは
電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因となることがあります。

必ず実施

機器の接続は説明書をよく読んでから接続する
テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。
また、接続には指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

必ず実施

電源を入れる前には音量を最小にする
突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

禁止

長時間音が歪んだ状態で使用しない
スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

必ず実施 禁止

電池を交換するときは
- 極性表示に注意し、表示通りに正しく入れる
- 指定以外の電池は使用しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない

間違えると電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

禁止

ヘッドホンを使用するときは音量を上げすぎない
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

禁止

不安定な場所に置かない
ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

次のような場所には置かない
火災・感電の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ

必ず実施

壁や他の機器から少し離して設置する
放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

禁止

通風孔をふさがない
内部の温度上昇を防ぐため、通風孔が開けてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- あお向けや横倒し、逆さまにする
- 押し入れ・専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん・布団の上に置いて使用する

禁止

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない
特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

重いものをのせない
機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜け

移動させるときは
まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜け

長期間の外出・旅行のとき、またはお手入れのときは
安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。

注意

5 年に一度は内部の掃除を
販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

電波に関するご注意

◎本機は電波法に基づく工事設計認証を取得した小電力データ通信システムの無線局設備を内蔵しています。
- 本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
- 本機は日本国内でのみ使用できます。
  ※以下のことをおこなうと法律で罰せられることがあります。
- 内蔵する小電力データ通信システムの無線局設備を分解 / 改造すること
- 内蔵する小電力データ通信システムの無線局設備に貼ってある証明ラベルをはがすこと

この機器の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)、特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、およびアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局およびアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置等についてご相談してください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときには、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先:株式会社デノンコンシューマーマーケティング
お客様相談センター 045(670)5555
http://denon2.jp/info/info02.html

◎ **現品表示について**

2.4 DS/OF 4
▬ ▬ ▬

2.4	: 2.4Ghz 帯を使用する無線設備を表します。
DS/OF	: 変調方式を表します。
4	: 移動体識別装置の構内無線局に対して想定される与干渉距離を表します(約 40 m)。
▬ ▬ ▬	: 2.4GHz 帯の全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

◎ 本機では、2.4GHz の周波数帯の電波を利用している関係で、下記機器と干渉し、音が途切れたり、雑音が発生したりする可能性があります。

【2.4GHz の周波数帯を使用している主な機器】
- 電子レンジ
- 無線 LAN を利用した機器(ノートパソコン、無線ルーター、無線 LAN 対応 AV 機器等)
- コードレスフォン
- Bluetooth 対応機器
- ワイヤレス対応 AV 機器
- ワイヤレスコントローラー

※ 音が途切れたり雑音が発生したりする場合には、下記の方法で改善する可能性があります。
1. 干渉している機器との距離を離す。
2. 干渉している機器の電源を切る。

◎ ペースメーカー等の医療用電気機器をご使用の場合には、各医療用電気機器メーカーまたは販売店に電波による影響をご確認の上ご使用ください。

◎ 人ごみの中で使用したり、本機の間に鉄筋コンクリートの壁や家具などの障害物があると、通信状態が悪くなり音が途切れたり、雑音が発生したりすることがあります。音が途切れたり、雑音が発生したりする場合には、見通しの良い場所に設置し直して下さい。

◎ 設置の距離や障害物がない場合でも、電波の反射等により受信がうまくいかない場合があります。その場合には本機の向きや位置を変えると改善することがあります。

◎ ラジオやテレビ、BS/CS チューナーなどの電波を利用した機器のそばで使用すると、ノイズを発生することがあります。その場合には機器から遠ざけて設置してください。

◎ 本機は盗聴防止機能を搭載しておりますが、第三者が故意または偶然に受信する可能性があります。

◎ 本機はご家庭内での音楽、映画等の再生を目的にしたホームエンターテイメントシステムです。他の環境、目的での使用はおやめください。

ステレオ音のエチケット

音のエチケット

- 隣り近所への配慮(おもいやり)を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

総目次

ご使用になる前に

接続のしかた

GUI メニュー操作

オートセットアップ

マニュアル設定

ソース選択

サラウンドモード

パラメーター

情報

再生のしかた

その他の操作や機能

リモコン操作

マルチゾーンの接続と操作

付属品について

本体とは別に下記の付属品が入っています。
ご使用の前にご確認ください。

品名	数量
① 取扱説明書（本書）	1
② 保証書（梱包箱に貼付）	1
③ 製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表	1
④ 電源コード（長さ：約 1.9m、本機専用）	1
⑤ メインリモコン（RC-1067）	1
⑥ 単 3 形アルカリ乾電池（RC-1067 用）	2
⑦ サブリモコン（RC-1070）	1
⑧ 単 4 形マンガン乾電池（RC-1070 用）	2
⑨ 無線 LAN 用ロッドアンテナ	1
⑩ セットアップマイク（コードの長さ：約 7.6m）	1

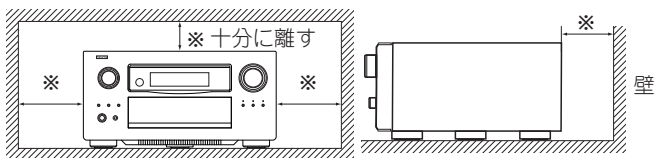
④ ⑤ ⑦ ⑨ ⑩

- 本書に使用しているイラストは、取り扱い方法を説明するためのもので実物と異なる場合があります。
- 本機の回路に発光ダイオード（LED）を使用しています。電源が入っているときに本機内の一部が緑色に光りますが、故障ではありません。

取り扱い上のご注意

設置の際のご注意

放熱のため、本機の天面、後面および両側面と壁や他の AV 機器などとは十分に離して設置してください。

※ 十分に離す
※
※
※
壁

携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話を使用すると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置でお使いください。

お手入れについてのご注意

- キャビネットや操作パネル部分の汚れを拭き取るときは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。
  ※ 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- ベンジン・シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質したり変色することがありますので使用しないでください。

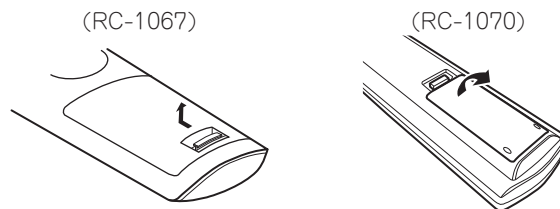
リモコンについて

付属のメインリモコン（RC-1067）は、本機の操作以外に次の機器の操作もできます。

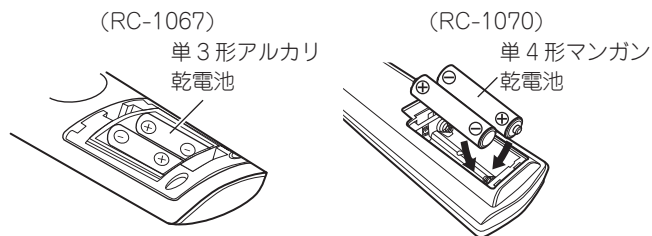
① DENON 製コンポーネント製品
② DENON 製以外のコンポーネント製品
- プリセット登録による設定（☞75 ～ 77 ページ）
- 学習機能による設定（☞78 ページ）

乾電池の入れかた

① つまみを引き上げながら、裏ぶたを取り外す。

（RC-1067）　（RC-1070）

② 乾電池（2 本）を乾電池収納部の表示に合わせて正しく入れる。

（RC-1067）
単 3 形アルカリ乾電池

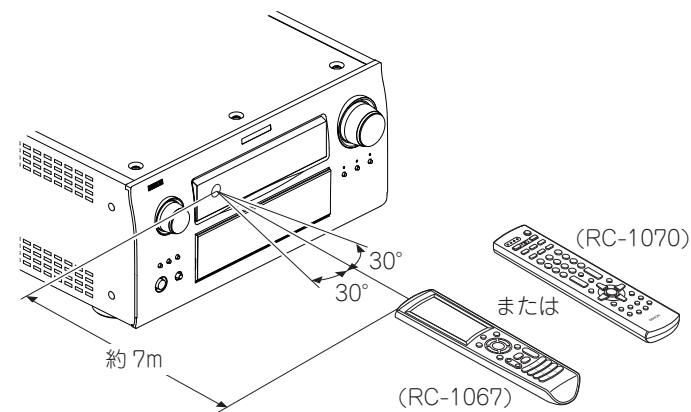
（RC-1070）
単 4 形マンガン乾電池

③ 裏ぶたを元通りにしてください。

ご注意

- リモコンには指定の乾電池をお使いください。
- リモコンを本機の近くで操作して本機が動作しないときは、新しい乾電池と交換してください。（付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換して ください。）
- 乾電池は、リモコンの乾電池収納部の表示通りに ⊕ 側・⊖ 側を合わせて正しく入れてください。
- 破損や液漏れの恐れがありますので、
  - 新しい乾電池と使用済みの乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 異なる種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 乾電池は充電しないでください。
  - 乾電池をショートさせたり、分解や加熱または火に投入させたりしないでください。
- 万一乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
- リモコンを長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。

リモコンの使いかた

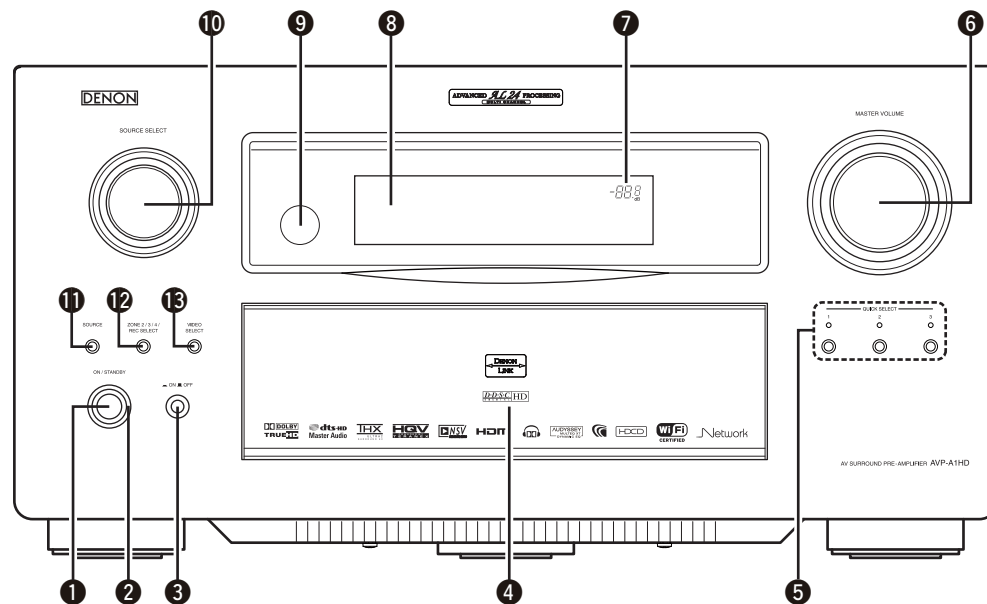
リモコンはリモコン受光部に向けてお使いください。

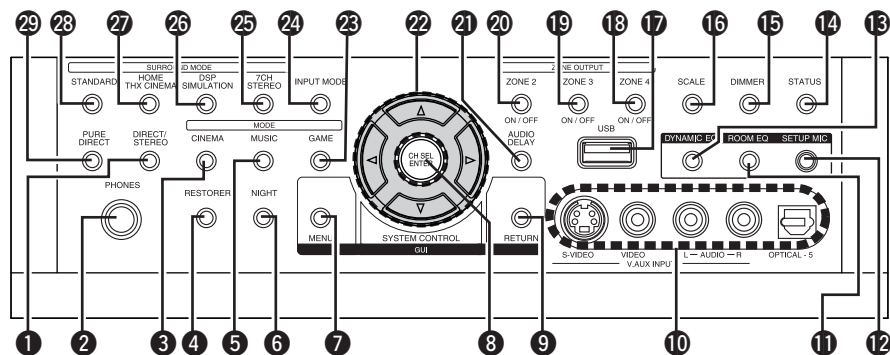
30°
30°
約 7m
（RC-1070）
または
（RC-1067）

ご注意

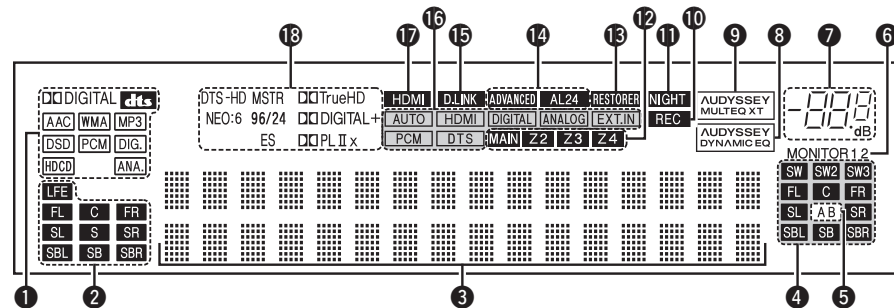
リモコン受光部に、直射日光やインバーター式蛍光灯の強い光または赤外線が当たると、誤動作をしたり、リモコンが操作できなくなったりする場合があります。

各部の名前

各部のはたらきなど詳しい説明については、（ ）内のページを参照してください。

フロントパネル

❶ 電源操作ボタン（ON/STANDBY）…………（62）
❷ 電源表示…………（62）
❸ 電源スイッチ（▁ON ■OFF）…………（62）
❹ ドア…………（9）
❺ クイックセレクトボタン / 表示（QUICK SELECT）…………（74）
❻ 主音量調節つまみ（MASTER VOLUME）…………（62）
❼ 主音量表示
❽ ディスプレイ
❾ リモコン受光部…………（7）
❿ 入力ソース切り替えつまみ（SOURCE SELECT）…………（50）
⓫ ソース切り替えボタン（SOURCE）…………（50）
⓬ ゾーン 2/3/4 / 録音出力切り替えボタン（ZONE2/3/4 / REC SELECT）…………（71、85）
⓭ ビデオセレクトボタン（VIDEO SELECT）…………（51）

【ドアを開いた状態】

❶ ダイレクト / ステレオボタン（DIRECT/STEREO）……（56）
❷ ヘッドホン端子（PHONES）……（62、72）
❸ シネマボタン（CINEMA）……（54）
❹ RESTORER ボタン……（59）
❺ ミュージックボタン（MUSIC）……（54）
❻ ナイトボタン（NIGHT）……（59）
❼ メニューボタン（MENU）……（28）
❽ チャンネルセレクト / エンターボタン（CH SEL / ENTER）……（28、73）
❾ リターンボタン（RETURN）……（28）
❿ V.AUX 入力端子（V.AUX INPUT）……（23）
⓫ ルーム EQ ボタン（ROOM EQ）……（59）
⓬ セットアップマイク端子（SETUP MIC）……（30）
⓭ DYNAMIC EQ ボタン……（59）
⓮ ステータスボタン（STATUS）……（61）
⓯ ディマーボタン（DIMMER）……（48）
⓰ スケールボタン（SCALE）……（52）
⓱ USB 端子……（24）
⓲ ゾーン 4 用電源ボタン（ZONE4 ON/OFF）……（85）
⓳ ゾーン 3 用電源ボタン（ZONE3 ON/OFF）……（85）
⓴ ゾーン 2 用電源ボタン（ZONE2 ON/OFF）……（85）
㉑ オーディオディレイボタン（AUDIO DELAY）……（60）
㉒ カーソルボタン（△▽◁ ▷）……（28）
㉓ ゲームボタン（GAME）……（54）
㉔ 入力モード切り替えボタン（INPUT MODE）……（52）
㉕ 7CH ステレオボタン（7CH STEREO）……（55）
㉖ DSP シミュレーションボタン（DSP SIMULATION）……（55）
㉗ ホーム THX シネマボタン（HOME THX CINEMA）……（54）
㉘ スタンダードボタン（STANDARD）……（54）
㉙ ピュアダイレクトボタン（PURE DIRECT）……（56）

ディスプレイ

❶ **入力信号表示**

❷ **入力信号チャンネル表示**
デジタル信号入力時に点灯します。

❸ **インフォメーションディスプレイ**
入力ソース名、サラウンドモード、設定値などを表示します。

❹ **出力信号チャンネル表示**

❺ **サラウンドスピーカー表示**
サラウンドスピーカー A/B の設定に合わせて点灯します（☞36 ページ）。

❻ **モニター出力表示**
HDMI モニター出力の設定に合わせて点灯します（☞37 ページ）。“オート（デュアル）”に設定されているときは、接続状態に合わせて点灯します。

❼ **主音量表示**

❽ **AUDYSSEY DYNAMIC EQ 表示**
“Dynamic EQ”選択時に点灯します（☞59 ページ）。

❾ **AUDYSSEY MULTEQ XT 表示**
“ルーム EQ”選択時に点灯します（☞59 ページ）。

❿ **録音出力ソース表示**
RECOUT モード選択時に点灯します。

⓫ **NIGHT 表示**
ナイトモード選択時に点灯します（☞59 ページ）。

⓬ **マルチゾーン表示**
各ゾーンの電源が入っているときに点灯します。

⓭ **RESTORER 表示**
RESTORER モード選択時に点灯します（☞59 ページ）。

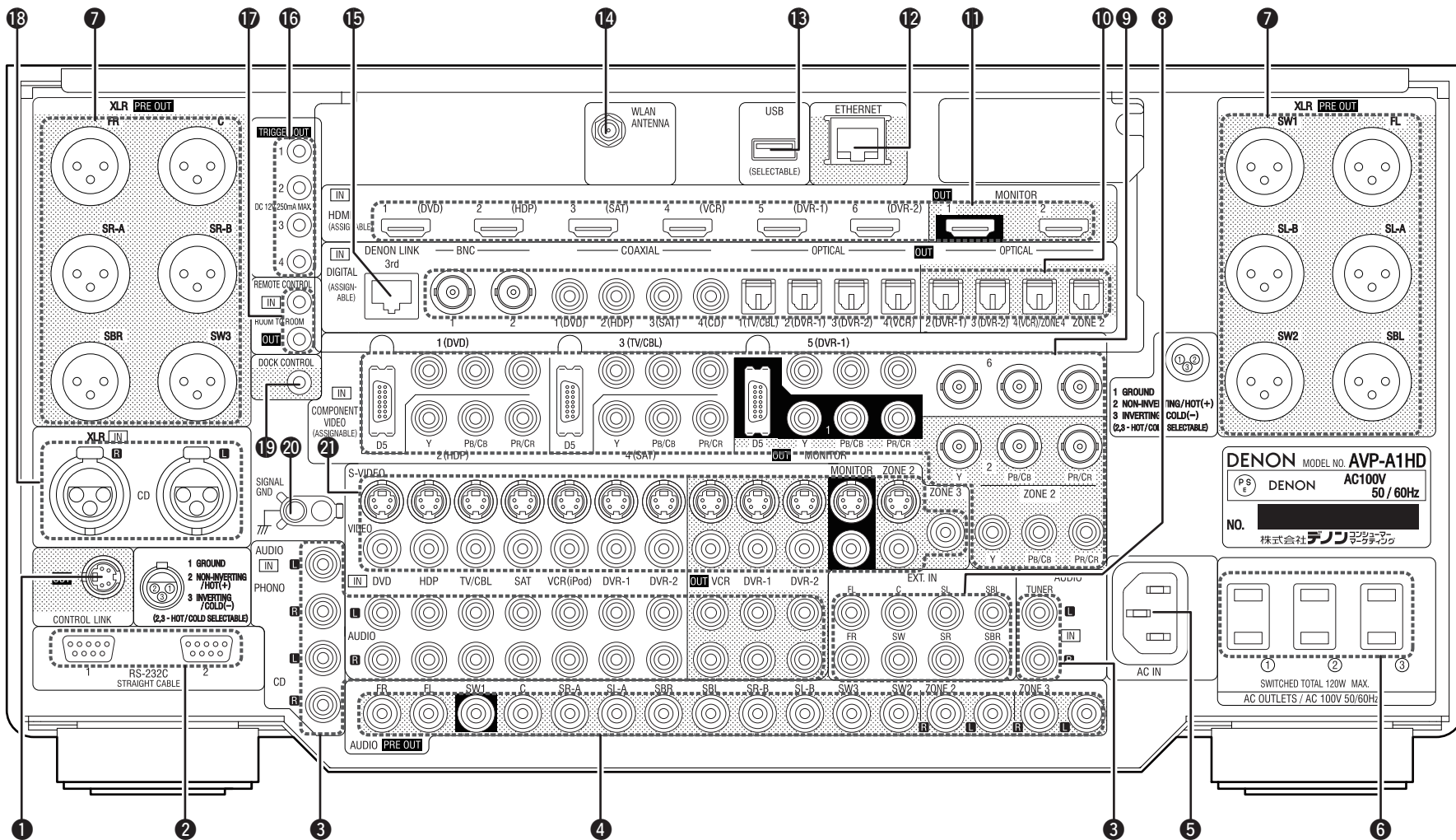
⓮ **Advanced AL24 表示**
Advanced AL24 Processing 動作時に点灯します（☞90 ページ）。

⓯ **D.LINK 表示**
DENON LINK 接続で再生しているときに点灯します。

⓰ **入力モード表示**

⓱ **HDMI 表示**
HDMI 接続で再生しているときに点灯します。

⓲ **デコーダー表示**
各デコーダー動作時に点灯します。

リアパネル

❶ コントロールリンク端子（CONTROL LINK）……（15）
❷ RS-232C 端子……（27）
❸ アナログ音声端子（AUDIO）……（18）
❹ RCA プリアウト端子（PRE OUT）…（15、26）
❺ 電源入力端子（AC IN）……（27）
❻ AC アウトレット（AC OUTLETS）……（27）
❼ XLR プリアウト端子……（15）
❽ 外部入力端子（EXT. IN）……（23）
❾ コンポーネント / D5 ビデオ端子……（17）
❿ デジタル音声端子（OPTICAL / COAXIAL / BNC）……（18、26）
⓫ HDMI 端子……（16）
⓬ イーサネット端子（ETHERNET）……（25）
⓭ USB 端子……（24）
⓮ 無線 LAN 用アンテナ端子（WLAN ANTENNA）……（25）
⓯ DENON LINK 端子……（23）
⓰ トリガー出力端子（TRIGGER OUT）……（27）
⓱ リモートコントロール端子（REMOTE CONTROL）
将来的な拡張用端子です。
⓲ XLR アナログ音声端子（CD）……（19）
⓳ ドックコントロール端子（Dock CONTROL）……（19）
⓴ アース端子（SIGNAL GND）……（18）
㉑ ビデオ / S ビデオ端子（VIDEO / S-VIDEO）……（18）

リモコン

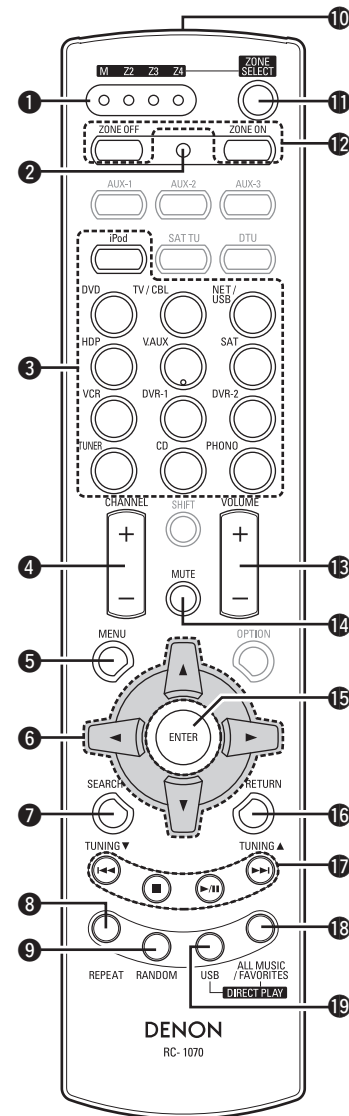
❑ メインリモコン（RC-1067）

❶ 送信表示 …… (75)
❷ モード切り替えボタン …… (75)
❸ クイックセレクト / システムコールボタン …… (74、79)
❹ サラウンドモードボタン …… (53 ～ 56)
❺ システムボタン …… (76、77)
❻ オーディオディレイボタン（A. DL）…… (60)
❼ チューナーシステムボタン …… (77)
❽ 入力モード切り替えボタン（INPUT）…… (52)
❾ メニューボタン（MENU）…… (28)
❿ カーソルボタン（△▽◁ ▷）…… (28)
⓫ パラメーター / サーチボタン（PARA / SRCH）…… (56、64)
⓬ モニターセレクト / ホームボタン（M. SEL / HOME）…… (37、75)
⓭ チャンネルボタン（CH）…… (76、77)
⓮ 入力ソース選択 / 番号ボタン …… (50、62)
⓯ リモコン信号送信窓 …… (7)
⓰ デバイス選択表示（DEV1 / DEV2）…… (75)
⓱ ゾーン 3/ ゾーン 4 選択表示（Z3 / Z4）…… (85)
⓲ RESTORER ボタン（RSTR）…… (59)
⓳ ナイトボタン（NGT）…… (59)
⓴ テストトーンボタン（TEST）…… (34)
㉑ サラウンドスピーカー選択ボタン（SPKR）…… (36)
㉒ 電源ボタン（POWER）…… (62)
㉓ チャンネル選択 / エンターボタン（CH SEL / ENTER）…… (28、73)
㉔ リターンボタン（RTN）…… (28)
㉕ 主音量調節ボタン（VOL）…… (62)
㉖ ミューティングボタン（MUTE）…… (62)
㉗ メインリモコン設定ボタン（RC SETUP）…… (75)

バックライトの点灯時間を変えることができます（☞80 ページ「バックライトの点灯時間を設定する」）。

ご注意

- 本機では、**SAT TU** および **DTU** ボタンは使用しません。
- 本機では、ゾーン 2 モードの **QUICK SELECT (1 ～ 3)**、**A. DL**、**RSTR**、**NGT**、**INPUT**、**SPKR**、**TEST** ボタンおよびサラウンドモードボタンは使用できません。

❑ サブリモコン（RC-1070）

❶ マルチゾーン表示 …… (83)
❷ アドバンスセットアップボタン …… (83)
❸ 入力ソース切り替えボタン …… (50)
❹ チャンネルボタン（CHANNEL）…… (82)
❺ メニューボタン（MENU）…… (28)
❻ カーソルボタン（△▽◁ ▷）…… (28)
❼ サーチボタン（SEARCH）…… (64)
❽ リピートボタン（REPEAT）…… (63)
❾ ランダムボタン（RANDOM）…… (63)
❿ リモコン信号送信窓 …… (7)
⓫ ゾーン選択ボタン（ZONE SELECT）…… (83)
⓬ ゾーン用電源ボタン（ZONE ON / ZONE OFF）…… (85)
⓭ 主音量調節ボタン（VOLUME）…… (85)
⓮ ミューティングボタン（MUTE）…… (85)
⓯ エンターボタン（ENTER）…… (28)
⓰ リターンボタン（RETURN）…… (28)
⓱ システムボタン …… (82)
⓲ すべての音楽 / お気に入り選択（ダイレクト再生）ボタン（ALL MUSIC/FAVORITES）…… (81、82)
⓳ USB 選択（ダイレクト再生）ボタン …… (81、82)

ご注意

本機では、**SAT TU**、**DTU**、**SHIFT**、**AUX-1**、**AUX-2**、**AUX-3** および **OPTION** ボタンは使用できません。

接続のしかた

この取扱説明書では、対応するすべての音声信号方式や映像信号方式の接続方法を説明しています。接続する機器に合わせていずれかの接続方法をお選びください。
接続方法によっては、本機の設定が必要なものもあります。詳しくは、各接続項目の説明をご覧ください。

ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください
- 接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 左右のチャンネルを確かめてから、正しくＬとＬ、ＲとＲを接続してください。
- 接続ケーブルは、電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。ハムや雑音の原因となることがあります。

準備

接続に使用するケーブル

お使いになる機器に合わせて、ケーブルをご用意ください。

音声ケーブル

同軸デジタル接続
（オレンジ）
同軸デジタル（75 Ωピンプラグ）ケーブル

光デジタル接続
光伝送ケーブル

BNC デジタル接続
BNC（75 Ω）ケーブル

アナログ接続（XLR）
バランスケーブル

アナログ接続（ステレオ、RCA）
（白）（赤）
ステレオピンプラグケーブル

アナログ接続（モノラル、サブウーハー用）
（黒）
ピンプラグケーブル

DENON LINK 接続
DENON LINK ケーブル

ネットワーク接続（有線 LAN）
イーサネットケーブル

映像ケーブル

コンポーネントビデオ接続
（緑）（Y）
（青）（PB/CB）
（赤）（PR/CR）
コンポーネントビデオ（75 Ω）ケーブル

（緑）（Y）
（青）（PB/CB）
（赤）（PR/CR）
BNC（75 Ω）ケーブル

D 端子用ケーブル

S ビデオ接続
S ビデオケーブル

ビデオ接続
（黄）
映像用 75 Ωピンプラグケーブル

音声 & 映像ケーブル

HDMI 接続
19 ピン HDMI ケーブル

信号方向

音声信号：
出力 → 入力
入力 ← 出力

映像信号：
出力 → 入力
入力 ← 出力

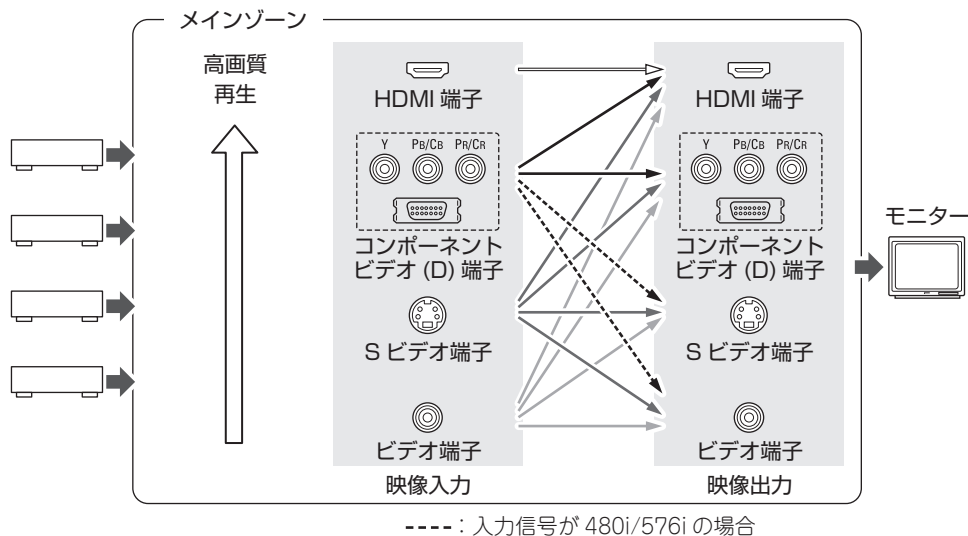
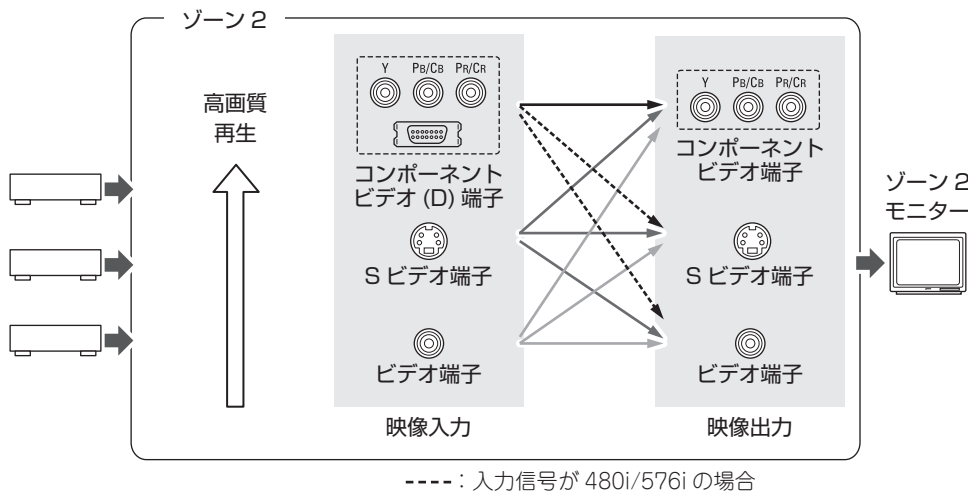
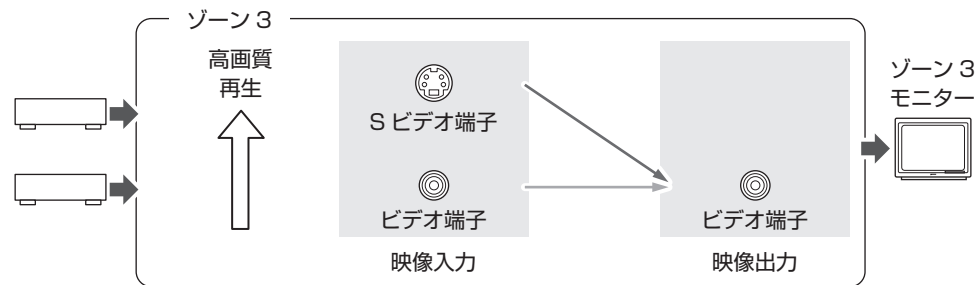
ビデオコンバージョン機能

- この機能は、本機に入力されたさまざまな方式の映像信号を、本機からモニターに出力する映像信号方式に自動的に変換して出力するものです。
- 本機の映像入出力は、次の 4 つの映像信号に対応しています。
  デジタル映像信号：HDMI
  アナログ映像信号：コンポーネントビデオ、S ビデオ、ビデオ

【本機内部での映像信号の流れ】

----：入力信号が 480i/576i の場合

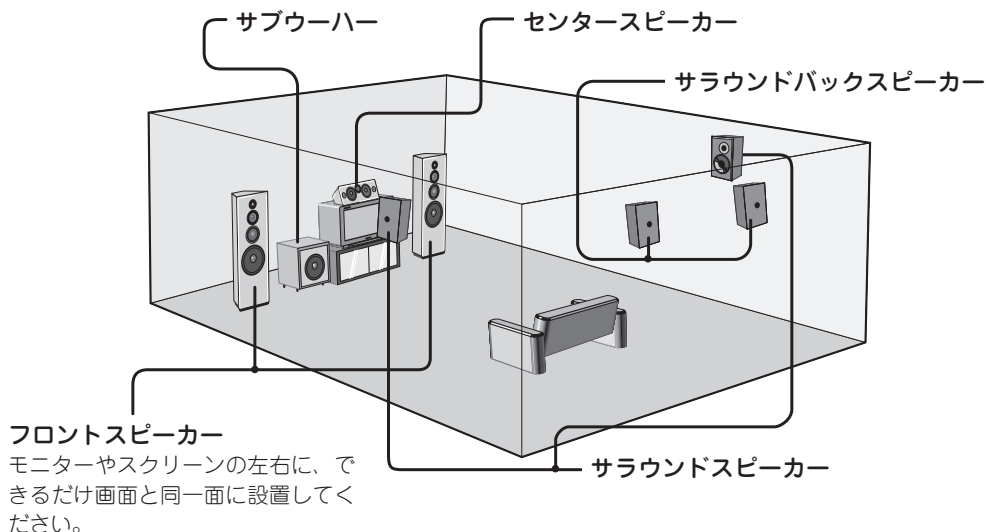
【ゾーン 2 での映像信号の流れ】

----：入力信号が 480i/576i の場合

【ゾーン 3 での映像信号の流れ】

- ビデオコンバージョン機能を使用しない場合は、映像入力端子と同じ種類の端子からモニターに出力してください。
- 本機と接続している HDMI 入力対応モニターの解像度は、GUI メニューの"情報"-"HDMI 情報"-"モニター 1"または"モニター 2"で確認できます（☞61 ページ）。

ご注意

- THX は、最適なビデオ再生のためにビデオコンバートモードをオフに設定し、アップコンバートしない同じ入出力の映像信号を使用することをおすすめします。
  【例】コンポーネントビデオからの入力映像は、コンポーネントビデオモニターでお楽しみください。
- HDMI 信号は、アナログ信号には変換できません。
- コンポーネントビデオ入力の 1080p の信号は、コンポーネントビデオ以外の端子には出力できません。
- コンポーネントビデオ入力の 480p/576p/1080i/720p の信号は、S ビデオ / ビデオ信号には変換できません。
- ゲーム機などの非標準ビデオ信号を入力した場合は、ビデオコンバージョン機能が動作しない場合があります。

スピーカーの設置

下図は、スピーカー（8 台）とモニターを組み合わせた基本的な設置例です。

サブウーハー
センタースピーカー
サラウンドバックスピーカー
フロントスピーカー
モニターやスクリーンの左右に、できるだけ画面と同一面に設置してください。
サラウンドスピーカー

THXウルトラ2シネマモード、THXミュージックモードおよびTHXゲームズモードをお楽しみいただく場合には、サラウンドバックスピーカーは2台必要です。リスニングポジションからサラウンドバックスピーカーまでの距離がL、R等距離になるように置いてください。また、FL/FR、SL/SR、SBL/SBRはそれぞれのLとRのリスニングポジションからの距離の差が60cm以下になるように設置することをおすすめします。

以下の表は、本機が対応している代表的なスピーカー構成です。

	フロント		センター	サラウンドA		サラウンドB		サラウンドバック			サブウーハー（※）
	L	R		L	R	L	R	L	R	1本のみ	
9.1チャンネル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	–	○
7.1チャンネル	○	○	○	○	○	–	–	○	○	–	○
6.1チャンネル	○	○	○	○	○	–	–	–	–	○	○
5.1チャンネル	○	○	○	○	○	–	–	–	–	–	○
3.1チャンネル	○	○	○	–	–	–	–	–	–	–	○
2.1チャンネル	○	○	–	–	–	–	–	–	–	–	○
2チャンネル	○	○	–	–	–	–	–	–	–	–	–

※ 本機には、サブウーハーを 3 本まで接続することができます。

パワーアンプとの接続

本機のプリアウト端子を別売りのパワーアンプに接続してお使いください。
本機には RCA プリアウト端子と XLR プリアウト端子があります。お使いになるパワーアンプに合わせて接続してください。
XLR プリアウト端子の極性は、GUI メニューの“マニュアル設定”-“その他の設定”-“XLR 出力の極性”（☞46 ページ）で切り替えることができます。
また、スピーカーはパワーアンプに接続してお使いください。
接続の際は、各機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

POA-A1HD との接続と操作

本機をパワーアンプ POA-A1HD とコントロールリンクケーブル（POA-A1HD に付属）で接続した場合、以下の操作ができます。

- POA-A1HD の各チャンネルの入力選択およびパワーアンプの設定
- POA-A1HD を本機のオン / スタンバイ操作に連動させる
- 本機のディスプレイオフに連動させ、POA-A1HD のメーター動作をオフにする（☞48 ページ）
- POA-A1HD のファームウェアのアップデート（☞49 ページ）

※ POA-A1HD は 2 台まで接続できます。接続方法および POA-A1HD の設定は、POA-A1HD の取扱説明書をご覧ください。

- スピーカー接続の詳細については、POA-A1HD の取扱説明書をご覧ください。
- サラウンドバックスピーカーを 1 本のみお使いになる場合は、左チャンネル（SBL）に接続してください。

サブウーハー 2 または 3 をお使いになる場合は、GUI メニューの“マニュアル設定”-“スピーカーの設定”-“サブウーハーの設定”をおこなってください（☞34 ページ）。

❑RCA プリアウト端子に接続する場合　【例】9.3 チャンネル

サブウーハー 1
サブウーハー 2
サブウーハー 3

※L：左
　R：右

アンプ内蔵
サブウーハー

IN

本機

POA-A1HD

フロント
スピーカー
（R）

サラウンド
スピーカー
B（R）

サラウンド
スピーカー
A（R）

サラウンド
バック
スピーカー
（R）

センター
スピーカー

サラウンド
バック
スピーカー
（L）

サラウンド
スピーカー
A（L）

サラウンド
スピーカー
B（L）

フロント
スピーカー
（L）

❑XLR プリアウト端子に接続する場合　【例】9.3 チャンネル

サブウーハー 3
サブウーハー 2
サブウーハー 1

※L：左
　R：右

アンプ内蔵
サブウーハー

IN

本機

POA-A1HD

フロント
スピーカー
（R）

サラウンド
スピーカー
B（R）

サラウンド
スピーカー
A（R）

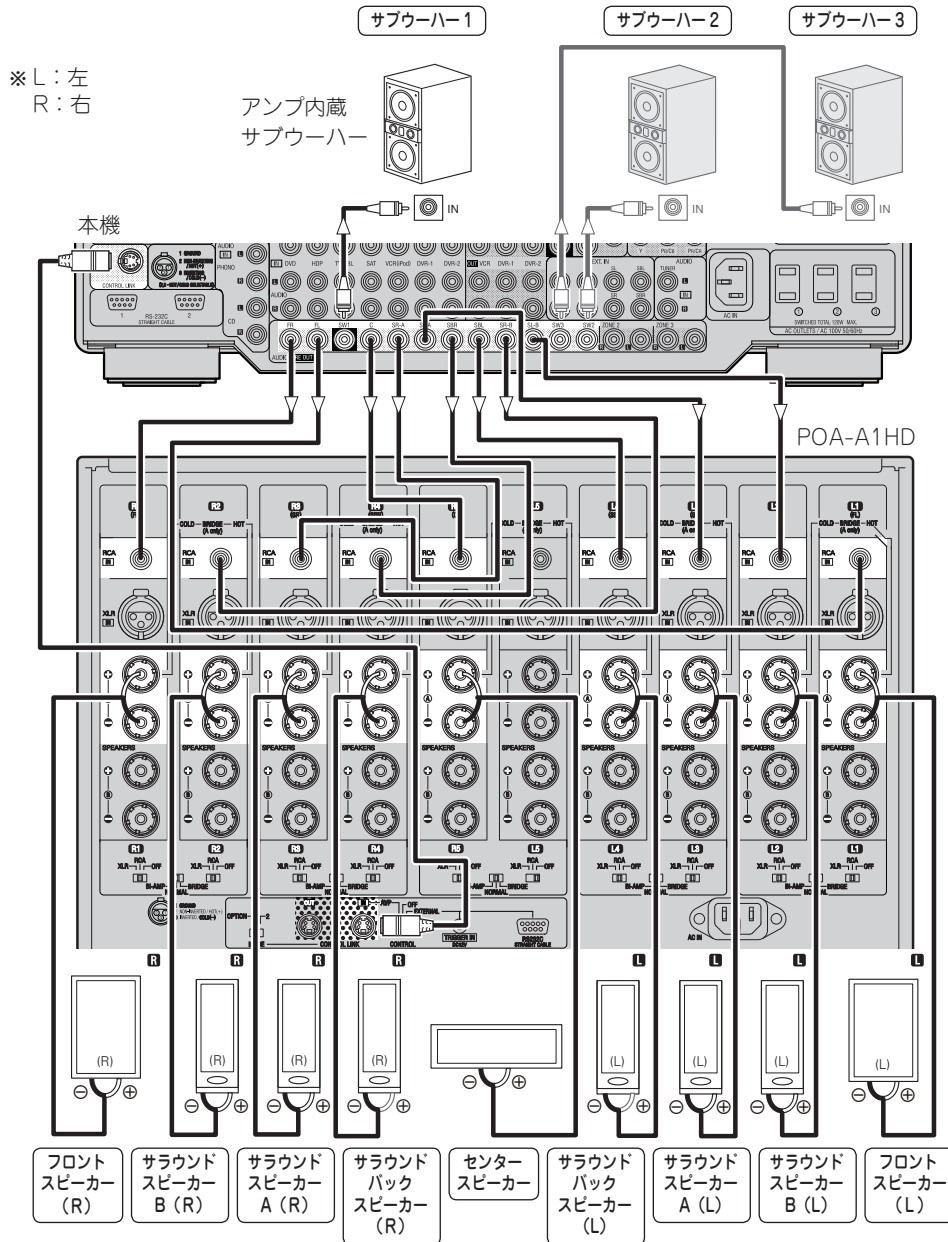
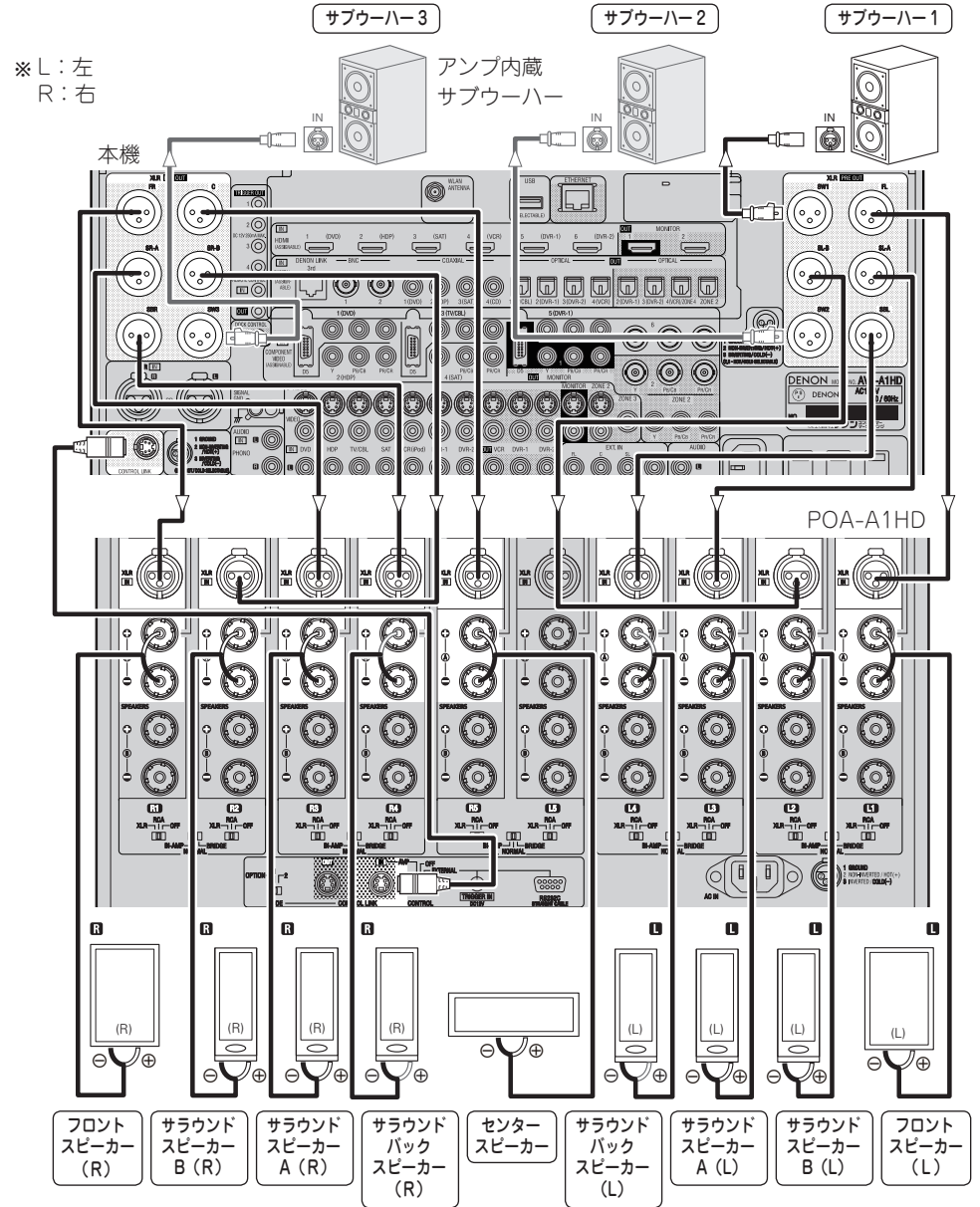
サラウンド
バック
スピーカー
（R）

センター
スピーカー

サラウンド
バック
スピーカー
（L）

サラウンド
スピーカー
A（L）

サラウンド
スピーカー
B（L）

フロント
スピーカー
（L）

ご注意

本機のバランス型 XLR プリアウト端子のピン配列の初期設定は、以下の通りです。
①：GROUND、②：HOT、③：COLD

操作

1 本機と POA-A1HD をコントロールリンクケーブルで接続する。

※コントロールリンクケーブルは、POA-A1HD に付属しています。
※本機は POA-A1HD を 2 台まで接続し操作することができます。
接続方法は POA-A1HD の取扱説明書をご覧ください。

2 POA-A1HD のコントロール切り替えスイッチを“AVP”に設定する。

3 POA-A1HD のモード切り替えスイッチを接続する POA-A1HD の台数にあわせて設定する。

1 台の場合：“1”
2 台の場合：1 台目“1”、2 台目“2”

※詳しくは、POA-A1HD の取扱説明書をご覧ください。

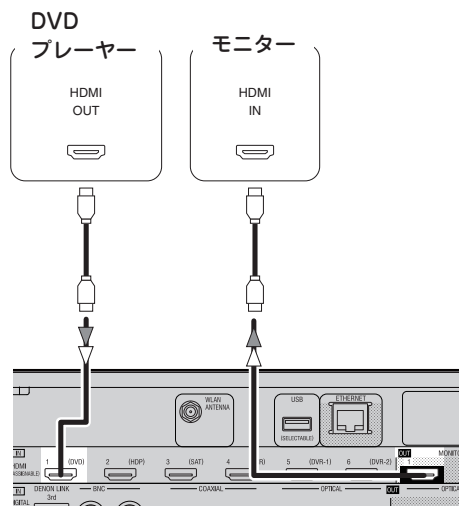
4 本機と POA-A1HD の電源を入れる。

5 GUI メニューの“その他の設定”－“POA の設定”－“POA LINK”を、接続する POA-A1HD の台数にあわせて“オン（シングル）”または“オン（デュアル）”に設定する（☞46 ページ）。

6 GUI メニューの“その他の設定”－“POA の設定”－“LINK の確認”で、接続の確認をおこなう。

HDMI 端子付き機器の接続

HDMI で接続する場合は、映像および音声を HDMI ケーブル 1 本で伝送することができます。

DVD プレーヤー
HDMI OUT
モニター
HDMI IN

- お買い上げ時の設定では、本機に接続されているパワーアンプのスピーカーから HDMI 音声を出力します。
- テレビから音声を出力する場合は、GUI メニューの“マニュアル設定”-“HDMI 設定”-“音声出力”-“TV”の設定をおこなってください（☞37 ページ）。

※ 本機は、下記の HDMI の機能に対応しています。
- 30 ビットと 36 ビットの Deep Color
- xvYCC
- Auto Lipsync

対応する音声フォーマット	詳　細	ディスク（例）
2 チャンネルリニア PCM	2ch 32-192kHz 16/20/24bit	CD、DVD-Video、DVD-Audio
マルチチャンネルリニア PCM	8ch 32-192kHz 16/20/24bit	DVD-Audio
ドルビーデジタル、DTS	ビットストリーム	DVD-Video
DSD	2/5.1ch 2.8224MHz 1bit	SACD
ドルビーデジタルプラス、ドルビー TrueHD、DTS-HD	ビットストリーム	HD DVD、Blu-ray Disc

著作権保護システム（HDCP）

HDMI/DVI 接続を通して DVD ビデオや DVD オーディオのデジタル映像と音声を再生する場合は、接続された DVD プレーヤーとモニターの双方が HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）と呼ばれる著作権保護システムに対応している必要があります。
HDCP はデータの暗号化と相手機器の認証からなるコピープロテクション技術です。
本機は HDCP に対応しています。ご使用になる DVD プレーヤーまたはモニターについては、各機器の取扱説明書をご覧ください。

HDMI/DVI 変換ケーブル（アダプター）で接続する場合

- HDMI の映像信号は、DVI と原理的に互換性があります。
  DVI-D 端子付きモニターなどに接続する場合は、HDMI/DVI 変換ケーブルで接続できますが、機器の組み合わせによっては映像が出力されない場合があります。
- HDMI/DVI 変換アダプターを使用して接続する場合、接続したケーブルとの接触不良などにより映像が正しく出力されない場合があります。

ご注意

- CPPM で著作権保護された DVD オーディオを再生する場合は、CPPM に対応している DVD プレーヤーをお使いください。
- HDMI 端子から出力される音声信号（サンプリング周波数、ビット長など）は、接続する機器により制限される場合があります。
- HDCP に対応していない機器をお使いの場合は、映像が正しく出力されません。
- 入力された映像信号とモニターの解像度が合っていない場合は、映像が出力されません。このような場合は、DVD プレーヤーの解像度をモニターが対応している解像度に合わせてください。
- GUI メニューの“マニュアル設定”-“HDMI 設定”-“音声出力”の設定（☞37 ページ）が“アンプ”のときにモニターの電源を切ると、音声が途切れる場合があります。
- HDMI 端子の接続には、HDMI ロゴが表記されているケーブル（HDMI 認証品）をお使いください。HDMI ロゴが表記されていないケーブル（HDMI 非認証品）を使用すると、正しく再生できない場合があります。
- モニターまたは DVD プレーヤーが Deep Color に対応していない場合、Deep Color での伝送ができません。
- モニターまたは DVD プレーヤーが xvYCC に対応していない場合、xvYCC での伝送ができません。
- モニターが Lip sync に対応していない場合、オートリップシンク補正機能は動作しません。
- 本機は、HDMI の CEC（Consumer Electronics Control）機能に対応しています。次の点にご注意ください。
  - ・接続する機器や設定によって、動作しない場合があります。
  - ・HDMI の CEC 機能に対応していないテレビやプレーヤーは操作できません。

- 本機と DVD プレーヤーを HDMI ケーブルで接続した場合は、本機とモニターも HDMI ケーブルで接続してください。
- 接続するモニターまたは DVD プレーヤーが DVI-D 端子のみ対応の場合は、HDMI/DVI 変換ケーブルをお使いください。DVI ケーブルをお使いの場合は、音声信号は伝送されません。
- Deep Color 対応機器と接続する場合は、Deep Color 対応のケーブルをお使いください。

モニター（テレビ）の接続

- お使いになるケーブルを接続してください（☞13 ページ「ビデオコンバージョン機能」）。
- HDMI で接続する場合は、映像および音声を HDMI ケーブル 1 本で伝送することができます。
- HDMI 接続したテレビから音声を再生したい場合は、GUI メニューの “マニュアル設定” - “HDMI 設定” - “音声出力” を “TV” に設定してください（☞37 ページ）。

モニター（テレビ）
VIDEO
VIDEO IN
S VIDEO IN
D1/D2/D3/D4/D5 VIDEO IN
COMPONENT VIDEO IN Y PB PR
HDMI IN

- モニターによってコンポーネントビデオ端子の表示が異なります。詳しくは、モニターの取扱説明書をご覧ください。
- 本機の D 端子は、D1 ～ D5（480i、480p、1080i、720p、1080p）の映像端子に対応しています。
- 本機のコンポーネントビデオモニター出力端子とモニターをコンポーネントビデオケーブルで接続した場合や D 端子 - コンポーネント変換ケーブルで接続した場合、D 端子から入力された解像度などの識別信号は出力されません。

ご注意

HDMI 入力端子から音声信号が入力された場合のみ、HDMI モニター出力端子から音声が出力されます。

コンポーネントビデオ（D）端子のご使用について

① コンポーネントビデオ端子と D 端子は、同時に接続できません。接続する機器に合わせてどちらか片方を接続してください。
② コンポーネントビデオモニター出力端子（1、2）は同時に接続できます。

再生機器の接続

左チャンネル（L）、右チャンネル（R）、入力（IN）、出力（OUT）を確認し、正しく接続してください。

DVD プレーヤー

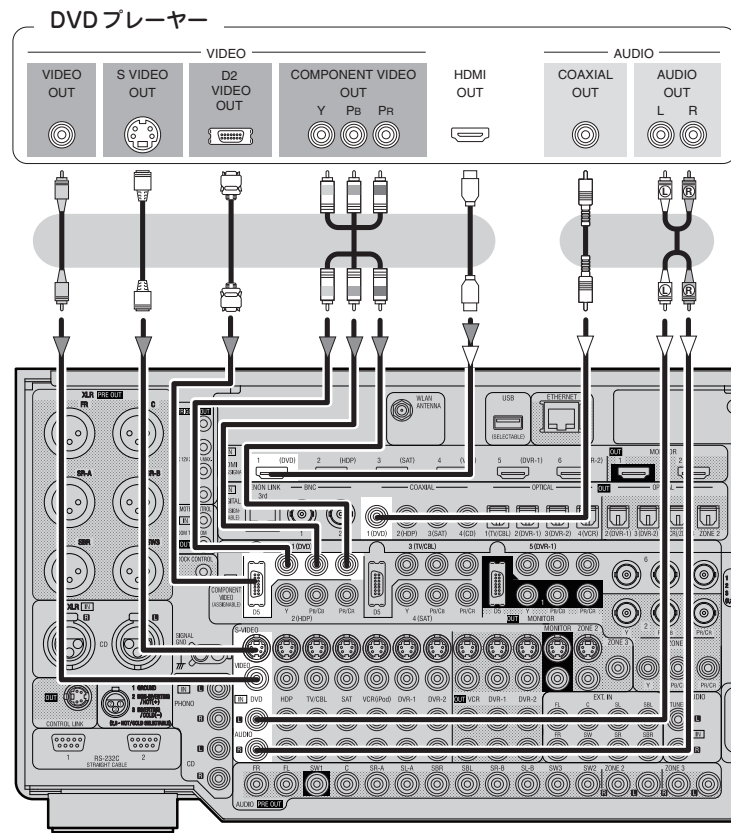
- お使いになるケーブルを接続してください。
- HDMI で接続する場合は、映像および音声を HDMI ケーブル 1 本で伝送することができます。

DVD プレーヤー

VIDEO

VIDEO OUT　S VIDEO OUT　D2 VIDEO OUT　COMPONENT VIDEO OUT (Y PB PR)　HDMI OUT

AUDIO

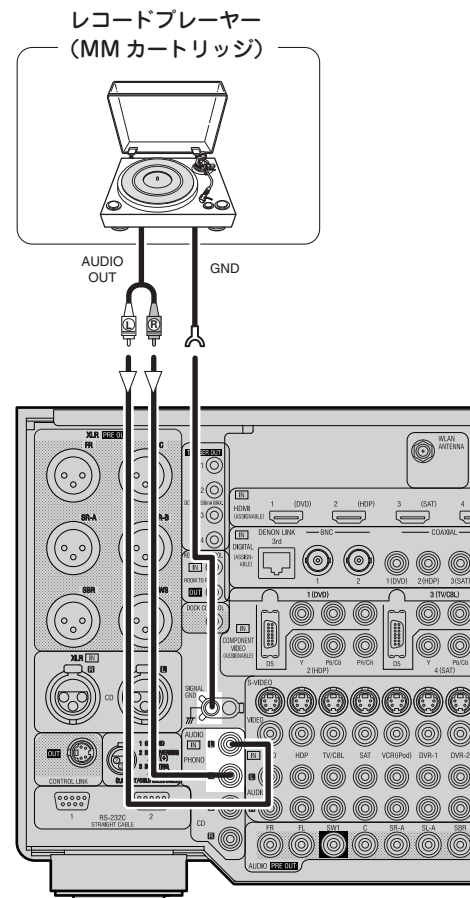
COAXIAL OUT　AUDIO OUT (L R)

- HDP（High-Definition Player）は同じ方法で接続することができます。
- デジタル音声の接続に光伝送ケーブルまたはBNCケーブルをお使いになる場合は、GUIメニューの“ソース選択”-“DVD”-“端子の割り当て”-“デジタル端子”の設定をおこなってください（☞51ページ）。
- コンポーネントビデオの接続にBNCケーブルをお使いになる場合は、GUIメニューの“ソース選択”-“DVD”-“端子の割り当て”-“コンポーネントビデオ端子”の設定をおこなってください（☞51ページ）。

ご注意

コンポーネントビデオ端子と D 端子は、同時に接続できません。接続する機器に合わせてどちらか片方を接続してください（☞17 ページ）。

レコードプレーヤー

レコードプレーヤー（MM カートリッジ）

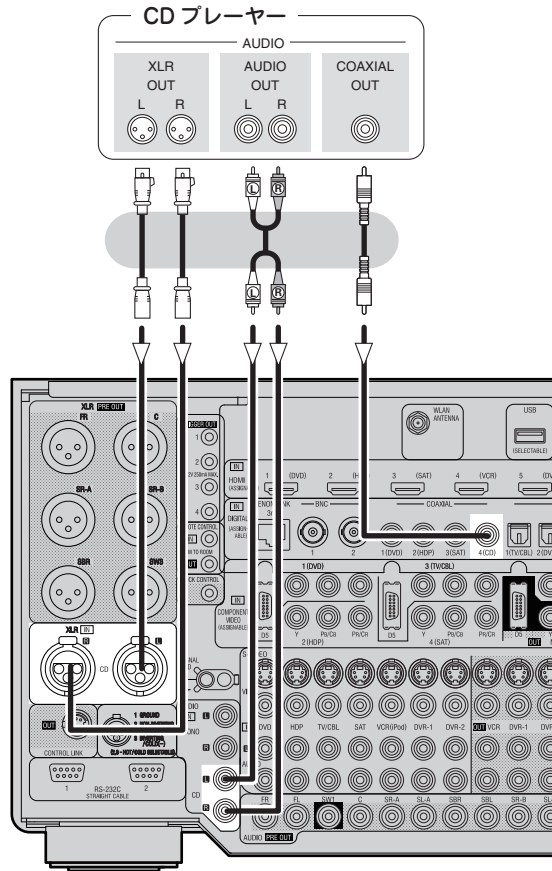
AUDIO OUT　GND

- MC カートリッジ付きのレコードプレーヤーを接続する場合は、市販の MC ヘッドアンプまたは昇圧トランスをお使いください。
- レコードプレーヤーを接続せずに音量を上げたときに、“ブーン”という誘導ハム音がスピーカーから出力される場合があります。
- レコードプレーヤーによっては、アースワイヤーを接続しているときに雑音が発生する場合があります。このような場合は、アースワイヤーを外してください。

ご注意

本機のSIGNAL GND端子は、レコードプレーヤーを接続したときに雑音の低減をはかるもので、安全アースではありません。

CD プレーヤー

お使いになるケーブルを接続してください。

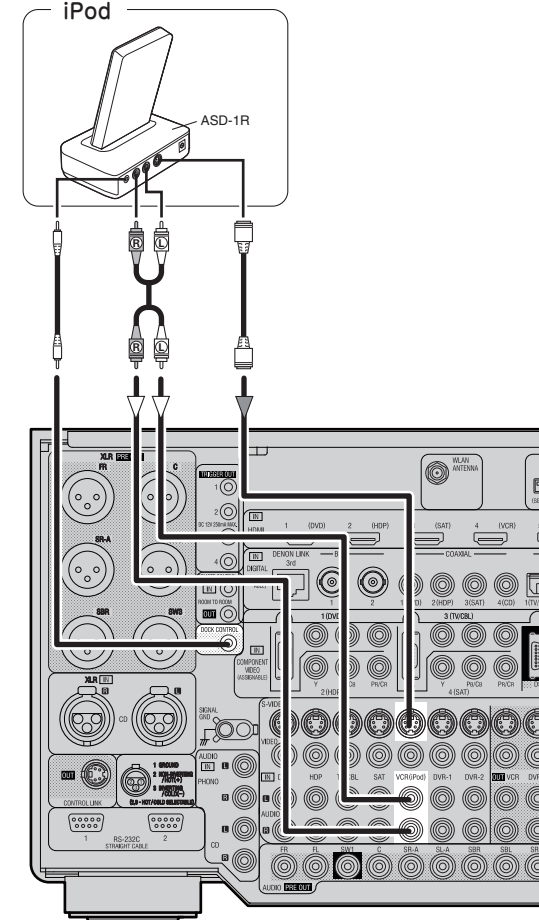
CD プレーヤー
AUDIO
XLR OUT L R
AUDIO OUT L R
COAXIAL OUT

- デジタル音声の接続に光伝送ケーブルまたは BNC ケーブルをお使いになる場合は、GUI メニューの“ソース選択”-“CD”-“端子の割り当て”-“デジタル端子”の設定をおこなってください（☞51 ページ）。
- アナログ音声の接続にバランスケーブルをお使いになる場合は、GUI メニューの“ソース選択”-“CD”-“端子の割り当て”-“アナログ”の設定をおこなってください（☞51 ページ）。

ご注意

本機のバランス型 XLR アナログ音声端子のピン配列の初期設定は、以下の通りです。

① GROUND
② HOT
③ COLD

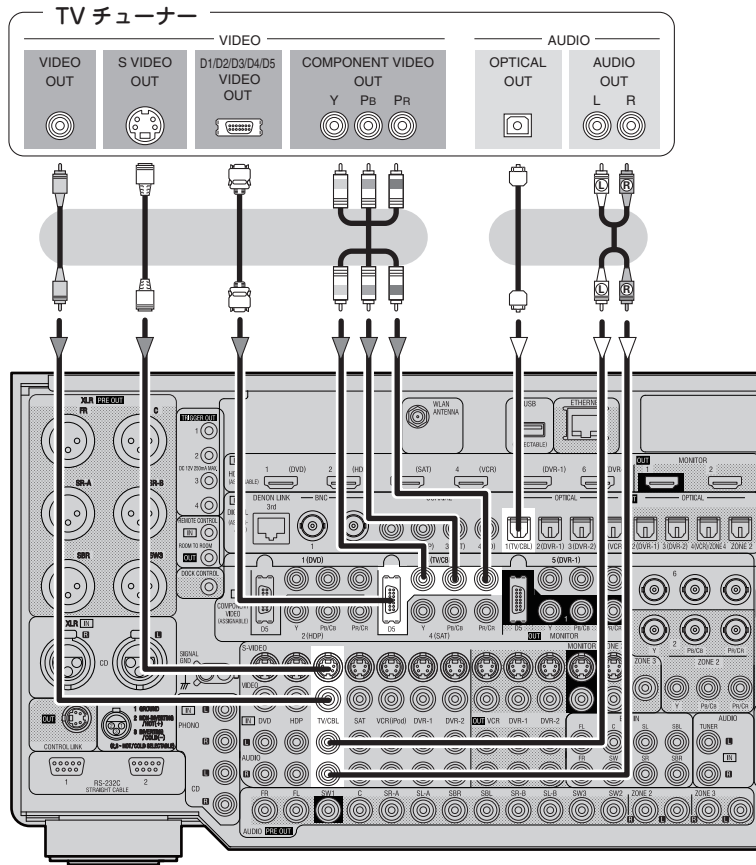
iPod®

本機と iPod の接続には、DENON 製 iPod 用コントロールドック（ASD-1R、別売り）をお使いください。この場合、iPod 用コントロールドック側の設定も必要です。詳しくは、iPod 用コントロールドックの取扱説明書をご覧ください。

iPod
ASD-1R

- お買い上げ時の設定では、iPod を VCR（iPod）端子に接続してお使いいただけます。
- iPod を VCR（iPod）端子以外に割り当てる場合は、GUI メニューの“ソース選択”-“(iPod dock を割り当てたい入力ソース)”-“端子の割り当て”-“iPod dock”の設定をおこなってください（☞51 ページ）。

TV チューナー

お使いになるケーブルを接続してください。

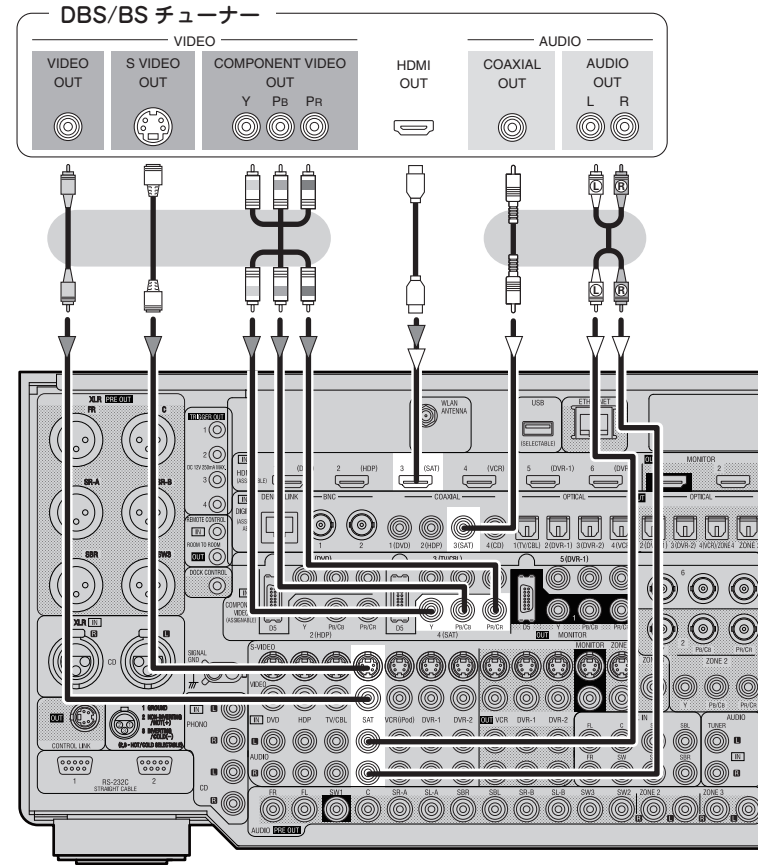
TV チューナー
VIDEO
VIDEO OUT
S VIDEO OUT
D1/D2/D3/D4/D5 VIDEO OUT
COMPONENT VIDEO OUT
Y PB PR
AUDIO
OPTICAL OUT
AUDIO OUT
L R

- デジタル音声の接続に同軸デジタルケーブルまたは BNC ケーブルをお使いになる場合は、GUI メニューの“ソース選択”-“TV/CBL”-“端子の割り当て”-“デジタル端子”の設定をおこなってください（☞51 ページ）。
- コンポーネントビデオの接続に BNC ケーブルをお使いになる場合は、GUI メニューの“ソース選択”-“TV/CBL”-“端子の割り当て”-“コンポーネントビデオ端子”の設定をおこなってください（☞51 ページ）。

ご注意

コンポーネントビデオ端子と D 端子は、同時に接続できません。接続する機器に合わせてどちらか片方を接続してください（☞17 ページ）。

衛星チューナー

お使いになるケーブルを接続してください。

DBS/BS チューナー
VIDEO
VIDEO OUT
S VIDEO OUT
COMPONENT VIDEO OUT
Y PB PR
HDMI OUT
AUDIO
COAXIAL OUT
AUDIO OUT
L R

- デジタル音声の接続に光伝送ケーブルまたはBNCケーブルをお使いになる場合は、GUI メニューの“ソース選択”-“SAT”-“端子の割り当て”-“デジタル端子”の設定をおこなってください（☞51 ページ）。
- コンポーネントビデオの接続にD端子用ケーブルやBNCケーブルをお使いになる場合は、GUI メニューの“ソース選択”-“SAT”-“端子の割り当て”-“コンポーネントビデオ端子”の設定をおこなってください（☞51 ページ）。

録音 / 録画機器の接続

左チャンネル（L）、右チャンネル（R）、入力（IN）、出力（OUT）を確認し、正しく接続してください。

DVD レコーダー

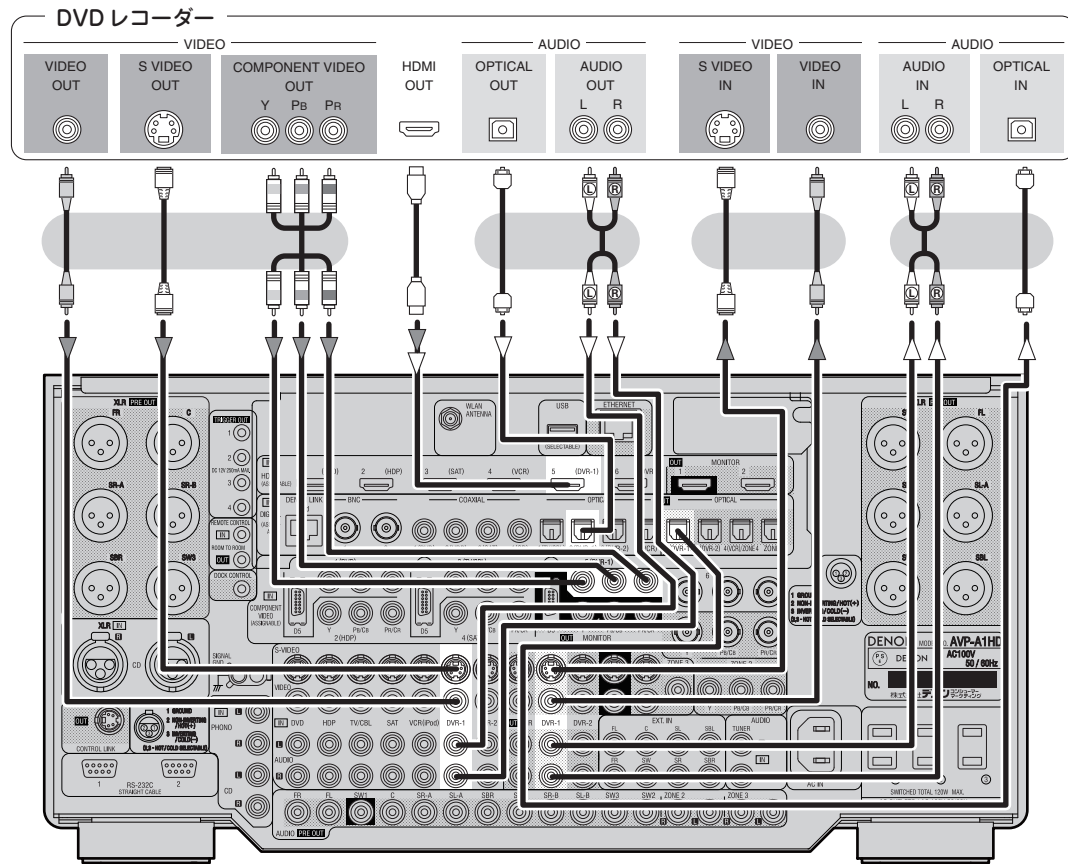
- お使いになるケーブルを接続してください。
- アナログ音声を録音する場合は、アナログ接続をしてください。

DVD レコーダー

VIDEO: VIDEO OUT / S VIDEO OUT / COMPONENT VIDEO OUT (Y PB PR) / HDMI OUT

AUDIO: OPTICAL OUT / AUDIO OUT (L R)

VIDEO: S VIDEO IN / VIDEO IN

AUDIO: AUDIO IN (L R) / OPTICAL IN

- 本機を通して録音する場合は、再生機器のケーブルの種類を本機の DVR-1 出力端子に接続するケーブルの種類と同じにする必要があります。

【例】

・TV 入力 → S ビデオケーブル：
DVR-1 出力 → S ビデオケーブル

・TV 入力 → 映像用 75 Ωピンプラグケーブル：
DVR-1 出力 → 映像用 75 Ωピンプラグケーブル

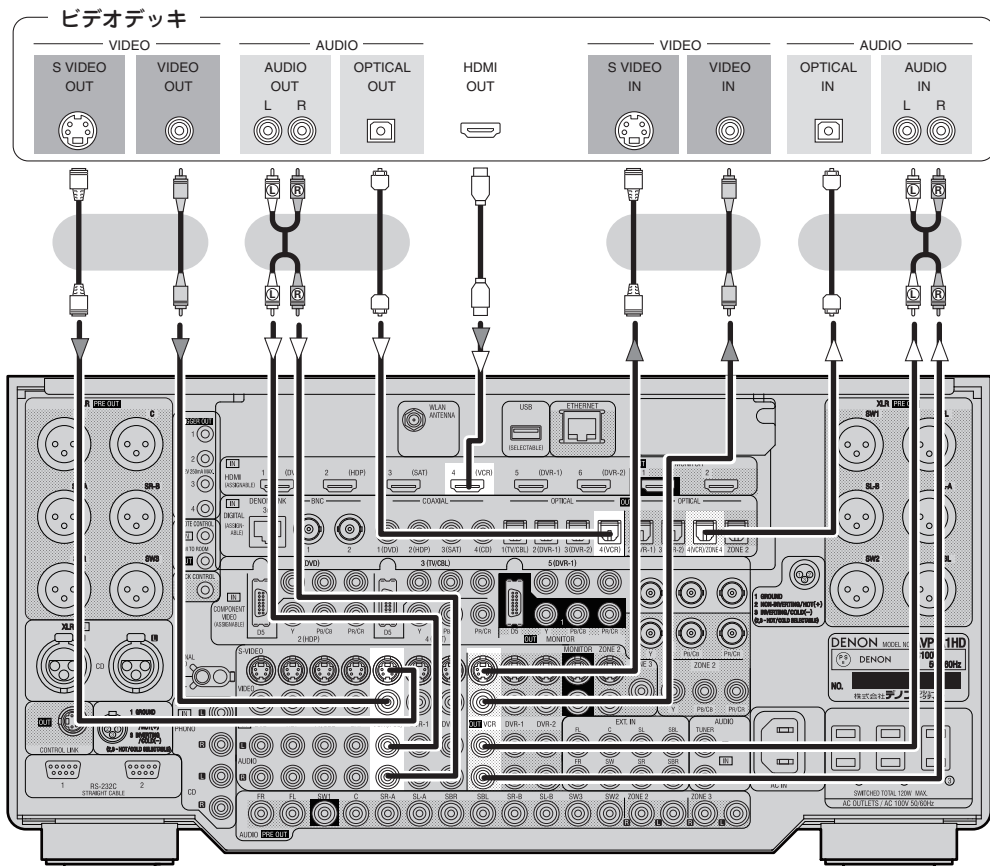
- DVR-2 出力端子も同じように接続してください。
- コンポーネントビデオの接続に D 端子用ケーブルや BNC ケーブルをお使いになる場合は、GUI メニューの“ソース選択”-“DVR-1”または“DVR-2”-“端子の割り当て”-“コンポーネントビデオ端子”の設定をおこなってください（☞51 ページ）。

ご注意

- 本機の OPTICAL2 出力端子に接続した機器の出力を、OPTICAL2 入力端子以外に接続しないでください。
- 本機の OPTICAL3 出力端子に接続した機器の出力を、OPTICAL3 入力端子以外に接続しないでください。

ビデオデッキ

- お使いになるケーブルを接続してください。
- アナログ音声を録音する場合は、アナログ接続をしてください。

ビデオデッキ
VIDEO
S VIDEO OUT
VIDEO OUT
AUDIO
AUDIO OUT L R
OPTICAL OUT
HDMI OUT
VIDEO
S VIDEO IN
VIDEO IN
AUDIO
OPTICAL IN
AUDIO IN L R

- 本機を通して録音する場合は、再生機器のケーブルの種類を本機の VCR 出力端子に接続するケーブルの種類と同じにする必要があります。

【例】 TV 入力 → S ビデオケーブル：VCR 出力 → S ビデオケーブル
TV 入力 → 映像用 75 Ωピンプラグケーブル：VCR 出力 → 映像用 75 Ωピンプラグケーブル

- 映像の接続にコンポーネントビデオ用ケーブルや D 端子用ケーブルをお使いになる場合は、GUI メニューの "ソース選択" - "VCR" - "端子の割り当て" - "コンポーネントビデオ端子" の設定をおこなってください（☞51 ページ）。

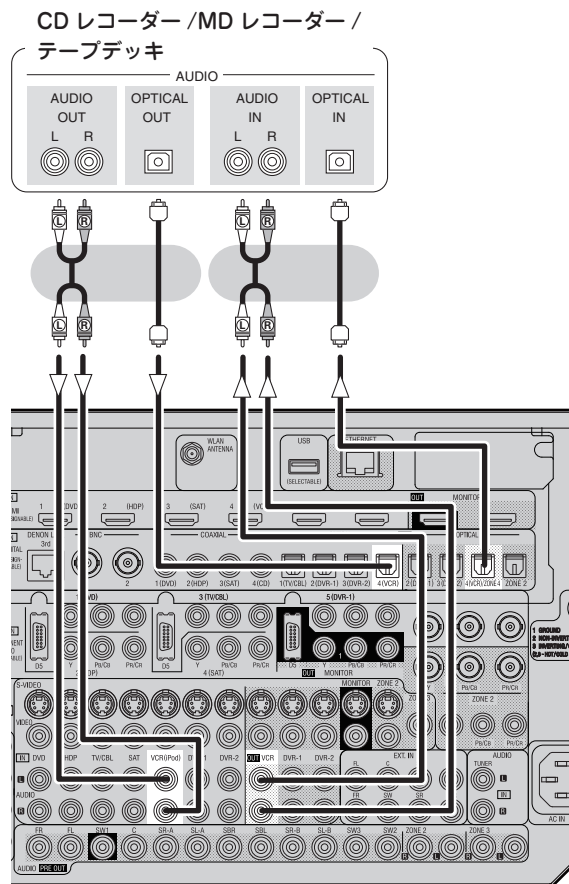
ご注意

本機の OPTICAL4 出力端子に接続した機器の出力を、OPTICAL4 入力端子以外に接続しないでください。

CD レコーダー /MD レコーダー / テープデッキ

お使いになる機器の端子に合わせて、アナログ音声を録音する場合はアナログ接続を、デジタル音声を録音する場合はデジタル接続をしてください。

CD レコーダー /MD レコーダー / テープデッキ
AUDIO
AUDIO OUT L R
OPTICAL OUT
AUDIO IN L R
OPTICAL IN

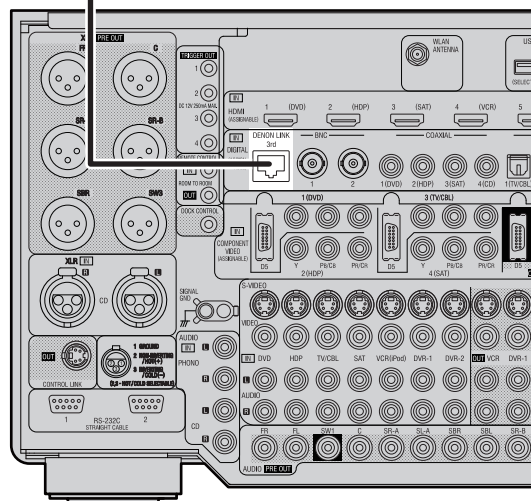
ご注意

本機の OPTICAL4 出力端子に接続した機器の出力を、OPTICAL4 入力端子以外に接続しないでください。

その他の機器の接続

左チャンネル（L）、右チャンネル（R）、入力（IN）、出力（OUT）を確認し、正しく接続してください。

DENON LINK 端子がある機器

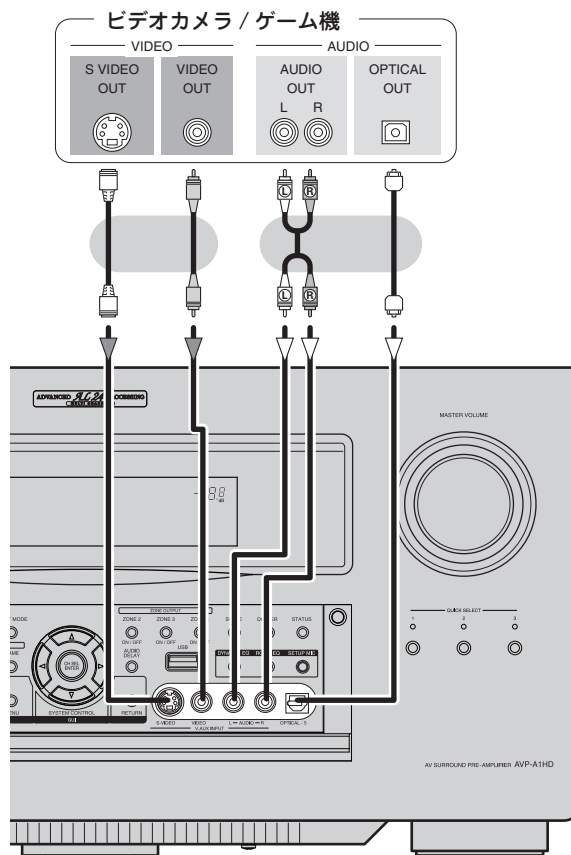
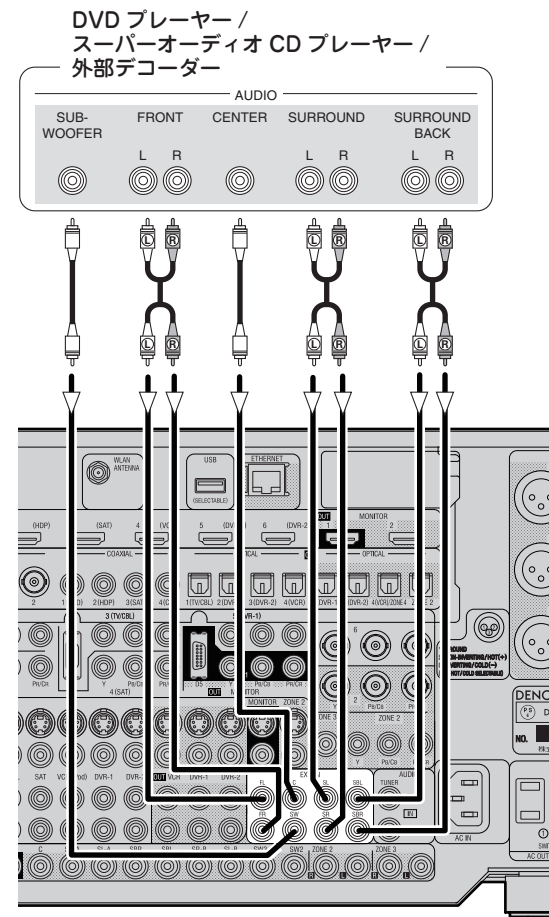
DVD オーディオやスーパーオーディオ CD などのマルチチャンネル再生ができます（☞71 ページ）。

DVD プレーヤー
AUDIO
DENON LINK

DENON LINK 接続でお使いになる場合は、GUI メニューの“ソース選択”-“（入力ソース）”-“端子の割り当て”-“デジタル端子”-“DENON LINK”の設定をおこなってください（☞51 ページ）。

ビデオカメラ / ゲーム機

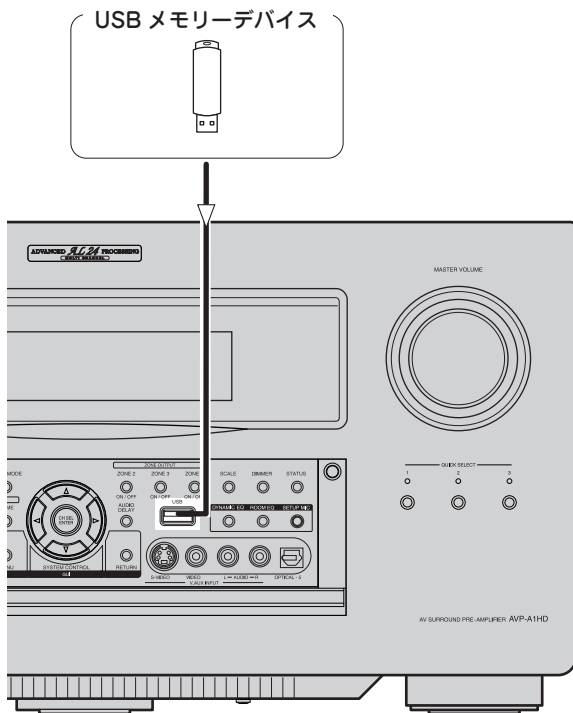
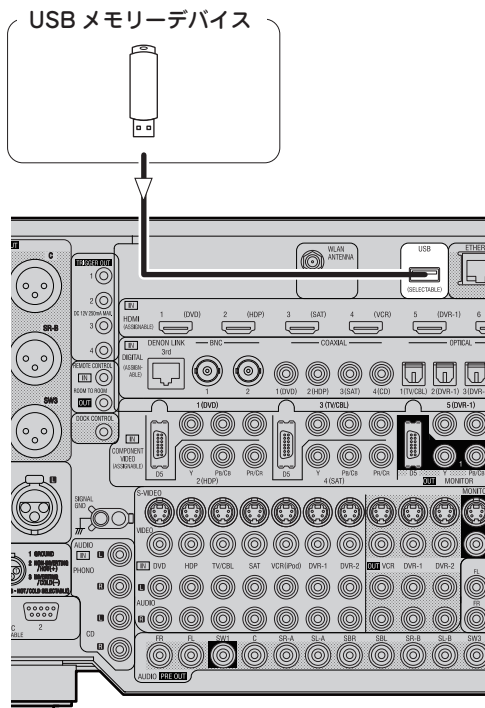
ビデオカメラ / ゲーム機
VIDEO
S VIDEO OUT
VIDEO OUT
AUDIO
AUDIO OUT L R
OPTICAL OUT

マルチチャンネル出力端子がある機器

DVD プレーヤー /
スーパーオーディオ CD プレーヤー /
外部デコーダー
AUDIO
SUB-WOOFER
FRONT L R
CENTER
SURROUND L R
SURROUND BACK L R

- 外部入力（EXT. IN）端子から入力されたアナログ入力信号を再生する場合は、本体の **INPUT MODE** ボタンまたはメインリモコンの **INPUT** ボタンを押して“EXT. IN”を選ぶか、GUI メニューの“ソース選択”-“（入力ソース）”-“入力モード”-“入力モード”-“EXT. IN”の設定をおこなってください（☞52 ページ）。
- 映像信号は DVD プレーヤーと同じ方法で接続することができます（☞18 ページ）。
- 著作権保護がかかったディスクを再生する場合は、本機の外部入力（EXT. IN）端子と DVD プレーヤーのアナログマルチチャンネル出力端子を接続してください。

USB 端子

❑ フロントパネル（前面）

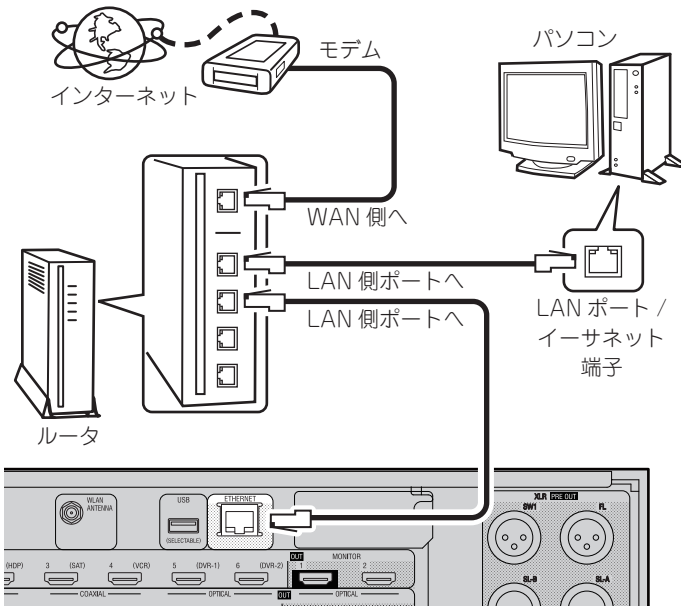
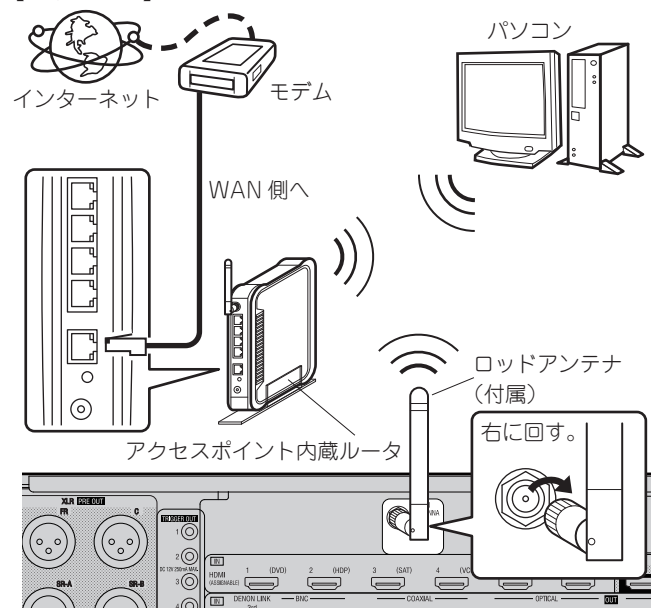
USB メモリーデバイス

❑ リアパネル（背面）

USB メモリーデバイス

- お買い上げ時の設定では、前面の USB 端子に接続してお使いいただけます。
- 使用する端子を変更する場合は、53 ページの“USB 端子の選択”をご覧ください。
- USB メモリーデバイスの再生のしかたは、68、69 ページをご覧ください。

ご注意

- お使いになる方の USB 端子に設定してください。
- 本機は、前面および背面に USB 端子を 1 つずつ備えています。両方同時に接続して使用することはできません。GUI メニューの“ソース選択” –“NET/USB”–“再生モード”–“USB 端子の選択”で、お使いになる USB 端子を選んでください。
- USB メモリーデバイスを本機の USB 端子に接続するときに、延長ケーブルを使用しないでください。他の機器に電波妨害を引き起こす場合があります。

ネットワークオーディオ

【有線 LAN】

【無線 LAN】

必要なシステム

❏ブロードバンド回線によるインターネット接続

本機のインターネットラジオ機能を利用するには、ブロードバンド回線によるインターネットへの接続が必要です。

❏モデム

ブロードバンド回線と接続して、インターネットに通信をおこなうための機器です。ルータと一体型のものもあります。

❏ルータ

- 本機を利用するにあたって、次の機能が装備されているルータをおすすめします。
  - DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）サーバー内蔵
    LAN 上の IP アドレスを自動的に割り振る機能です。
  - 100BASE-TX スイッチ内蔵
    複数の機器を接続するために、100Mbps 以上の速度で、スイッチングハブを内蔵していることをおすすめします。
- 無線 LAN でお使いの場合は、、アクセスポイント内蔵のブロードバンドルータをご用意ください。

❏イーサネットケーブル（CAT-5 以上を推奨）

有線 LAN の場合に使用します。

- 本機にイーサネットケーブルは付属していません。
- イーサネットケーブルは、シールド付きのノーマルタイプをおすすめします。
  フラットタイプのケーブルやシールドされていないケーブルを使用すると、ノイズが他の機器に影響をおよぼす可能性があります。

❏パソコン

メディアサーバーをお使いになる場合は、次の仕様のパソコンが必要です。

- OS
  Windows® XP Service Pack2, Windows Vista
- ソフトフェア
  （次のうちいずれかを一つをご用意ください。）
  - .NET Framework 1.1 および Windows Media Connect（Windows XP）,
  - Windows Media Player ver.11
  - DLNA 対応のサーバーソフトウェア
- インターネットブラウザ
  Microsoft Internet Explorer 5.01 以上
- LAN ポートがあること
- 300MB 以上のハードディスク空き容量

※音楽ファイルを保存するには、保存のための空き容量が必要です。下記が容量のおおよその目安です。

フォーマット	ビットレート	1 分当たり	1 時間当たり
MP3 / WMA MPEG-4 AAC	128kbps	約 1 MB	約 60 MB
	192kbps	約 1.5 MB	約 90 MB
	256kbps	約 2 MB	約 120 MB
	392kbps	約 3 MB	約 180 MB
WAV (LPCM)	1400kbps	約 10 MB	約 600 MB
FLAC	1080kbps	約 7.7 MB	約 464 MB

インターネットの接続については、ISP（インターネット・サービスプロバイダ）またはパソコン関連販売店にお問い合わせください。

ご注意

- インターネットに接続するには、ISP と契約する必要があります。すでにブロードバンド回線を利用してインターネットに接続されている場合は、新たに契約する必要はありません。
- ISP 業者によって使用できるルータの種類が異なります。詳しくは、ISP 業者またはパソコン関連販売店にお問い合わせください。
- サーバーによってはビデオファイルが表示される場合がありますが、本機では再生できません。

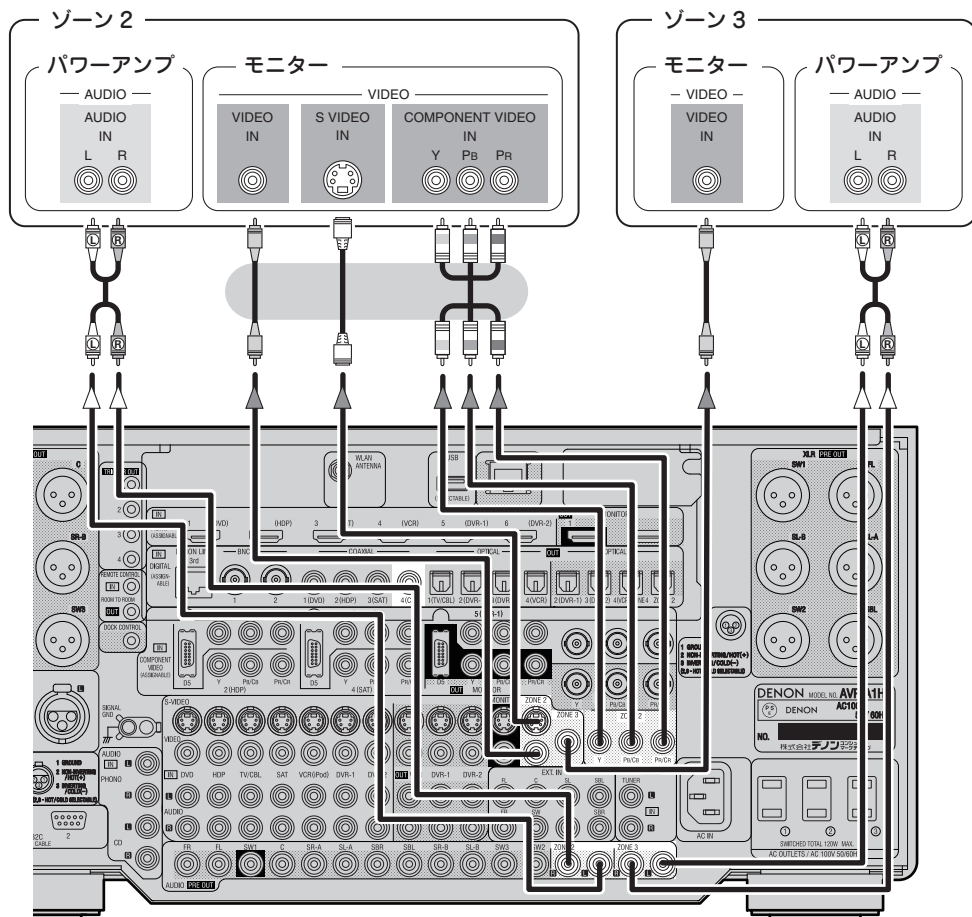
❏その他

- ネットワークの設定を手動でおこなうタイプの回線で、プロバイダ契約を結んでいる場合は、GUI メニューの“マニュアル設定”-“ネットワーク設定”で設定をおこなってください（☞40 ～ 43 ページ）。
- 本機は DHCP 機能や Auto IP 機能を使用して、自動的にネットワークの設定をおこなうことができます。
- ブロードバンドルータ（DHCP 機能）をお使いの場合は、本機が自動的に IP アドレスなどの設定をおこないます。
  DHCP 機能のないネットワークに本機を接続してお使いになる場合は、GUI メニューの“マニュアル設定”-“ネットワーク設定”で、IP アドレスなどの設定をおこなってください（☞40 ～ 43 ページ）。
- 本機は PPPoE に対応していません。PPPoE で設定するタイプの回線契約を結んでいる場合は、PPPoE 対応のルータが必要です。
- 契約している ISP によっては、インターネットラジオを利用するときにプロキシサーバーの設定が必要な場合があります。インターネットに接続するときにパソコンでプロキシサーバーの設定をおこなった場合は、本機も同様にプロキシサーバーの設定をおこなってください。

マルチゾーン

ゾーン 2 またはゾーン 3 のプリアウト接続

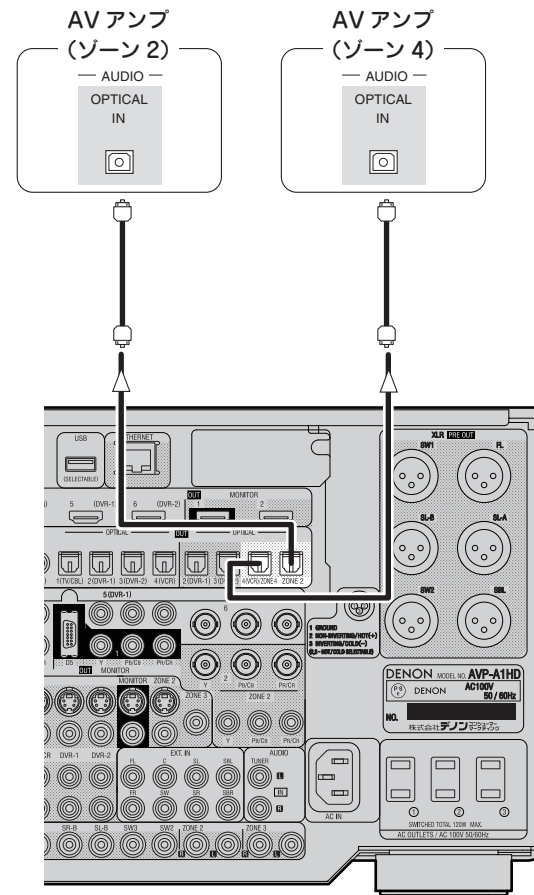
- 本機にパワーアンプまたはプリメインアンプを接続すると、ゾーン 2 とゾーン 3 で別のプログラムソースを同時に楽しむことができます（☞84、85 ページ）。
- ゾーン 2 のモニター出力には、ビデオコンバージョン機能により入力された様々な方式の映像信号を自動的に変換して出力されます（☞13 ページ）。
- ゾーン 3 のモニター出力には、S ビデオ端子またはビデオ端子から入力された映像信号が出力されます（☞13 ページ）。
- ゾーン 2（またはゾーン 3）ビデオ信号は、ZONE2（または ZONE3）出力端子にのみ出力されます。

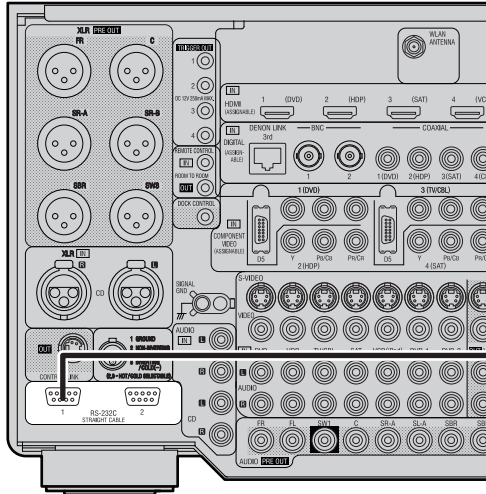
ゾーン 2
パワーアンプ
AUDIO
AUDIO IN
L R
モニター
VIDEO
VIDEO IN
S VIDEO IN
COMPONENT VIDEO IN
Y PB PR
ゾーン 3
モニター
VIDEO
VIDEO IN
パワーアンプ
AUDIO
AUDIO IN
L R

ご注意

- 音声出力については、誘導ハム音や雑音がないように高品質のピンプラグケーブルをお使いください。
- 別売りの機器の設置や操作については、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- マルチゾーンの再生をおこなう場合は、「マルチゾーンの接続と操作」をご覧ください（☞84、85 ページ）。

ゾーン 2 またはゾーン 4 の OPTICAL 接続

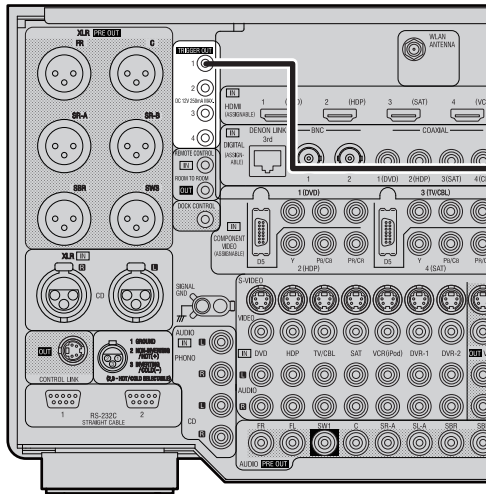
本機はゾーン 2 とゾーン 4 用に OPTICAL 出力端子を備えています。ビットストリーム対応のアンプを接続すると、ゾーン 2 やゾーン 4 でもホームシアターを楽しむことができます。

AV アンプ（ゾーン 2）
AUDIO
OPTICAL IN
AV アンプ（ゾーン 4）
AUDIO
OPTICAL IN

- ゾーン 2 のモニターは、「ゾーン 2 またはゾーン 3 のプリアウト接続」（☞左記）と同じように接続してください。
- ゾーン 2 の入力信号がアナログ信号の場合、PCM（2 チャンネル）信号に変換されて ZONE2 OPTICAL 出力端子から出力されます。

外部のコントロール機器

RS-232C 端子

外部コントロール機器から本機を操作することができます。

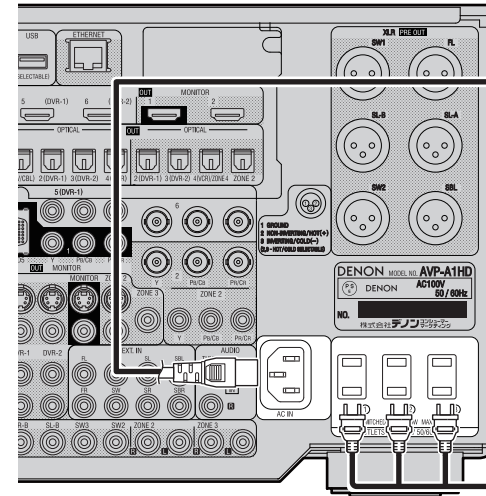
※RS-232C 端子を使用して外部コントローラーから本機を操作する場合は、あらかじめ次の確認をおこなってください。
① 本機の電源を入れる。
② 外部コントロール機器から本機の電源を切る。
③ 本機がスタンバイ状態になる。

- 本機を RF リモートコントローラー（RC-7000CI、別売り）や RF リモートレシーバー（RC-7001RCI、別売り）と組み合わせて使用すると、本機とリモートコントローラーとの間で双方向通信ができます。本機のステータス情報や iPod、インターネットオーディオの音楽ファイルのブラウズを、RF リモートコントローラーのディスプレイを見ながら操作できます。詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- RF リモートコントローラーや RF リモートレシーバーと組み合わせてお使いになる場合は、GUI メニューの“マニュアル設定”-“その他の設定”-“双方向リモコン”-“使用する”の設定をおこなってください（☞48 ページ）。
- 双方向リモコンを使用する場合は、RS-232C 端子のポート 1 に接続してください。
- GUI メニューの“マニュアル設定”-“その他の設定”-“双方向リモコン”を“使用する”に設定している場合は、RS-232C 端子のポート 1 を外部コントローラー用としては使用できません。

トリガー出力端子

トリガー入力端子を持つ外部機器の電源を、本機の操作に連動させて入 / 切できます。詳しくは、GUI メニューの“マニュアル設定”-“その他の設定”-“トリガーアウト 1”、“トリガーアウト 2”、“トリガーアウト 3”または“トリガーアウト 4”をご覧ください（☞47 ページ）。

- 出力レベル：250mA/12V
  接続する機器のトリガー入力条件を確認してください。

電源コードの接続

- すべての接続が終わってから電源コードを接続してください。
- 本機に付属の電源コードには極性が表示されています。お好みの音質になるように電源コンセントへ差し込んでください。

電源コード（付属）

家庭用の電源コンセントへ（AC100V、50/60Hz）

極性確認用にプラグの片側に三角の刻印があります。

AC アウトレットへの接続

- 外部のオーディオ機器に電源を供給するコンセントです。
- 本体の電源スイッチと連動しています。
- 消費電力が合計で 120W（1.2A）までのオーディオ機器を接続することができます。

ご注意

- 電源プラグは確実に差し込んでください。不完全な接続は、雑音発生の原因になります。
- AC アウトレットへは、オーディオ機器の電源プラグを差し込み、ドライヤーなどオーディオ機器以外の電源としては使用しないでください。また、オーディオ機器でも、消費電力が大きいパワーアンプ（POA-A1HD など）は接続しないでください。
- AC 入力端子（AC IN）のアース端子は、接続されていません。

接続が終わったら

電源を入れる（☞62 ページ）

GUI メニュー操作

本機では、ほとんどの機能の設定や操作を、モニター画面に表示されたメニューアイコンで操作することができます。

xvYCC 信号やコンポーネントビデオの 1080p の信号およびコンピューター解像度（例：VGA）が入力されたときは、GUI 画面を表示することができません。

取扱説明書中のタイトル表示例

タイトルにこのマークがある項目は、GUI メニューの操作に対応しています。GUI メニューでの操作をおすすめします。

オートセットアップ
GUI
ご使用になるスピーカーに最適な設定を自動的におこないます

この設定項目、またはこの項目が属するメニュー系列の GUI アイコンです。

お買い上げ時の設定（初期設定）の表示例

枠線が付いている項目は、お買い上げ時の設定項目または設定値です。

【選択できる項目】 9.1 7.1 5.1

GUI 画面の表示例

代表的な例を説明します。

【例 1】ブラウズメニュー（トップメニュー）

ソース選択
DENON
選択項目名
DVD
HDP
TV/CBL
SAT
VCR
DVR-1
次の項目リスト
カーソル位置の項目のガイドテキスト
入力ソースの選択や入力ソースの再生に関する設定をします

【例 2】イラスト付きメニュー（オートセットアップ）

操作ガイドテキスト
操作ステップ表示
オートセットアップ
AUDYSSEY MULTEQ XT DYNAMIC EQ
DENON
ステップ 1 スタートメニュー
リスニングポイントに耳と同じ高さでマイクを置いてください
1 2 3 4 5
イラスト
スタート
構成 9.1
SW 1SP
プリアウトの割り当て
XLR出力の極性
決定
RETURN キャンセル
オートセットアップを開始します
カーソル位置の項目のガイドテキスト
操作ボタンガイド

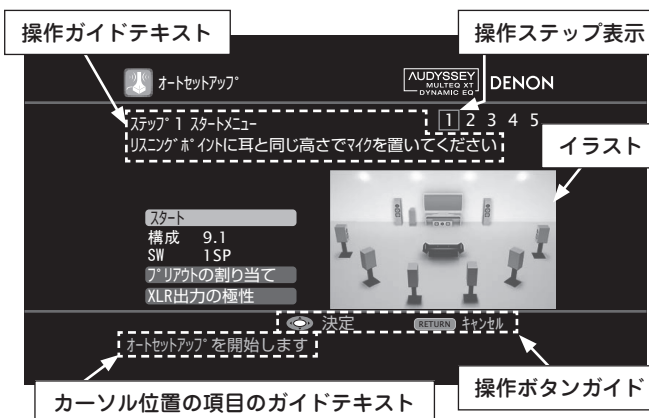
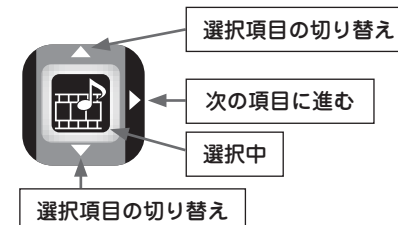
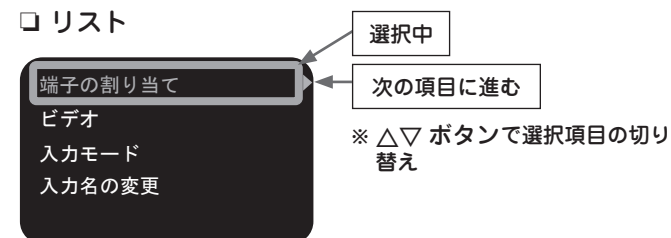
カーソル位置の表示

❑ アイコン

選択項目の切り替え
次の項目に進む
選択中
選択項目の切り替え

❑ リスト

選択中
端子の割り当て
ビデオ
入力モード
入力名の変更
次の項目に進む

※ △▽ ボタンで選択項目の切り替え

GUI メニューの操作のしかた

本体でもメインリモコンでも同じ操作ができます。

1 **MENU ボタンを押す。**
GUI メニューが表示されます。

※メインリモコンで操作するときは、あらかじめメインリモコンをアンプモードにしてください（☞75 ページ）。

2 **△▽▷ ボタンを押して、設定 / 操作したいメニューを選ぶ。**

※前の項目に戻る場合は、◁ または **RETURN** ボタンを押してください。

3 **ENTER ボタンを押して、設定を確定する。**

4 **MENU ボタンを押して、終了する。**

GUI メニューマップ

情報
（☞60、61 ページ）

- ❑ 現在の設定
  - • メインゾーン
  - • ゾーン 2/3/4
- ❑ 音声入力信号
- ❑ HDMI 情報
- ❑ オートサラウンドモード
- ❑ クイックセレクト
- ❑ プリセットチャンネル

パラメーター
（☞56 ～ 60 ページ）

- ❑ 音声
  - • サラウンドパラメーター
    - ・モード
    - ・デコーダー
    - ・シネマ EQ
    - ・DRC
    - ・ダイナミックレンジ圧縮
    - ・LFE
    - ・センターイメージ
    - ・パノラマ
    - ・ディメンション
    - ・センター幅
    - ・ディレイタイム
    - ・エフェクト
    - ・エフェクトレベル
    - ・ルームサイズ
    - ・AFDM
    - ・サラウンドバック
    - ・入力チャンネル
    - ・サブウーハーアッテネーター
    - ・サブウーハー
    - ・初期化
  - • トーンコントロール
    - ・トーンデフィート
    - ・低音
    - ・高音
    - ・フロント
    - ・センター
    - ・サラウンド
    - ・サラウンドバック
    - ・サブウーハー
  - • ルーム EQ
  - • Dynamic EQ
  - • RESTORER
  - • ナイトモード
  - • オーディオディレイ
- ❑ 画質調整
  - • コントラスト
  - • ブライトネス
  - • クロマレベル
  - • 色合い
  - • DNR
  - • エンハンサー
  - • シャープネス

ソース選択（☞50 ～ 53 ページ）

- ❑ DVD, HDP, TV/CBL, SAT, VCR, DVR-1, DVR-2, V.AUX, CD, TUNER
  - • プレイ（iPod）
  - • 再生モード（iPod）
  - • 端子の割り当て
    - ・HDMI 端子
    - ・デジタル端子
    - ・コンポーネントビデオ端子
    - ・アナログ（CD のみ）
    - ・iPod dock
  - • ビデオ
    - ・ビデオセレクト
    - ・ビデオコンバート（CD および TUNER を除く）
    - ・i/p スケーラー
    - ・解像度
    - ・プログレッシブモード（CD および TUNER を除く）
    - ・アスペクト（CD および TUNER を除く）
  - • 入力モード
  - • 入力名の変更
  - • ソースレベル
  - • 入力アッテネーター
- ❑ NET/USB
  - • プレイ
  - • 再生モード
  - • 静止画像
  - • ビデオ
    - ・ビデオセレクト
    - ・i/p スケーラー
    - ・解像度
  - • 入力モード
  - • 入力名の変更
  - • ソースレベル
- ❑ PHONO
  - • ビデオ
    - ・ビデオセレクト
    - ・i/p スケーラー
    - ・解像度
  - • 入力モード
  - • 入力名の変更
  - • ソースレベル
  - • 入力アッテネーター

サラウンドモード
（☞53 ～ 56 ページ）

- ❑ STEREO
- ❑ DIRECT
- ❑ STANDARD
- ❑ DOLBY HEADPHONE（ヘッドホンを使用している場合）
- ❑ DOLBY PLIIx、DOLBY PLII または DOLBY PL
- ❑ DTS NEO:6
- ❑ HOME THX CINEMA
- ❑ 7CH STEREO
- ❑ WIDE SCREEN
- ❑ SUPER STADIUM
- ❑ ROCK ARENA
- ❑ JAZZ CLUB
- ❑ CLASSIC CONCERT
- ❑ MONO MOVIE
- ❑ VIDEO GAME
- ❑ MATRIX

オートセットアップ（☞30 ～ 33 ページ）

- ❑ オートセットアップ
  - • ステップ 1：スタートメニュー
  - • ステップ 2：測定
  - • ステップ 3：解析
  - • ステップ 4：解析結果
  - • ステップ 5：保存
- ❑ オプション
  - • ルーム EQ
  - • ダイレクトモード
  - • マイク選択
- ❑ パラメーター確認
  - • スピーカー構成確認
  - • 距離確認
  - • チャンネルレベル確認
  - • クロスオーバー確認
  - • EQ 確認
  - • 再設定

マニュアル設定（☞33 ～ 49 ページ）

- ❑ スピーカーの設定（☞33 ～ 36 ページ）
  - • スピーカー構成
  - • サブウーハーの設定
  - • 距離
  - • チャンネルレベル
  - • クロスオーバー周波数
  - • THX の設定
  - • サラウンドスピーカーの設定
- ❑ HDMI 設定（☞36、37 ページ）
  - • カラースペース
  - • RGB 映像レンジ
  - • オートリップシンク
  - • 音声出力
  - • モニター出力
  - • HDMI コントロール
- ❑ 音声の設定（☞38、39 ページ）
  - • 外部入力の設定
    - ・モード
    - ・サラウンドバック入力
    - ・サラウンドスピーカー
    - ・サブウーハーレベル
    - ・入力アッテネーター
  - • 2ch ダイレクト / ステレオ
  - • ダウンミックス設定
  - • オートサラウンドモード
  - • マニュアル EQ
  - • バイリンガルモード
- ❑ ネットワーク設定（☞40 ～ 43 ページ）
  - • ネットワーク設定
  - • その他の設定
    - ・省電力モード
    - ・文字コード
    - ・PC 言語
  - • ネットワーク情報
- ❑ ゾーンの設定（☞44 ページ）
  - • ゾーン 2、ゾーン 3
    - ・低音
    - ・高音
    - ・ハイパスフィルター
    - ・左レベル
    - ・右レベル
    - ・チャンネル
    - ・音量レベル
    - ・音量の上限
    - ・電源オン時の音量
    - ・ミューティングレベル
    - ・ビデオコンバート（ゾーン 2 のみ）
  - • OSD
- ❑ その他の設定（☞45 ～ 49 ページ）
  - • プリアウトの割り当て
  - • XLR 出力の極性
  - • POA の設定
  - • 音量の設定
    - ・音量の上限
    - ・電源オン時の音量
    - ・ミューティングレベル
  - • 使用ソースの選択
  - • GUI
    - ・スクリーンセーバー
    - ・壁紙
    - ・フォーマット
    - ・操作内容の表示
    - ・主音量表示
    - ・NET/USB/iPod
  - • クイックセレクトネーム
  - • トリガーアウト 1
  - • トリガーアウト 2
  - • トリガーアウト 3
  - • トリガーアウト 4
  - • トランスデューサの設定
  - • デジタル出力
  - • リモコン ID
  - • 双方向リモコン
  - • ディスプレイの明るさ
  - • 設定の保護
  - • メンテナンスモード
  - • ファームウェアのアップデート
  - • 新機能の追加
- ❑ 言語の設定（☞49 ページ）

“スクリーンセーバー”を“オン”に設定している場合は、約 3 分間何も操作しないと、スクリーンセーバーが起動します。

△▽◁▷、**ENTER** または **MENU** ボタンを押すと、スクリーンセーバーが解除され、対応する操作をおこないます。

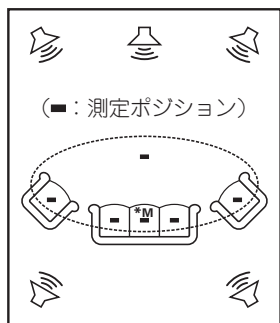
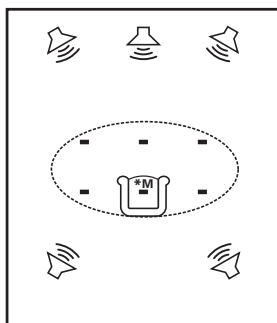
オートセットアップ

GUI

- 本機のオートセットアップ機能 Audyssey MultEQ® XT は、リスニングルームの音響特性の測定・解析・設定を自動的におこない、最適なホームシアターオーディオ環境を提供します。
- オートセットアップは、付属のセットアップマイクを使用しておこないます。
- 測定は、【例①】に示すように、リスニングエリア全体の複数の位置に付属のセットアップマイクを連続的に配置しておこないます。最善の結果を得るには、図のように 6 ヶ所またはそれ以上 (最大 8 ヶ所) で測定することをおすすめします。
  リスニング環境が【例②】に示すように狭い場合でも、リスニングエリア全体の複数の位置で測定すると、より精度が高い設定ができます。

【例①】　【例②】

（▬：測定ポジション）

*M

メインリスニングポジション（*M）について

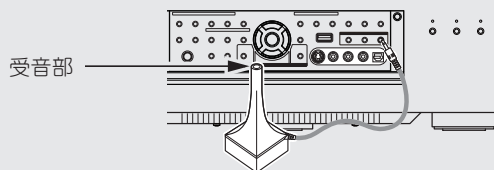
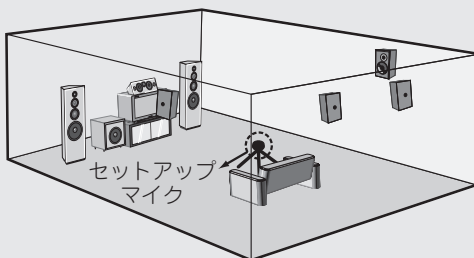
メインリスニングポジションとは、リスナーが一人のときに音場のほぼ中心に座る位置をいいます。
Audyssey MultEQ XT はこの位置からの測定値を用いて、スピーカー距離・レベル・極性およびサブウーハーの最適なクロスオーバー周波数を計算します。

設定のマニュアル調整については、33 ～ 36 ページをご覧ください。

準備

1 付属のセットアップマイク（校正済み）を本機の SETUP MIC 端子に接続する。

自動的にオートセットアップの画面が表示されます。

受音部

2 セットアップマイクを三脚またはスタンドに取り付けて、メインリスニングポイントに設置し、受音部を耳の高さにする。

セットアップ マイク

※ セットアップマイクを手で持ちながらオートセットアップをおこなわないでください。
※ セットアップマイクと各スピーカーの間には障害になる物がないようにしてください。
※ セットアップマイクを座席の背もたれや壁の近くに置くと、音の反響で正しい測定ができない場合があります。

サブウーハーをお使いになるときは、オートセットアップをおこなう前に、次の設定をおこなってください。

- ダイレクトモード機能を搭載しているサブウーハーの場合は、“オン”にして音量と周波数の調節を無効にしてください。
- ダイレクトモード機能がないサブウーハーの場合は、次のように設定してください。
  - ・音量　：“12 時”の位置
  - ・クロスオーバー周波数：“最大 / 最高周波数”
  - ・ローパスフィルター　：“オフ”
  - ・スタンバイモード　：“オフ”

ご注意

- セットアップマイクは、オートセットアップが終わるまで抜かないでください。
- ヘッドホンを使用している場合は、オートセットアップをおこなう前に、ヘッドホンのプラグを抜いてください。

オートセットアップ

GUI

ご使用になるスピーカーに最適な設定を自動的におこないます

● メニュー階層 ●

- オートセットアップ
  - 1 オートセットアップ
  - 2 オプション
  - 3 パラメーター確認

1 オートセットアップ

自動的に設定をします。

【オートセットアップの流れ】

ステップ 1：スタートメニュー
↓
ステップ 2：測定（2 ～ 8 ポイント）
↓
ステップ 3：解析
↓
ステップ 4：解析結果
↓
ステップ 5：保存

スタート

オートセットアップを開始します。
Audyssey MultEQ XT オートセットアップ機能が、各スピーカーとサブウーハーのサイズ、チャンネルレベル、距離、クロスオーバー周波数の最適設定を自動的に計算します。また、Audyssey MultEQ XT がリスニングエリア内の音響歪みを補正します。
スタートの前にすべてのスピーカーを接続し、配置してください。

測定中にエラーメッセージが表示された場合は、「エラーメッセージ」(☞32 ページ)をご覧になり、必要な処理をおこなってから再びオートセットアップをおこなってください。

❑ 構成

測定するスピーカーシステムをあらかじめ選ぶことができます。

【選択できる項目】 9.1 *1 7.1 *1 5.1 *1
9.2 *2 7.2 *2 5.2 *2
9.3 *3 7.3 *3 5.3 *3

*1：“SW”の設定が“1SP”のときに選べます。
*2：“SW”の設定が“2SP L/R”または“2SP MIX”のときに選べます。
*3：“SW”の設定が“3SP L/R/LFE”または“3SP MIX”のときに選べます。

あらかじめ必要なスピーカーだけを選んでおくと、使用しないスピーカーの測定や解析の時間を短縮することができます。

❑ SW

測定するサブウーハーの構成をあらかじめ選ぶことができます。

【選択できる項目】 1SP 2SP L/R 2SP MIX 3SP L/R/LFE 3SP MIX

❑ プリアウトの割り当て

プリアウトの割り当てを変更します。

【選択できる項目】 通常 フリーアサイン

❑ XLR 出力の極性

XLR プリアウト端子の極性を切り替える場合に設定します。

【選択できる項目】 XLR XLR (INV)

プリアウト端子ごとに設定します。

ステップ 1：スタートメニュー

スピーカーの接続の有無と極性を最初の測定位置で検出し、スピーカーのサイズ、チャンネルレベル、距離、クロスオーバー周波数の測定をおこないます。
測定が完了すると、結果が表示されます。

ご注意

- オートセットアップの測定中は、大きなテストトーンが出力されますが、これは正常な動作です。室内の騒音が大きいとさらにテストトーンの音量が大きくなります。
- 測定中は、スピーカーとセットアップマイクとの間に立ったり、障害物を置いたりしないでください。正しい測定ができなくなります。
- 測定中はリスニングルーム内の騒音を抑え、また会話も控えてください。エアコンや騒音を発生する機器の電源をオフにすることをおすすめします。測定値はこれらの騒音に影響を受けることがあります。
- 測定中に本体の **MASTER VOLUME** つまみおよびメインリモコンの **VOL +/–** ボタンを操作すると、測定を中止します。
- “ステップ 1”の測定をおこなった後に、スピーカーの接続やサブウーハーの音量を変更しないでください。

ステップ 2：測定

1 つの測定位置を完了したら、マイクロホンを次の位置に移動します。

最低６ヶ所（メインリスニングポジションとその周囲の最低５ヶ所）で測定します。最善の結果を得るには、**６ヶ所以上**（最大８ヶ所）で測定することをおすすめします。

ステップ 3：解析

“ステップ 2”で“解析へ”を選択すると、得られた測定値を自動的に分析し、リスニングルームにおけるスピーカーシステムの特性を決定します。

解析時間は、接続されたスピーカーの数と測定ポイント数に依存します。スピーカー数が多ければ多いほど、分析に要する時間は長くなります。

ステップ 4：解析結果

オートセットアップが完了すると、測定結果の確認画面を表示します。
確認したい項目を選び、表示します。

フィルター内蔵スピーカー（サブウーハーなど）では、実際の距離と異なる値が表示されることがあります。これはフィルターが信号に電気的遅延を加えているためです。

ステップ 5：保存

オートセットアップの測定結果を本機に保存します。

ご注意

設定の保存中は、電源を切らないでください。

エラーメッセージ

スピーカーの配置や測定環境などにより、オートセットアップを完了できなかった場合に、エラーメッセージが表示されます。エラーメッセージが表示された場合は、関連する項目を確認し、必要な処理をおこなってください。問題点を修正したら、再びオートセットアップをおこなってください。

エラーメッセージ（例）	原　因	処　理
“マイクが挿されていないか、スピーカーがありません”	●付属のセットアップマイクが接続されていません。 ●フロント左スピーカーが正しく検出されません。 ●すべてのスピーカーが検出されません。	●付属のセットアップマイクを、本体の **SETUP MIC** 端子に接続してください。 ●スピーカーの接続を確認してください。
“暗騒音が大きすぎるか、出力レベルが小さすぎます”	●部屋の騒音が大きいため、正しく測定できません。 ●スピーカーやサブウーハーの音量が小さいため、正しく測定できません。	●騒音を発生する機器の電源を切るか、遠ざけてください。 ●周囲がより静かなときに再度試みてください。 ●スピーカーの配置や向きを確認してください。 ●サブウーハーの音量を調節してください。
“無し”	●表示されたスピーカーが検出されませんでした。 ・フロント右スピーカーが正しく検出されません。 ・サラウンドスピーカーの片方のチャンネルしか検出されていません。 ・サラウンドバックスピーカーを 1 台のみ接続している場合に、右チャンネルから検出されました。 ・サラウンドバックスピーカーまたはサラウンド B スピーカーが検出されましたが、サラウンド A スピーカーが検出されません。 ・サブウーハーの構成を“2SP”または“3SP”に設定している場合にサブウーハーが検出されませんでした。	●表示されたスピーカーの接続を確認してください。
“位相逆”	●表示されたスピーカーの極性が、逆に接続されています。 ●XLR プリアウト端子を使用している場合、極性が逆に設定されている。	●表示されたスピーカーの極性を確認してください。 ●表示されたスピーカーチャンネルの XLR 出力の極性の設定を確認してください。 ●スピーカーによっては、正しく接続されていてもこのエラーメッセージが表示される場合があります。接続が正しいときには、“スキップ”を選んでください。

●サブウーハーの内部の電気的な遅延や部屋との相互作用により、ディレイタイム測定結果が実際のスピーカー配置と異なる場合があります。同様に部屋との相互作用によりメインスピーカーのディレイタイム測定結果が実際のスピーカー配置と異なる場合があります。このような場合、THX はディレイタイムをマニュアル設定することをおすすめします。
●THX 承認されたメインチャンネル用スピーカーに対するオートセットアップの判定結果が“小”、“80Hz”とならなかった場合は、“スピーカー構成”および“クロスオーバー周波数”をこの値にマニュアルで設定してください。

再度測定をおこなう場合には、“再測定”を選んでください。

ご注意

スピーカーの接続を確認する前に、必ず電源を切ってください。

2 オプション

ルーム EQ やマイク選択など、その他の設定をします。

ルーム EQ

ルーム EQ の設定方法を選びます。

【選択できる項目】 一括設定 個別設定

ダイレクトモード

DIRECT や PURE DIRECT モードで、ルーム EQ を使用するかどうかを設定します。

【選択できる項目】 オン オフ

マイク選択

付属品以外のマイクを使用する場合に設定します。
付属品以外のマイクを使用する場合は、フロントパネルの V.AUX 左端子に接続します。

【選択できる項目】 マイク端子 V.AUX 左端子

プロ仕様の校正されたマイクを、フロントパネルの V.AUX 左入力端子に接続して使用できますが、外部マイク入力の補正回路がないために正確な測定ができません。付属のセットアップマイクでのオートセットアップをおすすめします。

3 パラメーター確認

オートセットアップの測定結果を確認します。（このメニュー項目は、オートセットアップをおこなわないと表示されません。）

【選択できる項目】

スピーカー構成確認 距離確認 チャンネルレベル確認
クロスオーバー確認 EQ 確認 再設定

“再設定”を選ぶと、各設定を手動で変更した場合でもオートセットアップの結果（MultEQ XT が当初計算した値）に戻すことができます。

マニュアル設定

GUI

いろいろなパラメーターの詳細な設定をおこないます。

スピーカーの設定

GUI

スピーカーを手動で設定する場合、またはオートセットアップで設定された内容を変更する場合におこなってください。

● メニュー階層 ●

- マニュアル設定
  - スピーカーの設定
    - 1 スピーカー構成
    - 2 サブウーハーの設定
    - 3 距離
    - 4 チャンネルレベル
    - 5 クロスオーバー周波数
    - 6 THXの設定
    - 7 サラウンドスピーカーの設定

1 スピーカー構成

スピーカーの有り・無しや低音域再生能力によるスピーカーの大きさの分類を選びます。

フロント

フロントスピーカーの大きさを選びます。

【選択できる項目】 大 小

センター

センタースピーカーの有り・無しや大きさを選びます。

【選択できる項目】 大 小 無し

サブウーハー

サブウーハーの有り・無しを選びます。

【選択できる項目】 有り 無し

サラウンドA

サラウンドスピーカーAの有り・無しや大きさを選びます。

【選択できる項目】 大 小 無し

サラウンドB

サラウンドスピーカーBの有り・無しや大きさを選びます。

【選択できる項目】 大 小 無し

サラウンドバック

サラウンドバックスピーカーの有り·無しや大きさを選びます。

【選択できる項目】 大 小 無し
2台 1台

大 ：低音域を十分に再生できる能力があるスピーカーを使用するときに選びます。

小 ：低音域の再生能力が十分でない小型スピーカーを使用するときに選びます。

- “大”と“小”の選択は、スピーカーの外形で判断せずに、“クロスオーバー周波数”で設定した周波数を基準とした低域再生能力で判断してください（☞35 ページ）。
- “フロント”を“小”に設定すると、“サブウーハー”の設定は自動的に“有り”になります。
- “サブウーハー”を“無し”に設定すると、“フロント”の設定は自動的に“大”になります。
- “サラウンド A”を“無し”に設定すると、“サラウンド B”と“サラウンドバック”の設定は自動的に“無し”になります。
- サラウンドバックスピーカーを 1 本のみ使用する場合は、左チャンネル（SBL）に接続してください。
- サブウーハーの低域再生能力が十分な場合、“フロント”、“センター”および“サラウンド”の各スピーカーの設定を“小”にしても良好な音場再生を得ることができます。

2 サブウーハーの設定

サブウーハーの出力構成と再生する低音域信号を選びます。

構成

サブウーハーの本数や構成を選びます。

【選択できる項目】 1SP　2SP L/R　2SP MIX　3SP L/R/LFE　3SP MIX

サブウーハー構成		サブウーハー端子
1SP		SW1
2SP L/R	L	SW1
	R	SW2
2SP MIX	1	SW1
	2	SW2
3SP L/R/LFE	L	SW1
	R	SW2
	LFE	SW3
3SP MIX	1	SW1
	2	SW2
	3	SW3

“2SP MIX”と“3SP MIX”を選ぶと、“サブウーハー1”“サブウーハー2”、“サブウーハー3”がそれぞれ表示されます。

モード

サブウーハーで再生する低音域信号を選びます。

【選択できる項目】 LFE-THX-　LFE+ メイン

- “LFE-THX-”モードは、室内の低音域干渉が起こりにくくなるため、THX再生に適しています。
- GUIメニューの“スピーカー構成”-“サブウーハー”の設定が“有り”のときに設定できます。
- 音楽ソースや映画ソースを再生して、量感のある低音域が得られる方のモードを選んでください。
- 常にサブウーハーから低音域信号を出力したい場合は、“LFE+メイン”を選んでください。

3 距離

リスニングポジションからスピーカーまでの距離を設定します。
設定をおこなう前に、リスニングポジションから各スピーカーまでの距離を測っておいてください。

メートル / フィート

距離の単位を選びます。

ステップ

ステップ（最小可変距離）を切り替えます。

【選択できる項目】

0.1m　0.01m ：“メートル”のときに表示されます。
1ft　0.1ft ：“フィート”のときに表示されます。

初期化

設定を初期化します。

距離の設定

設定したいスピーカーを選び、距離を設定します。
測定した距離に最も近い値に設定してください。

【可変できる範囲】

0.00m ～ 18.00m ：“メートル”のときに表示されます。
0.0ft ～ 60.0ft ：“フィート”のときに表示されます。

THXウルトラ2シネマモード、THXミュージックモードおよびTHXゲームズモードをお楽しみいただく場合には、サラウンドバックスピーカーは2台必要です。リスニングポジションからサラウンドバックスピ ーカーまでの距離がL、R等距離になるように置いてください。また、FL/FR、SL/SR、SBL/SBRはそれぞれのLとRのリスニングポジションからの距離の差が60cm以下になるように設置することをおすすめします。

ご注意

リスニングポジションから各スピーカーまでの距離は、6.00m（20.0ft）以下に設定してください。

4 チャンネルレベル

すべてのスピーカーからの音量が同じになるように各チャンネルのレベルを調節します。

モード

テストトーンの再生方法を選びます。

【選択できる項目】 オート　マニュアル

サラウンドスピーカー

テストトーンを出力するサラウンドスピーカーを選びます。

【選択できる項目】 A　B　A+B

スタート

テストトーンを出力します。

【可変できる範囲】 オフ* -12dB ~ 0dB ~ +12dB

＊：“-12dB”に設定されているときに ◁ を押すと、サブウーハーの音量を“オフ”にすることができます。

初期化

設定を初期化します。

メインリモコンでも操作できます

テストトーンによる調節は、下記の通りメインリモコンからでもおこなえます。
メインリモコンでのテストトーンによる調節は“オート”のみで、STANDARD（Dolby/DTS サラウンド）および HOME THX CINEMA モード時に有効です。調節したレベルは各サラウンドモードに自動的に記憶されます。

① **TEST** ボタンを押す。
　テストトーンが各スピーカーより出力されます。
② ◁ ▷ ボタンを押して、各スピーカーの音量が同じになるように調節する。
③ 調節が終わったら、もう一度 **TEST** ボタンを押す。

- 市販の音圧計を使用してレベル設定をするときは、各スピーカーのレベルがリスニングポジションで 75dB になるように調節します。この際、音圧計の設定は、周波数特性を“C”、動特性を“SLOW”にしてください。
- GUI メニューの“スピーカー構成”-“サラウンドバック”の設定が“1台”の場合、サラウンドバックスピーカーの表示は“サラウンドバック”になります（☞33 ページ）。
- GUI メニューの“スピーカー構成”の設定で、“無し”に設定されているスピーカーは表示されません。
- “サラウンドスピーカー”は、GUI メニューの“スピーカー構成”-“サラウンド B”の設定が、“大”または“小”のときに設定できます（☞33 ページ）。
- サラウンドスピーカーをお使いになる場合は、必ず各スピーカーの音量を調節してください。
- “チャンネルレベル”を調節すると、調節された値がすべてのサラウンドモードに対して設定されます。サラウンドモード別にチャンネルレベルを調節する場合は、73 ページをご覧ください。

5 クロスオーバー周波数

サブウーハーから出力する各スピーカーの低音域信号を何 Hz 以下にするかを選びます。

【選択できる項目】

FIXED-THX-：

THX 規格の 80Hz のクロスオーバー周波数に設定します。

40Hz **60Hz** **80Hz** **90Hz** **100Hz** **110Hz** **120Hz** **150Hz** **200Hz** **250Hz**：

サブウーハーから出力される各スピーカーの低音域信号を、設定された周波数以下で出力します。
お使いになるスピーカーの低域再生能力に合わせて設定してください。

スピーカー別：

各スピーカーごとに、クロスオーバー周波数を設定します。

- THX認証のスピーカーをお使いのときは、“スピーカーの構成”をすべて“小”に設定してください。
- クロスオーバー周波数を“FIXED-THX-”に設定することを推奨しますが、スピーカーによっては異なる周波数に設定することで、クロスオーバー周波数付近での周波数特性を改善できる場合もあります。
- “クロスオーバー周波数”は、GUI メニューの“スピーカー構成”で、“サブウーハー”が“有り”または“小”に設定されているスピーカーがある場合に設定できます（☞33 ページ）。
- “スピーカー別”の設定では、GUI メニューの“スピーカーの設定”-“サブウーハーの設定”-“モード”が“LFE-THX-”に設定されている場合は、“スピーカー構成”で“小”に設定されているスピーカーの設定ができます。また、“LFE ＋メイン”の場合は、スピーカーの大きさに関係なく設定ができます。
- “小”に設定されたスピーカーの場合、クロスオーバー周波数以下の音はカットして出力されます。カットされた低音域はサブウーハーまたはフロントスピーカーから出力されます。

6 THX の設定

THX サラウンドモードを最適に再生するためのスピーカー設定をします。

THX Ultra2 サブウーハー

THX Ultra2 規格対応のサブウーハーまたは低域を十分に再生できるサブウーハーを使用する場合に設定します。

【選択できる項目】 **対応** **非対応**

GUI メニューの“スピーカー構成”-“サブウーハー”の設定が“有り”のときに設定できます（☞33 ページ）。

BGC

低音域の量感が大きい場合に、低音域を補正します。

【選択できる項目】 **オン** **オフ**

- 低音域の量感が過多になるときには、“BGC”を“オン”に設定してください。55Hz 以下の低音域をカットする回路が動作しますので、再生音の低音域の量感でお好みに応じて選んでください。
- “THX Ultra2 サブウーハー”の設定が“対応”のときに設定できます。

SB スピーカーの間隔

サラウンドバックスピーカー左右間の距離を設定します。

【選択できる項目】 **0.3m 以下** **0.3-1.2m** **1.2m 以上**

- GUI メニューの“スピーカー構成”-“サラウンドバック”（☞33 ページ）の設定が“2 台”のときに設定できます。“1 台”に設定した場合は表示されません。
- THX サラウンド EX、THX ウルトラ 2 シネマ、THX ミュージックモードおよび THX ゲームズモードを最適に再生するために必要な設定です。

7 サラウンドスピーカーの設定

サラウンドモードごとに使用するサラウンドスピーカーをあらかじめ選びます。

THX/DOLBY/DTS Cinema

【選択できる項目】 A B A+B

THX/DOLBY/DTS Music

【選択できる項目】 A B A+B

THX/DOLBY Game

【選択できる項目】 A B A+B

WIDE SCREEN

【選択できる項目】 A B A+B

7CH STEREO

【選択できる項目】 A B A+B

DSP SIMULATION

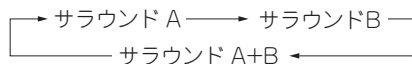
【選択できる項目】 A B A+B

MULTI CH MODE

【選択できる項目】 A B A+B

メインリモコンでも操作できます

SPKR ボタンを押す。

→ サラウンド A → サラウンドB → サラウンド A+B →

- GUI メニューの“スピーカー構成”-“サラウンド A”および“サラウンド B”の設定が“有り”（“大”または“小”）のときに設定できます（☞33 ページ）。
- 入力モードが“EXT. IN”のときのサラウンドスピーカーの設定は、GUI メニューの“マニュアル設定”-“音声の設定”-“外部入力の設定”でおこなってください（☞38 ページ）。

サラウンドスピーカーを A+B で使用するときのスピーカーの種類について

GUI メニューの“スピーカー構成”-“サラウンド A”または“サラウンド B”が“小”に設定されている場合は、A、B ともに“小”に設定されているときと同じ出力で再生します。

HDMI 設定

GUI

HDMI の映像 / 音声出力に関する設定をします。

● メニュー階層 ●

- マニュアル設定
  - HDMI設定
    - 1 カラースペース
    - 2 RGB映像レンジ
    - 3 オートリップシンク
    - 4 音声出力
    - 5 モニター出力
    - 6 HDMIコントロール

1 カラースペース

出力する色空間方式を設定します。

【選択できる項目】 YCbCr RGB

HDMI/DVI 変換ケーブルを使用して、DVI-D 端子付きモニター（HDCP 対応）と接続した場合は、設定内容に関わらず RGB 形式で出力されます。

2 RGB 映像レンジ

出力する RGB 映像レンジを設定します。

【選択できる項目】 ノーマル エンハンスド

“カラースペース”の設定が“YCbCr”のとき、この設定は無効になります。

3 オートリップシンク

出力する音声と映像の時間のずれを自動的に修正します。

【選択できる項目】 オン オフ

オートリップシンクは、HDMIリップシンク対応のテレビに接続している場合のみ動作します。

4 音声出力

HDMI の音声の出力先を設定します。

【選択できる項目】 アンプ　TV

GUI メニューの“HDMI コントロール” – “コントロール”の設定が“オン”の場合は、本設定に関係なくテレビからの操作により“アンプ”と“TV”が切り替わります（☞37 ページ）。

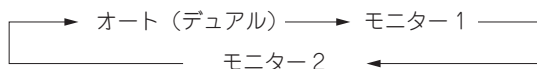
5 モニター出力

HDMI のモニターの出力先を設定します。

【選択できる項目】 オート（デュアル）　モニター 1　モニター 2

メインリモコンでも操作できます

M. SEL ボタンを押す。

→ オート（デュアル） → モニター 1 → モニター 2 →

- “モニター出力”を“オート（デュアル）”に設定しているときは、モニター 1 またはモニター 2 との接続を自動的に認識します。
- モニター 1 およびモニター 2 が同時に接続されていて、GUI メニューの“ソース選択” - “(入力ソース)” - “ビデオ” - “解像度”の設定が“オート”のときは、両方のモニターが対応している解像度で出力します（☞52 ページ）。
- GUI メニューの“ソース選択” - “ビデオ” - “解像度”の設定を“オート”以外にする場合は、GUI メニューの“情報” - “HDMI 情報” - “モニター 1”および“モニター 2”で、お使いのモニターが対応している解像度を確認してから設定してください（☞61 ページ）。

ご注意

接続しているモニターによっては、“オート（デュアル）”に設定すると正常に表示されない場合があります。このようなときは、“モニター 1”または“モニター 2”を選んでください。

6 HDMI コントロール

HDMI コントロール機能の設定をします。

コントロール

HDMI コントロール機能のオン / オフを設定します。

【選択できる項目】 オン　オフ

コントロールモニター

HDMI コントロールで連動させるモニターを選びます。

【選択できる項目】 モニター 1　モニター 2

“コントロール”の設定が“オン”のときに設定できます。

パワーオフコントロール

HDMI コントロールで電源オフを連動させます。

【選択できる項目】 オン　オフ

- “コントロール”の設定が“オン”のときに設定できます。
- 接続している機器の設定は、各機器の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

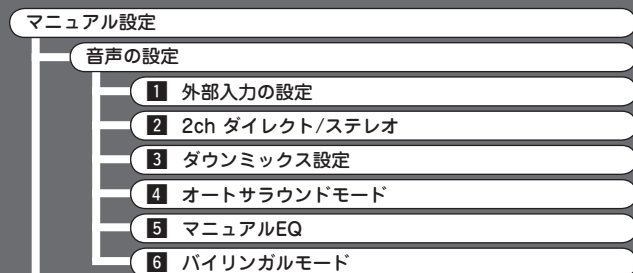
- “コントロール”の設定を変更した場合は、変更後必ず接続機器の電源を切り、再度電源を入れ直してください。
- 本機の電源を切った場合は、HDMI コントロール機能は動作しません。
- 詳しくは、「HDMI コントロール機能」をご覧ください（☞72 ページ）。

音声の設定

GUI

音声の再生に関する設定をします。

● メニュー階層 ●

- マニュアル設定
  - 音声の設定
    - 1 外部入力の設定
    - 2 2ch ダイレクト/ステレオ
    - 3 ダウンミックス設定
    - 4 オートサラウンドモード
    - 5 マニュアルEQ
    - 6 バイリンガルモード

1 外部入力の設定

外部入力端子（EXT. IN）から入力されたアナログ信号の再生方法を設定します。

モード

再生モードを選びます。

【選択できる項目】 DSP　アナログ

サラウンドバック入力

接続するプレーヤーに合わせて、サラウンドバックチャンネル入力を選びます。

【選択できる項目】 使用しない　SBL/SBR　SB(SBL)

“モード”の設定が“DSP”のときに設定できます。

サラウンドスピーカー

使用するサラウンドスピーカーを選びます。

【選択できる項目】 A　B　A+B

- “モード”の設定が“アナログ”のときに設定できます。
- GUI メニューの“スピーカー構成”-“サラウンド A”および“サラウンド B”が“有り”（“大”または“小”）に設定されているときに設定できます（☞33 ページ）。

サブウーハーレベル

サブウーハーの再生レベルを設定します。
使用するプレーヤーに合わせて選びます。

【選択できる項目】 0dB　+5dB　+10dB　+15dB

“+15dB”に設定することをおすすめします。

入力アッテネーター

入力レベルが大きすぎて再生音が歪んでいる場合に設定します。

【選択できる項目】 オフ　-6dB

“モード”の設定が“DSP”のときに設定できます。

2 2ch ダイレクト / ステレオ

２チャンネルモードで再生するときのスピーカーの各種設定をします。

設定

設定を変更する場合は“変更”を選びます。

【選択できる項目】 基本*　変更

＊：“スピーカーの設定”と同じ設定で再生します。

フロント

フロントスピーカーの大きさを選びます。

【選択できる項目】 大　小

サブウーハー

サブウーハーの有り・無しを選びます。

【選択できる項目】 有り　無し

サブウーハーモード

サブウーハーで再生する低音域信号を選びます。

【選択できる項目】 LFE-THX-　LFE+ メイン

クロスオーバー

クロスオーバー周波数を設定します。

【選択できる項目】

THX　40Hz　60Hz　80Hz　90Hz　100Hz　110Hz　120Hz　150Hz　200Hz　250Hz

距離フロント左

リスニングポジションからフロント左スピーカーまでの距離を設定します。

【可変できる範囲】 0.00m ~ 18.00m

距離フロント右

リスニングポジションからフロント右スピーカーまでの距離を設定します。

【可変できる範囲】 0.00m ~ 18.00m

3 ダウンミックス設定

ドルビーデジタルソースをダウンミックスで再生するときのダイナミックレンジの設定をします。

【選択できる項目】 オン　オフ

- フロントスピーカーの音が歪んで聞こえる場合は、“オン”に設定してください。
- センタースピーカーまたはサラウンドスピーカーを使用しない場合、再生音はダウンミックスしてフロントスピーカーから出力されます。

4 オートサラウンドモード

入力信号の種類ごとにサラウンドモードの設定を記憶します。

【選択できる項目】 オン　オフ

- オートサラウンドモードは、次の4種類の入力信号に対して、最後に再生したサラウンドモードを記憶させることができます。
  ① アナログやPCMの2チャンネル信号
  ② ドルビーデジタルやDTSなどの2チャンネル信号
  ③ ドルビーデジタルやDTSなどのマルチチャンネル信号
  ④ ドルビーデジタルやDTS以外のPCMやDSDのマルチチャンネル信号
- PURE DIRECTモードで再生中は、入力信号が変化してもサラウンドモードは切り替わりません。

5 マニュアルEQ

グラフィックイコライザーを使って各スピーカーの音色を調節します。

調節チャンネル

スピーカーの調節方法を選びます。

【選択できる項目】 各スピーカー　左右　すべて

スピーカーや周波数帯を選び、レベルを調節します。

【選択できる項目】 63Hz　125Hz　250Hz　500Hz　1kHz　2kHz　4kHz　8kHz　16kHz

【可変できる範囲】 -20dB ~ 0dB ~ +6dB

カーブコピー

"ルームEQ"の"Audyssey Flat"の補正カーブをコピーします。

【選択できる項目】 コピーする　コピーしない

"カーブコピー"は、オートセットアップをおこなった後に表示されます。

初期化

設定を初期値に戻します。

6 バイリンガルモード

AACソースやドルビーデジタルソースの二重音声の出力内容を設定します。

【選択できる項目】 主音声　副音声　主／副　主＋副

- バイリンガルモードは、AACソースおよびドルビーデジタルソースで、二重音声の情報がある場合のみ有効です。
- 二重音声の情報があるソースを録音する場合は、プレーヤーまたはチューナー側で録音したい音声に切り替えてください。

AACソースまたはドルビーデジタルソースで二重音声の情報を検出した場合

- "主音声"選択時： FL（点灯）　C　FR
- "副音声"選択時： FL　C　FR（点灯）
- "主／副"または"主＋副"選択時： FL（点灯）　C　FR（点灯）

※ DTSソースで二重音声を検出した場合は、バイリンガルモードの設定に関わらず、"FL"と"FR"が点灯します。
※ "MPEG2 AAC"モードの場合､音声はセンタースピーカーより出力されます。フロントスピーカーで再生したい場合は、"STEREO"モードなどを選んでください。

ご使用になる前に
接続
セットアップ
再生
リモコン操作
マルチゾーン
その他の情報
故障かな?と思ったら
保証と修理
主な仕様

ネットワーク設定

GUI

ネットワークに関する設定をします。

● メニュー階層 ●

- マニュアル設定
  - ネットワーク設定
    - 1 ネットワーク設定
    - 2 その他の設定
    - 3 ネットワーク情報

- ブロードバンドルータ（DHCP 機能）をお使いの方は、本機の初期設定で DHCP 機能が“ON”になっていますので、IP アドレスとプロキシの設定は必要ありません。
- DHCP 機能のないネットワークに本機を接続してお使いになるときには、ネットワークの設定をおこなう必要があります。この場合、ネットワークに関する知識が必要となります。詳しくは、ネットワーク管理者などにお問い合わせください。
- インターネットに接続できない場合は、もう一度接続や設定を確認してください（☞25 ページ）。
- インターネットの接続について分からない場合は、ISP（インターネット・サービスプロバイダ）またはパソコン関連販売店にお問い合わせください。

- **DHCP（ダイナミックホストコンフィグレーションプロトコル）：**
本機やパソコン、ブロードバンドルータのようなネットワーク機器に、自動的に IP アドレスなどのネットワーク設定をおこなう仕組みのこと。
- **DNS（ドメインネームシステム）：**
ホームページの閲覧時に使用する「www.denon.jp」のようなドメイン名を、実際の通信に使用する IP アドレス（「202.221.192.106」など）に置き換える仕組みのこと。

1 ネットワーク設定

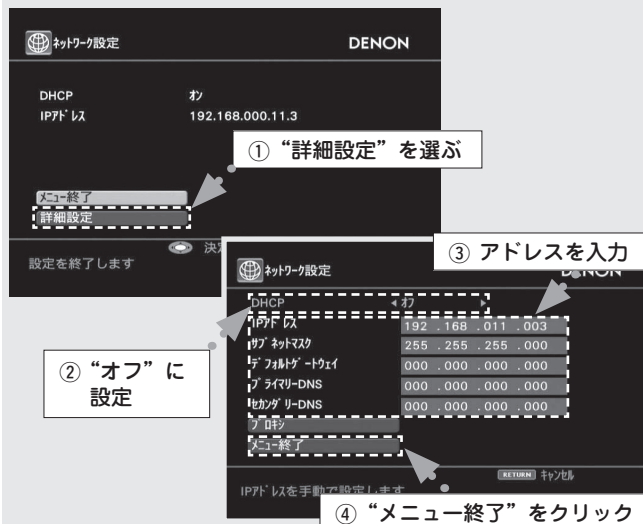
有線 LAN または無線 LAN の設定をします。

有線 LAN の設定

有線 LAN の設定をします。

1 **LAN ケーブルを接続する（☞25 ページ）。**

2 **本機の電源を入れる（☞62 ページ）。**
本機は、DHCP 機能によりネットワークの設定を自動的におこないます。
DHCP 機能のないネットワークに接続する場合のみ、操作 3 の設定をおこなってください。

3 **GUI メニューの“マニュアル設定”－“ネットワーク設定”－“ネットワーク設定”で、IP アドレスを設定する。**

① “詳細設定”を選び、**ENTER** ボタンを押す。
② ◁ ▷ ボタンで“DHCP”を“OFF”に設定し、▽ ボタンを押す。
DHCP 機能を無効にします。
③ △▽ ▷ ボタンでアドレスを入力し、**ENTER** ボタンを押す。

IP アドレス：
入力する IP アドレスは下記の範囲で設定してください。下記以外の IP アドレスではネットオーディオ機能を使用することができません。
CLASS A：10.0.0.0 ～ 10.255.255.255
CLASS B：172.16.0.0 ～ 172.31.255.255
CLASS C：192.168.0.0 ～ 192.168.255.255

サブネットマスク：
xDSL モデムやターミナルアダプタを直接本機に接続している場合は、プロバイダから書面などで通知されたサブネットマスクを入力します。通常は 255.255.255.0 が入ります。

デフォルトゲートウェイ：
ゲートウェイ（ルータ）に接続している場合は、その IP アドレスを入力します。

プライマリー DNS **セカンダリー DNS**：
プロバイダから書面などで通知された DNS アドレスが 1 つの場合は、“プライマリー DNS”に入力してください。2 つ以上の場合は、1 つを“セカンダリー DNS”に入力してください。

④ ▽ で“メニュー終了”を選び、**ENTER** ボタンを押す。
設定が完了します。

※プロキシ経由でネットワークに接続している場合は、“プロキシ”を選び、**ENTER** ボタンを押す（☞43 ページ「プロキシの設定」）。

無線 LAN の設定

無線 LAN の設定をします。

1 **ロッドアンテナを取り付ける（☞25 ページ）。**

※ LAN ケーブルが接続されている場合は、LAN ケーブルを外してください。

2 **本機の電源を入れる（☞62 ページ）。**

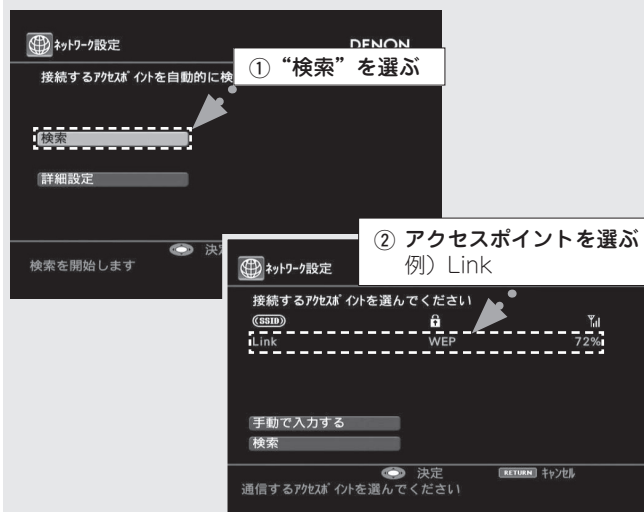
3 **GUI メニューの“マニュアル設定”－“ネットワーク設定”－“ネットワーク設定”で、アクセスポイントを設定する。**

接続するアクセスポイントを自動検索する場合は、「自動設定」をご覧ください。

接続するアクセスポイントを手動で設定する場合は、「手動設定」をご覧ください。

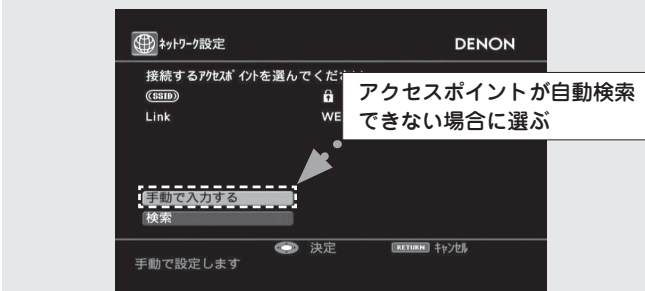
❑ 自動設定

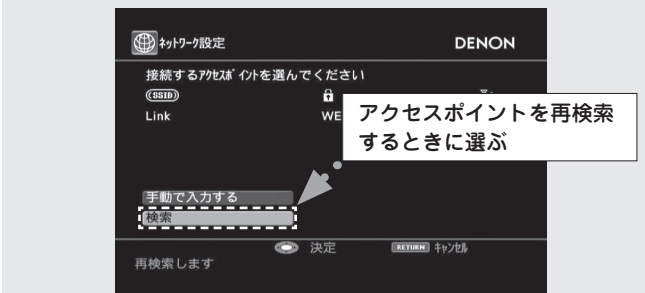
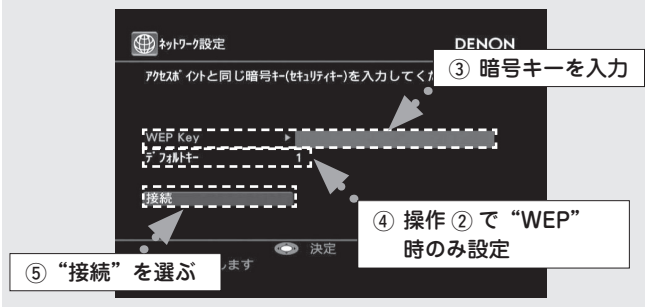
① “検索”を選ぶ

② アクセスポイントを選ぶ
例）Link

① “検索”を選び、**ENTER** ボタンを押す。
設定済みのアクセスポイントが表示されます。

② △▽ ボタンで通信するアクセスポイントを選び、**ENTER** ボタンを押す。

※ アクセスポイントが自動で検索できない場合は、▽ ボタンで“手動で入力する”を選び、**ENTER** ボタンを押す。
手動設定になります。詳しくは、「手動設定」をご覧ください（☞42 ページ）。

アクセスポイントが自動検索できない場合に選ぶ

※ アクセスポイントを再検索する場合は、▽ ボタンで“検索”を選び、**ENTER** ボタンを押す。

アクセスポイントを再検索するときに選ぶ

③ 操作 ② で選んだアクセスポイントに暗号化設定がある場合には、暗号キーを入力する。（暗号化設定がない場合は、操作 ⑤ へ進んでください。）

③ 暗号キーを入力

④ 操作 ② で“WEP”時のみ設定

⑤ “接続”を選ぶ

△▽◁ ▷ ボタンで暗号キーを入力し、**ENTER** ボタンを押す。
アクセスポイントと同じ暗号キーを入力します。

【入力できる文字】

A ~ Z　a ~ z　0 ~ 9

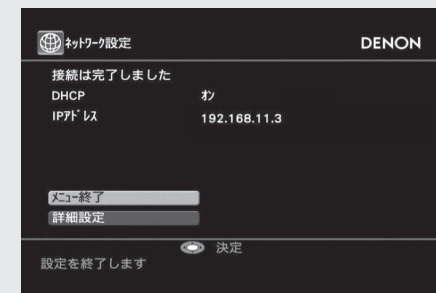
! “ # % & ’ ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [\ ]（空白）

インターネットの接続設定で、セキュリティの設定をしていない場合には、この設定は必要ありません。

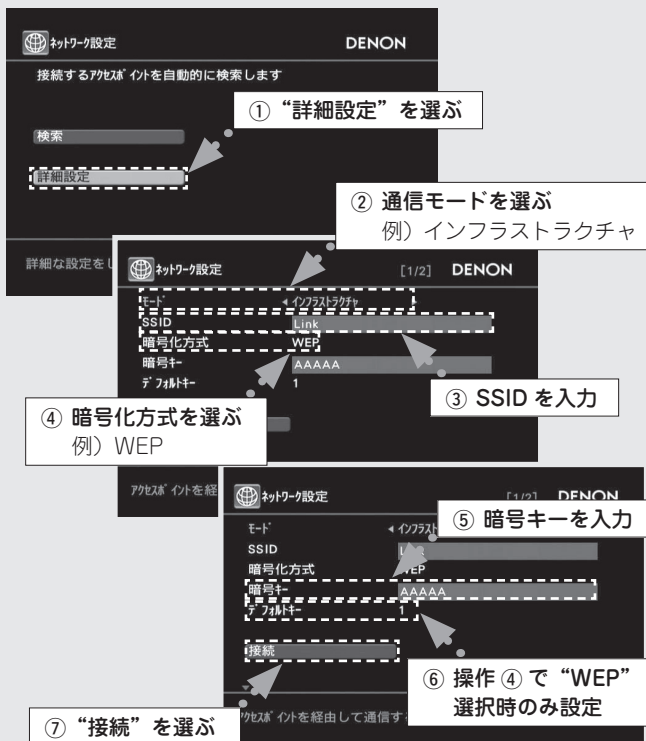
④ “WEP”で暗号化されている場合は、▽ ボタンで“デフォルトキー”を選び、◁ ▷ ボタンで選ぶ。

【選択できる項目】　1　2　3　4

アクセスポイントと同じデフォルトキーを選びます。
通常は、“1”に設定してください。

⑤ ▽ ボタンで“接続”を選び、**ENTER** ボタンを押す。
ネットワークへの接続を開始します。
アクセスポイントに接続されると、“接続は完了しました”が表示されます。

本機は、DHCP 機能によりネットワークの設定を自動的におこないます。
DHCP 機能のないネットワークに接続する場合のみ、操作 4 の設定をおこなってください。

❑ 手動設定

① “詳細設定” を選ぶ
② 通信モードを選ぶ
例）インフラストラクチャ
③ SSID を入力
④ 暗号化方式を選ぶ
例）WEP
⑤ 暗号キーを入力
⑥ 操作 ④ で “WEP” 選択時のみ設定
⑦ “接続” を選ぶ

① “詳細設定” を選び、**ENTER** ボタンを押す。

② ◁ ▷ ボタンでモードを選び、▽ ボタンを押す。

【選択できる項目】

インフラストラクチャ ：
アクセスポイントを経由して通信するときに選びます。

アドホック ：
アクセスポイントを経由しないで、直接通信するときに選びます。

③ △▽◁ ▷ ボタンで無線ネットワーク名（SSID）を入力し、**ENTER** を押す。

【入力できる文字】

A ~ Z　**a ~ z**　**0 ~ 9**

! “ # % & ’ ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [\ ]（空白）

④ △▽ ボタンで暗号化方式を選び、▽ ボタンを押す。

【選択できる項目】

無し ：
暗号化していない場合に選びます。
暗号化しなくても使用できますが、セキュリティー向上のため、暗号化することをおすすめします。

WEP　**WPA-PSK(TKIP)**　**WPA-PSK(AES)**
WPA2-PSK(TKIP)　**WPA2-PSK(AES)** ：
お使いのアクセスポイントの暗号化設定に合わせて、暗号化方式を選びます。

⑤ △▽◁ ▷ ボタンで暗号キーを入力し、**ENTER** ボタンを押す。
アクセスポイントと同じ暗号キーを入力します。

【入力できる文字】

A ~ Z　**a ~ z**　**0 ~ 9**

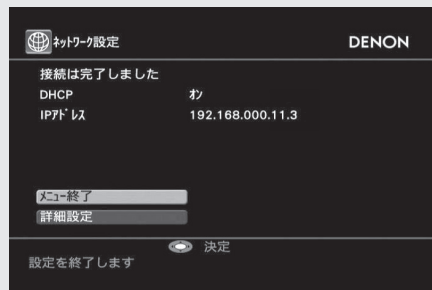
! “ # % & ’ ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [\ ]（空白）

インターネットの接続設定で、セキュリティの設定をしていない場合には、この設定は必要ありません。

⑥ “WEP” で暗号化されている場合は、▽ ボタンで “デフォルトキー” を選び、◁ ▷ ボタンで選ぶ。

【選択できる項目】　**1**　**2**　**3**　**4**

アクセスポイントと同じデフォルトキーを選びます。
通常は、“1” に設定してください。

⑦ ▽ ボタンで “接続” を選び、**ENTER** ボタンを押す。
ネットワークへの接続を開始します。
アクセスポイントに接続されると、“接続は完了しました” が表示されます。

本機は、DHCP 機能によりネットワークの設定を自動的におこないます。
DHCP 機能のないネットワークに接続する場合のみ、操作 4 の設定をおこなってください。

4 IP アドレスを設定する。

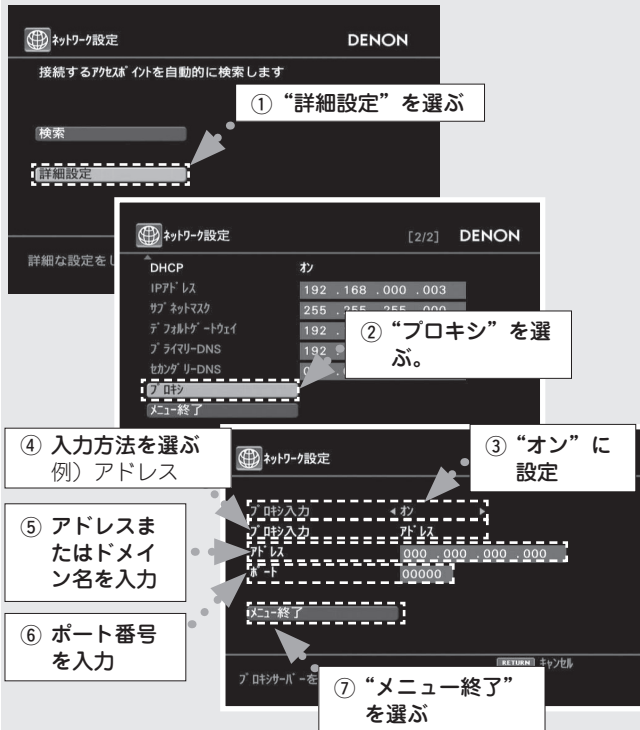
※詳しくは、「有線 LAN の設定」（☞40 ページ）の操作 3 をご覧ください。

✎

IP アドレスを自動で割り当てる DHCP 機能がないルータをお使いの場合は、手動で設定をおこなってください。

❑ プロキシの設定

インターネットにプロキシサーバーを経由して接続する場合に設定します。

ネットワーク設定 DENON
接続するアクセスポイントを自動的に検索します
検索
詳細設定
① "詳細設定"を選ぶ
② "プロキシ"を選ぶ。
③ "オン"に設定
④ 入力方法を選ぶ 例）アドレス
⑤ アドレスまたはドメイン名を入力
⑥ ポート番号を入力
⑦ "メニュー終了"を選ぶ

① GUIメニューの"マニュアル設定"-"ネットワーク設定"-"ネットワーク設定"で"詳細設定"を選び、**ENTER**ボタンを押す。
② △▽ ボタンで"プロキシ"を選び、**ENTER** ボタンを押す。
③ ◁ ▷ ボタンで"プロキシ"を"オン"に設定し、▽ ボタンを押す。

   プロキシサーバーを有効にします。

④ ◁ ▷ ボタンでプロキシサーバーの入力方法を選び、▽ ボタンを押す。

   【選択できる項目】

   アドレス ：
   アドレスで入力する場合に選びます。

   ネーム ：
   ドメイン名で入力する場合に選びます。

⑤ △▽ ▷ ボタンでプロキシサーバーのアドレスまたはドメイン名を入力し、**ENTER** ボタンを押す。

   操作④で"アドレス"を選んだ場合:アドレスを入力します。
   操作④で"ネーム"を選んだ場合:ドメイン名を入力します。

   【入力できる文字】

   A ~ Z **a ~ z** **0 ~ 9**

   ! " # % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [\ ]（空白）

⑥ △▽ ◁ ▷ ボタンでプロキシサーバーのポート番号を入力し、**ENTER** ボタンを押す。
⑦ ▽ ボタンで"メニュー終了"を選び、**ENTER** ボタンを押す。

   設定が完了します。

2 その他の設定

省電力モードやパソコンの言語を設定します。

省電力モード

ネットワークに接続しないときに設定すると、スタンバイ時の消費電力をおさえることができます。

【選択できる項目】 **オン** **オフ**

ウェブコントロール機能を使用するときは、"オフ"に設定してください。

文字コード

USB で再生する MP3 ID3-Tag の文字コードタイプを設定します。

【選択できる項目】 **オート** **ラテン語** **日本語**

"オート"に設定したときに文字が正しく表示されない場合は、"ラテン語"または"日本語"に設定してください。

PC 言語

パソコンの言語を選びます。

【選択できる項目】

ara **chi (smpl)** **chi (trad)** **cze** **dan** **dut** **eng** **fin** **fre** **ger** **gre** **heb** **hun** **ita** **jpn** **kor** **nor** **pol** **por** **por (BR)** **rus** **spa** **swe** **tur**

3 ネットワーク情報

ネットワークの情報を表示します。

【選択できる項目】

有線または無線 **SSID** **DHCP= オンまたはオフ** **IP アドレス** **MAC アドレス**

ゾーンの設定

GUI

マルチゾーンで再生する音声の設定をします。

● メニュー階層 ●

マニュアル設定
- ゾーンの設定
  - 1 ゾーン2
  - 2 ゾーン3
  - 3 OSD

1 ゾーン 2

ゾーン 2 で再生する音声の設定をします。

2 ゾーン 3

ゾーン 3 で再生する音声の設定をします。

低音

低音のトーンを調節します。

【可変できる範囲】 -10dB ~ 0dB ~ +10dB

高音

高音のトーンを調節します。

【可変できる範囲】 -10dB ~ 0dB ~ +10dB

ハイパスフィルター

低音がひずんで聞こえるときに低域成分をカットして出力します。

【選択できる項目】 オン オフ

左レベル

左チャンネルの出力レベルを調節します。

【可変できる範囲】 -12dB ~ 0dB ~ +12dB

“左レベル”と“右レベル”は、“チャンネル”の設定が“ステレオ”のときに設定できます。

右レベル

右チャンネルの出力レベルを調節します。

【可変できる範囲】 -12dB ~ 0dB ~ +12dB

チャンネル

ステレオ / モノラル出力を切り替えます。

【選択できる項目】 ステレオ モノラル

音量レベル

メインの音量出力レベルを設定します。

【選択できる項目】 可変 -40dB 0dB

音量の上限

音量の上限を設定します。

【選択できる項目】 オフ -20dB -10dB 0dB

“音量レベル”の設定が“可変”のときに設定できます。

電源オン時の音量

電源を入れたときの音量を設定します。

【選択できる項目】 前回の音量 - - - -70dB ~18dB

“音量レベル”の設定が“可変”のときに設定できます。

ミューティングレベル

ミューティング時の音量の減衰量を設定します。

【選択できる項目】 消音 -40dB -20dB

ビデオコンバート（ゾーン 2 のみ）

映像入力信号をゾーン 2 モニター出力にあわせて自動的に変換します。

【入力ソース】

DVD HDP TV/CBL SAT VCR DVR-1 DVR-2 V.AUX

【選択できる項目】 オン オフ

3 OSD

ゾーン 2 モニターにオンスクリーンディスプレイするゾーンを設定します。

【選択できる項目】

ゾーン 2	：ゾーン 2 の操作内容だけ表示します。
ゾーン 2/ ゾーン 3	：ゾーン 2 とゾーン 3 の操作内容を表示します。

ご注意

オンスクリーンディスプレイは、ゾーン 2 モニターにのみ表示されます。ゾーン 3 モニターには表示されません。

その他の設定

その他の設定をします。

GUI

● メニュー階層 ●

- マニュアル設定
  - その他の設定
    - 1 プリアウトの割り当て
    - 2 XLR出力の極性
    - 3 POAの設定
    - 4 音量の設定
    - 5 使用ソースの選択
    - 6 GUI
    - 7 クイックセレクトネーム
    - 8 トリガーアウト1
    - 9 トリガーアウト2
    - 10 トリガーアウト3
    - 11 トリガーアウト4
    - 12 トランスデューサの設定
    - 13 デジタル出力
    - 14 リモコンID
    - 15 双方向リモコン
    - 16 ディスプレイの明るさ
    - 17 設定の保護
    - 18 メンテナンスモード
    - 19 ファームウェアのアップデート
    - 20 新機能の追加

1 プリアウトの割り当て

プリアウトの割り当てを変更します。

“フリーアサイン”に設定すると、お使いになる環境にあわせて、各プリアウトを任意のチャンネルに自由に割り当てることができます。

【選択できる項目】 通常 フリーアサイン

プリアウト端子 ＼ プリアウトの割り当て	FL	FR	C	SL (A)	SR (A)	SL (B)
通常	FL	FR	C	SL (A)	SR (A)	SL (B)
フリーアサイン	FL	FL	FL	FL	FL	FL
	FR	FR	FR	FR	FR	FR
	C	C	C	C	C	C
	SL (A)	SL (A)	SL (A)	SL (A)	SL (A)	SL (A)
	SR (A)	SR (A)	SR (A)	SR (A)	SR (A)	SR (A)
	SL (B)	SL (B)	SL (B)	SL (B)	SL (B)	SL (B)
	SR (B)	SR (B)	SR (B)	SR (B)	SR (B)	SR (B)
	SBL	SBL	SBL	SBL	SBL	SBL
	SBR	SBR	SBR	SBR	SBR	SBR
	SW1	SW1	SW1	SW1	SW1	SW1
	SW2	SW2	SW2	SW2	SW2	SW2
	SW3	SW3	SW3	SW3	SW3	SW3

プリアウト端子 ＼ プリアウトの割り当て	SR (B)	SBL	SBR	SW1	SW2	SW3
通常	SR (B)	SBL	SBR	SW1	SW2	SW3
フリーアサイン	FL	FL	FL	FL	FL	FL
	FR	FR	FR	FR	FR	FR
	C	C	C	C	C	C
	SL (A)	SL (A)	SL (A)	SL (A)	SL (A)	SL (A)
	SR (A)	SR (A)	SR (A)	SR (A)	SR (A)	SR (A)
	SL (B)	SL (B)	SL (B)	SL (B)	SL (B)	SL (B)
	SR (B)	SR (B)	SR (B)	SR (B)	SR (B)	SR (B)
	SBL	SBL	SBL	SBL	SBL	SBL
	SBR	SBR	SBR	SBR	SBR	SBR
	SW1	SW1	SW1	SW1	SW1	SW1
	SW2	SW2	SW2	SW2	SW2	SW2
	SW3	SW3	SW3	SW3	SW3	SW3

- GUI メニューの“スピーカーの設定”-“スピーカー構成”で“無し”に設定したチャンネルは設定できますが、出力されません。
- ゾーン２およびゾーン３のプリアウト端子には割り当てることはできません。

2 XLR 出力の極性

XLR プリアウト端子の極性を切り替える場合に設定します。

【設定できるチャンネル】

フロント左　フロント右　センター　サラウンド A 左　サラウンド A 右　サラウンド B 左　サラウンド B 右　サラウンドバック左　サラウンドバック右　サブウーハー 1　サブウーハー 2　サブウーハー 3

【選択できる項目】 XLR

① GROUND
② HOT
③ COLD

XLR(INV)

① GROUND
② COLD
③ HOT

3 POA の設定

本機と POA-A1HD を接続する場合に設定します。

POA LINK

本機と POA-A1HD を CONTROL LINK で接続する場合に設定します。

【選択できる項目】 オフ　オン（シングル）　オン（デュアル）

POA 1

MODE スイッチが“1”に設定してある POA-A1HD を設定します。

POA 2

MODE スイッチが“2”に設定してある POA-A1HD を設定します。

❑ **入力選択**

設定するチャンネルを選びます。

【選択できる項目】 L1　R1　L2　R2　L3　R3　L4　R4　L5　R5

各チャンネルで使用する入力端子を選びます。

【選択できる項目】 RCA　XLR　OFF

❑ **パワーアンプ**

設定するチャンネルを選びます。

【選択できる項目】 L1/L2　L3/L4　L5/R5　R1/R2　R3/R4

各チャンネルのパワーアンプの使用方法を設定します。

【選択できる項目】 NORMAL　BI-AMP　BRIDGE (BTL)

LINK 確認

CONTROL LINK の確認をします。

4 音量の設定

音量の設定をします。

音量の上限

主音量の上限を設定します。

【選択できる項目】 オフ　-20dB　-10dB　0dB

電源オン時の音量

電源を入れたときの音量を設定します。

【選択できる項目】 前回の音量　- - -　-80dB ~ 18dB

ミューテイングレベル

ミューティング時の音量の減衰量を設定します。

【選択できる項目】 消音　-40dB　-20dB

5 使用ソースの選択

使用しない入力ソースを消去し、表示しないように設定します。

【選択できる項目】 使用する　使用しない

ご注意

- 現在選択中の入力ソースは、削除できません。
- “使用しない”に設定された入力ソースは、GUI メニューの“ソース選択”でも、本体の **SOURCE SELECT** つまみやメインリモコンの **SOURCE SELECT** ボタンでも選べません。

6 GUI

GUI の表示に関する設定をします。

スクリーンセーバー

スクリーンセーバーの表示を設定します。
スクリーンセーバー機能によりモニター画面の焼き付きを防止します。
“オン”に設定すると、約 3 分間何も操作しないときに、スクリーンセーバーが起動します。

【選択できる項目】 オン　オフ

壁紙

GUI の背景を変更します。

【選択できる項目】 ピクチャー　黒色　灰色　青色

フォーマット

使用するモニターに合わせて出力する映像信号方式を選びます。

【選択できる項目】 NTSC PAL

ご注意

接続したモニターの映像方式と異なる方式に設定すると、映像は正しく映りません。このような場合は、以下の操作でビデオフォーマットを切り替えてください。

本体でも設定できます

※ この設定をおこなうとき、GUI メニューは表示されません。

① **AUDIO DELAY** と **RETURN** ボタンを 3 秒以上長押しする。
ディスプレイに "Video Format" が表示されます。

② ◁ ▷ ボタンを押して、設定する。

③ **ENTER**、**MENU** または **RETURN** ボタンを押して、設定を終了する。

```
*Video Format
  < NTSC >
```

操作内容の表示

操作内容を表示します。

【選択できる項目】 オン オフ

主音量表示

主音量を調節するときに主音量レベルを表示します。

【選択できる項目】 オン オフ

NET/USB / iPod

操作時にオンスクリーン表示する時間を設定します。

【選択できる項目】 常に表示 30s 10s オフ

7 クイックセレクトネーム

クイックセレクトの名前を変更します。
16 文字まで入力することができます。

【入力できる文字】

A ~ Z　a ~ z　0 ~ 9

! " # % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [\ ]（空白）

8 トリガーアウト 1

入力ソースやサラウンドモードなどに対して、トリガーアウト 1 を出力する条件を選びます。
トリガーアウトについては、27 ページをご覧ください。

9 トリガーアウト 2

"トリガーアウト 1" と同じように、トリガーアウト 2 を出力させる条件を設定します。

10 トリガーアウト 3

"トリガーアウト 1" と同じように、トリガーアウト 3 を出力させる条件を設定します。

11 トリガーアウト 4

"トリガーアウト 1" と同じように、トリガーアウト 4 を出力させる条件を設定します。

【選択できる項目】 オン – – –

ゾーンに対する設定

"オン" に設定されたゾーンの電源に連動して、トリガー出力がオン / オフします。

入力ソースに対する設定

"オン" に設定された入力ソースが選ばれたときに、トリガー出力がオンします。

「ゾーンに対する設定」で "オン" に設定されたゾーンの、入力ソースごとに連動します。

サラウンドモードに対する設定

"オン" に設定されたサラウンドモードが選ばれたときに、トリガー出力がオンします。

「ゾーンに対する設定」で "メインゾーン" の設定が "オン"、「入力ソースに対する設定」で "オン" に設定されている入力ソースが選ばれているときに有効です。

モニターに対する設定

"オン" に設定された HDMI モニターが選ばれたときにトリガー出力がオンします。

「ゾーンに対する設定」で "メインゾーン" の設定が "オン"、「入力ソースに対する設定」で "オン" に設定されている入力ソースが選ばれているときに有効です。

12 トランスデューサの設定

トランスデューサを使用する場合に設定します。

"トランスデューサの設定" は、GUI メニューの "スピーカーの設定" – "サブウーハーの設定" の設定が "1SP" または "2SP L/R"、"2SP MIX" のときに設定できます。トランスデューサの信号は、SW3 端子から出力します。

レベル

トランスデューサの出力レベルを調節します。

【可変できる範囲】

-12dB ~ 0dB ~ +12dB ：
トランスデューサのレベルを設定します。

オフ ：
トランスデューサの出力をオフにします。

"レベル" を調節すると、調節された値がすべてのサラウンドモードに対して設定されます。サラウンドモード別にレベルを調節する場合は、「チャンネルレベルの調節」(☞73 ページ) でおこなってください。

LPF

トランスデューサに出力する低音域信号の周波数の上限を設定します。

【選択できる項目】

40Hz 60Hz 80Hz 90Hz 100Hz 110Hz 120Hz 150Hz 200Hz 250Hz

⑬ デジタル出力

OPT4 OUT の使用方法を設定します。

【選択できる項目】 ゾーン 4 Rec Select

ご注意

"Rec Select"に設定すると、ゾーン 4 の操作はできません。

⑭ リモコン ID

リモコンの ID を設定します。
使用するリモコンと本機の ID を合わせてください。

【選択できる項目】 1 2 3 4

- "リモコン ID"を変更する場合は、メインリモコンの"AMP"、"iPod"、"NET/DTU"モードも同時に変更してください(☞78 ページ)。
- "リモコン ID"を変更する場合は、サブリモコンのリモコン ID も同時に変更してください(☞83 ページ)。

⑮ 双方向リモコン

双方向リモコンを使用する場合に設定します。

【選択できる項目】 使用する 使用しない

双方向リモコン(RC-7000CI や RC-7001RCI、別売り)をお使いになる場合は、"使用する"に設定してください。

ご注意

- 双方向リモコンを使用する場合は、RS-232C 端子のポート 1 に接続してください。
- GUI メニューの"マニュアル設定"-"その他の設定"-"双方向リモコン"を"使用する"に設定している場合は、RS-232C 端子のポート 1 を外部コントローラー用としては使用できません。

⑯ ディスプレイの明るさ

本体のディスプレイ表示の明るさを調節します。

【選択できる項目】 通常 薄暗い 暗い 消灯

本体でも設定できます

DIMMER ボタンを押す。

通常 → 薄暗い → 暗い → 消灯 → 通常

POA-A1HD とコントロールリンク接続をしている場合、本機のディスプレイを"消灯"にすると、POA-A1HD のメーター動作がオフになります。

⑰ 設定の保護

設定した内容を変更できないように保護します。

【選択できる項目】 オン オフ

- "設定の保護"を"オン"に設定すると、以下の設定が変更できなくなります。また、関連するボタンを操作すると、ディスプレイに"SETUP LOCKED!"が表示されます。
  - ・GUI メニュー操作
  - ・RESTORER
  - ・ナイトモード
  - ・パラメーター
  - ・ルーム EQ
  - ・チャンネルレベル
  - ・オーディオディレイ
- 設定を解除する場合は、**MENU** ボタンを押して再度"設定の保護"画面を表示させ、"オフ"に設定し直してください。

⑱ メンテナンスモード

DENON サービスおよびインストーラによるメンテナンス機能の設定をします。

DENON サービスおよびインストーラが、本機にインターネット経由で接続し、本機の状態の確認や設定をおこなうための機能です。

ご注意

DENON サービスまたはインストーラからの指示があった場合のみお使いください。

⑲ ファームウェアのアップデート

ファームウェアをアップデートします。

POA-A1HD とコントロールリンク接続をしている場合は、本機のアップデートと同時に POA-A1HD のアップデートもおこないます。

アップデートの確認

ファームウェアが最新かどうかの確認ができます。また、アップデートする場合のおよそのアップデート時間を確認できます。

スタート

アップデートの処理を実行します。
アップデートを開始すると、電源表示が赤色に点灯し、GUI 画面はシャットダウンします。
アップデート中は、ディスプレイに経過時間を表示します。
アップデートが完了すると、電源表示が緑色に点灯し、通常の状態に戻ります。

※ ディスプレイが以下のような表示になった場合は、設定やネットワーク環境の確認をおこなった上で、再度アップデートしてください。

ディスプレイ	説　明
Updating failed	アップデートに失敗しました。
Login failed	サーバーへのログインに失敗しました。
Server is busy	サーバーが混雑しています。しばらく時間をおいてから、やり直してください。
Connection fail	サーバーへの接続に失敗しました。

⑳ 新機能の追加

本機にダウンロード可能な有償の新機能を表示し、アップグレードします。

新機能を購入し、ユーザー情報が登録されると、このメニューに“登録完了”と表示され、アップグレードすることができます。アップグレード完了すると、新機能を利用することができるようになります。

新機能の追加の画面で“--------”が表示されている場合は、アップグレードできません。
アップグレードを利用する場合は、DENON websiteでアップグレードパッケージを購入してください。
ご購入の際には、この画面に表示されているIDナンバーが必要になります。
<▷> と **<STATUS>** ボタンを3秒以上長押しすると、ID番号をディスプレイに表示させることができます。

アップグレード

アップグレードの処理を実行します。
アップグレードを開始すると、電源表示が赤色に点灯し、GUI 画面はシャットダウンします。
アップグレード中は、ディスプレイに経過時間を表示します。
アップグレードが完了すると、電源表示が緑色に点灯し、通常の状態に戻ります。

※アップグレードができなかった場合には、“ファームウェアのアップデート”と同様のメッセージがディスプレイに表示されます。

アップグレードステータス

アップグレードによって追加された機能の一覧を表示します。

“ファームウェアのアップデート”および“新機能の追加”をおこなったときのご注意

- これらの機能を使用するためには、インターネットブロードバンドに接続できる環境と設定が必要です（☞40～43ページ）。
- アップデート/アップグレードが終わるまで、絶対に電源を切らないでください。
- 以下の場合を除き、通常はこの機能を使用する必要はありません。
  - ・ファームウェアのアップデート：
    ファームウェアを最新の状態にするためにアップデートする場合（無償）
  - ・新機能の追加：
    将来本機に対する機能追加のためにアップグレードする場合（有償）
  - ・「ファームウェアのアップデート」および「新機能の追加」に関する情報は、その計画が明らかになるたびに、当社ホームページなどで告知する予定です。
- アップデート/アップグレードが完了するまでに、ブロードバンド接続でも1時間程度の時間がかかります。
  一旦アップデート/アップグレードを開始すると、本機は完了するまで通常の操作ができなくなります。また、本機に設定したパラメーターなどのバックアップデータが初期化される場合があります。

言語の設定

GUI

表示画面に使用する言語を設定します。

● メニュー階層 ●

マニュアル設定
　言語の設定

【選択できる項目】

English	Deutsch	Français	Italiano
Español	Nederlands	Svenska	日本語

本体でも設定できます

※ この設定をおこなうとき、GUI メニューは表示されません。
① **AUDIO DELAY** と **RETURN** ボタンを 3 秒以上長押しする。
　ディスプレイに“Video Format”が表示されます。
② △▽ を押して、“GUI Language”を選ぶ。
③ ◁ ▷ を押して、設定する。
④ **ENTER**、**MENU** または **RETURN** ボタンを押して、設定を終了する。

```
*GUI Language
 < JAPANESE >
```

ソース選択

GUI

入力ソースの選択や入力ソースの再生に関する設定をします。

入力ソースの選択

● メニュー階層 ●

- ソース選択
  - DVD
  - HDP
  - TV/CBL
  - SAT
  - VCR
  - DVR-1
  - DVR-2
  - V.AUX
  - NET/USB
  - TUNER
  - PHONO
  - CD

本体やメインリモコンでも操作できます

【本体での操作】

SOURCE SELECT を回す。

※“ZONE2/3/4 / REC SELECT”や“VIDEO SELECT”を選んでいる場合は、**SOURCE** ボタンを押してから **SOURCE SELECT** つまみを回してください。

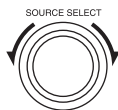
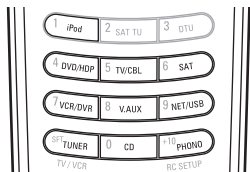
【メインリモコンでの操作】

SOURCE SELECT ボタンを押す。

お好みの入力ソースをダイレクトに選ぶことができます。

SOURCE SELECT

（本体）

1 iPod　2 SAT TU　3 DTU
4 DVD/HDP　5 TV/CBL　6 SAT
7 VCR/DVR　8 V.AUX　9 NET/USB
TUNER　0 CD　+10 PHONO
TV/VCR　RC SETUP

（メインリモコン）

- メインリモコンで操作するときは、あらかじめメインリモコンをアンプモードにしてください（☞75 ページ「メインリモコン操作」）。
- メインリモコンの **DVD/HDP** ボタンと **VCR/DVR** ボタンは、ボタンを押すたびに下記のように切り替わります。

DVD/HDP： DVD ←→ HDP

VCR/DVR： → VCR → DVR-1 → DVR-2 →（VCRに戻る）

入力ソースの再生に関する設定 GUI

● メニュー階層 ●

- ソース選択
  - DVD, HDP, TV/CBL, SAT, VCR, DVR-1, DVR-2, V.AUX, CD, TUNER
    - 1 プレイ＊
    - 2 再生モード（iPod）＊
    - 3 端子の割り当て
    - 4 ビデオ
    - 5 入力モード
    - 6 入力名の変更
    - 7 ソースレベル
    - 8 入力アッテネーター
  - NET/USB
    - 1 プレイ
    - 9 再生モード
    - 10 静止画像
    - 4 ビデオ
    - 5 入力モード
    - 6 入力名の変更
    - 7 ソースレベル
  - PHONO
    - 4 ビデオ
    - 5 入力モード
    - 6 入力名の変更
    - 7 ソースレベル
    - 8 入力アッテネーター

＊：“プレイ”および“再生モード（iPod）”は、“iPod dock”を割り当てた入力ソースに対して表示されます。

1 プレイ

再生画面を表示します。

【入力ソース】 NET/USB （iPod）

2 再生モード（iPod）

iPod の再生の設定をします。

リピート

リピートモードの設定をします。

【入力ソース】

DVD　HDP　TV/CBL　SAT　VCR　DVR-1　DVR-2　V.AUX　TUNER　CD

【選択できる項目】 すべて　1曲　オフ

シャッフル

シャッフルモードの設定をします。

【入力ソース】

DVD　HDP　TV/CBL　SAT　VCR　DVR-1　DVR-2　V.AUX　TUNER　CD

【選択できる項目】 曲　アルバム　オフ

GUI メニューの“端子の割り当て”－“iPod dock”の設定で iPod 用コントロールドックを割り当てた入力ソースに対して設定できます。

3 端子の割り当て

選んだ入力ソースに割り当てる入力端子を選びます。

HDMI 端子

選んだ入力ソースに割り当てる HDMI 入力端子を選びます。

【入力ソース】

DVD HDP TV/CBL SAT VCR DVR-1 DVR-2 V.AUX

【選択できる項目】 1 2 3 4 5 6 無し

入力ソース	DVD	HDP	TV/CBL	SAT
お買い上げ時の設定	HDMI1	HDMI2	無し	HDMI3

入力ソース	VCR	DVR-1	DVR-2	V.AUX
お買い上げ時の設定	HDMI4	HDMI5	HDMI6	無し

- HDMI では、映像信号と音声信号を同時に伝送します。“HDMI 端子”で割り当てた映像信号と“デジタル端子”で割り当てた音声信号を組み合わせて再生したい場合は、GUI メニューの“入力モード”を“デジタル”に設定してください（☞52 ページ）。
- 本機とテレビを HDMI ケーブルで接続したとき、テレビが HDMI 音声の再生に対応していない場合は、映像信号のみをテレビに出力します。
- アナログ端子、デジタル端子および外部入力（EXT. IN）端子から入力された音声信号は、テレビには出力されません。

ご注意

“iPod dock”を割り当てた入力ソースには設定できません。

デジタル端子

選んだ入力ソースに割り当てるデジタル入力端子を選びます。

【入力ソース】

DVD HDP TV/CBL SAT VCR DVR-1 DVR-2 V.AUX TUNER CD

【選択できる項目】 COAXIAL1 ~ 4 OPTICAL1 ~ 5 DENON LINK * BNC1/2 無し

＊：本機と当社の DVD プレーヤーを、DENON LINK 接続した場合に設定できます。

入力ソース	DVD	HDP	TV/CBL	SAT	VCR
お買い上げ時の設定	COAXIAL 1	COAXIAL 2	OPTICAL 1	COAXIAL 3	OPTICAL 4

入力ソース	DVR-1	DVR-2	V.AUX	TUNER	CD
お買い上げ時の設定	OPTICAL 2	OPTICAL 3	OPTICAL 5	無し	COAXIAL 4

ご注意

“iPod dock”を割り当てた入力ソースには設定できません。

コンポーネントビデオ端子

選んだ入力ソースに割り当てるコンポーネントビデオ（D）入力端子を選びます。

【入力ソース】

DVD HDP TV/CBL SAT VCR DVR-1 DVR-2 V.AUX

【選択できる項目】 1-D/RCA 2-RCA 3-D/RCA 4-RCA 5-RCA 6-BNC 無し

入力ソース	DVD	HDP	TV/CBL	SAT
お買い上げ時の設定	1-D/RCA	2-RCA	3-D/RCA	4-RCA

入力ソース	VCR	DVR-1	DVR-2	V.AUX
お買い上げ時の設定	無し	5-RCA	無し	無し

ご注意

“iPod dock”を割り当てた入力ソースには設定できません。

アナログ

CD 入力に使用するアナログ端子を選びます。

【入力ソース】 CD

【選択できる項目】 RCA

XLR

① GROUND
② HOT
③ COLD

XLR(INV)

① GROUND
② COLD
③ HOT

ご注意

“iPod dock”を割り当てた場合、“XLR”、“XLR（INV）”は選べません。

iPod dock

選んだ入力ソースに iPod dock を割り当てます。

【入力ソース】

DVD HDP TV/CBL SAT VCR DVR-1 DVR-2 V.AUX TUNER CD

【選択できる項目】 割り当てる 割り当てない

- お買い上げ時の設定では、iPod 用コントロールドックを VCR（iPod）端子に接続してお使いいただけます。
- “iPod dock”を“割り当てる”に設定しても、本機と iPod 用コントロールドックを接続しなければ、その入力ソースは通常の入力ソースとしてお使いいただけます。

4 ビデオ

選んだ入力ソースのビデオの設定をします。

ビデオセレクト

音声を聴きながら映像の入力ソースを切り替えます。

【選択できる項目】 DVD HDP TV/CBL SAT VCR DVR-1 DVR-2 V.AUX SOURCE

本体でも操作できます

VIDEO SELECT ボタンを押して、好きな映像が出るまで **SOURCE SELECT** つまみを回す。

※ 解除する場合は、**VIDEO SELECT** ボタンを押してから **SOURCE SELECT** つまみを回して、“SOURCE”を選んでください。

ご注意

- HDMI の入力信号は選べません。
- HDMI を再生中、HDMI モニター出力端子に他の入力ソースは出力できません。
- GUI メニューの“その他の設定”－“使用ソースの選択”で“使用しない”に設定した入力ソースは選べません（☞46 ページ）。

ビデオコンバート

映像入力信号をモニター出力に自動的に変換します。

【入力ソース】 DVD HDP TV/CBL SAT VCR DVR-1 DVR-2 V.AUX

【選択できる項目】 オン オフ

ご注意

- THX は、最適なビデオ再生のためにビデオコンバートモードをオフに設定し、アップコンバートしない同じ入出力の映像信号を使用することをおすすめします。
  【例】コンポーネントビデオからの入力映像は、コンポーネントビデオモニターでお楽しみください。
- ゲーム機などの非標準ビデオ信号を入力した場合、ビデオコンバージョン機能が動作しない場合があります。このような場合は、“ビデオコンバート”を“オフ”に設定してください。

i/p スケーラー

i/p スケーラー機能の設定をします。

【選択できる項目】 アナログ -HDMI アナログ &HDMI-HDMI オフ

- “ビデオコンバート”の設定が“オフ”のときは、設定できません。
- “アナログ &HDMI-HDMI”は、HDMI 入力端子を割り当てている入力ソースに対して設定できます。
- アナログ & HDMI-HDMI”設定のとき
  ・Deep Color（10 ビット /12 ビット）の信号は、8 ビットに変換されます。
  ・xvYCC の信号およびコンピューター解像度は、i/p スケーラーが効きません。

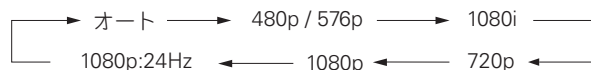
解像度

出力する HDMI 映像信号の解像度を設定します。

【選択できる項目】 オート 480p/576p 1080i 720p 1080p 1080p:24Hz

本体でも操作できます

SCALE ボタンを押す。

オート → 480p / 576p → 1080i → 720p → 1080p → 1080p:24Hz →（オートに戻る）

- “i/p スケーラー”の設定が“オフ”以外のときに設定できます。
- “i/p スケーラー”の設定が“アナログ &HDMI-HDMI”のときは、アナログビデオ入力信号と HDMI 入力信号に対する解像度をそれぞれ設定できます。
- 1080p/24Hz 出力の映像をお楽しみになるときは、1080p/24Hz の映像信号対応のモニターをご使用ください。
- フィルムソース（24Hz）のときに、フィルムライクな映像を楽しむことができます。ビデオソースやミックスソースの場合は、1080p/60Hz にすることをおすすめします。
- 50Hz 信号から 1080p/24Hz への変換はできません。1080p/50Hz の解像度で出力します。
- 1080p/60Hz 信号から、1080p/24Hz への変換はできません。

プログレッシブモード

映像素材に最適なプログレッシブモードを選びます。

【入力ソース】 DVD HDP TV/CBL SAT VCR DVR-1 DVR-2 V.AUX

【選択できる項目】 オート ビデオ 1 ビデオ 2

“i/p スケーラー”の設定が“オフ”以外のときに設定できます。

アスペクト

480i/576i または 480p/576p の入力信号を HDMI 出力端子に出力するときのアスペクト比を設定します。

【入力ソース】 DVD HDP TV/CBL SAT VCR DVR-1 DVR-2 V.AUX NET/USB

【選択できる項目】 フル ノーマル

“i/p スケーラー”の設定が“オフ”以外のときに設定できます。

5 入力モード

選んだ入力ソースの音声の入力モードとデコードモードを設定します。選択できる入力モードは、入力ソースや“端子の割り当て”の設定によって異なります（☞51 ページ）。

入力モード

選んだ入力ソースの入力モードを設定します。

【入力ソース】 PHONO（iPod）

【選択できる項目】 アナログ EXT. IN

【入力ソース】 NET/USB

【選択できる項目】 オート EXT. IN

【入力ソース】 DVD HDP TV/CBL SAT VCR DVR-1 DVR-2 V.AUX TUNER CD

【選択できる項目】 オート HDMI デジタル アナログ EXT. IN

デジタル信号が正しく入力されると、ディスプレイの“DIG.”表示が点灯します。“DIG.”表示が点灯しない場合は、デジタル入力端子の割り当てや接続を確認してください。

本体やメインリモコンでも操作できます

本体の **INPUT MODE** ボタンまたはメインリモコンの **INPUT** ボタンを押す。

オート → HDMI＊1 → デジタル＊2 → アナログ → EXT. IN →（オートに戻る）

＊1：GUI メニューの“端子の割り当て”の設定で、“HDMI 端子”を割り当てた入力ソースに対して選べます（☞51 ページ）。CD および TUNER は除きます。
＊2：GUI メニューの“端子の割り当て”の設定で、“デジタル端子”を割り当てた入力ソースに対して選べます（☞51 ページ）。

デコードモード

選んだ入力ソースのデコードモードを設定します。

【入力ソース】 DVD HDP TV/CBL SAT VCR DVR-1 DVR-2 V.AUX TUNER CD

【選択できる項目】 オート PCM DTS

- GUI メニューの“端子の割り当て”の設定で、“HDMI 端子”または“デジタル端子”を割り当てた入力ソースに対して選べます（☞51 ページ）。
- “PCM”や“DTS”は、それぞれの入力信号を再生するときのみ設定してください。

6 入力名の変更

選んだ入力ソースの表示名を変更します。
8 文字まで入力することができます。

【入力できる文字】

A ~ Z　a ~ z　0 ~ 9

! “ # % & ’ ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [\ ]（空白）

7 ソースレベル

選んだ入力ソースの音声入力の再生レベルを補正します。

【可変できる範囲】 -12dB ~ 0dB ~ +12dB

GUI メニューの“端子の割り当て”の設定で、“HDMI 端子”または“デジタル端子”を割り当てた入力ソースに対しては、アナログ入力レベルとデジタル入力レベルを別々に調節することができます。

8 入力アッテネーター

入力レベルが大きすぎて、再生音が歪んでいる場合に設定します。

【選択できる項目】 オフ ~ -6dB

“入力アッテネーター”は、アナログオーディオ信号を DSP 処理しているときに効果があります。

9 再生モード

“NET/USB”の再生の設定をします。

【入力ソース】 NET/USB

USB 端子の選択

使用する USB 端子を選びます。

【選択できる項目】 前面 背面

お使いになる方の USB 端子に設定してください。

リピート

リピートモードの設定をします。

【選択できる項目】 すべて 1 曲 オフ

ランダム

ランダムモードの設定をします。

【選択できる項目】 オン オフ

ダイレクトプレイ

DIRECT PLAY ボタンで再生できるフォルダを選びます。

【選択できる項目】 お気に入り すべての音楽

10 静止画像

静止画像再生の設定をします。

【入力ソース】 NET/USB

スライドショー

スライドショーの設定をします。

【選択できる項目】 オン オフ

スライド間隔

画像 1 枚あたりの再生時間を設定します。

【可変できる範囲】 5s ~ 60s

サラウンドモード

GUI

ホーム THX シネマモード再生

映画のサラウンドトラックを忠実に再現する THX サラウンドモードです。

2 チャンネルのソースをサラウンド再生する場合

【選択できるモード】 PLⅡx CINEMA PLⅡ CINEMA Pro Logic NEO:6 CINEMA

マルチチャンネルのソースを再生する場合（Dolby Digital, DTS, AAC など）

【選択できるモード】 HOME THX CINEMA

入力信号のフォーマットに応じてデコードし、THX サラウンド再生するモードです。
ホーム THX シネマモードを選んだときの表示は、入力信号やサラウンドバック出力の再生モードによって変わります。

入力信号		ディスプレイ表示
Dolby Digital ソース	DOLBY DIGITAL（2ch 以外）/ DOLBY DIGITAL EX DOLBY DIGITAL Plus DOLBY TrueHD	THX SURROUND EX
		THX Ultra2 Cinema
		THX Music Mode
		THX Games Mode
		THX Cinema
		PLIIx C+THX
DTS Surround ソース	DTS（5.1ch）/ DTS-ES Discrete 6.1 / DTS-ES Matrix 6.1 / DTS 96/24 / DTS-HD High Resolution Audio DTS-HD Master Audio	ES MTRX6.1+THX（*1）
		ES DSCRT6.1+THX（*2）
		THX Ultra2 Cinema
		THX Music Mode
		THX Games Mode
		THX Cinema
		PLIIx C+THX
MPEG-2 AAC	MPEG-2 AAC（5.1ch） MPEG-2 AAC（1 + 1ch）	THX SURROUND EX
		THX Ultra2 Cinema
		THX Music Mode
		THX Games Mode
		THX Cinema
		PLIIx C+THX
DVD-Audio、SACD	PCM（multi ch）/ DSD（multi ch）	THX SURROUND EX
		THX Ultra2 Cinema
		THX Music Mode
		THX Games Mode
		PLIIx C+THX
		M CH 5.1+THX
		M CH 7.1+THX

*1：入力信号が“DTS-ES Matrix 6.1”で、本機の“AFDM”の設定が“オン”のときに表示します。
*2：入力信号が“DTS-ES Discrete 6.1”のときに表示します。

詳しくは、93 ページをご覧ください。

本体やメインリモコンでも操作できます

本体の **HOME THX CINEMA** ボタンまたはメインリモコンの **THX** ボタンを押す。

スタンダード再生

プログラムソースに合わせて、サラウンド再生を楽しむスタンダードなモードです。

サラウンドモードを選ぶ場合は、本体の **STANDARD** ボタンまたはメインリモコンの **STD** ボタンを押してください。ボタンを押すたびに、モードが切り替わります。

2 チャンネルのソースをサラウンド再生する場合

❑ サラウンドバックスピーカーを使用している場合

【選択できるモード】 **DOLBY PLIIx** **DTS NEO:6**

❑ サラウンドバックスピーカーを使用していない場合

【選択できるモード】 **DOLBY PLII** **DTS NEO:6**

DOLBY PLIIx または **DOLBY PLII**：DOLBY PLIIx または DOLBY PLII でデコードして、サラウンド再生します。
- **Cinema**：映画ソースに適したモードです。
- **Music**：音楽ソースに適したモードです。
- **Game**：ゲームに適したモードです。
- **Pro Logic**：プロロジック再生モードです。PLII デコーダーで再生する場合に選べます。このモードを選ぶと、表示は“DOLBY PL”になります。

本体でも操作できます

“Cinema”、“Music”および“Game”モードは、本体の **CINEMA** ボタン、**MUSIC** ボタン、**GAME** ボタンでダイレクトに選ぶことができます。

DTS NEO:6：DTS　NEO:6 でデコードしてサラウンド再生します。
- **Cinema**：映画ソースに適したモードです。
- **Music**：音楽ソースに適したモードです。

本体でも操作できます

“Cinema”および“Music”モードは、本体の **CINEMA** ボタン、**MUSIC** ボタンでダイレクトに選ぶことができます。

“Cinema”、“Music”、“Game”、“Pro Logic”モードは、GUI メニューの“パラメーター”-“音声”-“サラウンドパラメーター”-“モード”で選んでください（☞56、57 ページ）。

マルチチャンネルのソースを再生する場合（Dolby Digital, DTS, AAC など）

【選択できるモード】 **STANDARD**

入力信号のフォーマットに応じてデコードし、サラウンド再生するモードです。
STANDARD モードを選んだときの表示は、入力信号やサラウンドバック出力の再生モードによって変わります。

入力信号		ディスプレイ表示
Dolby Digital ソース	DOLBY DIGITAL（2ch 以外）/ DOLBY DIGITAL EX	DOLBY DIGITAL
		DOLBY DIGITAL EX
		DOLBY DIGITAL+PLIIx CINEMA
		DOLBY DIGITAL+PLIIx MUSIC
	DOLBY DIGITAL Plus	DOLBY DIGITAL+
	DOLBY TrueHD	DOLBY TrueHD
DTS Surround ソース	DTS（5.1ch）/ DTS-ES Discrete 6.1 / DTS-ES Matrix 6.1 / DTS 96/24	DTS SURROUND
		DTS+PLIIx CINEMA
		DTS+PLIIx MUSIC
		DTS+NEO:6
		DTS ES MTRX6.1（*1）
		DTS ES DSCRT6.1（*2）
		DTS 96/24（*3）
	DTS-HD High Resolution Audio	DTS-HD HI RES
	DTS-HD Master Audio	DTS-HD MSTR
MPEG-2 AAC	MPEG-2 AAC（5.1ch）	MPEG2 AAC
		AAC+Dolby EX
		AAC+PLIIx CINEMA
		AAC+PLIIx MUSIC
	MPEG-2 AAC（1+1ch）	MPEG2 AAC
DVD-Audio、SACD	PCM（multi ch）/ DSD（multi ch）	MULTI CH IN
		MULTI IN+PLIIx CINEMA
		MULTI IN+PLIIx MUSIC
		MULTI CH IN 7.1

*1：入力信号が“DTS-ES Matrix 6.1”で、本機の“AFDM”の設定が“オン”のときに表示されます。
*2：入力信号が“DTS-ES Discrete 6.1”のときに表示されます。
*3：入力信号が“DTS 96/24”のときに表示されます。

詳しくは、93、94 ページをご覧ください。

MPEG-2 AAC について

- AAC 放送再生中に再生チャンネル数などの放送内容が切り替わった場合、音声が途中で途切れることがあります。
- テレビやデジタルチューナーなどによっては、AAC 出力が“オフ”になっていたり、AAC 信号を PCM 信号に変換する設定になっている場合があります。
  テレビやデジタルチューナーなどの設定画面で、デジタル音声や AAC 出力の設定をご確認ください。詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

❏ 入力信号チャンネル表示について

プログラムソースにより、入力信号チャンネル表示が点灯します。

- **2 チャンネルソース**

LFE / FL C FR / SL S / SBL SB SBR

本体の **STANDARD** ボタンまたはメインリモコンの **STD** ボタンを押すと、“DOLBY PLIIx”モードと“DTS NEO:6”モードを切り替えることができます。

- **5.1 チャンネルソース**

LFE / FL C FR / SL S SR / SBL SB SBR

本体の **STANDARD** ボタンまたはメインリモコンの **STD** ボタンを押すと、5.1 チャンネル再生ができます。
5.1 チャンネルで再生しているときは、“MPEG2 AAC”を表示します。

- **モノラルソース**

LFE / FL C FR / SL S SR / SBL SB SBR

本体の **STANDARD** ボタンまたはメインリモコンの **STD** ボタンを押すと、“MPEG2 AAC”が表示されます。
音声は、センタースピーカーより出力されます。フロントスピーカーで再生したい場合は、サラウンドモード（“STEREO”など）を選んでください。

- **二重音声ソース**

FL C FR / FL C FR / FL C FR

二重音声の情報がある AAC ソースを再生する場合は、主音声や副音声などの出力内容を選択できます。
詳しくは、「バイリンガルモード」（☞39 ページ）をご覧ください。

ドルビーヘッドホンモード再生

STANDARD（Dolby/DTS サラウンド、MPEG2 AAC）モード時に、ヘッドホン端子にヘッドホンのプラグを差し込むと、ドルビーヘッドホンモードになります。

【選択できるモード】 **DOLBY HEADPHONE**

REC OUT モードを“SOURCE”に設定した場合、本機はドルビーヘッドホンでエンコードした信号を録音出力端子に出力し、他の録音機器で録音することができます（☞72 ページ）。

DSP シミュレーション再生

9 通りの DENON オリジナルサラウンドの中から、プログラムソースや視聴するシチュエーションに応じてお好みのモードを選ぶことができます。
サラウンドパラメーター（☞91、92 ページ）を調節することで、よりリアルでパワフルな音場を再現することができます。

【選択できるモード】

モード	説明
7CH STEREO ＊1	ステレオサウンドをすべてのスピーカーで楽しむモードです。
WIDE SCREEN	大きなスクリーンで映画を見ているような雰囲気を楽しむモードです。
SUPER STADIUM	スポーツプログラムの観戦に適したモードです。
ROCK ARENA	アリーナのライブコンサートの雰囲気を楽しむモードです。
JAZZ CLUB	ライブハウスでのライブコンサートの雰囲気を楽しむモードです。
CLASSIC CONCERT	クラシックコンサートプログラムの鑑賞に適したモードです。
MONO MOVIE ＊2	モノラルの映画ソースをサラウンド再生するモードです。
VIDEO GAME	ビデオゲームのサラウンドに適したモードです。
MATRIX	ステレオの音楽ソースに広がり感を加えて楽しむモードです。

＊1：本体の **7CH STEREO** ボタンを押して設定することもできます。ただし、GUI メニューは表示されません。
＊2：“MONO MOVIE”モードでモノラル録音ソースを再生する場合、片チャンネル（左または右）では音が片寄るため、両チャンネルに入力してください。

- サラウンドモードを選ぶ場合は、本体の **DSP SIMULATION** ボタンまたはメインリモコンの **SIMU** ボタンを押してください。ボタンを押すたびに、モードが切り替わります。
- 再生するプログラムソースによっては、十分な効果が得られない場合があります。このような場合は、各モードを試してお好みの音場でお楽しみください。

ステレオ再生

【選択できるモード】 STEREO

音質調節ができるステレオ再生用のモードです。
フロント左 / 右スピーカーとサブウーハーから音声が出力されます。

本体やメインリモコンでも操作できます

本体の **DIRECT/STEREO** ボタンまたはメインリモコンの **D/ST** ボタンを押すたびに、DIRECT モードと STEREO モードを切り替えることができます。

ダイレクト再生

【選択できるモード】 DIRECT

音質調節回路を通さず、高音質で再生するモードです。
DIRECT モードを選んだときの表示は、入力信号によって変わります。また、マルチチャンネルの場合、サラウンドバック出力の再生モードによって変わります。

入力信号	ディスプレイ表示
アナログ信号 / PCM（2ch）/ Dolby Digital ソース / DTS ソース / その他の 2ch のデジタル信号	DIRECT
DSD（2ch）	DSD DIRECT（＊）
PCM（multi ch）	MULTI CH DIRECT
	M DIRECT+PLⅡx CINEMA
	M DIRECT+PLⅡx MUSIC
	M DIRECT 7.1
DSD（multi ch）	DSD MULTI DIRECT（＊）

＊：音声パラメーターやスピーカーの設定で DSD 信号が PCM 信号に変換される場合は、“DIRECT” や “MULTI CH DIRECT” の表示になります。

詳しくは、94 ページをご覧ください。

ピュアダイレクトモード再生

原音に最も忠実で、極めて高品質な再生ができます。

本体の PURE DIRECT ボタンまたはメインリモコンの PURE ボタンを押す。

- 解除するときは、もう一度本体の **PURE DIRECT** ボタンまたはメインリモコンの **PURE** ボタンを押してください。
- PURE DIRECT モード中は GUI 画面は表示されません。また、本体のディスプレイが消灯します。
- HDMI 入力端子を選択すると、PURE DIRECT モードでも映像を出力します。
- PURE DIRECT モード時のチャンネルレベルおよびサラウンドパラメーターは、DIRECT モードと共通になります。

パラメーター

GUI

メインリモコンの **PARA** ボタンを押すと、ダイレクトにパラメーターを呼び出すことができます。

音声

GUI

音声のパラメーターを調節します。

● メニュー階層 ●

- パラメーター
  - 音声
    - 1 サラウンドパラメーター
    - 2 トーンコントロール
    - 3 ルームEQ
    - 4 Dynamic EQ
    - 5 RESTORER
    - 6 ナイトモード
    - 7 オーディオディレイ

1 サラウンドパラメーター

音場効果を調節します。
調節できるパラメーターは、各サラウンドモードごとに異なります（☞91、92 ページ）。

モード

再生するソースに合わせてモードを選びます。

❏ PLⅡx または PLⅡ モード

【選択できる項目】 Cinema　Music　Game　Pro Logic

❏ DTS NEO:6 モード

【選択できる項目】 Cinema　Music

“Music” モードは、ステレオ音楽成分を多く含む映画ソースにも効果的です。

❏ THX モード（2 チャンネルソースの場合）

【選択できる項目】

サラウンドバックオン サラウンドバックオフ THX Games Mode

❏ THX モード（マルチチャンネルソースの場合）

【選択できる項目】

THX Surr. EX ES DSCRT ES MTRX 7.1+THX PLIIx Cinema+THX THX Ultra2 Cinema THX Music Mode THX Games Mode サラウンドバックオフ

デコーダー

アナログ、PCM などの 2 チャンネルソースを再生中に選べます。以下のデコーダーでマルチチャンネル化してからドルビーヘッドホンで再生します。

❏ THX モード（2 チャンネルソースの場合）

【選択できる項目】 PLIIx CINEMA PLII CINEMA Pro Logic NEO:6 CINEMA

❏ DOLBY HEADPHONE モード

【選択できる項目】

PLII CINEMA PLII MUSIC NEO:6 CINEMA NEO:6 MUSIC オフ

シネマ EQ

映画のセリフの高域成分をやわらげ、聴きやすくします。

【選択できる項目】 オン オフ

DRC

ダイナミックレンジ（静かな音と大きな音のレベル差）を適度に圧縮します。

【選択できる項目】 オート 弱 標準 強 オフ

Dolby TrueHD のときに設定することができます。

ダイナミックレンジ圧縮

ダイナミックレンジ（静かな音と大きな音のレベル差）を適度に圧縮します。

【選択できる項目】 オフ 弱 標準 強

DTS ソースを再生する場合は、対応するソフトのみ表示されます。

LFE

低域信号（LFE）レベルの調節をします。

【可変できる範囲】 -10dB ~ 0dB

各プログラムソースを正しく再生するために、次の値に設定することをおすすめします。
・ドルビーデジタルソース：“0dB”
・DTS の映画ソース：“0dB”
・DTS の音楽ソース：“–10dB”

センターイメージ

センターチャンネルの音声を左右に振り分け、前方の音場イメージを広げます。

【可変できる範囲】 0.0 ~ 0.3 ~ 1.0

パノラマ

フロント左右チャンネルの音場をサラウンドチャンネルまで拡大し、前方の音場イメージを広げます。

【選択できる項目】 オン オフ

ディメンション

音場イメージの中心を前方または後方にシフトし、再生バランスを調節します。

【可変できる範囲】 0 ~ 3 ~ 6

センター幅

センターチャンネルの音声を左右に振り分け、前方の音場イメージを広げます。

【可変できる範囲】 0 ~ 3 ~ 7

ディレイタイム

遅延時間を調節し、音場イメージを広げます。

【可変できる範囲】 0ms ~ 30ms ~ 300ms

エフェクト

マルチサラウンドスピーカーの効果を持つエフェクトのオン / オフを設定します。

【選択できる項目】 オン オフ

エフェクトレベル

エフェクトレベルを調節します。

【可変できる範囲】 1 ~ 10 ~ 15

※ サラウンドモードが“MONO MOVIE”の場合のみ

【可変できる範囲】 0 ~ 15

サラウンド信号の定位感や位相感が不自然に感じる場合は、低いレベルに設定してください。

ルームサイズ

音場空間のイメージを選びます。

【選択できる項目】 小 やや小 標準 やや大 大

ご注意

“ルームサイズ”は、再生する部屋の大きさを表わすものではありません。

AFDM

ソースの識別信号を検出して自動的にサラウンドモードを設定します。
専用の識別信号が記録されたソフトのみに働きます。
再生するソフトがドルビーデジタル EX または DTS-ES で記録されている場合は、6.1 チャンネルで再生し、記録されていない場合は、5.1 チャンネルで再生します。

【選択できる項目】 オン オフ

【例】ドルビーデジタルソフト（EX フラグあり）の再生
- "AFDM" を "オン" に設定すると、サラウンドモードは自動的に "DOLBY D + PLIIx C" モードになります。
- DOLBY DIGITAL EX モードで再生する場合は、"AFDM" を "オフ"、"サラウンドバック" を "MTRX ON" に設定してください。

ドルビーデジタル EX ソースには、EX フラグが含まれていないものがあります。"AFDM" を "オン" に設定していても、再生モードが自動的に切り替わらない場合は、"サラウンドバック" を "MTRX ON" または "PLIIx CINEMA" に設定してください。

サラウンドバック（マルチチャンネルソースの場合）

サラウンドバックチャンネルの再生方法を選びます。

【選択できる項目】
NON MTRX MTRX ON PLIIx CINEMA *1
PLIIx MUSIC *2 ES MTRX *3 ES DSCRT *4
DSCRT ON オフ

*1：GUI メニューの "スピーカー構成" の設定で、"サラウンドバック" が "2 台" に設定されているときに選べます（☞33 ページ）。
*2：GUI メニューの "スピーカー構成" の設定で、"サラウンドバック" が "2 台" または "1 台" に設定されているときに設定できます。
*3：DTS ソースを再生しているときに選べます。
*4：ディスクリート 6.1 チャンネルの信号の識別信号が含まれている DTS ソースを再生しているときに選べます。

サラウンドバックスピーカーを使用しているときに STANDARDボタンを押すと、"サラウンドバック" の設定を変えることができます。

サラウンドバック（2 チャンネルソースの場合）

サラウンドバックチャンネルのオン / オフを設定します。

【選択できる項目】 オン オフ

入力チャンネル

再生するソースに合わせて、外部入力（EXT. IN）端子で使用するチャンネルを選びます。

【選択できる項目】 8CH 2CH

GUI メニューの "マニュアル設定" - "音声の設定" - "外部入力の設定" - "モード" が "DSP" に設定されているときに選べます（☞38 ページ）。

サブウーハーアッテネーター

外部入力（EXT. IN）端子使用時のサブウーハーチャンネルのレベルを抑えます。

【選択できる項目】 オン オフ

スーパーオーディオ CD を再生したときに、サブウーハーチャンネルのレベルが大きいと感じる場合は、"オン" に設定してください。

サブウーハー

サブウーハーチャンネルのオン / オフを設定します。

【選択できる項目】 オン オフ

初期化

設定を初期化します。

2 トーンコントロール

トーンを調節します。

トーンデフィート

トーンの調節をおこなわない場合に設定します。

【選択できる項目】 オン オフ

ご注意

DIRECT、PURE DIRECT および HOME THX CINEMA モード中は、トーンの調節ができません。

低音

すべてのチャンネルの低音を一括で調節します。

【可変できる範囲】 -6dB ～ +6dB

高音

すべてのチャンネルの高音を一括で調節します。

【可変できる範囲】 -6dB ～ +6dB

"低音" および "高音" は、"トーンデフィート" の設定が "オフ" のときに設定できます。

フロント

フロントチャンネルのトーンを調節します。

【選択できる項目】 低音 高音
【可変できる範囲】 -6dB ～ +6dB

センター

センターチャンネルのトーンを調節します。

【選択できる項目】 低音 高音
【可変できる範囲】 -6dB ～ +6dB

サラウンド

サラウンドチャンネルのトーンを調節します。

【選択できる項目】 低音 高音
【可変できる範囲】 -6dB ～ +6dB

サラウンドバック

サラウンドバックチャンネルのトーンを調節します。

【選択できる項目】 低音 高音
【可変できる範囲】 -6dB ～ +6dB

サブウーハー

サブウーハーチャンネルのトーンを調節します。

【選択できる項目】 **低音**

【可変できる範囲】 **-6dB ～ +6dB**

PURE DIRECT、DIRECT および HOME THX CINEMA 以外のサラウンドモードで設定できます。サラウンドモードごとに設定が可能です。

3 ルーム EQ

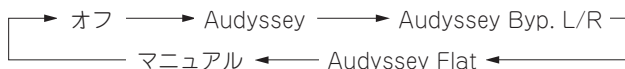
視聴環境に合わせて、お好みのルームイコライザーの補正効果を選びます。

【選択できる項目】

Audyssey	：すべてのスピーカーの周波数特性を最適に補正します。
Audyssey Byp. L/R	：フロントスピーカー以外のスピーカーの周波数特性を最適に補正します。
Audyssey Flat	：すべてのスピーカーの周波数特性が均一になるように補正します。
マニュアル	：“マニュアル EQ”で調節された周波数特性を適用します（☞39 ページ）。
オフ	：イコライザーを使用しません。

本体やメインリモコンでも操作できます

本体の **ROOM EQ** ボタンまたはメインリモコンの **EQ** ボタンを押す。

オフ → Audyssey → Audyssey Byp. L/R → Audyssey Flat → マニュアル → オフ

- “Audyssey”を選んだときには“AUDYSSEY MULTEQ XT”表示が点灯します。
- “Audyssey Byp. L/R” または “Audyssey Flat” を選んだとき、またはオートセットアップの測定結果を変更したときには、“AUDYSSEY MULTEQ XT”表示が点灯します。

- オートセットアップをおこなった後に、“Audyssey”、“Audyssey Byp. L/R” および “Audyssey Flat” を選ぶことができます。
- “オートセットアップ” で “無し” と判定されたスピーカーの設定を変更した場合は、“Audyssey”、“Audyssey Byp. L/R” および “Audyssey Flat”を選ぶことはできません。再度測定してください。
- ヘッドホンを使用しているとき、“ルーム EQ” は “オフ” になります。

4 Dynamic EQ

Dynamic EQ の設定をします。

【選択できる項目】 **オン** **オフ**

本体でも操作できます

DYNAMIC EQ ボタンを押す。

- “Dynamic EQ” は、“ルーム EQ” の設定で “Audyssey”、“Audyssey Flat” または “Audyssey Byp. L/R” が選ばれているときに表示されます。“オン” に設定すると、“AUDYSSEY DYNAMIC EQ” 表示が点灯します。
- オートセットアップの測定結果を変更したときには、“AUDYSSEY DYNAMIC EQ” 表示が点灯します。

5 RESTORER

圧縮音声を圧縮前の状態に復元し、低域および高域の量感を補正して豊かに再生します。

【選択できる項目】

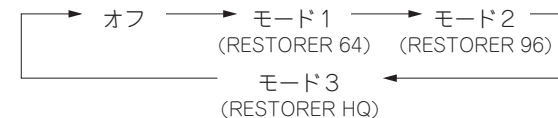
オフ	
モード1	(RESTORER 64)
モード2	(RESTORER 96)
モード3	(RESTORER HQ)

“NET/USB” と “iPod” のお買い上げ時の設定は、“モード 3” です。その他は、すべて “オフ” に設定されています。

本体やメインリモコンでも操作できます

再生中に、本体の **RESTORER** ボタンまたはメインリモコンの **RSTR** ボタンを押す。

“OFF” 以外に設定すると、“RESTORER” 表示が点灯します。

オフ → モード1（RESTORER 64） → モード2（RESTORER 96） → モード3（RESTORER HQ） → オフ

RESTORER機能について

- MP3、WMA（Windows Media Audio）や MPEG-4 AAC などの圧縮オーディオフォーマットは、人間の耳には聞こえにくい部分の信号を省いてデータ量を減らしています。RESTORER は、圧縮処理をするときに省かれた信号を生成し、圧縮する前の音に近い状態に復元する機能です。同時に低音域の量感の補正もおこないますので、圧縮オーディオ信号をより豊かに再生することができます。
- 入力ソースが “NET/USB” のとき、またはアナログ入力や PCM 信号（fs = 44.1/48kHz）が入力されたときに GUI メニューに表示され、設定することができます。

6 ナイトモード

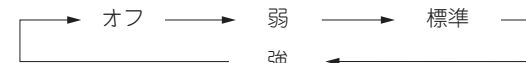
夜間に小音量で音声を聞くときに設定します。

【選択できる項目】 **オフ** **弱** **標準** **強**

本体やメインリモコンでも操作できます

本体の **NIGHT** ボタンまたはメインリモコンの **NGT** ボタンを押す。

“弱” “標準” “強” を選んだときに、“NIGHT” 表示が点灯します。

オフ → 弱 → 標準 → 強 → オフ

7 オーディオディレイ

映像と音声の再生タイミングのずれを補正します。

音声を遅らせる時間を設定します。

【可変できる範囲】 0 ms ~ 200 ms

本体やメインリモコンでも操作できます

※ この設定をおこなうとき、GUI メニューは表示されません。

① 本体の **AUDIO DELAY** ボタンまたはメインリモコンの **A. DL** ボタンを押す。

② ◁▷ ボタンを押して、設定する。

- “EXT. IN”(アナログモード時)、“DIRECT” および “STEREO” モード(クロスオーバー周波数:“FIXED–THX–”、フロント:“大”、トーンデフィート:“オン”、ルーム EQ:“オフ”)で再生しているときは、調節できません。
- オートリップシンク補正機能が働いているときは、0 ~ 100ms の範囲で設定できます。

画質調整

画質を調節します。

GUI

● メニュー階層 ●

- パラメーター
  - 画質調整
    - 1 コントラスト
    - 2 ブライトネス
    - 3 クロマレベル
    - 4 色合い
    - 5 DNR
    - 6 エンハンサー
    - 7 シャープネス

1 コントラスト

映像の明暗の差を調節します。

【可変できる範囲】 -6 ~ 0 ~ +6

2 ブライトネス

映像の明るさを調節します。

【可変できる範囲】 0 ~ +12

3 クロマレベル

色の濃さを調節します。

【可変できる範囲】 -6 ~ 0 ~ +6

4 色合い

緑色と赤色のバランスを調節します。

【可変できる範囲】 -6 ~ 0 ~ +6

5 DNR

映像全体のノイズを軽減します。

【選択できる項目】 オフ 弱 標準 強

6 エンハンサー

映像の輪郭を強調します。

【可変できる範囲】 0 ~ +12

7 シャープネス

映像の鮮明度を調節します。

【可変できる範囲】 -6 ~ 0 ~ +6

- “画質調整” の設定は、入力信号が 1080p のときには効果がありません。
- “コントラスト”、“ブライトネス”、“クロマレベル” および “色合い” を設定しても、HDMI 入力信号には効果がありません。
- “色合い” は、コンポジットビデオ、S ビデオ、コンポーネントビデオ 480i/576i の信号に対して調整ができます。
- 設定した値は、入力ソースごとに記憶されます。
- “DNR”、“エンハンサー” および “シャープネス” は、HDMI 出力に効果があります。ただし、480i/576i 出力のときは効果がありません。

情報

GUI

現在の設定

現在の設定状態を表示します。

GUI

● メニュー階層 ●

- 情報
  - 現在の設定
    - 1 メインゾーン
    - 2 ゾーン2/3/4

1 メインゾーン

メインゾーンの設定状態を表示します。
表示される内容は、入力ソースによって異なります。

【確認できる項目】
選択ソース ネーム サラウンドモード 入力モード ルーム EQ Dynamic EQ ビデオセレクト i/p スケーラー ソースレベル Rec Select ナイトモード RESTORER など

2 ゾーン 2/3/4

マルチゾーンの設定状態を表示します。

【確認できる項目】 電源 選択ソース 音量レベル

音声入力信号

GUI

音声入力信号の情報を表示します。

● メニュー階層 ●

- 情報
  - 音声入力信号

【確認できる項目】

サラウンドモード	：設定されているサラウンドモードを表示します。
信号	：入力信号の種類を表示します。
fs	：入力信号のサンプリング周波数を表示します。
フォーマット	：入力信号のチャンネル数（フロント / サラウンド /LFE の有無）を表示します。
オフセット	：ダイアログノーマライゼーションの補正値を表示します。
フラグ	：入力信号がマトリックス処理されている場合は“MATRIX”、ディスクリート処理されている場合は“DISCRETE”を表示します。

ダイアログノーマライゼーション機能について

ダイアログノーマライゼーションは、ドルビーデジタルまたはドルビー TrueHD で記録された異なるコンテンツ間の音量レベルを同一に維持する機能です。
この機能により、ドルビーデジタルまたはドルビー TrueHD で収録されたソフトを再生するときには、ソフト毎に音量を調節する必要がありません。
ドルビーデジタルまたはドルビー TrueHD で収録されたソフトを再生すると、本機のディスプレイに“Dial. Norm X dB”を表示します。（“X”は音量レベルを表します。）
この表示は、各ソフトのレベルが THX の基準レベルとどのような関係にあるのかを示しています。
例えば、ディスプレイに“Dial. Norm + 4dB”と表示された場合、再生中のソフトが基準レベルの +4dB で記録されていることを意味します。すべてのチャンネルの出力レベルを THX の基準レベルに合わせるためには、音量を 4 dB 低い値に調整することが必要です。

```
Dial.Norm
Offset  + 4dB
```

HDMI 情報

GUI

HDMI の入出力信号やモニターの情報を表示します。

● メニュー階層 ●

- 情報
  - HDMI情報
    - 1 信号情報
    - 2 モニター1
    - 3 モニター2

1 信号情報

HDMI の入出力信号の情報を表示します。

【確認できる項目】 解像度 カラースペース ビット数

2 モニター 1

本機に接続された HDMI モニター 1 の情報を表示します。

3 モニター 2

本機に接続された HDMI モニター 2 の情報を表示します。

【確認できる項目】 インターフェース 対応解像度

オートサラウンドモード

GUI

オートサラウンドモードに記憶されている内容を表示します。
入力信号の種類ごとに、ラストメモリーされているサラウンドモードが表示されます。

● メニュー階層 ●

- 情報
  - オートサラウンドモード

【確認できる項目】 アナログ /PCM 2ch デジタル 2ch デジタル 5.1ch マルチチャンネル

クイックセレクト

GUI

クイックセレクトに記憶している内容を表示します。

● メニュー階層 ●

- 情報
  - クイックセレクト
    - クイックセレクト1
    - クイックセレクト2
    - クイックセレクト3

【確認できる項目】 選択ソース 入力モード ルーム EQ オートサラウンドモード 音量レベル ネーム

クイックセレクト 1 ～ 3 への記憶のしかたは、74 ページをご覧ください。

プリセットチャンネル

GUI

プリセットステーションを表示します。

● メニュー階層 ●

- 情報
  - プリセットチャンネル
    - A
    - B
    - C
    - D
    - E
    - F
    - G

【入力ソース】 NET/USB

【確認できる項目】 A1 ～ G8

本体の **STATUS** ボタンを押しても、本機の状態を確認することができます。

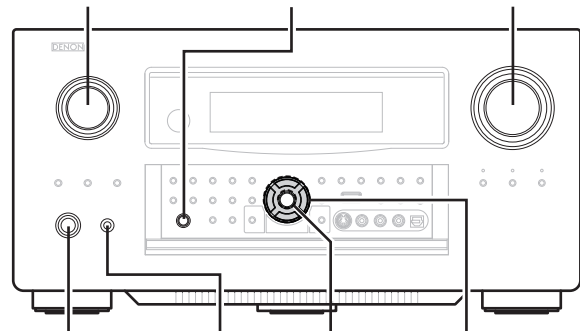
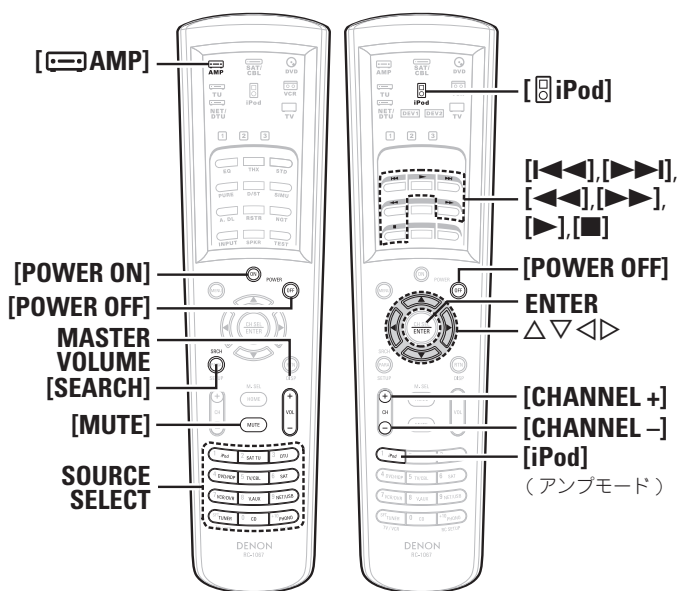
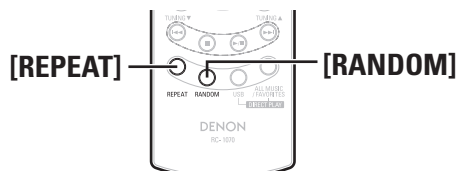
SOURCE SELECT　<PHONES>　MASTER VOLUME

<ON/STANDBY>　<POWER>　ENTER　△▽▷

[AMP]
[POWER ON]
[POWER OFF]
MASTER VOLUME
[SEARCH]
[MUTE]
SOURCE SELECT

[iPod]
[I◀◀],[▶▶I],
[◀◀],[▶▶],
[▶],[■]
[POWER OFF]
ENTER
△▽◁▷
[CHANNEL +]
[CHANNEL –]
[iPod]
（アンプモード）

（メインリモコン）

[REPEAT]　[RANDOM]

（サブリモコン）

操作説明のボタン名について
<　　　>：本体のボタン
[　　　]：リモコンのボタン
ボタン名のみ：本体とリモコンのボタン

再生のしかた

準備

電源を入れる

1 **<POWER> を押す。**
電源表示が赤色に点灯して、電源がスタンバイ状態になります。

2 **<ON/STANDBY> または [POWER ON] を押す。**
電源表示が緑色に点滅して、電源が入ります。

本機をメインリモコンで操作する場合は、メインリモコンをアンプモードにしてください（☞75 ページ「メインリモコン操作」）。

電源を切る

① **<ON/STANDBY>** または **[POWER OFF]** を押す。
電源がスタンバイ状態になります。
② **<POWER>** を押す。
電源表示が消灯して、電源が切れます。

ご注意
電源をスタンバイ状態にしても、一部の回路は通電しています。長期間の外出やご旅行の場合は、**<POWER>** で電源を切るか、電源プラグをコンセントから抜いてください。

再生中にできる操作

主音量の調節

<MASTER VOLUME> を回すか、[MASTER VOLUME] を押す。

一時的に音を消す（ミューティング）

[MUTE] を押す。

解除するときは、もう一度 **[MUTE]** を押してください。（主音量を調節しても解除することができます。）

ヘッドホンで音を聴く

<PHONES> に、ヘッドホンのプラグを差し込む。
自動的にスピーカーおよびプリアウト端子から音が出なくなります。

ご注意
ヘッドホンをお使いになるときは、音量を上げ過ぎないようにご注意ください。

映像機器や音声機器の再生

基本操作

1 **準備をする。**
① DVD や CD などのソフトをセットする。
（☞ 各機器の取扱説明書）
② 映像機器を再生する場合は、モニターの入力を切り替える。
（☞ モニターの取扱説明書）

2 **メインリモコンで操作する場合は、メインリモコンをアンプモードにする。**
（☞75 ページ「メインリモコン操作」）

3 **SOURCE SELECT で、本機の入力ソースを切り替える。**

GUI：“ソース選択”（☞50ページ）

4 **再生をはじめる。**
（☞ 各機器の取扱説明書）

iPod® を再生する

iPod 用コントロールドック（ASD-1R、別売り）を使用することにより、iPod の音楽を再生することができます。また、GUI 画面を見ながら、本体やリモコンからも操作することができます。

Made for iPod　iPodは、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標または登録商標です。

※ iPod は、著作権のないコンテンツまたは法的に複製、再生を許諾されたコンテンツを個人が私的に複製、再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

基本操作

1 準備をする。

① DENON 製 iPod 用コントロールドックに、iPod をセットする。
（☞iPod 用コントロールドックの取扱説明書）
② iPod dock の入力を割り当てる。

GUI：**“ソース選択”**－“(入力ソース)”－**“端子の割り当て”**－**“iPod dock”**（☞51ページ）

2 <SOURCE SELECT> を回すか、[iPod]（アンプモード）を押して、操作 1-②で割り当てた入力ソースを選ぶ。

iPod
DENON
接続を解除できます。

（iPod の画面 ）

※ 上記の画面が表示されない場合は、iPodが正しく接続されていない可能性があります。再度接続をやり直してください。

GUI：**“ソース選択”**－“(入力ソース)”－**“プレイ”**（☞50ページ）

3 メインリモコンで操作する場合は、メインリモコンをiPodモードにする。
（☞75ページ「メインリモコン操作」）

4 [SEARCH] を 2 秒以上長押しして、表示モードを選ぶ。
長押しするたびに、モードが切り替わります。
リモートモードのときには、“Remote” が表示されます。

【表示モード】		ブラウズモード	リモートモード
表示するディスプレイ		本機のディスプレイ	iPod のディスプレイ
再生できるファイル	音声ファイル	○	○
	映像ファイル	×	○ *
操作できるボタン	本機のリモコン	○	○
	iPod	×	○

＊：ASD-1RとiPodの組み合わせによっては、映像が出力されない場合があります。

- お買い上げ時の設定は、iPod用コントロールドックをVCR（iPod）端子に接続してお使いいただけます。
- 圧縮オーディオの低域や高域を拡張してより豊かな再生をするには、RESTORERモードをおすすめします（☞59ページ）。お買い上げ時は“モード3”に設定されています。
- iPodは、**<ON/STANDBY>** または **[POWER]** で本機の電源をスタンバイ状態にしてから、取り外してください。GUIメニューの“iPod dock”の入力を割り当てていない入力ソースに切り替えても取り外すことができます。

ご注意

- iPodの種類またはソフトウェアのバージョンによっては、機能の一部が動作しない場合があります。
- 万一iPodのデータが消失または損傷しても、当社は一切責任を負いません。

音楽を聴く

1 △▽ で項目を選び、ENTER または ▷ で再生したい音楽ファイルを選ぶ。

2 ENTER または ▷ を押す。
再生がはじまります。

一時停止するには

再生中に **ENTER** または **[▶]** を押す。
もう一度押すと、再生を再開します。

早送りや早戻しするには

再生中に △（早戻し）または ▽（早送り）を長押しするか、**[◀◀]** または **[▶▶]** を押す。

頭出しするには

再生中に △（前の曲の頭出し）または ▽（次の曲の頭出し）を押すか、**[I◀◀]** または **[▶▶I]** を押す。

停止するには

再生中に **ENTER** を長押しするか、**[■]** を押す。

リピート再生するには

[CHANNEL –] またはサブリモコンの **[REPEAT]** を押す。

【選択できる項目】 すべて　1 曲　オフ

GUI：**“ソース選択”**－“(入力ソース)”－**“再生モード (iPod)”**－**“リピート”**（☞50ページ）

シャッフル再生するには

[CHANNEL +] またはサブリモコンの **[RANDOM]** を押す。

【選択できる項目】 アルバム　曲　オフ

GUI：**“ソース選択”**－“(入力ソース)”－**“再生モード (iPod)”**－**“シャッフル”**（☞50ページ）

ページを切り替えるには

[SEARCH] を押してから、◁（ページダウン）または ▷（ページアップ）を押す。

解除する場合は、△▽ または **[SEARCH]** を押してください。

ブラウズモードとリモートモードを切り替えるには

[SEARCH] を長押しする。

- 再生中に **<STATUS>** を押すと、タイトル名、アーティスト名およびアルバム名を確認できます。
- 本機は、フォルダ名とファイル名をタイトルのように表示することができます。ディスプレイ表示に対応していない文字は、“.（ピリオド）”に置き換えて表示します。
- GUIメニューの“マニュアル設定”-“その他の設定”-“GUI”-“iPod”（☞47ページ）で、GUIの表示時間を設定することができます。

iPod の静止画像やビデオを見る

iPod に保存してある写真やビデオのデータをモニターで見ることができます。（スライドショーやビデオ機能がある iPod のみ）

1 [SEARCH] を長押しして、Remoteモードにする。

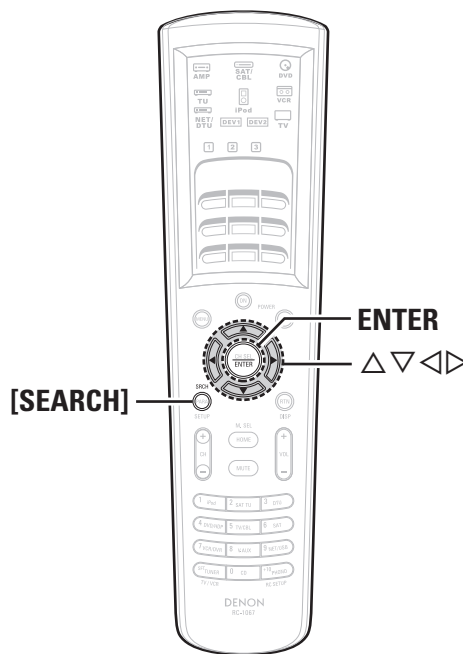
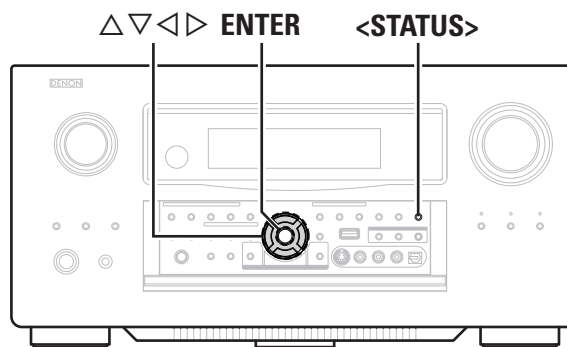
“Remote iPod”を本機のディスプレイに表示します。

2 iPodの画面を見ながら △▽ を押して、“写真”または“ビデオ”を選ぶ。

3 再生したい画像が表示されるまで、ENTER を押す。

- iPodの写真データやビデオデータをモニターに映し出すには、iPodの“スライドショー設定”または“ビデオ設定”の“TV出力”を“オン”に設定する必要があります。詳しくは、iPodの取扱説明書をご覧ください。。
- リモコンで操作できない場合は、iPod本体で操作してください。

△▽◁▷ ENTER <STATUS>

ENTER
△▽◁▷
[SEARCH]

操作説明のボタン名について

< >：本体のボタン
[ ]：リモコンのボタン
ボタン名のみ：本体とリモコンのボタン

ネットワークオーディオや USB メモリーデバイスを再生する

インターネットラジオやパソコンまたは USB メモリーデバイスに保存されている音楽ファイルを再生することができます。

❑インターネットラジオ機能について

- インターネットラジオとは、インターネット上に配信されているラジオ放送です。世界中のインターネットラジオ放送を聴くことができます。
  本機には、次のインターネットラジオ機能があります。
  - ジャンル別、地域別に選べます。
  - 最大 56 局のインターネットラジオ局をプリセット登録できます。
  - MP3 や WMA（Windows Media Audio）フォーマットのインターネットラジオ放送を聴くことができます。
  - パソコン上の Web ブラウザから当社のインターネットラジオ用の URL にアクセスすると、お気に入りのラジオ局を登録することができます。
    ※お客様の機器ごとに管理をしますので、MAC アドレスや E-mail アドレスの登録が必要になります。
    専用 URL：http://www.radiodenon.com
    ※ラジオ局データベースサービスは、予告なく停止する場合があります。
- 本機のインターネットラジオ局リストは、ラジオ局データベースサービス（vTuner）を利用しています。このデータベースサービスは、本機用に編集および作成されたリストです。

❑メディアサーバー機能について

ネットワークを経由して、本機と接続されたパソコン（メディアサーバー）に保存された音楽ファイルまたはプレイリスト（m3u、wpl）を再生することができます。
本機のネットワークオーディオ再生機能には、次の技術を利用してサーバーに接続できます。

- Windows Media Player Network Sharing Service
- Windows Media DRM10

【アルバムアート機能】

WMA（Windows Media Audio）、MP3、MPEG-4 AAC のファイルで、アルバムアートのデータを持っている場合は、音楽ファイルの再生中に、アルバムアートを表示することができます。

WMA（Windows Media Audio）形式の音楽ファイルは、Windows Media Player ver. 11 で再生しているときにだけ、アルバムアートが再生できます。

【スライドショー機能】

メディアサーバーのフォルダ内に保存された静止画像（JPEG）ファイルを、スライドショー再生することができます。また、再生する時の表示時間を設定することもできます。

本機で再生する静止画像（JPEG）ファイルは、フォルダに保存されている方向で再生しますので、再生する前に再生したい方向に向きを変えて保存してください。

“Windows Media Player ver.11”のインストール方法

① Windows XP Service Pack 2 のインストールが終了していない場合は、マイクロソフト社から無料のダウンロードをおこなうか、Windows アップデートインストーラを経由しておこないます。
② マイクロソフト社から直接、または Windows アップデートインストーラを使用して、Windows Media Player ver.11 の最新版をダウンロードします。
※ Windows Vista をお使いの場合は、新たにダウンロードする必要はありません。

❑USB メモリーデバイスについて

本機の USB 端子に USB メモリーデバイスを接続することで、USB メモリーデバイスや USB ハードディスクドライブに保存された音楽や静止画像ファイルを再生することができます。

- 本機は、マスストレージクラスおよび MTP（Media Transfer Protocol）に対応している USB メモリーデバイスのみ再生できます。
- USB メモリーデバイスのフォーマットは、FAT16 または FAT32 に対応しています。

【アルバムアート機能】

アルバムアートのデータを持った MP3 形式の音楽ファイルを再生しているときに、アルバムアートを表示することができます。

【スライドショー機能】

USB メモリーデバイス内に保存された静止画像（JPEG）ファイルを、スライドショーで再生できます。また、再生するときの表示時間を設定することもできます。

本機で再生する静止画像（JPEG）ファイルは、フォルダに保存されている方向で再生しますので、再生する前に再生したい方向に向きを変えて保存してください。

【再生可能なフォーマット】

	インターネットラジオ	メディアサーバー ※	USB ※
WMA（Windows Media Audio）	○	○	○*
MP3（MPEG-1 Audio Layer-3）	○	○	○
WAV	–	○	○
MPEG-4 AAC	–	○*	○*
FLAC（Free Lossless Audio Codec）	–	○	○
JPEG	–	○	○

ネットワーク経由での音楽ファイルの再生には、そのフォーマットの配信に対応したサーバーまたはサーバーソフトウェアが 必要です。

*: 著作権保護の無いファイルのみ再生できます。
インターネット上の有料音楽サイトからのダウンロードコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンで CD などからリッピングする際に WMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。

※メディアサーバーと USB メモリーデバイスについて
- WMP3 ID3-Tag（ver.2）に対応しています。
- WMA META タグに対応しています。

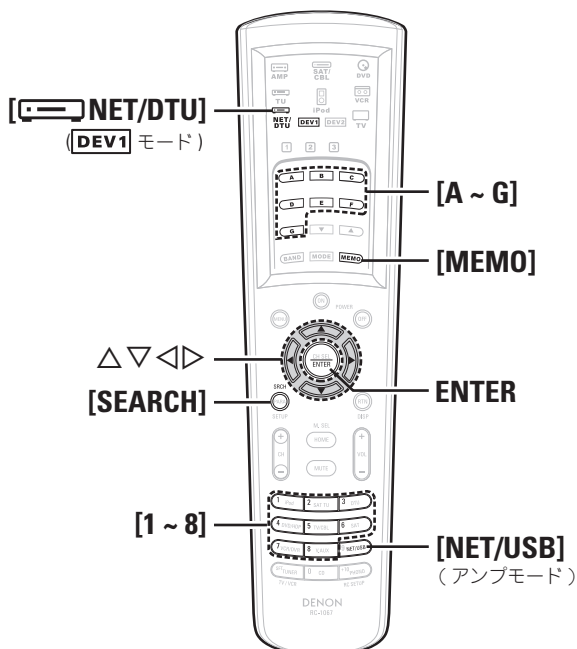
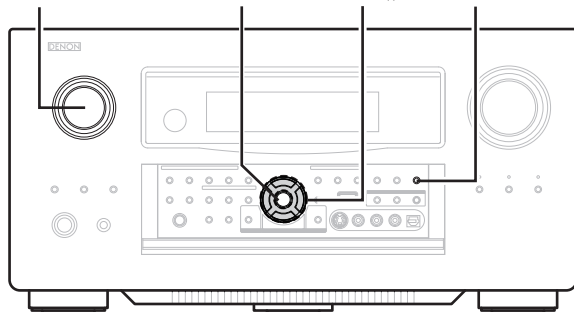
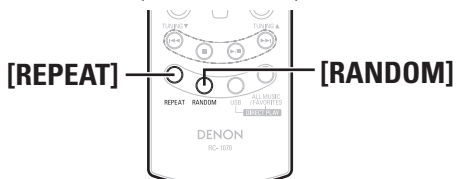
	サンプリング周波数	ビットレート	拡張子
WMA（Windows Media Audio）	32/44.1/48 kHz	48 ～ 192 kbps	.wma
MP3（MPEG-1 Audio Layer-3）	32/44.1/48 kHz	32 ～ 320 kbps	.mp3
WAV	32/44.1/48 kHz	–	.wav
MPEG-4 AAC	32/44.1/48 kHz	16 ～ 320 kbps	.aac/.m4a/.mp4
FLAC（Free Lossless Audio Codec）	32/44.1/48 kHz	–	.flac

WAV フォーマットの量子化ビット数は、16 ビットです。

<SOURCE SELECT> ENTER △▽◁▷ <STATUS>

[NET/DTU]
(DEV1 モード)
[A ~ G]
[MEMO]
△▽◁▷
[SEARCH]
ENTER
[1 ~ 8]
[NET/USB]
（アンプモード）

（メインリモコン）

[REPEAT] [RANDOM]

（サブリモコン）

操作説明のボタン名について

< >	：本体のボタン
[ ]	：リモコンのボタン
ボタン名のみ	：本体とリモコンのボタン

基本操作

1 準備をする。

① ネットワーク環境を確認してから、本機の電源を入れる。（☞25ページ「ネットワークオーディオ」）
② 設定が必要な場合は、“ネットワーク設定”をおこなう。（☞40〜43ページ「ネットワーク設定」）
③ パソコンの準備をする。（☞パソコンの取扱説明書）
・“Windows Media Player ver.11”をインストールする。（☞65ページ「“Windows Media Player ver.11”のインストール方法」）

2 <SOURCE SELECT> を回すか、[NET/USB]（アンプモード）を押して、入力ソースを“NET/USB”に切り替える。

GUI：“ソース選択”-“NET/USB”-“プレイ”（☞50ページ）

3 メインリモコンで操作する場合は、メインリモコンの操作モードを“NET/DTU”（DEV1）にする。

（☞75ページ「メインリモコン操作」）

4 △▽でメニューを選び、ENTER または ▷で再生したい音楽ファイルを選ぶ。

5 ENTER または ▷を押す。

再生がはじまります。

リピート再生するには

サブリモコンの **[REPEAT]** を押す。

【選択できる項目】 すべて　1曲　オフ

GUI：“ソース選択”-“NET/USB”-“再生モード”-“リピート”（☞53ページ）

ランダム再生するには

サブリモコンの **[RANDOM]** を押す。

【選択できる項目】 オン　オフ

GUI：“ソース選択”-“NET/USB”-“再生モード”-“ランダム”（☞53ページ）

リピートモード、ランダムモードは、USB およびメディアサーバーの曲を再生中のみに有効です。

一時停止するには

再生中に **ENTER** を押す。
もう一度押すと、再生を再開します。

停止するには

再生中や一時停止中に、**ENTER** を長押しする。

ページを切り替えるには

[SEARCH] を押してから、◁（ページダウン）または ▷（ページアップ）を押す。

解除する場合は、△▽ または **[SEARCH]** を押してください。

頭文字で検索するには

インターネットラジオやパソコンに保存されたファイルのメニュー画面から、項目を選ぶ場合に便利です。

① メニュー画面が表示されているときに、**[SEARCH]** を2回押す。
② ◁ ▷ で検索したい頭文字を選ぶ。
- 選んだ頭文字ではじまる項目が複数ある場合には、アルファベット順に表示します。
- 検索できないリストの場合は、“Unsorted list.”を表示します。
- 解除する場合は、**[SEARCH]** を押す。

- 圧縮オーディオの低域や高域を拡張してより豊かな再生をするには、RESTORERモードをおすすめします（☞59ページ）。お買い上げ時は、“モード3”に設定されています。
- GUIメニューの“マニュアル設定”-“その他の設定”-“GUI”-“NET/USB”で、GUIの表示時間を設定することができます（☞47ページ）。
- **<STATUS>** でタイトル名、アーティスト名およびアルバム名を切り替えて表示することができます。
- 曲の表示順は、サーバーの仕様によって異なります。サーバーの仕様により、曲の表示順がアルファベット順にならない場合は、頭文字での検索が正しく動作しないことがあります。

インターネットラジオを聴く

1 **△▽で“Internet Radio”を選び、ENTER または ▷ を押す。**

2 **△▽で再生したい項目を選び、ENTER または ▷ を押す。**
ステーションリストを表示します。

3 **△▽で放送局を選び、ENTER または ▷ を押す。**
バッファリングが“100％”表示になると、再生がはじまります。

- インターネット上には数多くのインターネットラジオ局があり、各ラジオ局から配信される放送や楽曲のビットレートには高低様々なものがあります。
  一般的に、ビットレートが高いほど高音質になりますが、通信回数やサーバーの混雑具合によってはストリーミングしている音楽や音声が途切れやすくなります。
  逆にビットレートが低ければ音質は低下しますが、途切れにくくなります。
- 放送局が混雑している場合や放送されていないときには、“Server Full”または“Connection Down”を表示します。
- 本機ではフォルダ名とファイル名をタイトルのように表示することができます。ディスプレイ表示に対応していない文字は、“.（ピリオド）”に置き換えて表示します。

❑ 最近再生したインターネットラジオ局を選ぶ

トップメニューの“Recently Played”から、最近再生したインターネットラジオ局を選ぶことができます。

1 **△▽で“Recently Played”を選び、ENTER または ▷ を押す。**

2 **△▽で最近再生したインターネットラジオ局を選び、ENTER または ▷ を押す。**

最大 20 局まで“Recently Played”へ自動的に記憶させることができます。

インターネットラジオ局をプリセット登録する

インターネットラジオ局をダイレクトに選ぶことができます。

1 **登録したいインターネットラジオ局を再生中に、[MEMO] を押す。**

2 **△▽で“プリセット”を選び、ENTER を押す。**

3 **[A ~ G] を押した後に [1 ~ 8] を押して、プリセット番号を選ぶ。**
インターネットラジオ局を登録します。

ご注意

すでにプリセットされている番号に登録すると、前に登録されていた内容は消去されます。

❑ 登録したインターネットラジオ局を聴く

[A ~ G] を押した後に [1 ~ 8] を押して、登録したプリセット番号を選ぶ。
自動的にインターネットに接続して、再生をはじめます。

インターネットラジオ局をお気に入りに登録する

お気に入りに登録するとメニュー画面の先頭にリストアップされますので、選局が容易にできます。

1 **登録したいインターネットラジオ局を再生中に、[MEMO] を押す。**

2 **△▽で“お気に入り”を選び、ENTER を押す。**

3 **◁ で“登録”を選ぶ。**
インターネットラジオ局を登録します。
登録しない場合は、▷ を押してください。

❑ お気に入りに登録したインターネットラジオ局を聴く

1 **△▽で“Favorites”を選び、ENTER または ▷ を押す。**

2 **△▽でお好みのインターネットラジオ局を選び、ENTER または ▷ を押す。**
自動的にインターネットに接続して、再生をはじめます。

❑ お気に入りに登録したインターネットラジオ局を削除する

1 **△▽で“Favorites”を選び、ENTER または ▷ を押す。**

2 **△▽で削除したいインターネットラジオ局を選び、[MEMO] を押す。**

3 **◁ で“削除”を選ぶ。**
選ばれたインターネットラジオ局を削除します。
削除を取り消す場合は、▷ を押してください。

△▽◁▷ ENTER

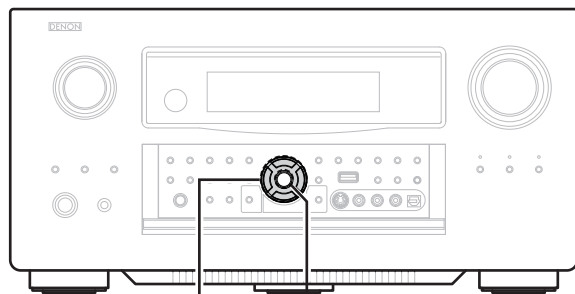
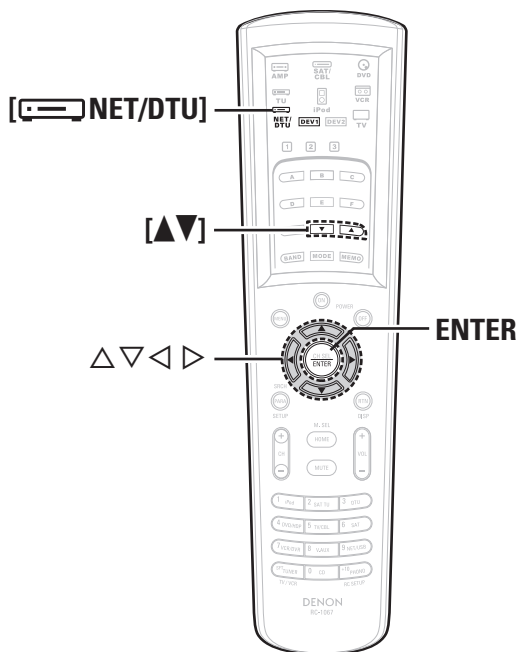
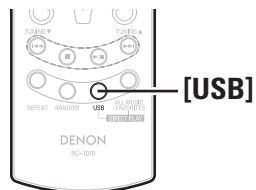
[NET/DTU]

[▲▼]

ENTER

△▽◁▷

（メインリモコン）

[USB]

（サブリモコン）

操作説明のボタン名について

< >	：本体のボタン
[ ]	：リモコンのボタン
ボタン名のみ	：本体とリモコンのボタン

パソコンに保存されている音楽ファイルを再生する

音楽ファイルやプレイリストを再生することができます。

1 **△▽で“Media Server”を選び、ENTER または ▷ を押す。**

2 **△▽で再生したいファイルのあるパソコンのホスト名を選び、ENTER または ▷ を押す。**

3 **△▽で検索項目またはお好みのフォルダを選び、ENTER または ▷ を押す。**

4 **△▽でお好みのファイルを選び、ENTER または ▷ を押す。**
バッファリングが“100%”表示になると、再生がはじまります。

曲を選ぶには

再生中に △（前の曲）または ▽（次の曲）を押す。

- 静止画像（JPEG）ファイルを再生中は、以下の操作でもファイルの選択ができます。
  再生中に **[▲]**（前のファイル)または **[▼]**（次のファイル)を押す。
- 音楽ファイルの再生には、必要なシステムとの接続および設定が必要です（☞25ページ）。
- あらかじめパソコンのサーバーソフトを起動し、ファイルをサーバーコンテンツとして設定してください。詳しくは、サーバーソフトの取扱説明書をご覧ください。
- 静止画像（JPEG）ファイルのサイズによっては、表示に時間がかかる場合があります。

プリセットやお気に入りに登録して再生する

音楽ファイルについてもインターネットラジオと同様の操作で、プリセットやお気に入りに登録して再生することができます。

ご注意

- プリセットに登録した内容は、上書きをして消去されます。
- 下記の操作をおこなうと、メディアサーバーのデータベースが更新され、プリセットやお気に入りに登録した音楽ファイルが再生できなくなる場合があります。
  - メディアサーバーを停止し、再起動した場合
  - メディアサーバーで音楽ファイルを削除または追加した場合

USB メモリーデバイスに保存されているファイルを再生する

本機は、マスストレージクラスおよび MTP（Media Transfer Protocol）に対応している USB メモリーデバイスのみ再生することができます。

基本操作

1 **準備する。**
- 使用するUSB端子を設定する。

GUI：“ソース選択” - “NET/USB” - “再生モード” - “USB 端子の選択”（☞53ページ）

- USBメモリーデバイスを設定したUSB端子に接続する。

2 **△▽ で“USB”を選び、ENTER または ▷ を押す。**

3 **△▽で検索項目またはお好みのフォルダを選び、ENTER または ▷ を押す。**

4 **△▽ でお好みのファイルを選び、ENTER または ▷ を押す。**
バッファリングが“100%”表示になると、再生がはじまります。

曲を選ぶには

再生中に △（前の曲）または ▽（次の曲）を押す。

- お買い上げ時の設定では、前面のUSB端子に接続してお使いいただけます。
- 静止画像（JPEG）ファイルのサイズによっては、表示に時間がかかる場合があります。
- 静止画像（JPEG）ファイルを再生中は、以下の操作でもファイルの選択ができます。
  再生中に **[▲]**（前のファイル)または **[▼]**（次のファイル)を押す。
- USBメモリーデバイスが複数のパーティションに分かれている場合は、先頭のパーティションのみ選べます。
- 本機で対応しているMP3ファイルの規格は、「MPEG-1 Audio Layer-3」です。
- **[USB]** を押すと、USBメモリー内の最初から再生します。

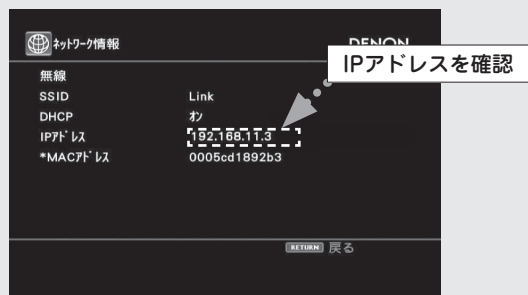
ご注意

- 本機は、前面と背面にUSB端子を1つずつ備えています。両方同時に接続して使用することはできません。GUIメニューの“ソース選択”－“NET/USB”－“再生モード”－“USB端子の選択”で、お使いになりたい方の端子に設定してください（☞53ページ）。
- USBメモリーデバイスを本機と接続して使用しているときに、万一USBメモリーデバイスのデータが消失または損傷した場合、当社は一切責任を負いません。
- USBメモリーデバイスはUSBハブ経由では動作しません。
- すべてのUSBメモリーデバイスに対して、動作および電源の供給を保証するものではありません。USB接続タイプのポータブルHDDで、ACアダプターを接続して電源が供給できるタイプのものをお使いになる場合は、ACアダプターのご使用をおすすめします。
- 本機のUSB端子とパソコンをUSBケーブルで接続して使用することはできません。
- 本機は、iPod Shuffleには対応していません。

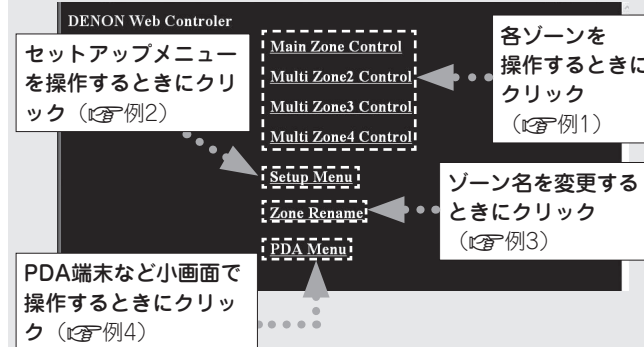
ブラウザを使用して本機を操作する（ウェブコントロール）

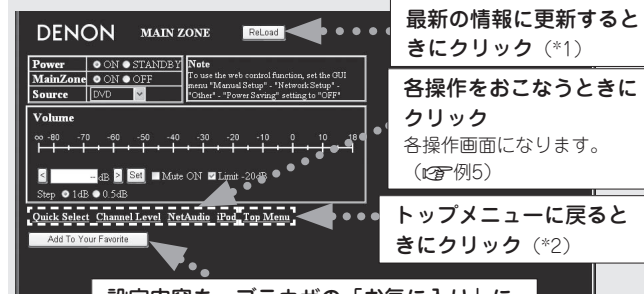
インターネットエクスプローラを使用して、本機を操作することができます。

1 GUIメニューの“マニュアル設定”-“ネットワーク設定”-“その他の設定”-“省電力モード”の設定を“オフ”にする（☞43ページ）。

2 GUIメニューの“マニュアル設定”-“ネットワーク設定”-“ネットワーク情報”で、本機のIPアドレスを確認する（☞43ページ）。

3 インターネットエクスプローラのアドレスに、本機のIPアドレスを入力する。

例えば、本機のIPアドレスが“192.168.11.3”の場合は、“http://192.168.11.3”と入力してください。

4 トップメニューが表示されたら、操作したいメニューをクリックする。

5 操作する。

【例 1】メインゾーンコントロール画面

*1：通常は操作するたびに、最新の情報に切り替わります。本体側で操作された場合は、画面は更新されませんので、クリックしてください。

*2：【例3】で“Top Menu Link Setup”を“ON”に設定すると、表示されます。

*3：誤って、操作していないゾーンのメニュー操作をおこなわないように、各ゾーンごとに設定内容をブラウザのお気に入りなどに登録することをおすすめします。

【例 2】セットアップメニュー画面

設定項目をクリックして確定

“v”をクリックして表示される項目から選ぶ

文字を入力した後、確定するときに“Set”、初期設定に戻すときに“Def”をクリック

数値を入力するか、“<”または“>”をクリックして設定後、“Set”をクリック

設定したいメニューをクリック
右側の表示が各設定画面になります。

設定を保存するときには“SAVE”、設定を呼び出すときには“LOAD”をクリック
各操作画面になります。

【例 3】ゾーン名変更画面

トップメニューのリンク設定をするときに“ON”をクリック
設定すると、各操作画面からトップメニューに戻れます。
（初期設定：“OFF”）

ゾーン名を入力

ゾーン名を確定するときに、クリック

各操作画面の背景色を変更するときに、クリック

トップメニューに戻るときに、クリック

【例 4】PDA メニュー画面

各ゾーンを操作するときに選ぶ

ご注意

PDA メニュー画面では、セットアップメニュー操作やゾーン名の変更はできません。

【例 5】Net Audio 操作画面

メニューページをアップ/ダウンするときにクリック

操作したいメニューをクリック

メニューを選択するときにクリック

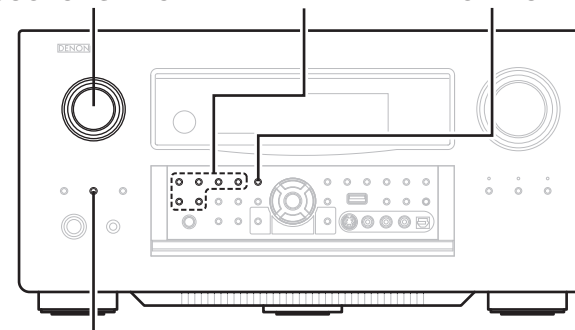
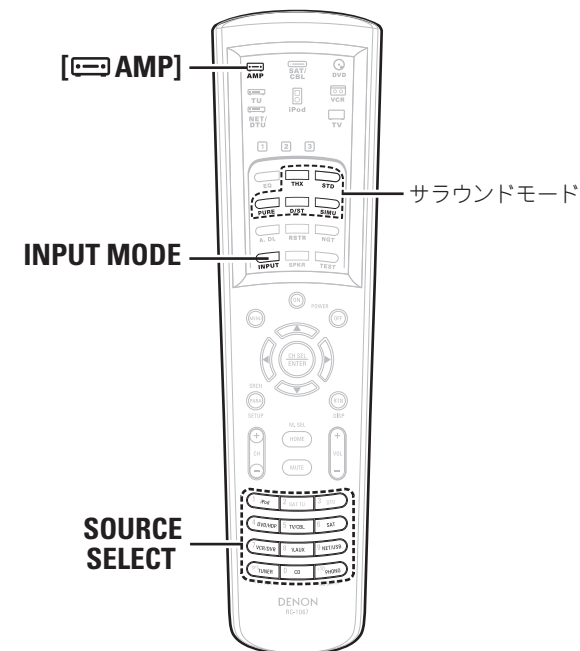
再生を停止するときにクリック

リピート再生時にクリック

ランダム再生時にクリック

プリセット登録する場合に、“v”をクリックして登録したいチャンネルを選択し、“MEMORY”をクリック

“v”をクリックして、再生したいプリセットチャンネルを選ぶ

頭文字で検索する場合に、“v”をクリックして表示される文字から選ぶ

操作説明のボタン名について

<　　　>：本体のボタン
[　　　]：リモコンのボタン
ボタン名のみ：本体とリモコンのボタン

その他の操作や機能

その他の操作

スーパーオーディオ CD の再生

1 “デジタル端子”の設定で“DENON LINK”を割り当てるか、“HDMI 端子”の設定で“HDMI”を割り当てる（☞51 ページ）。

2 <SOURCE SELECT> を回すか、[SOURCE SELECT] を押して、操作1で割り当てた入力ソースを選ぶ。
ディスプレイの“D.LINK”または“HDMI”表示が点灯します。

3 INPUT MODE で“オート”を選ぶ（☞52ページ）。

4 サラウンドモードを選ぶ（☞53～56ページ）。
DIRECTモードでの再生をおすすめします。

5 スーパーオーディオCDを再生する。
ディスプレイの“DSD”表示が点灯します。
操作のしかたは、機器の取扱説明書をご覧ください。

- DSD信号をDIRECTモードやPURE DIRECTモードで再生する場合は、DSD信号のままアナログ変換されます。それ以外のサラウンドモードで再生する場合は、DSD信号を一度PCM変換してからアナログ変換されます。
- DSDの2チャンネル信号をDIRECTモードで再生すると、ディスプレイに“DSD　DIRECT”が表示されます。また、DSDマルチチャンネル信号をDIRECTモードで再生すると、ディスプレイに“DSD MULTI DIRECT”が表示されます。
- 接続している機器によっては、DSD信号が出力されない場合があります。詳しくは、ご使用の機器の取扱説明書をご覧ください。

外部機器での録音 / 録画 (REC OUT モード)

再生中の曲を聴きながら、別のプログラムソースを録音 / 録画することができます。

1 <ZONE2/3/4 / REC SELECT> を押す。
ディスプレイに“ZONE3 SOURCE”を表示させます。

2 “RECOUTSOURCE”が表示されるまで<SOURCE SELECT> を回す。
“REC”表示が点灯します。

ZONE3 SOURCE ↔ ZONE3 TUNER ↔ ···· ↔ ZONE3 NET/USB
↕
RECOUT NET/USB ↔ ···· ↔ RECOUT SOURCE ←

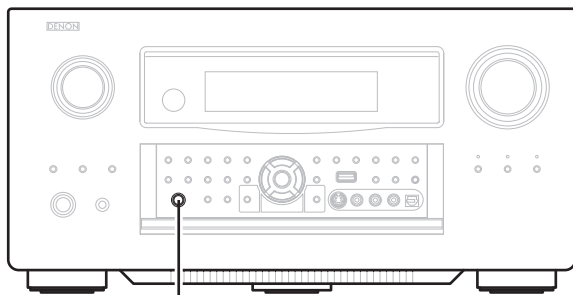
3 <SOURCE SELECT> で録音/録画したい入力ソースを選ぶ。

4 プログラムソースを再生する。
操作のしかたは、機器の取扱説明書をご覧ください。

5 録音/録画をはじめる。
操作のしかたは、機器の取扱説明書をご覧ください。

- 解除する場合は、**<ZONE2/3/4 / REC SELECT>** を押してから、ディスプレイに“ZONE3 SOURCE”が表示されるまで、**<SOURCE SELECT>** を回してください。
- 録音/録画する前に、あらかじめ「試し録音」や「試し録画」をおこなってください。
- デジタル入力端子（OPTICAL/COAXIAL）から入力されたデジタル信号がPCM（2チャンネル）の場合のみ、アナログREC　OUT端子に出力されます。
- DENONLINK端子やHDMI端子から入力されたデジタル音声信号は、REC　OUT端子に出力されないため、OPTICAL端子やCOAXIAL端子を使用して接続してください。
- REC OUTモードで選んだソースは、ゾーン３からも出力されます。
- REC　OUTモード中は、リモコンのゾーン３モードのボタンは操作できません。
- GUIメニューの“マニュアル設定”－“その他の設定”－“デジタル出力”の設定が“ゾーン４”の場合は、OPTICAL4端子はゾーン４の出力になります。録音用としてお使いになる場合は、“Rec Select”に設定してください。
- デジタル出力端子（OPTICAL）からは著作権保護のあるネットワークオーディオ（インターネットラジオ、メディアサーバーおよびUSB）信号は出力できません。

ご注意

- あなたが録音したものは、個人で楽しむ場合以外著作権者に無断で使用できません。
- GUI メニューの“ソース選択”－“端子の割り当て”で“DENON LINK”を割り当てている場合は、デジタル入力端子から入力されたPCM 信号やネットワークオーディオ（インターネットラジオ , メディアサーバーおよび USB）信号をアナログ REC OUT 端子から出力することはできません。
- GUI メニューの“マニュアル設定”－“その他の設定”－“使用ソースの選択”で“使用しない”に設定した入力ソースは選べません。

PHONES 端子

ドルビーヘッドホンモードで録音する

REC OUT モードを“SOURCE”に設定した場合、本機はドルビーヘッドホンでエンコードした信号を録音出力端子に出力し、他の録音機器で録音することができます。

1 **STANDARD（Dolby/DTS サラウンド）モード再生中に、PHONES 端子にヘッドホンのプラグを差し込む。**
録音出力端子（アナログおよびデジタル）にドルビーヘッドホンでエンコードした信号が自動的に出力されます。

2 **パラメーターを選び、お好みのモードに設定する。**
録音 / 録画をはじめる。
詳しくは、「ドルビーヘッドホンモード再生」（☞55 ページ）をご覧ください。

ご注意

録音中にはヘッドホンのプラグを抜かないでください。

便利な機能

HDMI コントロール機能

本機と HDMI コントロール機能に対応しているテレビやプレーヤーと接続した場合に、以下の操作ができます。

- 電源の入 / 切 (テレビと連動)
- 音声を出力する機器の切り替え（テレビと本機）
- 音量の調節
- 入力ソースの切り替え

本機能を使用する場合は、GUI メニューの“マニュアル設定”–“HDMI 設定”–“HDMI コントロール”の設定（☞37 ページ）をおこなってください。

ご注意

本機能を使用する場合は、GUI メニューの“ソースの選択”-“(入力ソース)”-“端子の割り当て”の設定で、“TV/CBL”に HDMI 入力を割り当てないでください。

接続

HDMI コントロール対応プレーヤー
HDMI OUT

HDMI コントロール対応テレビ
AUDIO
AUDIO OUT L R
OPTICAL OUT
HDMI IN

操作説明のボタン名について

<　　　>：本体のボタン
[　　　]：リモコンのボタン
ボタン名のみ：本体とリモコンのボタン

操作

1 **本機と HDMI コントロール機能に対応している機器を HDMI ケーブルで接続する（☞72 ページ）。**

2 **HDMI ケーブルで接続しているすべての機器の電源を入れる。**

3 **HDMI ケーブルで接続しているすべての機器の設定を確認し、HDMI ケーブルでコントロール機能を有効にする。**

※接続機器の設定については、各機器の取扱説明書をご覧ください。
※操作 1 ～ 3 は、一度操作すれば二回目以降は必要ありません。
※いずれかの機器の電源コンセントを抜いた場合は、操作 2、3 をおこなってください。

4 **テレビの入力を、本機に接続した HDMI 入力に切り替える。**

5 **本機の入力を、HDMI 入力のソースに切り替えて、プレーヤーの映像が正しく映るかを確認する。**

6 **テレビの電源をスタンバイにし、本機がスタンバイになることを確認する。**

本機が動作しない場合は、以下のことをご確認ください。
- GUI メニューの“マニュアル設定”－“HDMI 設定”－“HDMI コントロール”－“コントロール”（☞37 ページ）の設定が“オン”になっているか。
- GUI メニューの“マニュアル設定”－“HDMI 設定”－“HDMI コントロール”－“コントロールモニター”（☞37 ページ）の設定が、テレビを接続したモニター出力になっているか。
- GUI メニューの“マニュアル設定”－“HDMI 設定”－“HDMI コントロール”－“パワーオフコントロール”（☞37 ページ）の設定が“オン”になっているか。
- テレビの HDMI を使用したコントロール機能の設定が正しく設定されているか。（詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。）
- 以下の操作をおこなうと、連動動作が初期化される場合があります。その場合には、再度操作 2、3 をおこなってください。
  - ・GUI メニューの“ソース選択”－“（入力ソース）”－“端子の割り当て”－“HDMI 端子”の設定変更（☞51 ページ）
  - ・HDMI で接続している機器の接続変更や機器の増加
  - ・本機のセットアップ内にある HDMI のモニター出力の変更

チャンネルレベルの調節

再生するプログラムソースまたはお好みに合わせて、各チャンネルレベルの調節をおこなってください。

1 **CH SELECT を押す。**

2 **△▽ または CH SELECT で、スピーカーを選ぶ。**
ボタンを押すたびにスピーカーが切り替わります。

3 **◁ ▷ で音量を調節する。**

※ サブウーハーの音量は、“-12dB”に設定されているときに ◁ を押すと、“オフ”に設定することができます。

フェーダー機能

フロント側またはリア側のスピーカーの音量をまとめて調節（減衰）します。

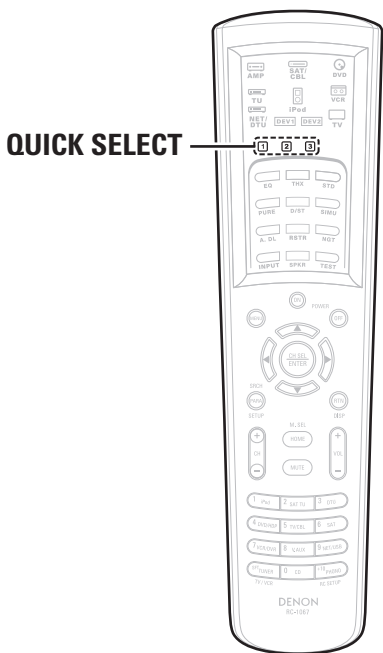
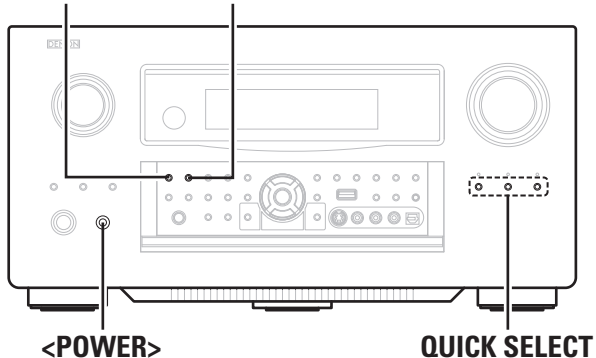
1 **CH SELECT を押す。**

2 **△▽ または CH SELECT で、“フェーダー”を選ぶ。**

3 **◁ ▷ でスピーカーの音量を調節する。**
（◁：フロント側、▷：リア側）

- フェーダー機能は、サブウーハーには働きません。
- 一番小さい値に調節されているスピーカーの音量が、-12dBになるまで調節できます。

<STANDARD> <HOME THX CINEMA>

<POWER> QUICK SELECT

QUICK SELECT

操作説明のボタン名について

< >：本体のボタン
[ ]：リモコンのボタン
ボタン名のみ：本体とリモコンのボタン

クイックセレクト機能

現在再生中の入力ソースや入力モード、サラウンドモード、ルーム EQ、音量を記憶させます。

1 入力ソースや入力モード、サラウンドモード、ルームEQ、音量を記憶させたい状態にする。

2 クイックセレクト表示が点灯するまで、QUICK SELECT を長押しする。

【お買い上げ時の設定】

	入力ソース	音量
クイックセレクト1	DVD	–40dB
クイックセレクト2	TV/CBL	–40dB
クイックセレクト3	VCR	–40dB

- 設定を呼び出すときは、呼び出したい設定が記憶されている **QUICK SELECT** を押してください。
- クイックセレクトの名前を変更できます（☞47ページ）。

ご注意

GUIメニューの“マニュアル設定”-“その他の設定”-“使用ソースの選択”（☞46ページ）で、クイックセレクトに記憶させている入力ソースを削除すると、そのクイックセレクトの設定も削除されます。このような場合は、再度記憶させてください。

パーソナルメモリープラス機能

最後に選ばれた入力モードやサラウンドモード、HDMI の OUTPUT モード、画質調整、およびオーディオディレイの設定を入力ソースごとに設定します。
入力ソースに切り替えると、自動的に前回使用されたときの設定になります。

サラウンドパラメーター、トーンコントロール、ルーム EQ の設定およびチャンネルレベルは、サラウンドモードごとに記憶します。

ラストファンクションメモリー

スタンバイにする直前の各種設定を記憶します。
再び電源を入れると、スタンバイにする直前の設定になります。

バックアップメモリー

電源を切ったり、電源コードを抜いた場合でも、各種設定をバックアップして約 1 週間保持します。

マイコンの初期化

表示が正しくない場合や操作ができない場合などにおこないます。
マイコンを初期化すると、各設定内容がすべてお買い上げ時の設定になります。

1 <POWER> で電源を切る。

2 <STANDARD> と <HOME THX CINEMA> を同時に押しながら、<POWER> を押す。

3 ディスプレイ表示が約1秒間隔で点滅したら、2つのボタンから指を離す。

操作 3 でディスプレイ表示が約 1 秒間隔で点滅しない場合は、もう一度操作 1 からやり直してください。

リモコン操作

メインリモコンの操作

- メインリモコンは、操作する機器やモードに応じて表示が切り替わります。
- iPod 以外のモードは、**[MODE SELECTOR]** を押すたびに、"DEV1" および "DEV2" が切り替わります。
- "AMP"、"NET/DTU" および "iPod" モードに、リモコン ID を設定すると、DENON 製アンプが複数台ある環境でも、本機を単独で使用することができます。

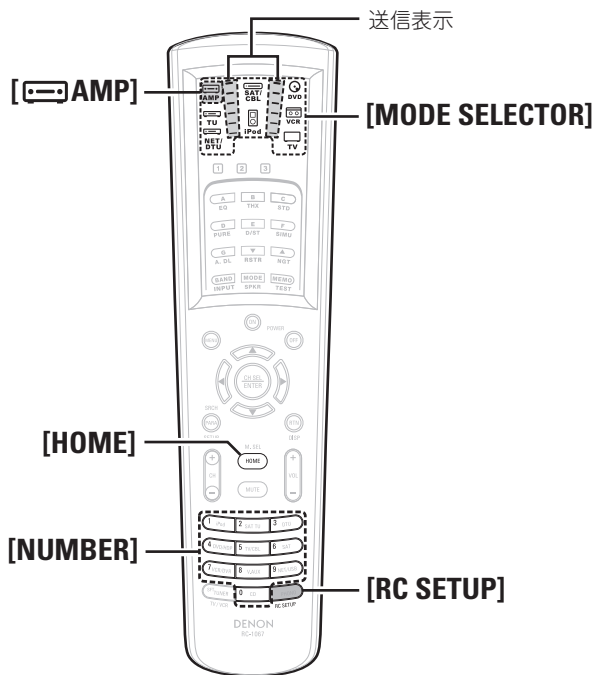
送信表示

[AMP]

[MODE SELECTOR]

[HOME]

[NUMBER]

[RC SETUP]

お手持ちの機器の形式や年式によって、操作できないボタンがあります。

ご注意

設定中は、デバイスモード（"DEV1" または "DEV2"）の切り替えはできません。

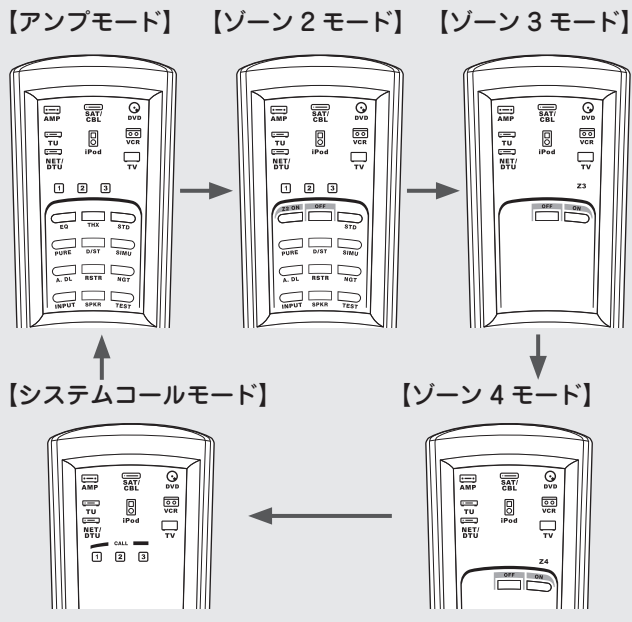
DENON 製オーディオ機器を操作する

1 操作する機器の [MODE SELECTOR] を押す。

操作する機器の表示が点滅します。

- AMP：アンプ / ゾーン 2/ ゾーン 3/ ゾーン 4/ システムコール
- TU：チューナー（FM/AM）
- NET/DTU：ネットワーク /USB
- SAT/CBL：サテライトレシーバー / ケーブルテレビ
- iPod：iPod
- DVD：DVD プレーヤー（レコーダー）/ CD プレーヤー（レコーダー）
- VCR：ビデオデッキ / テープデッキ
- TV：モニター

※ **[AMP]** を押すたびに、次のように切り替わります。

【アンプモード】→【ゾーン 2 モード】→【ゾーン 3 モード】→【ゾーン 4 モード】→【システムコールモード】→【アンプモード】

2 機器を操作する。

※ 詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

[HOME] を押すと、アンプ以外のモードから、アンプモード（"アンプ"、"ゾーン 2"、"ゾーン 3"、"ゾーン 4" または "システムコール"）に戻せます。

プリセット登録する

メインリモコンにプリセット登録すると、各社の機器をメインリモコンで操作できます。

1 プリセット登録する機器の [MODE SELECTOR] を押す。

2 [RC SETUP] を 3 秒以上長押しする。

送信表示が 2 回点滅します。

3 [NUMBER] でプリセットコード表（☞ 巻末）からプリセット登録する機器のメーカーの番号（5 桁）を入力する。

登録されると、送信表示が 2 回点滅します。

プリセットコード送信時は、そのコードが属する機器のモード表示が点滅します。

※ 10 秒間何も操作しないと、設定モードが解除されます。

メーカーによってはプリセットコードを数種類持っています。動作しない場合は、別のコードを入力してください。

プリセット登録した機器を操作する

1 操作する機器の [MODE SELECTOR] を押す。

操作する機器の表示が点滅します。

2 機器を操作する。

※ 詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

機器ボタンごとのボタンのはたらき

EL ディスプレイ

[MODE SELECTOR]

[▶], [⏮ ⏭], [◀◀ ▶▶], [❚❚], [■], [SOURCE ON], [SOURCE OFF]

[MENU]

[ENTER]

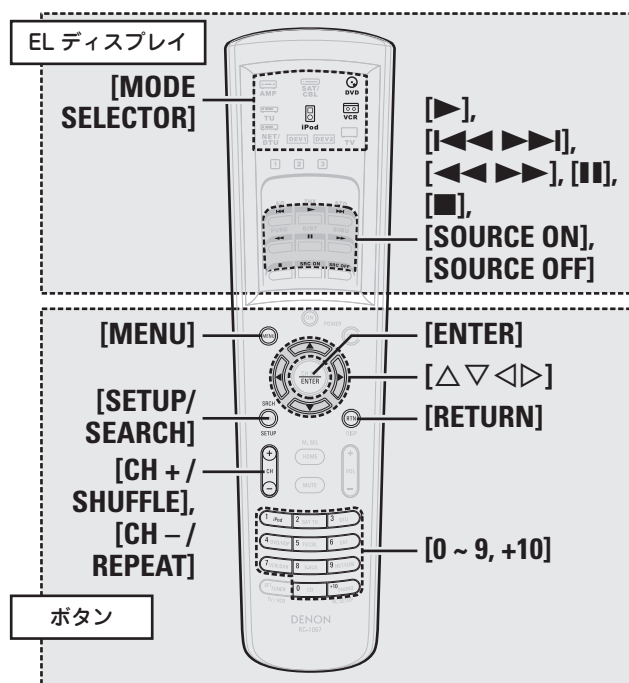
[△▽◁▷]

[SETUP/ SEARCH]

[RETURN]

[CH + / SHUFFLE], [CH – / REPEAT]

[0 ~ 9, +10]

ボタン

EL ディスプレイ							
操作機器	DVD				VCR		iPod
デバイスモード	DEV1		DEV2		DEV1	DEV2	DEV1
MODE SELECTOR	DVD（お買い上げ時の設定）	DVD Recorder	CD（お買い上げ時の設定）	CD Recorder	VCR	TAPE	iPod
▶	再生				再生		再生 / 一時停止
⏮ ⏭	オートサーチ（頭出し）				オートサーチ（頭出し）		オートサーチ（頭出し）
◀◀ ▶▶	マニュアルサーチ（早戻し / 早送り）				マニュアルサーチ（早戻し / 早送り）		マニュアルサーチ（早戻し / 早送り）
❚❚	一時停止				一時停止		－
■	停止				停止		停止
SOURCE ON	電源オン		－		電源オン	－	－
SOURCE OFF	電源オフ		－		電源オフ	－	－
ボタン							
MENU	メニュー / ガイド		－		メニュー / ガイド	－	メニュー
△ ▽ ◁ ▷	カーソル		－		カーソル	－	カーソル
ENTER	確定		－		確定	－	確定
SETUP / SEARCH	セットアップ		－		セットアップ	－	ページサーチ / Browse/Remote モード切り替え（長押し）
RETURN	リターン		－		キャンセル	－	リターン
CH + / SHUFFLE	－		－		チャンネルの切り替え	－	1 曲 / アルバムシャッフル再生
CH - / REPEAT	－		－			－	1 曲 / 全曲リピート再生
0 ~ 9, +10	トラックの選択		曲の選択		－		－
特記事項	①, ②		①		①		－

【特記事項】

① それぞれのモードには、一つの機器しかプリセット登録することができません。また、新しいコードをプリセット登録すると、前のコードは自動的に消去されます。

② DVD のリモコンボタンは、メーカーによって機能名が異なる場合がありますので、あらかじめご確認ください。

ご注意

- “DVD”（ DEV1 ）モードには、DVD プレーヤーまたは DVD レコーダーをプリセット登録してください。また、“DVD”（ DEV2 ）モードには、CD プレーヤーまたは CD レコーダーをプリセット登録してください。
- “VCR”（ DEV1 ）モードには、VCR をプリセット登録してください。また、“VCR”（ DEV2 ）モードには、テープデッキをプリセット登録してください。

EL ディスプレイ

[MODE SELECTOR]

[▶], [I◀◀ ▶▶I], [◀◀ ▶▶], [❚❚], [■], [SOURCE ON], [SOURCE OFF]

[MENU]

[ENTER]

[△▽◁▷]

[SETUP]

[DISPLAY]

[CH +/–]

[0 ~ 9, +10]

[TV/VCR]

ボタン

EL ディスプレイ

[MODE SELECTOR]

[A ~ G], [▲ ▼], [BAND], [MODE], [MEMO]

[ENTER]

[△▽◁▷]

[SEARCH]

[CH +/–]

[1 ~ 8]

[SHIFT]

ボタン

EL ディスプレイ				
操作機器	TV		Satellite Receiver / Cable TV	
デバイスモード	DEV1	DEV2	DEV1	DEV2
MODE SELECTOR	TV (HITACHI)	TV (SONY)	SAT	SAT
▶	パンチスルー		パンチスルー	
I◀◀ ▶▶I				
◀◀ ▶▶				
❚❚				
■				
SOURCE ON	電源オン		電源オン	
SOURCE OFF	電源オフ		電源オフ	
ボタン				
MENU	メニュー / ガイド		メニュー / ガイド	
△ ▽ ◁ ▷	カーソル		カーソル	
ENTER	設定の確定		設定の確定	
SETUP	セットアップ		セットアップ	
DISPLAY	ディスプレイ		ディスプレイ	
CH + / –	チャンネルの切り替え		チャンネルの切り替え	
0 ~ 9, +10	チャンネルの選択		チャンネルの選択	
TV/VCR	入力切り替え		–	
特記事項	①, ③		①, ③	

【特記事項】

① それぞれのモードには、一つの機器しかプリセット登録することができません。また、新しいコードをプリセット登録すると前のコードは自動的に消去されます。

③ TV と SAT/CBL モードには、CD、VCR、DVD のいずれかのボタンを割り当てることができます（☞79 ページ「パンチスルー機能」）。

EL ディスプレイ		
操作機器	TU	NET / DTU
デバイスモード	DEV1	DEV1
MODE SELECTOR	Analog tuner	NET / USB
A ~ G	–	プリセットメモリーブロックの選択
▲ ▼	選局 + / –	選局 + / –
BAND	AM/FM 切り替え	–
MODE	サーチモードの切り替え	–
MEMO	プリセットメモリー登録	お気に入り / プリセットメモリー登録
ボタン		
△ ▽ ◁ ▷	–	カーソル
ENTER	–	確定
SEARCH	–	サーチ
CH + / –	プリセットチャンネルの選択	プリセットチャンネルの選択
1 ~ 8		
SHIFT	プリセットメモリーブロックの切り替え	–

送信表示
[AMP]
[NET/DTU]
[MODE SELECTOR]
[iPod]
[NUMBER]
[RC SETUP]

リモコン ID を設定する

同じ部屋で DENON 製 AV レシーバーを複数台ご使用の場合に、操作する機器以外の AV レシーバーが動作しないように設定します。

1 **[AMP] を押して、メインリモコンをアンプモードにする。**

2 **[RC SETUP] を3秒以上長押しする。**
送信表示が2回点滅します。

3 **右表を参照して、変更したいリモコンIDに対応する番号（5桁）を [NUMBER] で入力する。**
送信表示が2回点滅します。

4 **[iPod] または [NET/DTU] で、設定したいモードを選ぶ。**

5 **操作2～4をくり返して、すべてのモードのリモコンIDを設定する。**

モード切り替えボタン / リモコン ID	AMP（アンプ）	iPod	NET/DTU DEV1（ネットオーディオ / USB）
1（初期値）	81001	72815	62865
2	82001	72816	62837
3	83001	72817	62838
4	84001	72818	62839

ご注意

- 設定を変更する場合は、必ず本体と同じリモコン ID に設定してください（☞48 ページ「リモコン ID」）。
- アンプモードのリモコン IDを変更する場合は、“iPod”および“NET/DTU”のリモコン ID も同時に変更してください。

学習機能

お手持ちの AV 器機が DENON 以外の製品の場合やプリセットメモリーで操作できない場合は、他機のリモコン信号を本機のリモコンに記憶させてお使いください。

1 **設定したい機器の [MODE SELECTOR] を押す。**

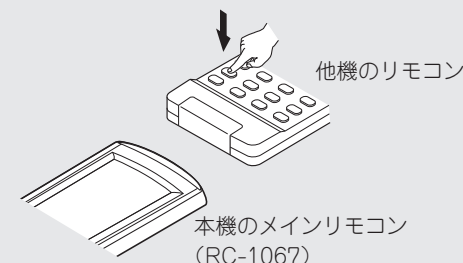
2 **[RC SETUP] を 3 秒以上長押しする。**
送信表示が 2 回点滅します。

3 **[9]、[7]、[5] の順に押す。**
送信表示が 2 回点滅し、学習機能モードになります。

4 **設定したいボタンを押す。**
表示が消え、学習待機モードになります。

※ 学習できないボタンを押した場合は、送信表示が点灯し、設定が解除されます。

5 **メインリモコンをまっすぐに向かい合わせ、学習させる他機のリモコンボタンを長押しする。**
正常に学習機能が終了すると表示が点灯し、送信表示が 2 回点滅します。

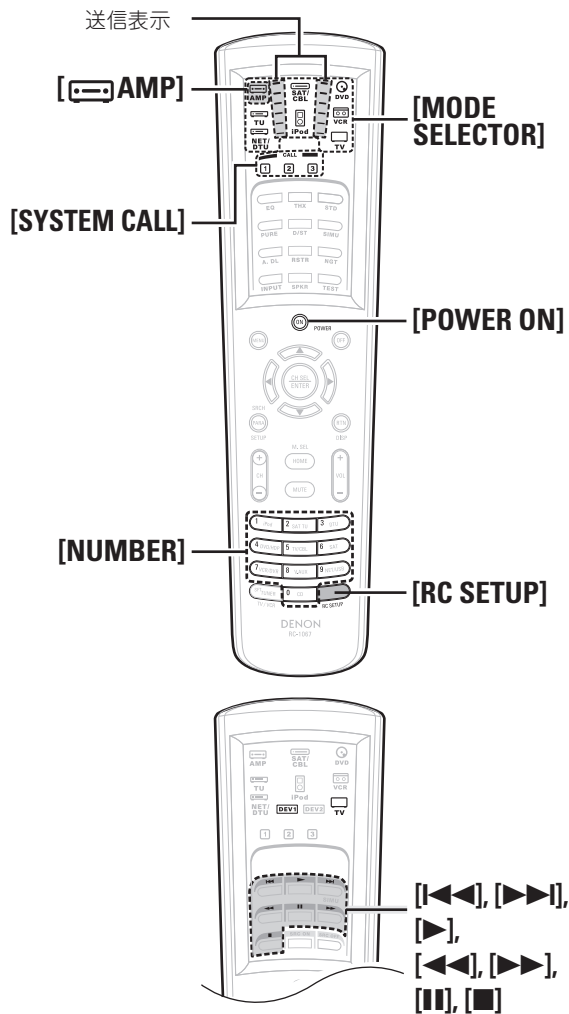
他機のリモコン
本機のメインリモコン（RC-1067）

※ 他にも学習させたいボタンがある場合は、操作 4、5 をくり返しおこなってください。
※ **[MODE SELECTOR]** を押すと、モードを切り替えることができます。
※ 学習できなかった場合は、送信表示が 1 回長く点灯します。

6 **[RC SETUP] を 3 秒以上長押しする。**
送信表示が 2 回点滅し、設定が終了します。

- リモコンによっては学習できない場合や、学習しても機器が正しく動作しない場合があります。このような場合は、機器の専用リモコンをお使いください。
- 学習したボタンはプリセットメモリーよりも優先されます。不要の場合は学習内容を初期化してください（☞80 ページ）。

ご注意

- **[RC SETUP]** には学習させないでください。
- **[HOME]** は学習できません。
- アンプ、ゾーン 2、ゾーン 3、ゾーン 4 およびシステムコールモードには学習できません。

送信表示
[AMP]
[MODE SELECTOR]
[SYSTEM CALL]
[POWER ON]
[NUMBER]
[RC SETUP]
[I◀◀], [▶▶I], [▶], [◀◀], [▶▶], [II], [■]

システムコール機能

連続した操作を 1 つのボタンに登録させることができます。
この機能により、1 回のボタン操作でアンプの電源オン、入力ソースの選択、モニターの電源オン、ソース機器の電源オン、再生などの一連の操作ができます。
[SYSTEM CALL]（**1**、**2** または **3**）にそれぞれ 32 個までの信号を登録することができます。

登録する

1 **システムコールに登録する機器の [MODE SELECTOR] を押す。**

2 **[RC SETUP] を 3 秒以上長押しする。**
送信表示が 2 回点滅します。

3 **[9]、[7]、[8] の順に押す。**
送信表示が 2 回点滅し、システムコール登録モードになります。

4 **登録したい [SYSTEM CALL]（1、2 または 3）を押す。**

5 **登録したい操作ボタンを、操作順に続けて押す。**
ボタンを押すと、送信表示が点灯します。

【例】 **[ON]** を押す。
↓
[MODE SELECTOR] の **[CD]** を押す。
↓
[▶] を押す。

※ **[MODE SELECTOR]** を押すと、モードを切り替えることができます。
※ 登録したいすべてのボタンの登録をおこないます。

6 **[RC SETUP] を 3 秒以上長押しする。**
送信表示が 2 回点滅し、設定が終了します。

呼び出す

1 **[AMP] でシステムコールモードにする。**

2 **登録した [SYSTEM CALL] (1、2 または 3) を押す。**
登録した信号を連続して送信します。

パンチスルー機能

TV モードおよび SAT/CBL モードの空きボタンに、CD、DVD および VCR モードのいずれかのボタンを割り当てることができます。
例えば、TV モードに DVD モードのボタンを割り当てると、TV モードのまま DVD の操作ができます。

1 **パンチスルーしたい機器（CD、DVD または VCR）の [MODE SELECTOR] を押す。**

2 **[RC SETUP] を 3 秒以上長押しする。**
送信表示が 2 回点滅します。

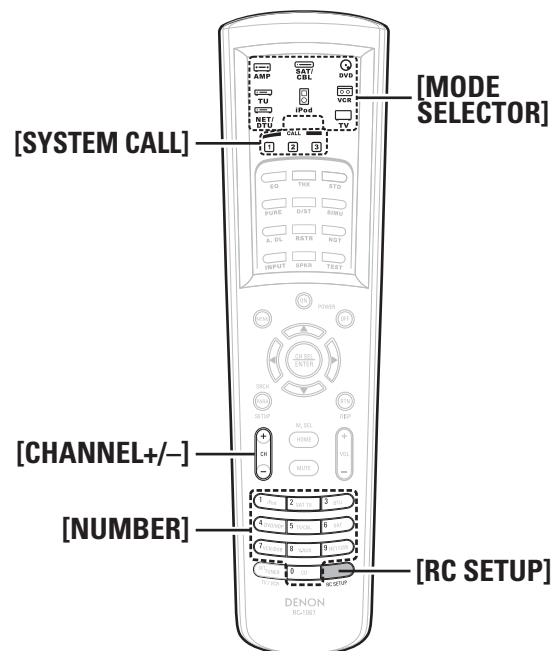
3 **[9]、[8]、[4] の順に押す。**
送信表示が 2 回点滅し、パンチスルー設定モードになります。

4 **パンチスルーしたい機器（CD、DVD または VCR）の [MODE SELECTOR] を押す。**

5 **パンチスルーに設定したいボタン（▶、■、◀◀、▶▶、I◀◀、▶▶I または II）を押す。**

6 **パンチスルーに設定したい機器（TV または SAT/CBL）の [MODE SELECTOR] を押す。**

7 **[RC SETUP] を 3 秒以上長押しする。**
送信表示が 2 回点滅し、設定が終了します。

[MODE SELECTOR]
[SYSTEM CALL]
[CHANNEL+/–]
[NUMBER]
[RC SETUP]

バックライトの点灯時間を設定する

1 **[RC SETUP] を 3 秒以上長押しする。**
送信表示が 2 回点滅します。

2 **[9]、[7]、[3] の順に押す。**
送信表示が 2 回点滅し、バックライト点灯時間の設定モードになります。

3 **点灯時間を設定する。**
送信表示が 2 回点滅します。

【点灯時間】 **[1]**：5 秒
[2]：10 秒（お買い上げ時）
[3]：15 秒
[4]：20 秒
[5]：25 秒

バックライトの明るさを調節する

表示の明るさを 5 段階で調節することができます。
（初期設定：3 段階）

1 **[RC SETUP] を 3 秒以上長押しする。**
送信表示が 2 回点滅します。

2 **[CHANNEL +] または [CHANNEL –] を押す。**
[+] を押すと、1 段階明るくなります。
[–] を押すと、1 段階暗くなります。

3 **[RC SETUP] を押して、設定を終了する。**

メインリモコンを初期化する

学習機能を初期化する

❑ ボタン毎に初期化する

1 **初期化したい機器の [MODE SELECTOR] を押す。**

2 **[RC SETUP] を 3 秒以上長押しする。**
送信表示が 2 回点滅します。

3 **[9]、[7]、[6] の順に押す。**
送信表示が 2 回点滅します。

4 **初期化したいボタンを 2 回押す。**
送信表示が 2 回点滅します。

❑ 機器のモード毎に初期化する

1 **初期化したい機器の [MODE SELECTOR] を押す。**

2 **[RC SETUP] を 3 秒以上長押しする。**
送信表示が 2 回点滅します。

3 **[9]、[7]、[6] の順に押す。**
送信表示が 2 回点滅します。

4 **初期化したい機器の [MODE SELECTOR] を 2 回押す。**
送信表示が 2 回点滅します。

システムコール機能を初期化する

1 **[RC SETUP] を 3 秒以上長押しする。**
送信表示が 2 回点滅します。

2 **[9]、[7]、[8] の順に押す。**
送信表示が 2 回点滅します。

3 **初期化したい [SYSTEM CALL]（1、2 または 3）を押す。**

4 **[RC SETUP] を 3 秒以上押す。**
送信表示が 2 回点滅します。

パンチスルー機能を初期化する

1 **初期化したい機器（TV または SAT/CBL）の [MODE SELECTOR] を押す。**

2 **[RC SETUP] を 3 秒以上長押しする。**
送信表示が 2 回点滅します。

3 **[9]、[8]、[4] の順に押す。**
送信表示が 2 回点滅します。

4 **[RC SETUP] を 3 秒以上長押しする。**
送信表示が 2 回点滅します。

全設定を初期化する

1 **[RC SETUP] を 3 秒以上長押しする。**
送信表示が 2 回点滅します。

2 **[9]、[8]、[1] の順に押す。**
送信表示が 4 回点滅します。
すべての設定が初期値に戻ります。

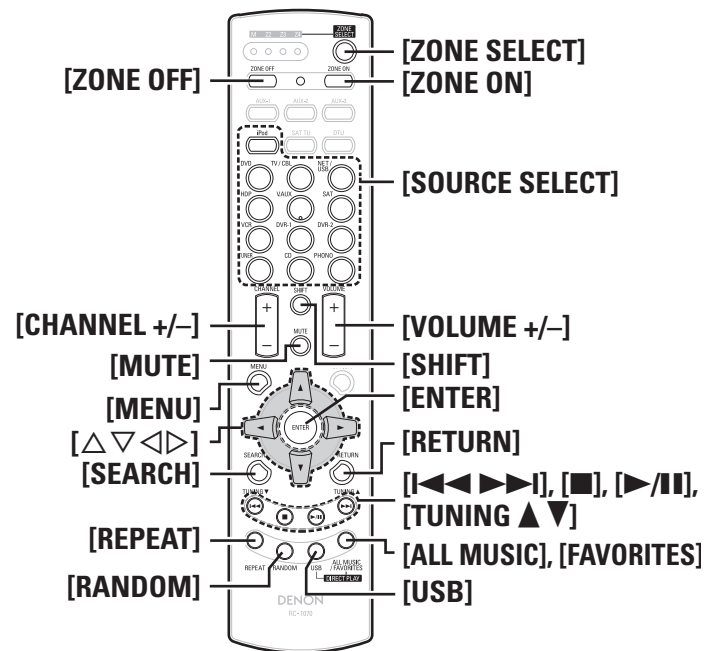
サブリモコンの操作

- サブリモコンは、頻繁に使用されるボタンを装備していますので、簡単操作リモコンとしてお使いいただけます。
- マルチゾーンでも使用することができますので、他の部屋から本機の操作がおこなえます。
- サブリモコンでは、以下の操作がおこなえます。
  - 入力ソースの切り替え
  - 音量調節
  - iPod の操作
  - NET/USB のダイレクトプレイ
  - GUI メニューおよびゾーン 2 のオンスクリーンディスプレイの操作
  - 各ゾーンの電源オン / オフ
- メインリモコンとは異なり、アンプ以外の機器を操作することはできません。

[ZONE OFF]
[CHANNEL +/–]
[MUTE]
[MENU]
[△▽◁▷]
[SEARCH]
[REPEAT]
[RANDOM]
[ZONE SELECT]
[ZONE ON]
[SOURCE SELECT]
[VOLUME +/–]
[SHIFT]
[ENTER]
[RETURN]
[I◀◀ ▶▶I], [■], [▶/II],
[TUNING ▲▼]
[ALL MUSIC], [FAVORITES]
[USB]

機器ボタンごとのボタンのはたらき

操作機器	DVD, HDP, TV / CBL, DVR-1, DVR-2, VCR, V.AUX, SAT, CD, PHONO, TUNER			
ゾーンの選択	M	Z2	Z3	Z4
ZONE SELECT	ゾーン操作モードの選択			
ZONE OFF	電源オフ(※1)			
ZONE ON	電源オン (※1)			
SOURCE SELECT	入力ソースの切り替え (※2)			
VOLUME + / –	音量調節 (※1)			–
MUTE	消音 (※1)			–
MENU	選択ゾーンのメニュー			–
USB	※3			–
ALL MUSIC *（メディアサーバーのみ）	※4			–
FAVORITES *	※5			–

※1：選択中のゾーンに効きます。
※2：ゾーン 4 では、デジタル入力に割り当てられたソースのみ選ぶことができます。ただし、著作権保護のあるネットワークオーディオ（インターネットラジオ、メディアサーバーおよび USB）信号は出力できません。
※3：入力ソースが“NET/USB”に切り替わり、USB メモリー内の音楽ファイルや画像ファイルを再生します。
※4：入力ソースが“NET/USB”に切り替わり、メディアサーバーの“すべての音楽”内の音楽ファイルまたは画像ファイルを再生します。
※5：入力ソースが“NET/USB”に切り替わり、お気に入り内の音楽ファイルまたは画像ファイルを再生します。
*：“すべての音楽”と“お気に入り”の選択は、“ダイレクトプレイ”の設定に依存します（☞53 ページ）。

DIRECT PLAY ボタンについて

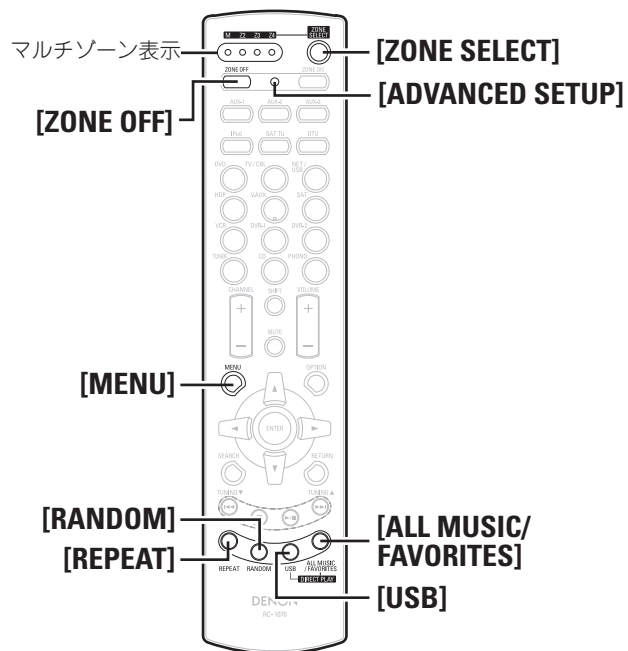
- GUIメニューの“ソース選択”–“NET/USB”–“再生モード”–“ダイレクトプレイ”で選んだモードで再生できます。
  FAVORITES：お気に入りに登録されている曲の最初から再生します。
  ALL MUSIC：“すべての音楽”フォルダに入っている曲の最初から再生します。
- **[USB]** を押すと、USBメモリー内の最初から再生します。

ご注意

メディアサーバーを停止および再起動した場合、お気に入りに登録した曲が再生できない場合があります。

操作機器	NET / USB				iPod			
ゾーンの選択	M	Z2	Z3	Z4	M	Z2	Z3	Z4
ZONE SELECT	ゾーン操作モードの選択				ゾーン操作モードの選択			
ZONE OFF	電源オフ (※1)				電源オフ (※1)			
ZONE ON	電源オン (※1)				電源オン (※1)			
SOURCE SELECT	入力ソースの切り替え (※2)				入力ソースの切り替え			–
CHANNEL + / –	プリセットチャンネルの切り替え				–			
VOLUME + / –	音量調節 (※1)			–	音量調節 (※1)			–
MUTE	消音 (※1)			–	消音 (※1)			–
MENU	選択ゾーンのメニュー			–	選択ゾーンのメニュー			–
△ ▽ ◁ ▷	ファイル操作			–	ファイル操作			–
ENTER	ファイル操作			–	ファイル操作			–
SEARCH	ページサーチ / 文字検索			–	ページサーチ / ブラウズ / リモートモード（長押し）切り替え			–
RETURN	ファイル操作			–	ファイル操作			–
⏮ ⏭, TUNING ▲ ▼	トラックサーチ				トラックサーチ			–
■	停止				停止			–
▶/❚❚	再生 / 一時停止				再生 / 一時停止			–
REPEAT	1 曲 / 全曲リピート再生（USB / メディアサーバー）				1 曲 / 全曲リピート再生			–
RANDOM	ランダム再生（USB /メディアサーバー）				曲 / アルバム / シャッフル再生			–
USB	※3				※3			–
ALL MUSIC *（メディアサーバーのみ）	※4				※4			–
FAVORITES *	※5				※5			–

※1：選択中のゾーンに効きます。
※2：ゾーン 4 では、デジタル入力に割り当てられたソースのみ選ぶことができます。
※3：入力ソースが“NET/USB”に切り替わり、USB メモリー内の音楽ファイルや画像ファイルを再生します。
※4：入力ソースが“NET/USB”に切り替わり、メディアサーバーの“すべての音楽”内の音楽ファイルまたは画像ファイルを再生します。
※5：入力ソースが“NET/USB”に切り替わり、お気に入り内の音楽ファイルまたは画像ファイルを再生します。
*：　“すべての音楽”と“お気に入り”の選択は、“ダイレクトプレイ”の設定に依存します（☞53 ページ）。

マルチゾーン表示
[ZONE SELECT]
[ADVANCED SETUP]
[ZONE OFF]
[MENU]
[RANDOM]
[REPEAT]
[ALL MUSIC/ FAVORITES]
[USB]

ゾーンを切り替える

サブリモコンを操作するゾーンを選びます。

1 **[ZONE SELECT] を押す。**
現在選ばれているマルチゾーン表示が点灯します。

2 **マルチゾーン表示が点灯しているときに、[ZONE SELECT] で操作するゾーンを選ぶ。**
選ばれたマルチゾーン表示が点灯します。

サブリモコンを使用するゾーンに設定する（ZONE SELECT LOCK モード）

いつも同じ部屋でサブリモコンを使用する方におすすめします。ボタンを操作したときにゾーンが切り替わらないように設定することができます。

1 **ペン先で [ADVANCED SETUP] を押す。**
すべてのマルチゾーン表示が点灯します。

2 **設定するマルチゾーンを選ぶ。**
選ばれたマルチゾーン表示が点灯します。

① メインゾーンに設定する場合：**[REPEAT]** を押す。
② ゾーン2に設定する場合：**[RANDOM]** を押す。
③ ゾーン3に設定する場合：**[USB]** を押す。
④ ゾーン4に設定する場合：**[ALL MUSIC/FAVORITES]** を押す。

3 **ペン先で [ADVANCED SETUP] を押す。**
マルチゾーン表示が消灯します。

解除するには

1 **ペン先で [ADVANCED SETUP] を押す。**
現在選ばれているマルチゾーン表示が点灯します。

2 **[ZONE SELECT] を押す。**
すべてのマルチゾーン表示が点灯します。

3 **ペン先で [ADVANCED SETUP] を押す。**
マルチゾーン表示が消灯します。

リモコン ID を設定する

同じ部屋で DENON 製レシーバーを複数台ご使用の場合に、操作する機器以外のアンプが動作しないように設定します。

1 **[MENU] を押しながら、ペン先で [ADVANCED SETUP] を押す。**
現在選ばれているリモコンIDに対応するマルチゾーン表示が点滅します。

2 **設定するリモコンIDを選ぶ。**

① 1に設定する場合：**[REPEAT]** を押す。
“M”表示が点滅します。
② 2に設定する場合：**[RANDOM]** を押す。
“Z2”表示が点滅します。
③ 3に設定する場合：**[USB]** を押す。
“Z3”表示が点滅します。
④ 4に設定する場合：**[ALL MUSIC / FAVORITES]** を押す。
“Z4”表示が点滅します。

3 **[MENU] を押しながら、ペン先で [ADVANCED SETUP] を押す。**
マルチゾーン表示が消灯します。

リモコン ID を変更するときは、必ず本機と同じリモコン ID に設定してください（☞48 ページ）。

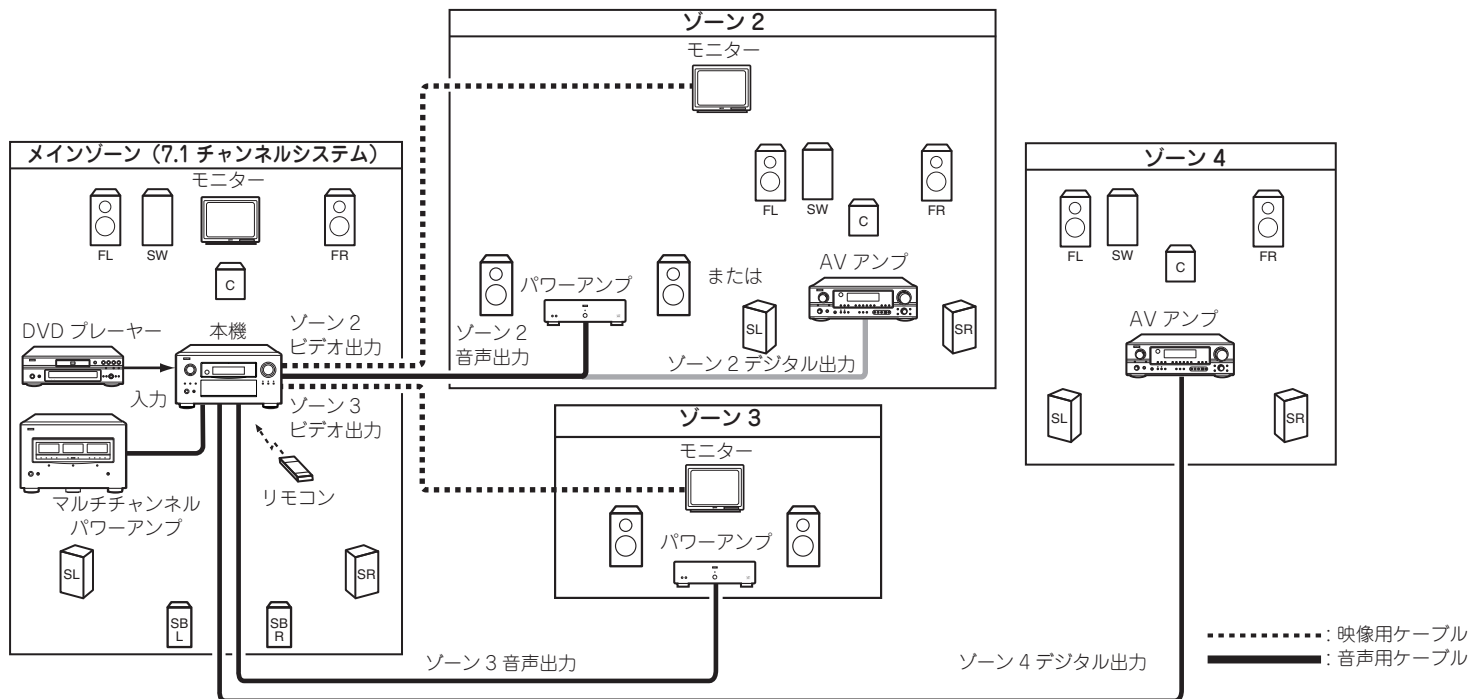
設定を初期値に戻す

[ZONE OFF] を押しながら、ペン先で [ADVANCED SETUP] を押す。
すべてのマルチゾーン表示が4回点滅し、すべての設定がお買い上げ時の設定に戻ります。

マルチゾーンの接続と操作

マルチゾーンの接続

• ゾーン2は、パワーアンプ / ビットストリーム対応アンプのどちらかを接続する信号にあわせて準備してください。
  ゾーン3はパワーアンプ、ゾーン4はビットストリーム対応アンプが必要です。
• ゾーン2の入力信号がアナログ信号の場合、PCM(2チャンネル)信号に変換されてZONE2 OPTICAL出力端子から出力されます。

	オーディオ出力端子	オーディオ信号	ビデオ出力端子
ゾーン2	ZONE2 PRE OUT	ステレオ	ZONE2 VIDEO OUT, ZONE2 S-VIDEO OUT, ZONE2 COMPONENT VIDEO OUT
	ZONE2 OPTICAL OUT	ビットストリーム	
ゾーン3	ZONE3 PRE OUT	ステレオ	ZONE3 VIDEO OUT
ゾーン4	ZONE4 OPTICAL4 OUT	ビットストリーム	–

• ゾーン２またはゾーン３でスピーカーを１台だけお使いになる場合は、“モノラル”に設定してください。この場合、ゾーン２（ゾーン３）のモノラル出力はZONE２（ZONE3）PRE OUTのL/R端子両方から出力されますので、お好みに応じて接続してください。
• ゾーン２およびゾーン３には、それぞれ別のパワーアンプが必要になります。

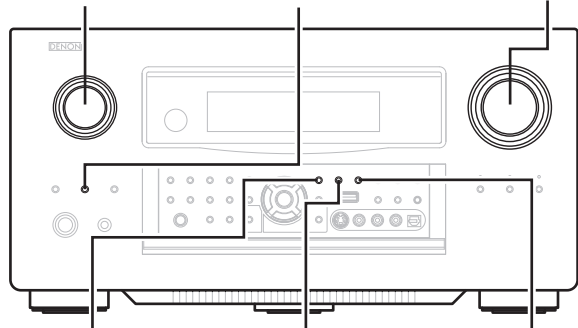
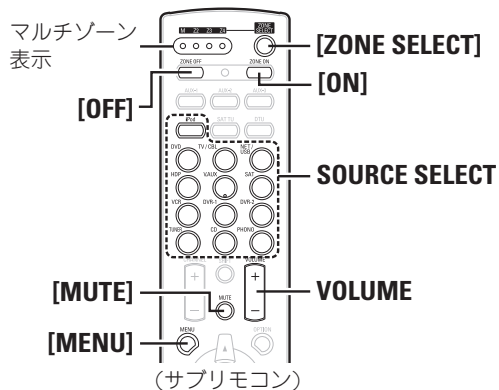
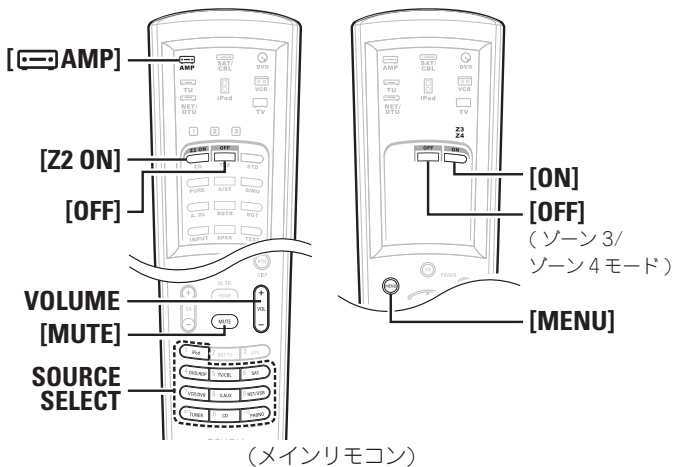
SOURCE SELECT <ZONE2/3/4/ REC SELECT> VOLUME

<ZONE2 ON/OFF> <ZONE3 ON/OFF> <ZONE4 ON/OFF>

[AMP]
[Z2 ON]
[OFF]
VOLUME
[MUTE]
SOURCE SELECT
[ON]
[OFF]
（ゾーン 3/ゾーン 4 モード）
[MENU]

（メインリモコン）

マルチゾーン表示
[ZONE SELECT]
[ON]
[OFF]
SOURCE SELECT
[MUTE]
VOLUME
[MENU]

（サブリモコン）

操作説明のボタン名について

< >：本体のボタン
[ ]：リモコンのボタン
ボタン名のみ：本体とリモコンのボタン

マルチゾーンの操作

電源の入 / 切

【本体での操作】

操作したいゾーンの **<ZONE2 ON/OFF>**、**<ZONE3 ON/OFF>** または **<ZONE4 ON/OFF>** を押す。
電源が入ると、ディスプレイのマルチゾーン表示が点灯します。

【リモコンでの操作】

操作したいゾーンのモードで、**[ON]** または **[OFF]** を押す。

入力ソースの選択

【本体での操作】

① **<ZONE2/3/4 / REC SELECT>** で設定するゾーンを選ぶ。
② **<SOURCE SELECT>** を回す。

【リモコンでの操作】

操作したいゾーンのモードで、**[SOURCE SELECT]** を押す。

音量の調節

【本体での操作】

① **<ZONE2/3/4 / REC SELECT>** で調節したいゾーンを選ぶ。
② **<MASTER VOLUME>** を回して調節する。

【リモコンでの操作】

音量を調節したいゾーンのモードで、**[VOLUME]** を押す。

［可変範囲］ - - - ～ -70dB ～ -40dB ～ 18dB

- 音量調節は、GUI メニューの“マニュアル設定”-“ゾーンの設定”-“(ゾーンの選択)”-“音量レベル”の設定が“可変”のときに操作できます。また、“音量の上限”で設定された値まで音量を上げることができます（☞46 ページ）。
- リモコンでの音量の調節は、ゾーン 2 とゾーン 3 でおこなうことができます。

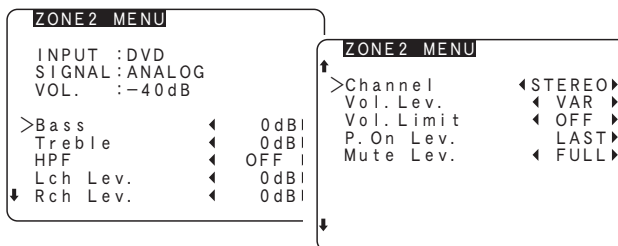
一時的に音を消す

音量を調節したいゾーンのモードで、**[MUTE]** を押す。
GUI メニューの“マニュアル設定”-“ゾーンの設定”-“(ゾーンの選択)”-“ミューティングレベル”で設定したレベルまで減衰します（☞46 ページ）。
解除する場合は、音量を調節するか、もう一度 **[MUTE]** を押してください。

- ゾーン 3 で選んだソースは、録音用出力端子からも出力されます。
- **[MENU]** を押して、ゾーン 2 でオンスクリーンディスプレイを見ながら、“ゾーンの設定”をおこなうことができます。また、“OSD”の設定を“ゾーン 2/ ゾーン 3”にすると、ゾーン 3 を操作したときもゾーン 2 のモニターにオンスクリーンディスプレイが表示されますので、それを見ながら操作することができます。

```
ZONE2 MENU
 INPUT  :DVD
 SIGNAL :ANALOG
 VOL.   :-40dB

>Bass          ◀    0dB▶
 Treble        ◀    0dB▶
 HPF           ◀  OFF ▶
 Lch Lev.      ◀    0dB▶
 Rch Lev.      ◀    0dB▶
```

```
ZONE2 MENU
>Channel      ◀STEREO▶
 Vol.Lev.     ◀ VAR  ▶
 Vol.Limit    ◀ OFF  ▶
 P.On Lev.      LAST ▶
 Mute Lev.    ◀ FULL ▶
```

ご注意

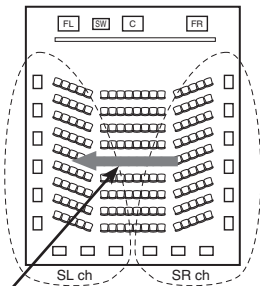
- デジタル入力端子 (OPTICAL/COAXIAL) から入力されたデジタル信号は、PCM(2 チャンネル) 信号の場合のみ、ゾーン 2 とゾーン 3 のアナログオーディオ端子に出力されます。
- DENON LINK 端子や HDMI 端子から入力されたデジタル音声信号は、マルチゾーンでは再生できません。
- ゾーン 2 およびゾーン 4 のデジタル出力 (OPTICAL) は、著作権保護のあるネットワークオーディオ信号 (インターネットラジオ、メディアサーバーおよび USB) は出力できません。
- デジタル信号が入力されている場合、ゾーン 2 とゾーン 3 のオーディオ出力端子から雑音が出力されることがあります。

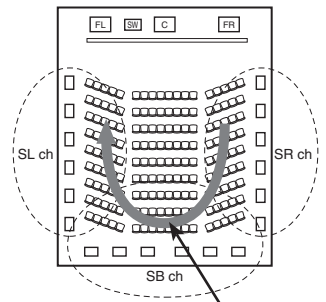
その他の情報

スピーカーの設置について

サラウンドバックスピーカーについて

THX サラウンド EX システムによって、従来の 5.1ch システムに加えて新たに「サラウンドバック（SB）チャンネル」が生まれました。これによって､従来のマルチサラウンドスピーカーに合わせてサラウンドデザインされていたために出し難いとされていた真後ろへの定位を容易に実現できるようになりました。同時に側方から後方にかけての音像が絞られ、側方から後方へ回り込む音、正面から真後ろへ移動する音など、サラウンド信号の表現力が大幅に向上しました。

5.1ch システムによる定位・音像の変化

SR → SL と移動する音像の動き

6.1ch システムによる定位・音像の変化

SR → SB → SL と移動する音像の動き

また、6.1 チャンネルで録音されたソースだけでなく、従来の 2 ～ 5.1 チャンネルソースでもよりサラウンド効果を高めることができます。

本機において THX サラウンド EX システムを実現する場合、1ch または 2ch 分のスピーカーが必要になります。しかし、これらを追加することにより THX サラウンド EX で録音されたソースだけでなく、従来の 2 ～ 5.1ch ソースでもよりサラウンド効果を高めることができます。本機の WIDE SCREEN モードは、従来のドルビーサラウンド録音ソースやドルビーデジタル 5.1ch、DTS サラウンド 5.1ch ソースにおいて、サラウンドバックスピーカーを用いた最大 7.1ch のサラウンド再生を実現するモードです。また、他の DENON オリジナルサラウンド（☞53 ページ「DSP シミュレーション再生」）もすべて 7.1ch 再生に対応しており、すべての信号ソースに対して 7.1ch 再生をお楽しみいただけます。

サラウンドバックスピーカーの本数について

サラウンドバックチャンネルは、THX サラウンド EX においては 1ch の再生信号ですが、2 台のスピーカーを使用することを推奨します。特に THX ウルトラ 2 シネマモード、THX ミュージックモード、THX ゲームズモードで再生する場合には、2 台使用することが必須となります。

サラウンドバックスピーカーを使用する場合のサラウンド L、R チャンネルの設置について

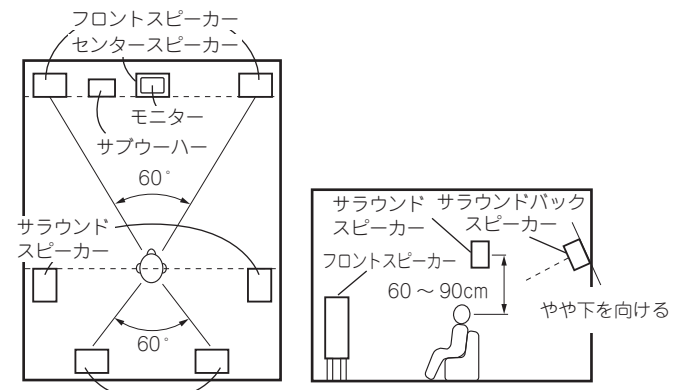
サラウンドバックスピーカーを使用することによって、後方の定位感が大幅に向上します。そのためサラウンド L、R チャンネルの役割は、前後の音像のスムーズなつながりが重要になってきます。上図にもあるように、映画館におけるサラウンド信号は、リスナーの前方側面からも再生され、空間を漂うような音像を実現します。これらを再現するため、サラウンド L、R チャンネルのスピーカーを従来よりやや前寄りに設置することを推奨します。なお、この場合従来の 5.1ch ソースを THX サラウンド EX モードで再生することによってサラウンド効果が高まる場合があります。サラウンドモードの選択は、それぞれのサラウンド効果を確認して決定してください。

スピーカーの設置例

次にスピーカーの配置例をご紹介します。これらを参考に、お手持ちのスピーカーを種類や用途に合わせて配置してください。

【1】 THX サラウンド EX システム（サラウンドバックスピーカーを使用）の場合

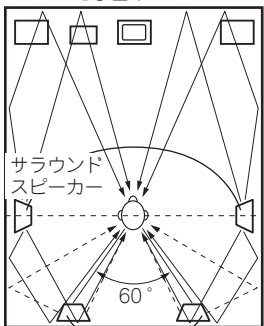
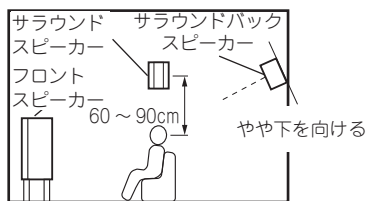
① 主に映画再生をおこなう場合

ご使用になるサラウンドスピーカーがシングルウェイまたは 2 ウェイスピーカーの場合におすすめします。

【上面から見た図】

【側面から見た図】

② **映画再生をメインにおこない、サラウンドスピーカーに拡散型スピーカーを使用する場合**

映画再生をより効果的におこなうために、サラウンドスピーカーにダイポール（THX）特性やトライポール特性などを持つ、拡散音場型のスピーカーを用いる場合は、サラウンドスピーカーの設置場所を①に比べてやや前寄りにします。

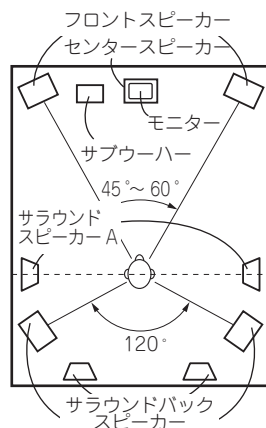
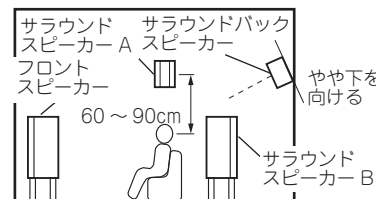
サラウンド音の視聴ポイントに到達するイメージ

【上面から見た図】　**【側面から見た図】**

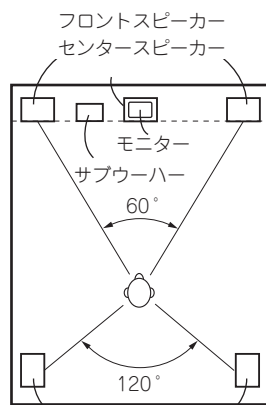
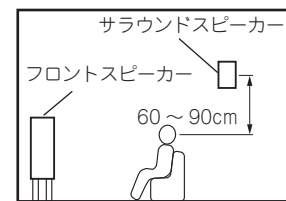
③ **映画再生または音楽再生のサラウンドスピーカーを使用する場合**

映画再生用のサラウンドスピーカーを A 端子に、マルチチャンネル音楽再生用のサラウンドスピーカーを B 端子に接続します。サラウンドスピーカーの設定にてサラウンドスピーカーの切り替えの設定をおこないます。（操作方法は 35 ページをご覧ください。）
主に映画再生をおこなうサラウンドモードをスピーカー A に、マルチチャンネル音楽再生をおこなうサラウンドモードをスピーカー B に設定します。

【 例 】

Dolby/DTS サラウンドなどの映画ソース
“THX または THX Cinema モード”：スピーカー A を設定 DVD-Video や DTS CD などの音楽ソース
“Dolby/DTS サラウンド”：スピーカー B を設定

映画再生のときには、HOME THX CINEMA を ON、マルチチャンネル音楽再生のときには OFF にすることによって、ワンタッチでスピーカーの切り替えがおこなえます。

【上面から見た図】　**【側面から見た図】**

【2】サラウンドバックスピーカーを使用しない場合

【上面から見た図】　**【側面から見た図】**

サラウンドについて

本機に内蔵のデジタル信号処理回路のはたらきにより、プログラムソースを映画館と同じ臨場感でサラウンド再生をお楽しみいただけます。

ドルビーサラウンド

ドルビーデジタル

ドルビーデジタルは、ドルビーラボラトリーズにより開発されたマルチチャンネルデジタル信号フォーマットです。
再生チャンネルは、フロント 3 チャンネル（FL、FR、C）とサラウンド 2 チャンネル（SL、SR）、低音域専用の LFE チャンネルの合計 5.1 チャンネルで構成されています。
このため、チャンネル間のクロストークもなく、音の遠近感、移動感、定位感など立体感のある音場をリアルに再現することができます。
AV ルームでの映画ソフト再生においても、リアルで圧倒的な臨場感を生み出します。

ドルビーデジタルプラス

ドルビーデジタルプラスはドルビーデジタルを改良した信号フォーマットで、最大 7.1ch のデジタルディスクリート音声対応とともに、データビットレートに余裕を持たせることにより音質の向上が図られています。従来のドルビーデジタルに対して上位互換であるため、ソース信号や再生機器の状況に応じて、より柔軟性の高い運用が可能となっています。

ドルビー TrueHD

ドルビー TrueHD はドルビーラボラトリーズの高精細音声技術で、ロスレス符号化技術を用いることによりマスター音声の忠実な再現を可能としています。
サンプリング周波数とチャンネルも最大 96kHz/7.1ch に対応し、特に音質を重視したアプリケーションに採用されています。

ドルビープロロジック II

ドルビープロロジック II は、ドルビーラボラトリーズにより開発されたマトリクスデコード技術です。
CD のような通常の音楽は 5 チャンネルの信号にエンコードし、優れた立体音域効果を発揮します。
サラウンドチャンネルはステレオ化、フルバンド化（周波数特性 20Hz ～ 20kHz 以上）し、あらゆるステレオ音源を臨場感豊かな立体音像でお楽しみいただけます。

ドルビープロロジック IIx

ドルビープロロジック IIx は、ドルビープロロジック II をさらに改良したマトリクスデコード技術です。
2 チャンネルで記録された音声をデコードし、自然な最大 7.1 チャンネルの音声を再生できます。
音楽再生に適した「Music」モードと映画再生に適した「Cinema」モード、ゲームをお楽しみになるときに最適な「Game」モードがあります。

ドルビーデジタル EX

ドルビーデジタル EX は、ドルビー研究所とルーカスフィルム社が共同で開発した音響フォーマット“DOLBY DIGITAL SURROUND EX”を、家庭で楽しむためにドルビー研究所が提案した 6.1ch のサラウンドフォーマットです。
サラウンドバックチャンネルを含めた 6.1ch での音場再生により、空間表現力、定位感が向上します。

ヘッドホン

ドルビーラボラトリーズと豪州レイクテクノロジー社との共同開発による立体音響技術で、サラウンド音場を通常のヘッドホンで再生できる技術です。
元来、ヘッドホンではすべての音が頭の中で鳴ってしまい長時間の鑑賞は苦痛となりますが、部屋でのスピーカー再生をシミュレートしたドルビーヘッドホンは音源が前方あるいは側面にしっかり頭外定位するため、まるで映画館かホームシアターにいるような迫力のあるサウンドを聴くことが可能です。この技術は主としてドルビーデジタルまたはドルビープロロジックサラウンドのデコード機能を組み込んだマルチチャンネルオーディオ / ビデオ機器を対象にしており、高性能デジタル信号処理用チップ（DSP）に組み込んで動作させます。
ドルビーヘッドホンはマルチチャンネル音源だけでなくステレオプログラムにも効果的です。

※ **ドルビーサラウンド録音されたソースについて**
ドルビーサラウンド録音されたソースには以下のロゴマークが表示されています。
ドルビーサラウンド対応マーク： DOLBY SURROUND

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro Logic およびダブル D 記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

DTS サラウンド

DTS デジタルサラウンド

DTS デジタルサラウンドは DTS 社の標準デジタルサラウンドフォーマットで、サンプリング周波数が 44.1kHz または 48kHz、再生チャンネル数が最大 5.1ch のデジタルディスクリートサラウンド音声フォーマットです。

DTS-HD High Resolution Audio

DTS-HD ハイレゾリューションオーディオは従来の DTS、DTS-ES、DTS96/24 フォーマットを改良した信号フォーマットで、サンプリング周波数の 96kHz/48kHz 対応に加えて最大 7.1ch のデジタルディスクリート音声に対応しています。余裕あるデータビットレートによって高音質化を図るとともに、従来の DTS デジタルサラウンド 5.1ch のデータも含むため従来製品との完全な互換性を有しています。

DTS-HD Master Audio

DTS-HD マスターオーディオは DTS 社のロスレス音声フォーマットで、最大 96kHz/7.1ch に対応し、さらにロスレス音声符号化技術によってマスター音声の忠実な再現を可能としています。また、従来の DTS デジタルサラウンド 5.1ch のデータも含むため従来製品との完全な互換性を有しています。

DTS-ES™ Discrete 6.1

DTS-ES™ ディスクリート 6.1 は、DTS デジタルサラウンド音声に加えて SB チャンネルを追加した 6.1ch のデジタルディスクリート音声フォーマットです。デコーダーに応じて従来の 5.1ch 音声としてデコードすることも可能です。

DTS-ES™ Matrix 6.1

DTS-ES™ マトリクス 6.1 は、DTS デジタルサラウンド音声に SB チャンネルをマトリクスエンコードにて挿入した 6.1ch 音声フォーマットです。デコーダーに応じて従来の 5.1ch 音声としてデコードすることも可能です。

DTS NEO:6™ サラウンド

DTS NEO:6™ は、2 チャンネルソースを 6.1 チャンネルのサラウンド再生するマトリクスデコード技術です。映画再生に適した「DTS NEO:6 CINEMA」と、音楽再生に適した「DTS NEO:6 MUSIC」があります。

DTS 96/24

DTS 96/24 は、DVD-Video 上でサンプリング周波数 96kHz/ 量子化ビット数 24bit の高音質再生を可能としたデジタル音声フォーマットです。チャンネル数は 5.1ch となります。

本機は DTS, Inc. からのライセンス契約に基づき製造されています。米国特許第 5,451,942 号、5,956,674 号、5,974,380 号、5,978,762 号、6,226,616 号、6,487,535 号その他、米国内および国外特許もしくは特許出願物。DTS のロゴ、シンボル、DTS-HD および DTS-HD Master Audio は、DTS, Inc. の商標です。

Home THX Cinema Surround

THX は、THX 社の開発した独自規格と技術を集約したものです。THX は、映画館でもホームシアターでも、映画監督の思い描いたサウンドトラックをできる限り忠実に再現したいという、ジョージ・ルーカスの個人的な希望をもとに開発されました。
映画のサウンドトラックは、ダビングステージと呼ばれる特別の映画館でミキシングがおこなわれていて、同等の装置と条件を備えた映画館での上映のために作られています。そして、映画館向けに作られたサウンドトラックは、そのままレーザーディスクや VHS テープ、DVD などに移され、小規模なホームシアターでの再生のために変更されることはありません。
THX エンジニアは、映画館環境のサウンドに対して、音的・空間的エラーの修正をおこない、ホームシアター向けに正確に変換する技術を開発し、特許を取得しました。本機では Home THX Cinema モードをオンにすると、Dolby Pro Logic、Dolby Digital、または DTS デコーダーに続いて、THX 処理が自動的に追加されます。

リ・イコライゼイション（Re-Equalization™）

映画サウンドトラックの音的バランスは、家庭用オーディオ機器で再生すると明るすぎたり、うるさすぎたりします。これは映画サウンドトラックが、家庭用とは大きく異なるプロフェッショナル用の装置を使った大きな映画館での上映向けに作られているためです。リ・イコライゼイションは、サウンドトラックを小型のホームシアター環境で再生するための適切な音的バランスを回復することができます。

ティンバーマッチング（Timbre Maching™）

人間の耳は、音の来る方向によって聴覚を変化させています。映画館では、サラウンドスピーカーが並んでいるため、サウンド情報が全方向からやってきます。しかしホームシアターでは、頭部の側面に位置する2つのスピーカーのみが使われます。ティンバーマッチング機能は、サラウンドスピーカーへの情報をフィルター処理することで、フロントスピーカーからのサウンドの持つ音的特性によりマッチさせることができます。これによって、フロントスピーカーからサラウンドスピーカーへのシームレスなサウンドの広がりが実現します。

アダプティブディコリレーション（Adaptive Decorrelation™）

映画館では、多数のサラウンドスピーカーが創り出す、包み込むようなサラウンドサウンドが体験できますが、ホームシアターでは、スピーカーが通常2つしかありません。そのためサラウンドスピーカーからのサウンドは、空間的な広がりや包み込む感じを欠いたヘッドホンのように聞こえてしまうことがあります。また、中央の座席位置から離れると、サラウンドサウンドは近接したスピーカーに取り込まれてしまいます。アダプティブディコリレーションは、サラウンドチャンネルの時間と位相の関係を、もう1つのサラウンドチャンネルに対してわずかに変化させます。これによってリスニング位置が拡大し、2つのスピーカーだけを使って映画館と同じ広がりのあるサウンドを体験することができます。

THX ウルトラ 2（THX Ultra2™）

ホームシアター製品がTHX ウルトラ2の認定を受けるには、上記の機能をすべて組み込み、さらに品質とパフォーマンスに関する厳しいテストに合格しなければなりません。そうして初めて製品に表示することが許されるTHX ウルトラ2のロゴは、お買い求めいただいたホームシアター製品が今後長年にわたって優れたパフォーマンスを提供することの保証となるものです。THX ウルトラ2の要件は、パワーアンプパフォーマンス、プリアンプパフォーマンス、操作性のほか、デジタル、アナログ両領域に関する何百ものパラメーターにおよび、製品のあらゆる性能、規格にわたります。
従来のTHX ウルトラ規格に対してパワーアンプ部の向上を図るとともに、THX ウルトラ2シネマモードとTHX ミュージックモードとTHX ゲームズモードの3つのサラウンドモードが新たに追加されました。

THX Ultra2 Cinema

THX ウルトラ2シネマモードは8台のスピーカーを使用して通常の5.1ch映画ソースを再生する場合に最適なサラウンドモードです。このモードでは、サラウンドスピーカーとサラウンドバックスピーカーをブレンドする新しいTHX 処理でサラウンドの広がり感と定位感を同時に実現し最適なサラウンド音場を生み出します。
THX ウルトラ2シネマモードで再生中は、DTS-ES（マトリックスとディスクリート）やドルビーデジタルサラウンドEXでエンコードされたサウンドトラックに認識信号が含まれる場合には自動的に検出します。

THX Music Mode

5.1ch音楽ソースを再生する場合にはTHX ミュージックモードを選択します。
DTSやドルビーデジタルなどで収録された5.1chの音楽ソースのサラウンドチャンネルに新しいTHX 処理をおこなうことで音楽ソースに合った音場効果が得られます。

THX Games Mode

5.1chゲームソースまたは2chゲームソースを再生する場合には、THX ゲームズモードを選択します。
THX ゲームズモードは最高のゲームサウンドの体験を提供します。ドルビーデジタルやDTSなどで収録された、5.1chのゲームソースを再生する場合に最適な音場効果が得られます。ゲームオーディオでは、映画や音楽ソースとは異なった環境で視聴されます。ゲームオーディオの背景音的要素を失わないように、360度の自然なサラウンドの広がりを実現できる再生システムを提供します。
また、マルチチャンネルのゲームソースを再生する場合とは異なった THX 処理により、アナログ、PCM、ドルビーデジタルおよびDTSなどで収録された2chのゲームオーディオトラックを再生する場合でも最適な音場効果が得られます。

アドバンストスピーカーアレイ（Advanced Speaker Array™）

ASA処理はサラウンドバックスピーカーを2台使用し、その2台を近接して設置した場合に最高の能力を発揮します。この技術はTHX ウルトラ2シネマ、THX ミュージックモードとTHX サラウンドEXで使用されます。

Boundary Gain Compensation

THX ウルトラ2対応のサブウーハーや超低域の再生能力のある（周波数特性が20Hz程度まで伸びている）サブウーハーを使用した場合に低域の周波数帯が持ち上がってしまいブーミーに感じられることがありますが、この技術により利得を補正して聴感レベルをフラットにします。

“THX”、“Home THX”、“Re-Equalization”、“Time Matching”、“Adaptive Decorrelation”、“THX Ultra” および “Advanced Speaker Array” はTHX社の登録商標です。

THX サラウンド EX について（THX SURROUND EX™）

1999年、「スターウォーズエピソード1」の公開と共に、新しいサラウンドシステムがスタートしました。
「ドルビーデジタル・サラウンドEX」は新方式の映画サウンドトラックで、サラウンドチャンネルの空間表現力、定位感を大幅に拡大します。これにより、360度の移動と頭上を通過するような移動音効果を生み出すことが可能です。
このシステムは、THXとドルビー研究所の共同作業によって生まれました。THX社の「空間表現力の向上、360度均一な定位感の実現」というテーマとドルビー研究所の持つマトリクスエンコード技術を融合し、既存システム（ドルビーデジタル5.1チャンネルシステム）との互換性を重視し、且つ「サラウンドバック（SB）チャンネル」の新設によって映画館のマルチサラウンドスピーカーシステムにおける後方定位、両サイドから後方へと回り込む音像、正面から真後ろへ移動する音像といった従来の5.1チャンネルシステムをさらに上回る、多彩なサウンドデザインを可能としました。
サラウンドバックチャンネルの信号は、ドルビーデジタル信号のSL（サラウンドL）、SR（サラウンドR）チャンネルの双方にマトリクスエンコードを施し挿入されます。この信号は、再生時ドルビーデジタルデコーダー内の高精度デジタルマトリクスデコーダーによってSL、SR、そしてSBチャンネルにデコードされ、6.1チャンネルの信号として出力されます。本機ではさらにこの信号に対してホームTHXシネマ処理を施し、THX サラウンドEXシステムとして再生されます。
もしSBチャンネル再生の環境がない場合でも、ドルビーデジタル・サラウンドEX信号は既存の5.1チャンネル再生システムと100%の互換性を有しており、そのまま再生が可能です。この場合、SBチャンネルの信号は、SL、SRチャンネルの双方からモノラル信号として再生されるため、信号成分の欠落はありません。ただし、空間表現力や定位感といったTHX サラウンドEX特有の効果は、従来の5.1チャンネルサラウンドシステム相当となります。

"THX"と"Ultra2"はTHXの登録商標です。
"Surround EX"は、THXとドルビーラボラトリーズの技術により協同開発されました。"Surround EX"は、ドルビーラボラトリーズの登録商標であり、認可のもと使用されています。

Audyssey

Audyssey MultEQ® XT

Audyssey MultEQ® XTは、リスニングエリア内の複数のリスナーを対象に、最適なリスニング環境を提供することを目的とした技術であり、複数のリスニングポイントで収集されたテストデータを総合的に分析し、リスニングエリア全体の音質を向上するイコライジング処理をおこないます。
Audyssey MultEQは広いリスニングエリアの周波数特性の問題を補正するだけでなく、全自動サラウンドシステムセットアップも遂行します。
詳しくは、30ページをご覧ください。

Audyssey Dynamic EQ™

Audyssey Dynamic EQは、人間の認知や部屋の音響特性を考慮し、音量の低下による音質劣化の問題を解決します。Dynamic EQは、再生音量の変化に応じて最適な周波数特性とサラウンドレベルを選択します。その結果、音量の変化にかかわらず、低音特性、音色バランス、サラウンド効果を得続けることができます。これは、ラウドネス補正を提供するために必要である実際の部屋の音声出力レベルと入力ソースレベルの情報を結合する最初の技術です。Audyssey Dynamic EQは、Audyssey MultEQと連携して動作し、すべてのリスナーにあらゆるボリュームレベルに於いて適正にバランス調整された音を提供します。

AUDYSSEY MULTEQ XT DYNAMIC EQ
本機はAudyssey ラボラトリーズからのライセンス契約に基づき製造されています。米国共同で外国特許審議中。Audyssey MultEQ® XTはAudyssey ラボラトリーズの登録商標です。
Dynamic EQ™はAudyssey ラボラトリーズの商標です。

詳しくは、www.audyssey.comをご覧ください。

HDCD® デコーダー

HDCD®は、従来のCDフォーマットとの互換性を保ちながら、デジタルレコーディング時に起こる歪みを大幅に低減するエンコーディング・デコーディング技術で、ダイナミックレンジの拡大とハイレゾリューションを実現できます。
通常のCDとHDCD対応CDとを自動的に判別して、それぞれに適応したデジタル処理をおこなっています。

HDCD®、HDCD®、High Definition Compatible Digital®およびMicrosoft®は、米国内や他の国におけるマイクロソフト社の登録商標または商標です。HDCDシステムはマイクロソフト社からのライセンスに基づき製造されています。この製品は下記の1つ以上の特許によって保護されています。米国内:5,479,168、5,638,074、5,640,161、5,808,574、5,838,274、5,854,600、5,864,311、5,872,531。オーストラリア国内:669114。その他の特許は出願中。

DENON LINK

DENON LINKは、高速伝送素子を用いたバランス伝送タイプのデジタルリンクであり、専用端子を持ったDENONのDVDプレーヤーと1本の専用ケーブルで接続することで、信号劣化の少ない高速・高品位なデジタルオーディオ伝送を可能にし、高音質再生を実現するDENON独自のデジタルインターフェースです。DVDオーディオの192kHz/24bitの2chデジタル信号やPCMによるマルチチャンネル信号などのデジタル伝送を実現します。また、DENON LINK 3rd Edition搭載のプレーヤーを接続することにより、スーパーオーディオCDのオーディオコンテンツをフルスペックでデジタル伝送することが可能です。

Advanced AL24 Processing Multi channel

時間軸領域の情報量拡張"Advanced AL24 Processing"搭載

従来のbit拡張技術"AL24 Processing Plus"に加え、独自の高速信号検出・処理技術で時間軸領域での情報量を大幅に向上させた"Advanced AL24 Processing"を開発しました。
16bitの元情報から24bitへのデータ拡張に加え、さらに"Advanced AL24 Processing"は時間軸上でのデータ補間、つまりアップコンバート・サンプリングによる、オリジナルデータを損なうことのない自然な補間処理をおこないます。また、デジタルフィルターもより適応性を広げ、リンギングのないパルス応答をはじめ、パルシブな楽音データやアタック音に対しても、最適なフィルタリング演算処理をおこないます。
これにより、音楽の持つ微妙なニュアンスや、演奏者の位置、演奏会場(ステージ)の広さや高さ、奥行きといった空間情報を再現します。DSD DIRECT以外のすべてのモード、チャンネルにおいて、"Advaced A24 Processing"再生をおこないます。

MPEG-2 AACについて

MPEG-2 AAC(Advanced Audio Coding) は、MPEG(Moving Picture Experts Group)により開発されたマルチチャンネル音声フォーマットです。
高音質・高圧縮率を確保できることが特長です。
MPEG-2 AACにより地上デジタル放送やBSデジタル放送などで配信される高音質音楽番組やマルチチャンネル音声の映画など、臨場感あふれるサラウンド再生が楽しめます。

❑ MPEG-2 AACのスペック(概要)

- アルゴリズム：MAINプロファイル
  LC(Low Complexity)プロファイル
  SSR(Scalable Sampling Rate)プロファイル
- サンプリング周波数：
  8kHzから96kHzまで対応
- チャンネル数：最大48チャンネルのマルチチャンネル伝送に対応
- その他の機能：LFE(Low Frequency Effect)サポート
  マルチリンガル(複数言語)サポート

❑ 米国におけるパテントナンバー

08/937,950	5 297 236	5,481,614	5,490,170
5848391	4,914,701	5,592,584	5,264,846
5,291,557	5,235,671	5,781,888	5,268,685
5,451,954	07/640,550	08/039,478	5,375,189
5 400 433	5,579,430	08/211,547	5,581,654
5,222,189	08/678,666	5,703,999	05-183,988
5,357,594	98/03037	08/557,046	5,548,574
5 752 225	97/02875	08/894,844	08/506,729
5,394,473	97/02874	5,299,238	08/576,495
5,583,962	98/03036	5,299,239	5,717,821
5,274,740	5,227,788	5,299,240	08/392,756
5,633,981	5,285,498	5,197,087	

HDMI (High-Definition Multimedia Interface)

HDMI とは、DVI（Digital Visual Interface）をベースに、民生機器用に機能を最適化した次世代テレビ向けのデジタルインターフェース規格です。
非圧縮のデジタル映像と、マルチチャンネルオーディオの転送が 1 つの接続でおこなえます。
また、DVI と同様にデジタル画像信号の暗号化方式である著作権保護技術の HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）にも対応しています。

Deep Color

微小な映像データを増やすことで、色の変化をより滑らかにして、異なる色彩間の微妙なグラデーションを表現することが可能になります。また、黒と白の間に従来よりもより多くのグレーを表現することが可能になります。

xvYCC

次世代の色空間 “xvYCC” は現行のハイビジョンテレビの 1.8 倍の色情報を再現することができます。
色の表現がより正確になり、自然で生き生きとした映像を表現することが可能になります。

Lip Sync

HDMI 1.3 対応機器には、自動的に映像と音声の同期をおこなう機能を内蔵しており、正確な同期処理を行うことができます。

サラウンドモードとパラメーター一覧表

サラウンドモード	信号と調節可能なモード										
	チャンネル出力					パラメーター　※（　）内は初期値					
	フロント 左 / 右	センター	サラウンド 左 / 右	サラウンドバック 左 / 右	サブウーハー	ダイナミックレンジ圧縮 *1	DRC *2	LFE *3	AFDM *1	サラウンドバック出力	シネマ EQ
PURE DIRECT, DIRECT	○	×	×	×	◎	○（オフ）	○（オート）	○（0dB）	×	×	×
DSD DIRECT	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
DSD MULTI DIRECT	○	◎	◎	◎	◎	×	×	○（0dB）	×	○	×
MULTI CH DIRECT	○	◎	◎	◎	◎	×	×	○（0dB）	○（オン）	○	×
STEREO	○	×	×	×	◎	○（オフ）	○（オート）	○（0dB）	×	×	×
EXT. IN	○	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	○（注 6）	×
MULTI CH IN	○	◎	◎	◎	◎	×	×	○（0dB）	○（オン）	○	×
WIDE SCREEN	○	◎	◎	◎	◎	○（オフ）	○（オート）	○（0dB）	×	○	○（オフ）
HOME THX CINEMA (2ch)	○	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	○	×
HOME THX CINEMA (5.1ch)	○	◎	◎	◎	◎	×	×	○（0dB）	○（オン）	○	×
DOLBY PRO LOGIC IIx	○	◎	◎	◎	◎	○（オフ）	○（オート）	×	×	○	○（注 1）
DOLBY PRO LOGIC II	○	◎	◎	×	◎	○（オフ）	○（オート）	×	×	○	○（注 2）
DTS NEO:6	○	◎	◎	◎	◎	○（オフ）	○（オート）	×	×	○	○（注 1）
DOLBY DIGITAL	○	◎	◎	◎	◎	○（オフ）	×	○（0dB）	○（オン）	○	○（オフ）
DOLBY DIGITAL Plus	○	◎	◎	◎	◎	○（オフ）	×	○（0dB）	○（オン）	○	○（オフ）
DOLBY True HD	○	◎	◎	◎	◎	×	○（オート）	○（0dB）	○（オン）	○	○（オフ）
DTS SURROUND	○	◎	◎	◎	◎	○（オフ）	×	○（0dB）	○（オン）	○	○（オフ）
DTS 96 / 24	○	◎	◎	◎	◎	○（オフ）	×	○（0dB）	○（オン）	○	○（オフ）
DTS-HD	○	◎	◎	◎	◎	○（オフ）	×	○（0dB）	○（オン）	○	○（オフ）
7CH STEREO	○	◎	◎	◎	◎	○（オフ）	○（オート）	○（0dB）	×	○	×
SUPER STADIUM	○	◎	◎	◎	◎	○（オフ）	○（オート）	○（0dB）	×	○	×
ROCK ARENA	○	◎	◎	◎	◎	○（オフ）	○（オート）	○（0dB）	×	○	×
JAZZ CLUB	○	◎	◎	◎	◎	○（オフ）	○（オート）	○（0dB）	×	○	×
CLASSIC CONCERT	○	◎	◎	◎	◎	○（オフ）	○（オート）	○（0dB）	×	○	×
MONO MOVIE	○	◎	◎	◎	◎	○（オフ）	○（オート）	○（0dB）	×	○	×
VIDEO GAME	○	◎	◎	◎	◎	○（オフ）	○（オート）	○（0dB）	×	○	×
MATRIX	○	◎	◎	◎	◎	○（オフ）	○（オート）	○（0dB）	×	○	×
DOLBY HEADPHONE	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

○：信号有り / 制御可能
×：信号無し / 制御不可能
◎：スピーカー有り無しの設定により、ON/OFF 可能
注 1：このパラメーターは GUI メニューの “パラメーター” – “音声” – “サラウンドパラメーター” – “モード” の設定が “Cinema” のときに使用できます（☞56 ページ）。
注 2：このパラメーターは GUI メニューの “パラメーター” – “音声” – “サラウンドパラメーター” – “モード” の設定が “Cinema” または “Pro Logic” のときに使用できます（☞56 ページ）。
注 6：このパラメーターは、GUI メニューの “マニュアル設定” – “音声の設定” – “外部入力の設定” – “モード” の設定が “DSP” のときに使用できます（☞38 ページ）。

注
*1：ドルビーデジタルおよび DTS 信号再生時
*2：ドルビー TrueHD 信号再生時
*3：ドルビーデジタル、DTS、DVD オーディオおよびスーパーオーディオ CD 再生時

サラウンドモード	信号と調節可能なモード																
	パラメーター　※（　）内は初期値																
	モード	デコーダー	ルームサイズ	エフェクトレベル	ディレイタイム	サブウーハーオン / オフ	PRO LOGIC II/IIx MUSIC モードのみ			NEO:6 MUSIC モードのみ	EXT. IN のみ		トーンコントロール（注7）	ナイトモード	ルーム EQ	Dynamic EQ*	RESTORER
							パノラマ	ディメンション	センター幅	センターイメージ	サブウーハーアッテネーター	入力チャンネル					
PURE DIRECT, DIRECT	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○（オフ）	○（注5）	○（注5）	○
DSD DIRECT	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
DSD MULTI DIRECT	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
MULTI CH DIRECT	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○（オフ）	○（注5）	○（注5）	×
STEREO	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○（0dB）	○（オフ）	○（オフ）	○（オフ）	○
EXT. IN	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○（注6）	×	×	×	×	×
MULTI CH IN	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○（0dB）	○（オフ）	○（オフ）	○（オフ）	×
WIDE SCREEN	×	×	×	○（オン，10）	×	×	×	×	×	×	×	×	○（0dB）	○（オフ）	○（オフ）	○（オフ）	○
HOME THX CINEMA (2ch)	○（PLIIx C）	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○（オフ）	○（オフ）	○（オフ）	○
HOME THX CINEMA (5.1ch)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○（オフ）	○（オフ）	○（オフ）	×
DOLBY PRO LOGIC IIx	○（Cinema）	×	×	×	×	×	○（オフ）	○（3）	○（3）	×	×	×	○（0dB）	○（オフ）	○（オフ）	○（オフ）	○
DOLBY PRO LOGIC II	○（Cinema）	×	×	×	×	×	○（オフ）	○（3）	○（3）	×	×	×	○（0dB）	○（オフ）	○（オフ）	○（オフ）	○
DTS NEO:6	○（Cinema）	×	×	×	×	×	×	×	×	○（0.3）	×	×	○（0dB）	○（オフ）	○（オフ）	○（オフ）	○
DOLBY DIGITAL	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○（0dB）	○（オフ）	○（オフ）	○（オフ）	×
DOLBY DIGITAL Plus	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○（0dB）	×	○（オフ）	○（オフ）	×
DOLBY True HD	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○（0dB）	×	○（オフ）	○（オフ）	×
DTS SURROUND	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○（0dB）	○（オフ）	○（オフ）	○（オフ）	×
DTS 96 / 24	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○（0dB）	○（オフ）	○（オフ）	○（オフ）	×
DTS-HD	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○（0dB）	×	○（オフ）	○（オフ）	×
7CH STEREO	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○（0dB）	○（オフ）	○（オフ）	○（オフ）	○
SUPER STADIUM	×	×	○（標準）	○（10）	×	×	×	×	×	×	×	×	○（注3）	○（オフ）	○（オフ）	○（オフ）	○
ROCK ARENA	×	×	○（標準）	○（10）	×	×	×	×	×	×	×	×	○（注4）	○（オフ）	○（オフ）	○（オフ）	○
JAZZ CLUB	×	×	○（標準）	○（10）	×	×	×	×	×	×	×	×	○（0dB）	○（オフ）	○（オフ）	○（オフ）	○
CLASSIC CONCERT	×	×	○（標準）	○（10）	×	×	×	×	×	×	×	×	○（0dB）	○（オフ）	○（オフ）	○（オフ）	○
MONO MOVIE	×	×	○（標準）	○（0）	×	×	×	×	×	×	×	×	○（0dB）	○（オフ）	○（オフ）	○（オフ）	○
VIDEO GAME	×	×	○（標準）	○（10）	×	×	×	×	×	×	×	×	○（0dB）	○（オフ）	○（オフ）	○（オフ）	○
MATRIX	×	×	×	×	○（30ms）	×	×	×	×	×	×	×	○（0dB）	○（オフ）	○（オフ）	○（オフ）	○
DOLBY HEADPHONE	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○（0dB）	○（オフ）	○（オフ）	○（オフ）	○

○：信号有り / 制御可能
×：信号無し / 制御不可能
注 1：“Cinema” モードのみ。
注 2：“Cinema”、“Pro Logic” モードのみ。
注 3：低音 +6 dB、高音 0 dB
注 4：低音 +6 dB、高音 +4 dB
注 5：“ダイレクトモード” の設定により使用できます（☞56 ページ）。
注 6：“DSP” モードのみ。
注 7：“Dynamic EQ” が “オン” に設定されている場合は選択できません。
＊：“Room EQ” が “Audyssey”、“Audyssey Flat” または “Audyssey Byp. L/R” に設定されているときに設定可能です（☞59 ページ）。

入力信号に対するサラウンドモード表示

ボタン / サラウンドモード	注	アナログ	リニアPCM / WAV	WMA (Windows Media Audio) / MP3 / MPEG-4 AAC / FLAC	DTS-HD: DTS-HD Master Audio	DTS-HD: DTS-HD High Resolution Audio	DTS: DTS ES DSCRT（フラグ有り）	DTS: DTS ES MTRX（フラグ有り）	DTS: DTS (5.1ch)	DTS: DTS 96/24	DOLBY: DOLBY TrueHD	DOLBY: DOLBY DIGITAL Plus	DOLBY DIGITAL: DOLBY DIGITAL EX（フラグ有り）	DOLBY DIGITAL: DOLBY DIGITAL EX（フラグ無し）	DOLBY DIGITAL: DOLBY DIGITAL (5.1/5/4ch)	DOLBY DIGITAL: DOLBY DIGITAL (4/3ch)	DOLBY DIGITAL: DOLBY DIGITAL (2ch)	MPEG–2 AAC: AAC (5.1ch)	MPEG–2 AAC: AAC (2ch)	MPEG–2 AAC: AAC (1+1ch)	DVD-AUDIO: DVD-Audio (multi ch)	DVD-AUDIO: DVD-Audio (2ch)	Super Audio CD: DSD (multi ch)	Super Audio CD: DSD (2ch)
HOME THX CINEMA																								
ES DSCRT6.1 + THX	*1	×	×	×	○	○	◎	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
ES MTRX6.1 + THX	*1	×	×	×	○	○	×	◎	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
THX SURROUND EX	*1	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	◎	○	○	○	×	×	×	×	○	×	○	×
THX Ultra2 Cinema	*2	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	○	×
THX Music Mode	*2	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	×	○	×
THX Games Mode	*2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○
THX Cinema		×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	○	×
PLⅡx C + THX	*3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○
PLⅡ C + THX		○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	○
DOLBY PL + THX		○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	○
NEO:6 + THX		○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	○
MULTI CH 7.1 + THX		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○ (7.1)	×	×	×
MULTI CH 5.1 + THX		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×
STANDARD																								
DTS SURROUND																								
DTS-HD MSTR		×	×	×	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
DTS-HD HI RES		×	×	×	×	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
DTS ES DSCRT6.1	*1	×	×	×	×	×	● ◎	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
DTS ES MTRX6.1	*1	×	×	×	×	×	×	● ◎	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
DTS SURROUND		×	×	×	×	×	○	○	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
DTS 96 / 24		×	×	×	×	×	×	×	×	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
DTS (–HD) + PLⅡx CINEMA	*2	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
DTS (–HD) + PLⅡx MUSIC	*1	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
DTS (–HD) + NEO:6	*1	×	×	×	○	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
DTS NEO:6 CINEMA		○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	○
DTS NEO:6 MUSIC		○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	○

注

*1: サラウンドバックスピーカーを“無し”に設定している場合は、選択できません（☞33 ページ）。

*2: サラウンドバックスピーカーを“1 台”または“無し”に設定している場合は、選択できません（☞33 ページ）。

*3: 入力信号が 2ch 以外のときに、サラウンドバックスピーカーを“1 台”または“無し”に設定している場合は選択できません。

●：初期状態で選ばれるモード
◎：“AFDM”が“オン”に設定されているときに固定されるモード
○：選択可能なモード
×：選択不可能なモード

ボタン	注	入力信号																						
					DTS-HD		DTS				DOLBY		DOLBY DIGITAL					MPEG–2 AAC			DVD-AUDIO		スーパーオーディオ CD	
サラウンドモード	注	アナログ	リニア PCM / WAV	WMA (Windows Media Audio) / MP3/MPEG-4 AAC / FLAC	DTS-HD Master Audio	DTS-HD High Resolution Audio	DTS ES DSCRT （フラグ有り）	DTS ES MTRX （フラグ有り）	DTS (5.1ch)	DTS 96/24	DOLBY TrueHD	DOLBY DIGITAL Plus	DOLBY DIGITAL EX （フラグ有り）	DOLBY DIGITAL EX （フラグ無し）	DOLBY DIGITAL (5.1/5/4ch)	DOLBY DIGITAL (4/3ch)	DOLBY DIGITAL (2ch)	AAC (5.1ch)	AAC (2ch)	AAC (1+1ch)	DVD-Audio (multi ch)	DVD-Audio (2ch)	DSD (multi ch)	DSD (2ch)
STANDARD																								
DOLBY SURROUND																								
DOLBY TrueHD		×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
DOLBY DIGITAL+		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
DOLBY DIGITAL EX	*1	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
DOLBY (D+) (HD) +EX	*1	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
DOLBY DIGITAL		×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	●	●	●	×	×	×	×	×	○	×	×
DOLBY (D) (D+) (HD) +PLIIx CINEMA	*2	×	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	● ◎	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×
DOLBY (D) (D+) (HD) +PLIIx MUSIC	*1	×	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×
DOLBY PRO LOGIC IIx CINEMA		○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	○
DOLBY PRO LOGIC IIx MUSIC		○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	○
DOLBY PRO LOGIC IIx GAME		○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	○
DOLBY PRO LOGIC II CINEMA		○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	○
DOLBY PRO LOGIC II MUSIC		○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	○
DOLBY PRO LOGIC II GAME		○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	○
DOLBY PRO LOGIC		○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	○
DOLBY HEADPHONE	*4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
AAC																								
AAC + DOLBY EX	*1	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	×	×	×	×	×	×
AAC + PLIIx CINEMA	*2	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×
AAC + PLIIx MUSIC	*1	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×
MPEG2 AAC		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	●	×	×	×	×
MULTI CH IN																								
MULTI CH IN		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	×	●	×
MULTI IN + PLIIx CINEMA	*2	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×
MULTI IN + PLIIx MUSIC	*1	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×
MULTI IN + Dolby EX	*1	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×
MULTI CH IN 7.1		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	● ◎ (7.1)	×	×	×
DIRECT																								
DIRECT		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○
DSD DIRECT		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
DSD MULTI DIRECT		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
MULTI CH DIRECT		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×
M DIRECT + PLIIx CINEMA	*2	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×
M DIRECT + PLIIx MUSIC	*1	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×
M DIRECT + Dolby EX	*1	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×
M DIRECT 7.1		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○ (7.1)	×	×	×

注

*1：サラウンドバックスピーカーを“無し”に設定している場合は、選択できません（☞33 ページ）。

*2：サラウンドバックスピーカーを“1 台”または“無し”に設定している場合は、選択できません（☞33 ページ）。

*4：ヘッドホン端子にヘッドホンのプラグを差し込んでいる場合に、選択できます。

●：初期状態で選ばれるモード

◎：“AFDM”が“オン”に設定されているときに固定されるモード

○：選択可能なモード

×：選択不可能なモード

ボタン	注	入力信号																						
					DTS-HD		DTS				DOLBY		DOLBY DIGITAL					MPEG–2 AAC			DVD-AUDIO		Super Audio CD	
サラウンドモード		アナログ	リニアPCM / WAV	WMA (Windows Media Audio) / MP3/MPEG-4 AAC / FLAC	DTS-HD Master Audio	DTS-HD High Resolution Audio	DTS ES DSCRT（フラグ有り）	DTS ES MTRX（フラグ有り）	DTS (5.1ch)	DTS 96/24	DOLBY TrueHD	DOLBY DIGITAL Plus	DOLBY DIGITAL EX（フラグ有り）	DOLBY DIGITAL EX（フラグ無し）	DOLBY DIGITAL (5.1/5/4ch)	DOLBY DIGITAL (4/3ch)	DOLBY DIGITAL (2ch)	AAC (5.1ch)	AAC (2ch)	AAC (1+1ch)	DVD-Audio (multi ch)	DVD-Audio (2ch)	DSD (multi ch)	DSD (2ch)
STANDARD																								
PURE DIRECT																								
PURE DIRECT		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○
DSD PURE DIRECT		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
DSD MULTI PURE		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
MULTI CH PURE DIRECT		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×
M PURE D + PLIIx CINEMA	*2	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×
M PURE D + PLIIx MUSIC	*1	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×
M PURE D + Dolby EX	*1	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×
M CH PURE DIRECT 7.1		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○ (7.1)	×	×	×
DSP SIMULATION																								
7CH STEREO	*5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
WIDE SCREEN		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SUPER STADIUM		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ROCK ARENA		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
JAZZ CLUB		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
CLASSIC CONCERT		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
MONO MOVIE		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
VIDEO GAME		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
MATRIX		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
STEREO																								
STEREO		●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	●	○	●

注

*1: サラウンドバックスピーカーを“無し”に設定している場合は、選択できません（☞33 ページ）。
*2: サラウンドバックスピーカーを“1 台”または“無し”に設定している場合は、選択できません（☞33 ページ）。
*5: サラウンドバックスピーカーを“無し”に設定している場合やヘッドホンを使用している場合は、“5CH STEREO”を表示します。
サラウンド（A+B）およびサラウンドバックスピーカーを使用している場合は、“9CH STEREO”を表示します。

●：初期状態で選ばれるモード
○：選択可能なモード
×：選択不可能なモード

ネットワークについて

Windows Media Player ver.11

マイクロソフト社が無料で提供しているメディアプレーヤーです。
Windows Media Player ver.11 で作成されたプレイリストや WMA、DRM WMA、MP3、WAV ファイルなどが再生可能です。

vTuner

インターネットラジオの有料オンラインコンテンツサービスです。
本サービスに関するお問い合せは、下記 vTuner のサイトまでお願い致します。
vTuner Web サイト : http://www.radiodenon.com

本製品は、Nothing Else Matters Software and BridgeCo の知的財産権により保護されています。当該技術の本製品以外での使用または配布は、Nothing Else Matters Software and BridgeCo の許諾がない限り禁止されています。

DLNA

- DLNA および DLNA CERTIFIED は Digital Living Network Alliance (デジタルリビングネットワークアライアンス) の商標 / サービスマークです。
- コンテンツには DLNA CERTIFIED™ 製品と適合しないものがある可能性があります。

Windows Media DRM

マイクロソフト社が開発した著作権保護技術です。

- Windows Vista および Windows のロゴは Microsoft 企業グループの商標です。
- PlaysForSure ロゴ、Windows Media、Windows ロゴは米国、その他の国で、米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標になっています。
- コンテンツプロバイダーは、自らのコンテンツ(“セキュアコンテンツ”)の完全性を保護するために、本デバイス(“WM-DRM”)に内蔵された Windows Media 用デジタル権管理技術を使用し、当該コンテンツに対する自らの知的財産権(著作権を含む)が悪用されないようにしています。本デバイスは、セキュアコンテンツを再生するため、WM-DRM ソフトウェア(“WM-DRM ソフトウェア”)を使用しています。本デバイス内の WM-DRM ソフトウェアのセキュリティがあやうくなった場合、セキュアコンテンツの所有者(“セキュアコンテンツオーナー”)は、マイクロソフト社が、セキュアコンテンツをコピー・表示・再生する新たなライセンスを得る WM-DRM ソフトウェアの権利を取り消すよう要請することができます。この取り消しは、保護されていないコンテンツを再生する WM-DRM ソフトウェアの能力には影響がありません。インターネットまたはパソコンからセキュアコンテンツのライセンスをダウンロードするときはいつも、取り消された WM-DRM ソフトウェアのリストがデバイスに送られます。マイクロソフト社は、セキュアコンテンツオーナーに代わって、当該ライセンスとともに、取り消された WM-DRM ソフトウェアのリストをデバイスにダウンロードすることができます。

無線 LAN について

Wi-Fi®

無線 LAN の互換性接続を保証する団体「Wi-Fi Alliance」の相互接続性テストを合格していることを示します。

IEEE 802.11b

IEEE(米国電気電子学会)で LAN 技術の標準を策定している 802 委員会が定めた、無線 LAN の規格の一つです。無線免許無しで自由に使える 2.4GHz 帯の電波(ISM バンド)を使い、最大 11Mbps の速度で通信をおこなうことができます。

表示の数値は、無線 LAN 規格の理論上の最大値であり、実際のデータの転送速度を示すものではありません。

IEEE 802.11g

IEEE(米国電気電子学会)で LAN 技術の標準を策定している 802 委員会が定めた、無線 LAN の規格の一つです。IEEE 802.11b と互換性を持ち、同じ 2.4GHz 帯を使いながら、最大で 54Mbps の通信がおこなえます。

表示の数値は、無線 LAN 規格の理論上の最大値であり、実際のデータの転送速度を示すものではありません。

インフラストラクチャ通信

無線 LAN アクセスポイントを利用したネットワークを「インフラストラクチャ通信」といいます。
この機能を使うと、無線 LAN アクセスポイント経由で有線 LAN に接続したり、インターネットに接続したりできます。
無線 LAN アクセスポイントには、ワイヤレスブロードバンドルータなどがあります。

アドホック通信

無線LAN でパソコン同士を接続する方法を「アドホック通信」といいます。この場合、インターネットには接続しません。
一時的な簡易ネットワークを構成する場合に適しています。

ネットワーク名（SSID：Security Set Identifier）

無線 LAN のネットワークを構成するとき、混信やデータの盗難などを防ぐために、グループ分けをします。このグループ分けを「SSID（ネットワーク名）」でおこないます。さらにセキュリティ強化のために、WEP キーを設定し、「SSID」と WEP キーが一致しないと通信できないようになっています。

WEPキー（ネットワークキー）

データ通信をおこなう際にデータを暗号化するために使用する鍵情報です。本機はデータの暗号化 / 復号化ともに同一の WEP キー（ネットワークキー）を用いるため、通信する相手と同一の WEP キーを設定する必要があります。

WPA（Wi-Fi Protected Access）

Wi-Fi Allisnce が策定したセキュリティ規格です。従来の SSID（ネットワーク名）や WEP キー（ネットワークキー）に加えて、ユーザ認証機能や暗号化プロトコルを採用して、セキュリティを強化しています。

WPA2（Wi-Fi Protected Access 2）

Wi-Fi Allisnce が策定した WPA の新バージョンです。WPA と比べ、より強力な AES 暗号に対応しています。

WPA-PSK/WPA2-PSK (Pre-shared Key)

あらかじめ設定した文字列が無線 LAN アクセスポイントとクライアントで一致した場合、相互認証をおこなう簡易認証の方式です。

パスフレーズ

WPA 認証方式の一つ、WPA-PSK/WPA2-PSK 認証で使用する暗号キーのことを指します。

TKIP (Temporal Key Integrity Protocol)

WPA で使用される、ネットワークキーの一つです。暗号化アルゴリズムは WEP と同じ RC4 ですが、1 パケットごとに暗号化に使用するネットワークキーを変更することで、セキュリティレベルが高くなっています。

AES (Advanced Encryption Standard)

現在用いられている DES、3DES に代わる次世代の標準暗号方式で、強固な暗号方式として無線 LAN への幅広い普及が見込まれています。暗号化アルゴリズムには、ベルギーの暗号開発者が開発した「Rijndael（ラインダール）」が採用され、データを固定のブロック長で区切ってそれぞれ暗号化をおこないます。データ長は 128、192、256 ビット、鍵の長さは 128、192、256 ビットがサポートされていて暗号強度は非常に高く設定されています。

映像信号とモニター出力の関係

❑ メインゾーン

ビデオコンバート		入力信号				モニター出力				モニター出力（GUI メニュー表示時）			
		HDMI	COMPONENT	S-VIDEO	VIDEO	HDMI	COMPONENT	S-VIDEO	VIDEO	HDMI	COMPONENT	S-VIDEO	VIDEO
オン		×	×	×	×	※				※ *4	*4	*4	*4
		×	×	×	○	※ VIDEO*1	VIDEO*1	VIDEO*1	VIDEO*1	※ VIDEO*3	VIDEO*3	VIDEO*3	VIDEO*3
		×	×	○	×	※ S-VIDEO*1	S-VIDEO*1	S-VIDEO*1	S-VIDEO*1	※ S-VIDEO*3	S-VIDEO*3	S-VIDEO*3	S-VIDEO*3
		×	×	○	○	※ S-VIDEO*1	S-VIDEO*1	S-VIDEO*1	S-VIDEO*1	※ S-VIDEO*3	S-VIDEO*3	S-VIDEO*3	S-VIDEO*3
		×	○ (1080p)	×	×	×	COMPONENT	×	×	※ *4	*4	*4	*4
		×	○ (480p ~ 720p)	×	×	※ COMPONENT*1	COMPONENT*1	×	×	※ COMPONENT*3	COMPONENT*3	×	×
		×	○ (480i/576i)	×	×	※ COMPONENT*1	COMPONENT*1	COMPONENT*1	COMPONENT*1	※ COMPONENT*3	COMPONENT*3	COMPONENT*3	COMPONENT*3
		×	○ (1080p)	×	○	※ VIDEO*1	COMPONENT	VIDEO*1	VIDEO*1	※ VIDEO*3	VIDEO*3	VIDEO*3	VIDEO*3
		×	○ (480p ~ 720p)	×	○	※ COMPONENT*1	COMPONENT*1	×	VIDEO	※ COMPONENT*3	COMPONENT*3	×	VIDEO
		×	○ (480i/576i)	×	○	※ COMPONENT*1	COMPONENT*1	COMPONENT*1	COMPONENT*1	※ COMPONENT*3	COMPONENT*3	COMPONENT*3	COMPONENT*3
		×	○ (1080p)	○	×	※ S-VIDEO*1	COMPONENT	S-VIDEO*1	S-VIDEO*1	※ S-VIDEO*3	S-VIDEO*3	S-VIDEO*3	S-VIDEO*3
		×	○ (480p ~ 720p)	○	×	※ COMPONENT*1	COMPONENT*1	S-VIDEO	S-VIDEO	※ COMPONENT*3	COMPONENT*3	S-VIDEO	S-VIDEO
		×	○ (480i/576i)	○	×	※ COMPONENT*1	COMPONENT*1	COMPONENT*1	COMPONENT*1	※ COMPONENT*3	COMPONENT*3	COMPONENT*3	COMPONENT*3
		×	○ (1080p)	○	○	※ S-VIDEO*1	COMPONENT	S-VIDEO*1	S-VIDEO*1	※ S-VIDEO*3	S-VIDEO*3	S-VIDEO*3	S-VIDEO*3
		×	○ (480p ~ 720p)	○	○	※ COMPONENT*1	COMPONENT*1	S-VIDEO	S-VIDEO	※ COMPONENT*3	COMPONENT*3	S-VIDEO	S-VIDEO
		×	○ (480i/576i)	○	○	※ COMPONENT*1	COMPONENT*1	COMPONENT*1	COMPONENT*1	※ COMPONENT*3	COMPONENT*3	COMPONENT*3	COMPONENT*3
	HDMI MONITOR あり	○	×	×	×	HDMI*2	×	×	×	HDMI*3	×	×	×
		○	×	×	○	HDMI*2	VIDEO*1	VIDEO*1	VIDEO*1	HDMI*3	VIDEO	VIDEO	VIDEO
		○	×	○	×	HDMI*2	S-VIDEO*1	S-VIDEO*1	S-VIDEO*1	HDMI*3	S-VIDEO	S-VIDEO	S-VIDEO
		○	×	○	○	HDMI*2	S-VIDEO*1	S-VIDEO*1	S-VIDEO*1	HDMI*3	S-VIDEO	S-VIDEO	S-VIDEO
		○	○ (1080p)	×	×	HDMI*2	COMPONENT	×	×	HDMI*3	COMPONENT	×	×
		○	○ (480p ~ 720p)	×	×	HDMI*2	COMPONENT*1	×	×	HDMI*3	COMPONENT	×	×
		○	○ (480i/576i)	×	×	HDMI*2	COMPONENT*1	COMPONENT*1	COMPONENT*1	HDMI*3	COMPONENT	COMPONENT	COMPONENT
		○	○ (1080p)	×	○	HDMI*2	COMPONENT	VIDEO*1	VIDEO*1	HDMI*3	COMPONENT	VIDEO	VIDEO
		○	○ (480p ~ 720p)	×	○	HDMI*2	COMPONENT*1	×	VIDEO	HDMI*3	COMPONENT	×	VIDEO
		○	○ (480i/576i)	×	○	HDMI*2	COMPONENT*1	COMPONENT*1	COMPONENT*1	HDMI*3	COMPONENT	COMPONENT	COMPONENT
		○	○ (1080p)	○	×	HDMI*2	COMPONENT	S-VIDEO*1	S-VIDEO*1	HDMI*3	COMPONENT	S-VIDEO	S-VIDEO
		○	○ (480p ~ 720p)	○	×	HDMI*2	COMPONENT*1	S-VIDEO	S-VIDEO	HDMI*3	COMPONENT	S-VIDEO	S-VIDEO
		○	○ (480i/576i)	○	×	HDMI*2	COMPONENT*1	COMPONENT*1	COMPONENT*1	HDMI*3	COMPONENT	COMPONENT	COMPONENT
		○	○ (1080p)	○	○	HDMI*2	COMPONENT	S-VIDEO*1	S-VIDEO*1	HDMI*3	COMPONENT	S-VIDEO	S-VIDEO
		○	○ (480p ~ 720p)	○	○	HDMI*2	COMPONENT*1	S-VIDEO	S-VIDEO	HDMI*3	COMPONENT	S-VIDEO	S-VIDEO
		○	○ (480i/576i)	○	○	HDMI*2	COMPONENT*1	COMPONENT*1	COMPONENT*1	HDMI*3	COMPONENT	COMPONENT	COMPONENT
	HDMI MONITOR 無し または 電源オフ	○	×	×	×	×	×	×	×	×	*4	*4	*4
		○	×	×	○	×	VIDEO*1	VIDEO*1	VIDEO*1	×	VIDEO*3	VIDEO*3	VIDEO*3
		○	×	○	×	×	S-VIDEO*1	S-VIDEO*1	S-VIDEO*1	×	S-VIDEO*3	S-VIDEO*3	S-VIDEO*3
		○	×	○	○	×	S-VIDEO*1	S-VIDEO*1	S-VIDEO*1	×	S-VIDEO*3	S-VIDEO*3	S-VIDEO*3
		○	○ (1080p)	×	×	×	COMPONENT	×	×	×	*4	*4	*4
		○	○ (480p ~ 720p)	×	×	×	COMPONENT*1	×	×	×	COMPONENT*3	×	×
		○	○ (480i/576i)	×	×	×	COMPONENT*1	COMPONENT*1	COMPONENT*1	×	COMPONENT*3	COMPONENT*3	COMPONENT*3
		○	○ (1080p)	×	○	×	COMPONENT	VIDEO*1	VIDEO*1	×	VIDEO*3	VIDEO*3	VIDEO*3
		○	○ (480p ~ 720p)	×	○	×	COMPONENT*1	×	VIDEO	×	COMPONENT*3	×	VIDEO
		○	○ (480i/576i)	×	○	×	COMPONENT*1	COMPONENT*1	COMPONENT*1	×	COMPONENT*3	COMPONENT*3	COMPONENT*3
		○	○ (1080p)	○	×	×	COMPONENT	S-VIDEO*1	S-VIDEO*1	×	S-VIDEO*3	S-VIDEO*3	S-VIDEO*3
		○	○ (480p ~ 720p)	○	×	×	COMPONENT*1	S-VIDEO	S-VIDEO	×	COMPONENT*3	S-VIDEO	S-VIDEO
		○	○ (480i/576i)	○	×	×	COMPONENT*1	COMPONENT*1	COMPONENT*1	×	COMPONENT*3	COMPONENT*3	COMPONENT*3
		○	○ (1080p)	○	○	×	COMPONENT	S-VIDEO*1	S-VIDEO*1	×	S-VIDEO*3	S-VIDEO*3	S-VIDEO*3
		○	○ (480p ~ 720p)	○	○	×	COMPONENT*1	S-VIDEO	S-VIDEO	×	COMPONENT*3	S-VIDEO	S-VIDEO
		○	○ (480i/576i)	○	○	×	COMPONENT*1	COMPONENT*1	COMPONENT*1	×	COMPONENT*3	COMPONENT*3	COMPONENT*3

○ : 信号有り
× : 信号無し
480p ～ 720p : 480p/576p/1080i/720p

× : 出力無し
*1 : 画質調整が可能
（コントラスト、ブライトネス、クロマレベル、色合い）
*2 : 画質調整が可能（DNR、エンハンサー、シャープネス）
*3 : 映像信号に重ねて表示
*4 : **MENU** ボタンを押したときのみ表示

※ : “解像度”の設定に従って出力します（i/p スケーラー：“アナログ -HDMI”時）（☞52 ページ）。
■ : 壁紙または設定した背景色を表示
■ : “解像度”の設定に従って出力します（i/p スケーラー：“HDMI-HDMI”時）（☞52 ページ）。
□ : GUI メニュー表示無し

- 入力信号がコンポーネント 1080p の信号である場合は、HDMI へのアップコンバートをおこないません。
- xvYCC 信号やコンポーネントビデオの 1080p の信号およびコンピューター解像度（例：VGA）が入力された場合は、GUI をスーパーインポーズできません。

ビデオコンバート	入力信号				モニター出力（通常時）				モニター出力（GUI メニュー表示時）			
	HDMI	COMPONENT	S-VIDEO	VIDEO	HDMI	COMPONENT	S-VIDEO	VIDEO	HDMI	COMPONENT	S-VIDEO	VIDEO
オフ	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○
	×	×	×	○	×	×	×	○ (VIDEO)	○	○	○	○
	×	×	○	×	×	×	○ (S-VIDEO)	×	○	○	○	○
	×	×	○	○	×	×	○ (S-VIDEO)	○ (VIDEO)	○	○	○	○
	×	○	×	×	×	○ (COMPONENT)	×	×	○	○	○	○
	×	○	×	○	×	○ (COMPONENT)	×	○ (VIDEO)	○	○	○	○
	×	○	○	×	×	○ (COMPONENT)	○ (S-VIDEO)	×	○	○	○	○
	×	○	○	○	×	○ (COMPONENT)	○ (S-VIDEO)	○ (VIDEO)	○	○	○	○
	○	×	×	×	○ (HDMI)	×	×	×	○ (HDMI)*	×	×	×
	○	×	×	○	○ (HDMI)	×	×	○ (VIDEO)	○ (HDMI)*	×	×	×
	○	×	○	×	○ (HDMI)	×	○ (S-VIDEO)	×	○ (HDMI)*	×	×	×
	○	×	○	○	○ (HDMI)	×	○ (S-VIDEO)	○ (VIDEO)	○ (HDMI)*	×	×	×
	○	○	×	×	○ (HDMI)	○ (COMPONENT)	×	×	○ (HDMI)*	×	×	×
	○	○	×	○	○ (HDMI)	○ (COMPONENT)	×	○ (VIDEO)	○ (HDMI)*	×	×	×
	○	○	○	×	○ (HDMI)	○ (COMPONENT)	○ (S-VIDEO)	×	○ (HDMI)*	×	×	×
	○	○	○	○	○ (HDMI)	○ (COMPONENT)	○ (S-VIDEO)	○ (VIDEO)	○ (HDMI)*	×	×	×

○：信号有り
×：信号無し

○：出力有り
×：出力無し
*：映像信号に重ねて表示

HDMI モニターに GUI メニューを表示させる場合は、480p/576p の解像度で出力します。

❑ ゾーン2

ビデオコンバート	入力信号			モニター出力		
	COMPONENT	S-VIDEO	VIDEO	COMPONENT	S-VIDEO	VIDEO
オン	×	×	×	×	×	×
	×	×	○	○ (VIDEO)	○ (VIDEO)	○ (VIDEO)
	×	○	×	○ (S-VIDEO)	○ (S-VIDEO)	○ (S-VIDEO)
	×	○	○	○ (S-VIDEO)	○ (S-VIDEO)	○ (S-VIDEO)
	○ (1080p)	×	×	○ (COMPONENT)	×	×
	○ (480p ~ 720p)	×	×	○ (COMPONENT)	×	×
	○ (480i / 576i)	×	×	○ (COMPONENT)	○ (COMPONENT)	○ (COMPONENT)
	○ (1080p)	×	○	○ (COMPONENT)*1	○ (VIDEO)	○ (VIDEO)
	○ (480p ~ 720p)	×	○	○ (COMPONENT)*1	○ (VIDEO)	○ (VIDEO)
	○ (480i / 576i)	×	○	○ (COMPONENT)*1	○ (COMPONENT)	○ (VIDEO)
	○ (1080p)	○	×	○ (COMPONENT)*2	○ (S-VIDEO)	○ (S-VIDEO)
	○ (480p ~ 720p)	○	×	○ (COMPONENT)*2	○ (S-VIDEO)	○ (S-VIDEO)
	○ (480i / 576i)	○	×	○ (COMPONENT)*2	○ (S-VIDEO)	○ (S-VIDEO)
	○ (1080p)	○	○	○ (COMPONENT)*2	○ (S-VIDEO)	○ (S-VIDEO)
	○ (480p ~ 720p)	○	○	○ (COMPONENT)*2	○ (S-VIDEO)	○ (S-VIDEO)
	○ (480i / 576i)	○	○	○ (COMPONENT)*2	○ (S-VIDEO)	○ (S-VIDEO)

○：出力有り
×：出力無し
*1：オンスクリーンディスプレイは、VIDEO 信号にスーパーインポーズして出力
*2：オンスクリーンディスプレイは、S-VIDEO 信号にスーパーインポーズして出力
COMPONENT　：
MENU ボタン操作時のみオンスクリーンディスプレイ表示

ビデオコンバート	S-VIDEO モニターアウト	入力信号			モニター出力		
		COMPONENT	S-VIDEO	VIDEO	COMPONENT	S-VIDEO	VIDEO
オフ	–	×	×	×	×	×	×
	–	×	×	○	×	×	○ (VIDEO)
	–	×	○	×	×	○ (S-VIDEO)	×
	使用	×	○	○	×	○ (S-VIDEO)	○ (VIDEO)*2
	未使用	×	○	○	×	–	○ (VIDEO)
	–	○	×	×	○ (COMPONENT)	×	×
	–	○	×	○	○ (COMPONENT)*1	×	○ (VIDEO)
	–	○	○	×	○ (COMPONENT)*2	○ (S-VIDEO)	×
	使用	○	○	○	○ (COMPONENT)*2	○ (S-VIDEO)	○ (VIDEO)*2
	未使用	○	○	○	○ (COMPONENT)*1	–	○ (VIDEO)

○：出力有り
×：出力無し
*1：オンスクリーンディスプレイは、VIDEO 信号にスーパーインポーズして出力
*2：オンスクリーンディスプレイは、S-VIDEO 信号にスーパーインポーズして出力

❑ ゾーン3

入力信号		モニター出力
S-VIDEO	VIDEO	VIDEO
×	×	×
×	○	○ (VIDEO)
○	×	○ (S-VIDEO)
○	○	○ (S-VIDEO)
×	×	×
×	○	○ (VIDEO)
○	×	○ (S-VIDEO)
○	○	○ (S-VIDEO)

○：信号有り
×：信号無し

○：出力有り
×：出力無し

故障かな？と思ったら

❏ 各接続は正しいですか
❏ 取扱説明書に従って正しく操作していますか
❏ スピーカーやプレーヤーは正しく動作していますか

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。
なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
もし、お買い上げの販売店でお分かりにならない場合は、当社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

【共通】

症 状	原 因	対 策	関連ページ
電源が入らない。または、入れてもすぐに切れる。	●電源コードの差し込みが不完全である。	●本機のリアパネルおよび電源コンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。	27
スピーカーから音が出ない。	●入力機器との接続またはパワーアンプとの接続が不完全である。	●接続を確認してください。	15
	●再生したい機器と入力ソースが合っていない。	●接続を確認して、適切な入力ソースを選んでください。	50
	●主音量が小さすぎる。	●主音量を適切な大きさに調節してください。	62
	●消音（ミューティング）モードになっている。	●消音（ミューティング）モードを解除してください。	62
	●ヘッドホンを接続している。	●ヘッドホンを外してください。ヘッドホンを接続していると、スピーカーやプリアウト端子から音が出なくなります。	62
	●デジタル信号が入力されていない。	●接続を確認し、デジタル入力の設定をした入力ソースを選んでください。	51
ディスプレイが表示されない。	●ディスプレイの明るさの設定でディスプレイ表示を“消灯”にしている。	●“消灯”以外の設定にしてください。	48
	●PURE DIRECT モードになっている。	●PURE DIRECT モード中は、ディスプレイは消灯します。	56
突然電源が切れ、電源表示が赤色で点滅している。	●本機が故障している。	●電源を切り、当社の修理相談窓口までご連絡ください。	—

【リモコン】

症 状	原 因	対 策	関連ページ
リモコンを操作しても、正常に動作しない。	●乾電池が消耗している。	●新しい乾電池と交換してください。	7
	●本体から離れすぎているか、角度が良くない。	●リモコンは、本機から約 7 メートルおよび 30° 以内の範囲で操作してください。	7
	●本機とリモコンの間に障害物がある。	●障害物を取り除いてください。	—
	●乾電池の ⊕ と ⊖ が正しくセットされていない。	●正しい極性でセットしてください。	7
	●本機のリモコン受光部に強い光（直射日光、インバータ式蛍光灯の光など）が当たっている。	●受光部に強い光が当たらない場所に設置してください。	7
	●本体とリモコンのリモコン ID が合っていない。	●リモコン ID を同じにしてください。	48、78、83

【オーディオ】

症 状	原 因	対 策	関連ページ
センタースピーカーから音が出ない。	●テレビや AM 放送などのモノラル音源を、“STANDARD”（Dolby/DTS Surround）または“HOME THX CINEMA”モードで再生している。	●モノラル音源を再生する場合は、“STANDARD”（Dolby/DTS Surround）または“HOME THX CINEMA”以外のサラウンドモードを選んでください。	53 ～ 55
サラウンドスピーカーから音が出ない。	●サラウンドモードが、2 チャンネル再生用（“STEREO”、“DIRECT”または“PURE DIRECT”のいずれか）になっている。	●サラウンド再生用のモードにしてください。	53 ～ 55
サラウンドバックスピーカーから音が出ない。	●サラウンドバックスピーカーの設定が“無し”になっている。	●サラウンドバックスピーカーを“無し”以外に設定してください。	33
	●6.1/7.1 チャンネル再生用のサラウンドモードになっていない。	●サラウンド再生用のモードを選んでください。	53 ～ 55
サブウーハーから音が出ない。	●サブウーハーの電源が入っていない。	●サブウーハーの電源を入れてください。	—
	●オートセットアップでサブウーハーが検出されなかったか、スピーカーの設定で、サブウーハーを“無し”にしている。	●サブウーハーの設定を“有り”にしてください。	33
	●サブウーハーの出力が正しく接続されていない。	●接続を確認してください。	15
	●サブウーハーの音量の設定が小さいか“オフ”になっている。	●サブウーハーの音量を上げてください。	—

症状	原因	対策	関連
メインリモコンの **TEST** ボタンを押しても、テストトーンが出力されない。	●サラウンドモードが“STANDARD”（Dolby/DTS Surround）または“HOME THX CINEMA”モードになっていない。	●サラウンドモードを“STANDARD”（Dolby/DTS Surround）または“HOME THX CINEMA”モードにしてください。	54
DTS 音声が出力されない。	●DVD プレーヤーの音声出力の設定が、ビットストリームになっていない。 ●DVD プレーヤーが DTS 音声の再生に対応していない。 ●本機のデコードモードの設定が、“PCM”になっている。	●DVD プレーヤーの設定をしてください。詳しくは、ご使用のプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。 ●DTS 対応のプレーヤーをお使いください。 ●デコードモードを“オート”または“DTS”にしてください。	— — 53
HDMI オーディオ信号がスピーカーに出力されない。	●HDMI オーディオ信号の出力先の設定が合っていない。	●HDMI オーディオ信号をスピーカーから出力するときは、“アンプ”に設定してください。	37
HDMI 接続しているテレビから音声が出力されない。	●HDMI オーディオ信号の出力先の設定が合っていない。	●HDMI オーディオ信号をテレビから出力するときは、“TV”に設定してください。	37

【iPod】

症状	原因	対策	関連ページ
iPod が再生できない。	●“iPod dock”を割り当てた入力ソースと合っていない。 ●ケーブルが正しく接続されていない。 ●iPod 用コントロールドックの AC アダプターがコンセントに挿入されていない。	●“iPod dock”を割り当てた端子に接続し、入力ソースを切り替えてください。 ●接続をやり直してください。 ●AC アダプターをコンセントに挿入していない場合は、本機と通信することができません。	51 19 —

【ビデオ】

症状	原因	対策	関連ページ
接続に問題が無いのに、GUI 画面が表示されない。	●GUI のフォーマットが、テレビが対応しているフォーマットと合っていない。	●GUI のフォーマットをご使用のテレビのフォーマット（NTSC/PAL）に合わせてください。	47
映像が映らない。	●本機の映像出力端子とモニターの入力端子の接続が不完全である。 ●本機と接続したモニターの入力端子と入力設定が合っていない。 ●PURE DIRECT モードになっている。 ●プレーヤーとの接続がコンポーネント端子でモニターとの接続がビデオ端子（黄）または S ビデオ端子になっている。	●接続を確認してください。 ●モニターの入力端子と入力設定を合わせてください。 ●PURE DIRECT モードを解除してください。 ●ハイビジョン（1080i/720p）やプログレッシブ映像信号（480p/576p）は、ダウンコンバートされません。プレーヤーをインターレース（480i/576i）の設定にしてください。	16、17 — 56 —
HDMI 接続で映像が映らない。	●本機と接続機器の HDMI 端子の接続が不完全である。 ●HDMI の入力設定が合っていない。 ●本機に接続されたモニターなどが、著作権保護（HDCP）に対応していない。 ●接続されたプレーヤーなどの出力フォーマット（HDMI FORMAT）とモニター側の入力対応フォーマットが合っていない。 ●接続しているモニターによっては、“オート（デュアル）“に設定すると、正常に表示されない場合がある。	●接続を確認してください。 ●“端子の割り当て”-“HDMI 端子”で、HDMI 端子を割り当てた入力ソースを選んでください。 ●著作権保護（HDCP）に対応したモニターを接続してください。 ●接続されたプレーヤーなどの出力フォーマット（HDMI FORMAT）とモニターの入力対応フォーマットが合っているか確認をしてください。 ●“モニター 1 “または“モニター 2 “を選んでご使用ください。	16 51 16 16 37
録画ができない。	●入力ソースとレコーダーのビデオ接続端子（ビデオ、S ビデオ）が一致していない。	●RECOUT のビデオ端子にはビデオコンバート機能が無いので、入力がビデオの場合はビデオケーブルで、S ビデオの場合は S ビデオケーブルで接続してください。	21、22
DVD から VCR にダビングができない。	—	●故障ではありません。ほとんどの映画ソフトには、コピー防止信号が入っているので、ダビングすることはできません。	—

【NET/USB】

症 状	原 因	対 策	関連ページ
USB メモリーデバイス接続時、GUI メニュー上に“USB”が表示されない。	●接続不良などで、本機が USB メモリーデバイスを認識できない。	●接続を確認してください。	24
	●マスストレージクラスまたは MTP 以外の USB メモリーデバイスを接続している。	●本機は、マスストレージクラスまたは MTP 対応の USB メモリーデバイスに対応しています。それ以外の USB メモリーデバイスは認識できません。	—
	●設定した端子と接続している端子が合っていない。	●GUI メニューの“USB 端子の選択”で設定した端子に接続してください。	53
	●USB ハブ経由で接続している。	●USB ハブを経由した接続はできません。	—
	●本機が認識できないデバイスを接続している。	●故障ではありません。すべての USB メモリーデバイスに対して、動作や電源の供給を保障するものではありません。	—
USB デバイス内のファイルを再生できない。	●USB デバイスのフォーマットが、FAT16 または FAT32 以外のフォーマットになっている。	●フォーマットを FAT16 または FAT32 に設定してください。詳しくは、USB デバイスの取扱説明書をご覧ください。	—
	●複数のパーティションに分かれている。	●複数のパーティションに別れている場合は、第 1 パーティション以外は再生できません。	—
	●ファイルが対応しているフォーマット以外で記録されている。	●対応しているフォーマットで記録してください。	65
	●著作権保護のかかったファイルを再生しようとしている。	●本機では著作権保護のかかったファイルを再生することはできません。	65
インターネットラジオが再生できない。	●イーサネットケーブルが正しく接続されていないか、ネットワークが切断されている。	●接続状態を確認してください。	25
	●対応していないフォーマットで放送されている。	●本機で再生できるインターネットラジオのフォーマットは、MP3、WMA のみです。	64、65
	●パソコンまたはルータのファイアウォールが働いている。	●接続しているパソコンまたはルータのファイアウォールの設定を確認してください。	—
	●ラジオステーションが放送を停止している。	●放送中のラジオステーションを選んでください。	67
	●IP アドレスが違っている。	●GUI メニューの“ネットワーク情報”で、本機の IP アドレスを確認してください。	43
ファイル名が“. . .”など、正しく表示されない。	●表示できない文字が使われている。	●故障ではありません。本機で表示できない文字は、“.（ピリオド）”に置き換えて表示します。	—
パソコンに保存してある音楽ファイルが再生できない。	●ファイルが対応しているフォーマット以外で記録されている。	●対応しているフォーマットで記録してください。	65
	●著作権保護のかかったファイルを再生しようとしている。	●本機では著作権保護のかかったファイルを再生することはできません。	65
	●本機とパソコンを、USB ケーブルで接続している。	●本機の USB 端子は、パソコンと接続することはできません。	—
サーバーが見つからないか、サーバーに接続できない。	●パソコンまたはルータのファイアウォールが働いている。	●接続しているパソコンまたはルータのファイアウォールの設定を確認してください。	—
	●パソコンの電源が入っていない。	●電源を入れてください。	—
	●サーバーが起動していない。	●サーバーを起動してください。	—
	●本機の IP アドレスが正しくない。	●GUI メニューの“ネットワーク情報”で、本機の IP アドレスを確認してください。	43
プリセットまたはお気に入りに登録したラジオステーションに接続できない。	●ラジオステーションが放送を休止している。	●しばらく時間をおいてやり直してください。	—
	●ラジオステーションがサービスを停止した。	●放送中のラジオステーションを選んでください。	67
“Server Full”または“Connection Down”と表示され、接続できないラジオステーションがある。	●放送局が混雑しているか、現在放送を休止している。	●しばらく時間をおいてからやり直してください。	—
再生中に、音が途切れることがある。	●ネットワークの通信速度が遅いか、通信回線またはラジオステーションが混雑している。	●故障ではありません。ビットレートの高い放送データを再生している場合や、通信の状況によっては、音が途切れることがあります。	—
音質が良くないまたは再生中にノイズが入る。	●再生しているファイルのビットレートが低い。	●故障ではありません。	—

【無線 LAN】

症 状	原 因	対 策	関連ページ
ネットワークに接続できない。	●SSID およびネットワークキー（WEP など）の設定が正しくない。	●ネットワークの設定と、本機の設定内容を合わせてください。	40 ～ 43
	●電波状態が悪いため、電波が届かない。	●無線 LAN のアクセスポイントからの距離を短くしたり、障害物をなくしたりして、見通しを良くしてから接続し直してください。また、電子レンジや他のネットワークのアクセスポイントから離して設置してください。	ー
	●設定した端子と接続している端子が合っていない。	●アクセスポイントのチャンネル設定を、他のネットワークで使用しているチャンネルから離して設定してください。または、ネットワークケーブルを使用して接続してください。	ー
再生が途切れる。または再生できない。	●設定した端子と接続している端子が合っていない。	●アクセスポイントのチャンネル設定を、他のネットワークで使用しているチャンネルから離して設定してください。または、ネットワークケーブルを使用して接続してください。	ー

保証とサービスについて

1 この商品には保証書が添付されております。
保証書は所定事項をお買い上げの販売店で記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。

2 保証期間は、お買い上げ日より 2 年間です。万一故障した場合には、保証書の記載内容により、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口が修理を申し受けます。
但し、保証期間内でも保証書が添付されない場合は、有料修理となりますので、ご注意ください。
詳しくは、保証書をご覧ください。

※ 修理相談窓口については、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

3 保証期間後の修理については、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。

4 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

5 お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。

6 この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

7 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。

※ 当社製品のお問い合わせについては、お客様相談センターにご連絡ください。

詳しくは、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

主な仕様

❏オーディオ部

●アナログ部

入力感度 /	
入力インピーダンス：	RCA プリ出力（アンバランス）：200mV / 47k Ω
	XLR プリ出力（バランス）：400mV / 100k Ω
周波数特性：	10Hz ～ 100kHz：＋ 1、－ 3dB（DIRECT モード時）
S/N 比：	102dB（DIRECT モード時）
ひずみ率：	0.005%（20Hz ～ 20kHz、DIRECT モード時）
定格出力：	RCA プリ出力（アンバランス）：1.2V
	XLR プリ出力（バランス）：2.4V

●デジタル部

D/A 出力：	定格出力：2V（0dB 再生時）
	全高調波ひずみ率：0.005%
	ダイナミックレンジ：110dB
デジタル入力：	フォーマット：デジタルオーディオインターフェース

●フォノ・イコライザー部（PHONO 入力　REC OUT）

入力感度：	2.5mV
RIAA 偏差：	± 1dB（20Hz ～ 20kHz）
S/N 比：	74dB（JIS-A、5mV 入力時）
ひずみ率：	0.03%（1kHz、3V 出力時）
定格出力：	150mV

❏ビデオ部

●標準映像端子

入出力レベル /	
インピーダンス：	1Vp-p/75 Ω
周波数特性：	5Hz ～ 10MHz：＋ 0、－ 3dB（“ビデオコンバート”が“オフ”のとき）

●S 映像端子

入出力レベル /	
インピーダンス：	Y（輝度）信号：　1Vp-p/75 Ω
	C（色）信号：　0.286Vp-p/75 Ω
周波数特性：	5Hz ～ 10MHz：＋ 0、－ 3dB（“ビデオコンバート”が“オフ”のとき）

●色差（コンポーネント）映像端子

入出力レベル /	
インピーダンス：	Y（輝度）信号：　1Vp-p/75 Ω
	PB/CB（青色）信号：0.7Vp-p/75 Ω
	PR/CR（赤色）信号：0.7Vp-p/75 Ω
周波数特性：	5Hz ～ 100MHz：＋ 0、－ 3dB（“ビデオコンバート”が“オフ”のとき）

❏無線LAN

ネットワーク種類:	IEEE802.11b準拠
（無線LAN規格）	IEEE802.11g準拠
	（Wi-Fi®準拠）＊1
転送レート:	DS-SS：11/5.5/2/1Mbps（自動切り替え）
	OFDM：54/48/36/24/18/12/9/6Mbps（自動切り替え）
セキュリティ:	SSID（ネットワーク名）
	WEPキー（ネットワークキー）（64/128ビット）＊2
	WPA-PSK（TKIP/AES）
	WPA2-PSK（TKIP/AES）
使用周波数範囲:	2,412MHz～2,472MHz
チャンネル数:	IEEE802.11b準拠：13ch（DS-SS）（そのうち1チャンネルを使用）
	IEEE802.11g準拠：13ch（OFDM）（そのうち1チャンネルを使用）

❏総合

電源：	AC100V　50/60Hz
消費電力：	110W（電気用品安全法による）
	0.3W（スタンバイ時）
最大外形寸法：	434（幅）× 214（高さ）× 485（奥行き）mm
質量：	27.5kg

❏メインリモコン（RC-1067）

乾電池：	LR6（単 3 形）乾電池 2 本使用
最大外形寸法：	63（幅）× 238（高さ）× 31（奥行き）mm
質量：	190g（乾電池を含む）

❏サブリモコン（RC-1070）

乾電池：	R03（単 4 形）乾電池 2 本使用
最大外形寸法：	49（幅）× 220（高さ）× 24.5（奥行き）mm
質量：	114g（乾電池を含む）

＊：Wi-Fi®準拠とは、無線LANの相互接続性を保証する団体「WiFi Alliance」の相互接続性テストに合格していることを示します。

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

※本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

※本機は国内仕様です。
必ず AC100V のコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。AC100V 以外の電源には絶対に接続しないでください。

Denon Amp

	Brand	Code
D	Denon	81001, 82001, 83001, 84001

Denon Digital Tuner

	Brand	Code
D	Denon (NET/USB)	62865, 62837, 62838, 62839

Denon iPod

	Brand	Code
D	Denon	72815, 72816, 72817, 72818

CD Player

	Brand	Code
A	Acoustic Research	40420
	Advantage	40032
	Aiwa	40157
	Arcam	40157
	Audio Research	40157
	Audiolab	40157
	Audiomeca	40157
	Audioton	40157
	AVI	40157
B	Balanced Audio Technology	40157
	Burmester	40420
	Bush	40388
C	Cairn	40157
	California Audio Labs	40029, 40303
	Cambridge	40157
	Cambridge Audio	40157
	Cambridge Soundworks	40157
	Carver	40157, 40179
	CDC	40420
	CEC	40420
	Copland	40393
	Curtis Mathes	40032
	Cyrus	40157
D	Denon	40873, 40003, 40766, **[42867]***, 42868
	DKK	40000
	DMX Electronics	40157
	Dual	40003
	Dynaco	40157
	Dynamic Bass	40179
F	Fisher	40000, 40179
G	Garrard	40393, 40420
	Genexxa	40000, 40032, 40037, 40179
	Goldmund	40157
	Grundig	40157
H	Hafler	40173
	Harman/Kardon	40100, 40157, 40173
	Hitachi	40032
I	Inkel	40157
	Integra	40101
J	Jerrold	40003
	JVC	40032, 40072
K	Kenwood	40681, 40000, 40029, 40157, 40028, 40037, 40036, 40190
	KLH	41318
	Krell	40157
L	Linn	40157
	Loewe	40157
	Luxman	40393
	LXI	40179
M	Magnavox	40157
	Marantz	40029, 40157
	Matsui	40157
	MCS	40029
	Memorex	40000, 40032, 40179, 40420, 40468
	Meridian	40157
	Micromega	40157
	Miro	40000
	Mission	40157
	Modulaire	40000, 40032, 40087, 40179, 40420, 40468
	MTC	40420
	Musical Fidelity	40393
	Myryad	40157
N	NAD	40000, 40721
	Naim	40157
	NSM	40157
O	Onkyo	40868, 40101
	Optimus	40000, 40032, 40037, 40087, 40179, 40393, 40420, 40468
	Orion	40393
P	Panasonic	40029, 40303, 40388, 40752
	Parasound	40420
	Penney	40029
	Philips	40157
	Pioneer	40032, 40101, 40468
	Polk Audio	40157
	Proceed	40420
	Proton	40157
Q	QED	40157
	Quad	40157
	Quasar	40029
R	Radiola	40157
	RadioShack	40000, 40032, 40179, 40420, 40468
	RCA	40032, 40053, 40179, 40420, 40468
	Realistic	40000, 40032, 40087, 40179, 40420, 40468
	Restek	40157
	Revox	40157
	Roksan	40420
	Rotel	40157, 40420
	Royal	40420
S	SAE	40157
	Saisho	40000
	Sansui	40000, 40157
	Sanyo	40000, 40087, 40179
	SAST	40157
	Sears	40179
	Sharp	40037
	Siemens	40157
	Silsonic	40036
	Simaudio	40157
	Sonic Frontiers	40157
	Sony	40490, 40000, 40100, 41364, 40185
	Sugden	40157
	Sylvania	40157
T	TAG McLaren	40157
	Tandy	40032
	Tascam	40393, 40420
	Teac	40490, 40393, 40420
	Technics	40029, 40303
	Techwood	40303
	Thomson	40053
	Thorens	40157
	Thule Audio	40157
	Tokai	40420
U	Universum	40157, 40053
V	Victor	40072
W	Wadia	40393
	Wards	40000, 40032, 40157, 40053, 40087, 40179
Y	Yamaha	40490, 40868, 40032, 40036
	Yorx	40000

CD Recorder

	Brand	Code
D	Denon	40766, 42868
J	JVC	40072
R	RCA	40053, 40420
S	Sony	40000, 40100, 41364
T	Teac	40420
	Thomson	40053

Tape Deck

	Brand	Code
A	Aiwa	20029, 20197, 20200, 21315
	Akai	20283, 20439
	Arcam	20076
	Audiolab	20029
C	Carver	20029
D	Denon	20076, 20371, 21311, **[22471]***
F	Fisher	20074
G	Garrard	20308, 20309, 20375, 20439
	Genexxa	20439
	GoldStar	20375
	Grundig	20029, 20375
H	Harman/Kardon	20182, 20029, 21314
I	Inkel	20070, 20071, 20337
J	JVC	20244, 20273, 20274, 20303, 20304, 20310, 21309
K	Kenwood	20070, 20071, 20092, 20233, 20234, 21364
L	LG	20375
	Luxman	20308, 20309
M	Magnavox	20029
	Marantz	20029, 20009
	Memorex	20099
	Mitsubishi	20283, 20439
	Myryad	20029
O	Onkyo	20135, 20136, 20282
	Optimus	20027, 20220, 20337, 20439
	Orion	20308, 20309
P	Palladium	20375
	Panasonic	20229
	Philips	20029, 20229
	Phonotrend	20337
	Pioneer	20027, 20220, 20099, 20109, 21306, 21312
	Polk Audio	20029
R	Radiola	20029
	RCA	20027, 20220
	Revox	20029
S	Sansui	20029, 20009
	Sanyo	20074
	Sharp	20231, 20371
	Sherwood	20337
	Sonic	20375
	Sony	20243, 20170, 20291, 20234, 21313
T	TaeKwang	20439
	Tandberg	20109
	Teac	20280, 20283, 20289, 20308, 20309
	Technics	20229
	Technovox	20229
	Thorens	20029
U	Universum	20375, 20439
V	Victor	20244, 20273, 20274
W	Wards	20027, 20029
	Wharfedale	20439
Y	Yamaha	20097, 20094

Television

	Brand	Code
1	888	10264
A	A-Mark	10047, 10054, 10009
	A.R. Systems	10037, 10352, 10374, 10455, 10556
	Accent	10009, 10037
	Accuscan	10047
	Accuscreen	10001
	Acoustic Research	11269
	Action	10030, 10650
	Acura	10009
	Addison	10092, 10108, 10653
	ADL	11217
	Admiral	10047, 10054, 10017, 10051, 10093, 10463, 10180, 10163, 10264, 10418
	Advent	10761, 10783, 10815, 10817, 10842, 10876, 11933
	Adventuri	10000
	Adyson	10217
	AEG	11163, 11556
	Agashi	10217, 10264
	Agna	10150
	Aiko	10092, 10009, 10035, 10037, 10217, 10264, 10361, 10371, 10433
	Aim	10706, 10037, 10455, 10805
	Aiwa	10264, 10701, 11904, 11911
	Akai	10000, 10060, 10812, 10702, 10178, 10030, 10145, 10602, 10606, 10631, 10648, 10672, 10714, 10715, 11207, 11537, 11675, 11676, 11903, 10556, 10548, 10480, 10433, 10371, 10361, 10264, 10218, 10217, 10208, 10163, 10037, 10035, 10009
	Akashi	10009, 10860
	Akiba	10037, 10218, 10455
	Akira	10418
	Akito	10037
	Akura	10171, 10009, 10037, 10163, 10218, 10264, 10668, 10714, 11037, 11498, 11556, 11982
	Alaron	10170
	Alba	10009, 10036, 10037, 10073, 10163, 10218, 10352, 10370, 10371, 10418, 10443, 10487, 10668, 10714, 11037
	Albatron	10700, 10843
	Alfide	10672
	All-Tel	10865, 11269
	Alleron	10030, 10170

Brand	Codes
Allorgan	10217
Allstar	10037
Ambassador	10150
America Action	10180
American High	10000, 10060
Amplivision	10217, 10370
Amstrad	10000, 10171, 10009, 10011, 10037, 10163, 10218, 10264, 10362, 10371, 10433, 10648, 11037, 11982
Amtron	10000, 10180
Anam	10250, 10180, 10009, 10037, 10700, 10861
Anam National	10250, 10037, 10650
Andersson	11149, 11163
Anglo	10009, 10264
Anhua	10051
Anitech	10009, 10037, 10264
Ansonic	10009, 10037, 10163, 10370, 10374, 10668
AOC	10451, 10093, 10180, 10060, 10178, 10030, 10092, 10009, 10108
Aolinpike	10264
Apex Digital	10156, 10748, 10879, 10765, 10767, 11217, 11943
AR	10352, 10556
Arc En Ciel	10109
Arcam	10217
Ardem	10037, 10714
Aristocrat	10163
Aristona	10037, 10556
ART	11037
Arthur Martin	10163
ASA	10070
Asberg	10037
Asora	10009
Astra	10037
Asuka	10217, 10218, 10264
ATD	10698
Atlantic	10001, 10037
Atori	10009
Auchan	10163
Audinac	10180
Audiosonic	10009, 10037, 10109, 10217, 10218, 10264, 10370, 10374, 10486, 10714, 10715, 10820
Audioton	10217, 10264, 10370, 10486
Audiovox	10451, 10180, 10092, 10623, 10802, 10875, 11937, 11951, 11952
Audioworld	10698
Aumark	10060
Autovox	10217
Aventura	10171
AVP	10000
Awa	10451, 10009, 10011, 10036, 10108, 10217, 10264, 10374, 10606
Axion	11937, 11958
Axxent	10009
B	
Baier	10876
Baihe	10009, 10264
Baile	10001, 10009, 10374, 10661
Baird	10037, 10073, 10109, 10208, 10217, 10343, 11196
Bang & Olufsen	10565
Baohuashi	10264
Baosheng	10009, 10817
Barco	10163, 10556
Basic Line	10009, 10037, 10163, 10217, 10218, 10374, 10455, 10556, 10668, 11037, 11163
Bastide	10217
Bauer	10805
Baur	10037, 10195, 10361, 10455, 10512
Baysonic	10180
Bazin	10217
Beaumark	10017, 10178, 10030
Beijing	10812, 10001, 10009, 10208, 10226, 10264, 10374, 10661, 10817, 10821
Beko	10037, 10195, 10370, 10418, 10486, 10606, 10714, 10715, 10808, 11037
Belcor	10030
Bell & Howell	10054, 10017, 10154, 10093
Belson	10698, 11191
Belstar	11037
BenQ	11032, 11756
Beon	10037, 10163, 10218, 10418
Berthen	10668
Best	10370
Bestar	10037, 10370, 10374
Bestar-Daewoo	10374
Binatone	10217
Black Diamond	10614, 10820, 10821, 11037, 11163, 11909
Blackway	10218
Blaupunkt	10036, 10170, 10195, 10200, 10327, 10455
Blue Sky	10037, 10218, 10455, 10487, 10499, 10556, 10668, 10714, 10715, 11037, 11191, 11363
Boots	10009, 10217
BPL	10037, 10208
Bradford	10180
Brandt	10109, 10287, 10335, 10560, 10625, 10714
Brinkmann	10037, 10418, 10486, 10668
Brionvega	10037, 10362
Britannia	10217
Brockwood	10178, 10030
Broksonic	10236, 10463, 10180, 11911, 11938
Brother	10264
BSR	10163
BTC	10218
Bush	11900, 11556, 11037, 10778, 10714, 10698, 10668, 10661, 10614, 10556, 10487, 10374, 10371, 10361, 10335, 10264, 10218, 10217, 10208, 10163, 10037, 10036, 10009
C	
Caihong	10009, 10817
Cailing	10748
Candle	10030
Canton	10218
Capehart	10017, 10178, 10030, 10092, 10036
Capetronic	10030
Capsonic	10264
Carad	10610, 10668, 11037
Carena	10037, 10455
Carnivale	10030
Carrefour	10036, 10037, 10070
Carver	10054, 10170
Cascade	10009, 10037
Casio	10037
Cathay	10037, 10218
CCE	10037, 10217
Celebrity	10000
Celera	10765
Celestial	10767, 10819, 10820, 10821
Centrex	10780
Centrum	11037
Centurion	10037
CGE	10074, 10163, 10370, 10418
Changcheng	10051, 10001, 10009, 10264, 10374, 10661, 10817
Changfei	10009, 10374, 10817
Changfeng	10264, 10817
Changhai	10009, 10817
Changhong	10156, 10765, 10009, 10264, 10508, 10767, 10783, 10817, 10819, 10820, 10821, 11008, 11156
Chengdu	10009, 10817
Ching Tai	10092, 10009
Chun Yun	10000, 10180, 10092, 10009, 10700, 10843
Chunfeng	10009, 10264
Chung Hsin	10180, 10053, 10036, 10108
Chunsun	10009, 10817
Cimline	10009, 10218
Cinema	10672
Cineral	10451, 10092
Cinex	10648, 11556
Citek	10047
Citizen	10054, 10000, 10451, 10463, 10180, 10060, 10030, 10171, 10092, 10001, 10035
City	10009
Clarion	10180
Clarivox	10037, 10070, 10418
Classic	10030, 10092, 10499
Clatronic	10009, 10037, 10217, 10218, 10264, 10370, 10371, 10714
Clayton	11037
CMS Hightec	10217
Colortyme	10047, 10054, 10017, 10060, 10178, 10030
Commercial Solutions	11447, 10047
Concorde	10009
Condor	10009, 10037, 10264, 10370, 10418
Conia	10820, 10821, 11498
Conic	10178
Conrac	10808
Conrowa	10156, 10145, 10009, 10264, 10698, 11156, 11170
Contec	10180, 10009, 10036, 10037
Continental Edison	10109, 10287, 10487
Cosmel	10009, 10037
Craig	10180, 10171
Crosley	10054, 10000, 10180, 10030, 10171, 10074, 10163, 10370
Crown	10093, 10180, 10053, 10009, 10037, 10208, 10370, 10418, 10486, 10487, 10606, 10672, 10712, 10714, 10715, 11037
Crown Mustang	10672
CS Electronics	10218
CTX	11756
Curtis Mathes	10047, 10054, 10154, 10000, 10051, 10451, 10093, 10180, 10060, 10702, 10178, 10030, 10145, 10166, 10037, 10035, 11147, 11347
CXC	10180
Cybertron	10218
Cytronix	11298
D	
D-Vision	10037, 10556, 11982
Daewoo	10154, 10451, 10180, 10178, 10030, 10092, 11661, 10634, 10661, 10672, 10700, 10860, 10865, 10876, 10880, 11755, 11756, 11909, 10623, 10556, 10499, 10374, 10264, 10218, 10217, 10170, 10109, 10108, 10037, 10036, 10009
Dainichi	10218
Dansai	10009, 10035, 10036, 10037, 10208, 10217
Dantax	10370, 10486, 10714, 10715
Datsura	10208
Dawa	10009, 10037
Daytek	10672, 11207
Dayton	10092, 10009, 11207
Daytron	10180, 10178, 10030, 10092, 10009, 10036, 10037, 10374
Dayu	10374, 10661
De Graaf	10163, 10208, 10548
Decca	10037, 10217
Degraff	10163, 10208
Deitron	10374
Dell	11080, 11178
Denko	10264
Denon	10145, 10511
Denver	10037, 10587
Desmet	10009, 10037
Diamant	10037
Diamond	10706, 10009, 10371, 10672, 10698, 10820, 10860
Digatron	10037
Digiline	10037, 10668
Digital Life	10872
Digitex	10820
Digitor	10037
Digix Media	10880
Dixi	10009, 10037, 10217
DL	10587, 10780, 10872
Domeos	10668
Domland	10394
Dongda	10009
Donghai	10009
Dream Vision	11164, 11704
DSE	10698, 10820, 11556
DTS	10009
Dual	10037, 10217, 10343, 10352, 10394, 11037, 11137
Dual Tec	10217
Dumont	10017, 10180, 10178, 10070, 10217
Durabrand	10463, 10180, 10178, 10171, 11034, 11463
Dux	10037
Dwin	10093
Dynatech	10217
Dynatron	10037
E	
Easy Living	11248
Eaton	10060
Ecco	10773
ECE	10037
Edison-Minerva	10487
Elbe	10037, 10217, 10218, 10362, 10610
Elcit	10163
Electroband	10000
Electrograph	11755
Electrohome	10154, 10000, 10463, 10150, 10178, 10030, 10073
Elekta	10009, 10264

	Brand	Codes
	Elfunk	11037, 11208
	ELG	10037
	Elin	10009, 10037, 10361, 10548
	Elite	10037, 10218
	Elta	10009, 10264
	Emerald	10178
	Emerson	10047, 10017, 10154, 10451, 10236, 10463, 10180, 10150, 10178, 10171, 11944, 11911, 11909, 10714, 10668, 10623, 10486, 10036, 10371, 10370, 10361, 10037, 10195, 10170, 10070, 10073
	Envision	10030, 10813
	Enzer	10860
	Erae	11371
	Erres	10037
	ESA	10812, 10171, 11944
	ESC	10037, 10217
	Ether	10030, 10009
	Etron	10001, 10009, 10163, 10820
	Eurofeel	10217, 10264
	Euroman	10037, 10217, 10264, 10370
	Europa	10037
	Europhon	10037, 10109, 10217
	Evesham Technology	11248
	Evolution	11756
	Expert	10163
	Exquisit	10037
F	Feilang	10009
	Feilu	10009, 10817
	Feiyan	10264
	Feiyue	10009, 10817
	Fenner	10009, 10374
	Fer0	10335
	Ferguson	10053, 10037, 10073, 10109, 10195, 10287, 10335, 10343, 10443, 10548, 10560, 10625, 11037
	Fidelity	10171, 10037, 10163, 10217, 10264, 10361, 10371, 10512
	Filsai	10217
	Finlandia	10163, 10208, 10346, 10361, 10548
	Finlux	10037, 10070, 10163, 10217, 10346, 10480, 10556, 10631, 10714, 10715, 10808, 11556
	Firstar	10236, 10009
	Firstline	10009, 10037, 10208, 10217, 10361, 10374, 10556, 10668, 10714, 10808, 11037, 11191, 11363, 11371
	Fisher	10047, 10054, 10154, 10000, 10036, 10208, 10217, 10361, 10370
	Flint	10037, 10218, 10264, 10455, 10610
	Force	11149
	Formenti	10037, 10163
	Fortress	10093
	Fraba	10037, 10370
	Friac	10009, 10037, 10370, 10499, 10610
	Frontech	10009, 10163, 10217, 10264
	Fujimaro	10865, 11498
	Fujitsu	10009, 10217, 10352, 10683, 10809, 10853
	Fujitsu General	10009, 10217, 10683
	Fujitsu Siemens	10808, 10809, 11163, 11298
	Funai	10000, 10180, 10171, 10264, 10668, 11271, 11904
	Furi	10145, 10264, 10817
	Furichi	10860
	Futronic	10264, 10860
	Futuretech	10180
G	Galaxi	10037
	Galaxis	10037, 10370
	Ganxin	10817
	Gateway	11755, 11756
	GBC	10009, 10163, 10218, 10374
	GE	11447, 10047, 11454, 10000, 10051, 10451, 10093, 10180, 10060, 10178, 10030, 10092, 11922, 11917, 11347, 11147, 10625, 10560, 10335, 10035
	GEC	10037, 10163, 10217, 10361
	Geloso	10009, 10163, 10374
	Gemini	10047
	General	10109, 10287
	General Technic	10009
	Genesis	10009, 10037
	Genexxa	10009, 10037, 10163, 10218
	Gericom	10808, 10865, 10880, 11217, 11298
	Gevalt	11371
	Giant	10009, 10217
	Gibralter	10017, 10000, 10030
	Go Video	10060, 10886
	Go Vision	11937
	Goldfunk	10668
	GoldStar	10047, 10054, 10154, 10178, 10030, 10715, 10714, 10606, 10455, 10361, 10217, 10163, 10109, 10073, 10037, 10036, 10009, 10001
	Gooding	10487
	Goodmans	10000, 11909, 11900, 11163, 11037, 10880, 10808, 10714, 10668, 10661, 10634, 10625, 10587, 10560, 10556, 10499, 10487, 10480, 10374, 10371, 10343, 10335, 10264, 10218, 10217, 10037, 10036, 10035, 10011, 10009
	Gorenje	10370
	GPM	10218
	Gradiente	10053, 10037, 10170
	Graetz	10163, 10361, 10371, 10487, 10714, 11163
	Gran Prix	10648
	Granada	10036, 10037, 10108, 10163, 10208, 10217, 10226, 10343, 10548, 10560
	Grandin	10009, 10037, 10163, 10218, 10374, 10455, 10610, 10668, 10714, 10715, 10865, 10880, 11037, 11191
	Gronic	10217
	Grundig	10706, 10009, 10036, 10037, 10070, 10163, 10195, 10443, 10487, 10556, 10587, 10672, 10683, 11371
	Grundy	10180, 10195
	Grunkel	11163
	Grunpy	10180
H	H & B	10808
	Haaz	10706
	Haier	11034, 10037, 10508, 10587, 10698, 11017
	Haihong	10009
	Haiyan	10264, 10817
	Halifax	10217, 10264
	Hallmark	10236, 10180, 10178
	Hampton	10217
	Hanimex	10218
	Hankook	10180, 10178, 10030
	Hanseatic	10009, 10037, 10217, 10361, 10370, 10394, 10499, 10556, 10634, 10661, 10714, 10808
	Hantarex	10009, 10037, 10865
	Hantor	10037
	Harley Davidson	10000, 10180, 10060, 10178, 10030, 11904
	Harman/Kardon	10054
	Harsper	10865
	Harvard	10180
	Harwa	10773, 11196, 11269
	Harwood	10009, 10037, 10487
	Hauppauge	10037
	Havermy	10093
	HCM	10009, 10037, 10217, 10218, 10264, 10418
	Heathkit	10017
	Helios	10865
	Hello Kitty	10451
	Hema	10009, 10217
	Hewlett Packard	11494, 11502
	Hifivox	10109
	Highline	10037, 10264
	Hikona	10218
	Hikone	10218
	Hinari	10009, 10036, 10037, 10163, 10208, 10218, 10264, 10352, 10443
	Hisawa	10218, 10455, 10610, 10714
	Hisense	10156, 10748, 10145, 10009, 10208, 10508, 10556, 10780, 10821, 10860, 11022, 11156, 11170, 11208, 11363
	Hitachi	10047, 10054, 10017, 10000, 11256, 10156, 10051, 10150, 10178, 10030, 11145, 10145, 10092, 10744, 10877, 10634, 11037, 11137, 11149, 11156, 11170, 11225, 11576, 11904, 11960, 10578, 10548, 10508, 10499, 10481, 10480, 10343, 10217, 10163, 10109, 10108, 10037, 10036, 10035, 10009
	Hitachi Fujian	10150, 10108, 10860
	Hitec	10698
	Hitsu	10009, 10218, 10455, 10610
	Hoeher	10714, 10865, 11163, 11556
	Home Electronics	10606
	Hongmei	10093, 10009, 10264, 10817
	Hongyan	10264, 10817
	Hornyphon	10037
	Hoshai	10218, 10455
	HP	11494, 11502
	Hua Tun	10009
	Huafa	10145, 10009
	Huanghaimei	10009
	Huanghe	10009, 10817
	Huanglong	10009
	Huangshan	10009, 10264, 10817
	Huanyu	10217, 10264, 10374, 10817
	Huaqiang	10264
	Huari	10145, 10264
	Hugoson	11217
	Huodateji	10051
	Hygashi	10217
	Hyper	10009, 10217
	Hypersonic	10361
	Hypson	10037, 10217, 10264, 10455, 10486, 10556, 10668, 10714, 10715, 11037
	Hyundai	10849, 10860, 10865, 10876, 11556
I	Iberia	10037
	ICE	10037, 10217, 10218, 10264, 10371
	ICeS	10218
	Iiyama	10877, 11217
	Ima	10236, 10180, 10178
	Imperial	10037, 10074, 10370, 10418
	Imperial Crown	10001, 10009, 10264, 10374, 10661
	Indiana	10037
	Infinity	10054
	InFocus	11164
	Ingelen	10163, 10487, 10610, 10714
	Ingersol	10009
	Inno Hit	10009, 10217, 10218, 11163
	Innova	10037
	Innowert	10865, 11298
	Inotech	10773, 10820
	Insignia	10171, 11517
	Inteq	10017, 10145
	Interbuy	10009, 10037, 10264
	Interfunk	10037, 10109, 10163, 10200, 10327, 10361, 10512
	Internal	10037, 11909
	Intervision	10009, 10037, 10217, 10218, 10264, 10394, 10455, 10486, 10487
	Irradio	10009, 10037, 10218, 10371
	Isukai	10037, 10218, 10455
	ITC	10217
	ITS	10037, 10218, 10264, 10371
	ITT	10163, 10208, 10346, 10361, 10480, 10548, 10610
	ITT Nokia	10070, 10163, 10195, 10208, 10346, 10361, 10480, 10548, 10606, 10610
	ITV	10037, 10264, 10374
	IX	10877
J	JBL	10054
	JCB	10000
	JDV	11982
	Jean	10156, 10051, 10236, 10092, 10009, 10036
	JEC	10035
	Jensen	10761, 10815, 10817, 11933
	Jiahua	10051
	JiaLiCai	10009, 10264
	JIL	10030
	Jinfeng	10051, 10208, 10226, 10817
	Jinque	10009, 10264, 10817
	Jinta	10009, 10264
	Jinxing	10054, 10156, 10145, 10009, 10037, 10264, 10556, 10698, 10817, 10821, 11011
	JMB	10443, 10499, 10556, 10634
	JNC	10876
	Jocel	10712
	Johnson	10455
	Jubilee	10556
	Juhua	10264, 10817
	Jutan	10030
	JVC	10054, 10093, 10463, 10053, 10030, 10070, 10036, 10218, 10371, 10418, 10508, 10606, 10650, 10653, 10683, 10731, 11253, 11923
K	Kaige	10009, 10264, 10817
	Kaisui	10009, 10037, 10217, 10218, 10455
	Kambrook	10217
	Kamp	10017, 10180, 10217
	Kangli	10001, 10009, 10264, 10374, 10661, 10817

Brand	Code
Kangyi	10009, 10264
Kapsch	10163, 10361
Karcher	10264, 10370, 10606, 10610, 10714, 10778, 11556
Kathrein	10556
Kawa	10371
Kawasho	10030
KB Aristocrat	10163
KDS	11498
KEC	10180, 10060
Kendo	10037, 10362, 10370, 10610, 10648, 11037
Kennedy	10163
Kennex	10668, 11037
Kenwood	10180, 10030
Khind	10706
KIC	10217
Kiota	10001, 10371, 10455
Kioto	10706, 10556
Kiton	10037, 10668
KLH	10156, 10180, 10765, 10767, 11962
KLL	10037
Kloss	10030
Kneissel	10037, 10362, 10370, 10374, 10499, 10556, 10610
Kolin	10180, 10150, 10053, 10036, 10108, 11331
Kolster	10037, 10218
Kongque	10009, 10264, 10817
Konichi	10009
Konig	10037
Konka	10180, 10037, 10218, 10371, 10418, 10587, 10641, 10714, 10817, 11084
Kontakt	10487
Korpel	10037
Korting	10370
Kosmos	10037
Koyoda	10009
Kreisen	10876
KTV	10463, 10180, 10030, 10217
Kuaile	10009, 10264
Kulun	10009
Kunlun	10051, 10208, 10226, 10264, 10374, 10661, 10817
Kyoshu	10418
Kyoto	10163, 10217

L

Brand	Code
L&S Electronic	10714, 10808, 10865
Lark	10154
LaSAT	10486
Lavis	11037
Leader	10009
Lecson	10037
Legend	10009
Lenco	10037, 10374, 10587
Lenoir	10009
Lexsor	11196
Leyco	10037, 10264
LG	10054, 11265, 10060, 10178, 10030, 11758, 11637, 11191, 11178, 10856, 10715, 10714, 10700, 10698, 10556, 10370, 10361, 10217, 10163, 10109, 10108, 10037, 10009, 10001
Liesenk & Tter	10037
Liesenkotter	10037, 10327
Lifetec	10009, 10037, 10218, 10374, 10668, 10683, 10714, 11037, 11137
Lihua	10817
Lloyd's	10236, 10180, 10030, 10001, 10009, 11904
Local India TV	10009, 10208, 10602
Local Malaysia TV	10698
Lodos	11037
Loewe	10037, 10370, 10512, 10633, 10790
Logik	10236, 10180, 10060, 10001, 10009, 10011, 10371, 10698, 10773, 10880, 11037, 11217
Logix	10668
Longjiang	10264, 10817
Luker	11982
Luma	10009, 10163, 10362, 10374, 11037
Lumatron	10037, 10073, 10163, 10217, 10264, 10361, 10556
Lux May	10009, 10037
Luxor	10163, 10208, 10217, 10346, 10361, 10480, 10548, 10631, 11037, 11163
LXI	10047, 10054, 10017, 10154, 10000, 10156, 10051, 10093, 10060, 10053, 10178, 10030, 10171, 10166, 10037, 10036, 10035, 10001, 10208

M

Brand	Code
M Electronic	10009, 10037, 10109, 10163, 10195, 10217, 10287, 10343, 10346, 10374, 10480, 10512, 10634, 10661, 10714
Madison	10037
MAG	11498
Magnadyne	10054, 10163
Magnafon	10073
Magnasonic	10054, 10000, 10156, 10093, 10030, 10092, 10109
Magnavox	10047, 11454, 10054, 10154, 10000, 10250, 10051, 10180, 10060, 10030, 10171, 10092, 10706, 11944, 11904, 11755, 11254, 10802, 10780, 10011, 10035, 10037, 10036
Magnum	10037, 10648, 10714, 10715
Majestic	10017
Mandor	10264
Manesth	10035, 10037, 10217, 10264
Manhattan	10037, 10668, 10778, 10876, 11037, 11267
Marantz	11454, 10054, 10030, 10037, 10556, 10704, 10855
Mark	10009, 10037, 10217, 10374, 10714, 10715
Master's	10499
Mastro	10053, 10706, 10698, 10780
Masuda	10009, 10037, 10217, 10218, 10264, 10371
Matsui	11037, 10744, 10714, 10556, 10487, 10455, 10443, 10433, 10371, 10352, 10335, 10217, 10208, 10195, 10163, 10037, 10036, 10035, 10011, 10009
Matsushita	10250, 10051, 10650
Maxdorf	10773
Maxent	11755, 11756
Maxim	11556, 11982
MCE	10009
Meck	10698
Mediator	10037, 10556
Medion	10037, 10512, 10556, 10668, 10698, 10714, 10808, 10880, 11037, 11137, 11248, 11900
Megapower	10700
Megas	10610
Megatron	10047, 10178, 10145, 10009
MEI	11037
Meile	10264, 10817
Memorex	10154, 10250, 10463, 10180, 10150, 10060, 10178, 10030, 10009, 10035, 10037, 10195, 10877, 11037, 11911
Memphis	10009
Mercury	10060, 10001, 10009, 10037
Mermaid	10037
Metronic	10625
Metz	10037, 10195, 10367, 10388, 10447, 10587, 10668, 10746, 11163
MGA	10150, 10178, 10030, 10218, 10374
MGN Technology	10178
Micro Genius	10150
Micromaxx	10037, 10668, 10714, 10808, 11037
Microstar	10808
MicroTEK	10820, 10860
Midland	10047, 10017, 10051
Mikomi	11037, 11149
Minato	10037, 10556
Minerva	10070, 10108, 10195, 10487
Minoka	10037
Mirror	11900
Mitsubishi	10154, 10250, 10093, 10236, 10180, 11250, 10150, 10178, 10030, 11917, 11037, 10836, 10817, 10556, 10512, 10195, 10108, 10037, 10036, 10011
Mivar	10217
Monaco	10009
Monivision	10700, 10843
Morgan's	10037
Motorola	10054, 10051, 10093, 10150
MTC	10180, 10060, 10030, 10092, 10011, 10370, 10512
MTlogic	10714
Mudan	10051, 10009, 10208, 10226, 10264, 10817
Multitec	10037, 10486, 10668, 11037, 11556
Multitech	10180, 10009, 10037, 10217, 10264, 10370, 10486
Murphy	10163
Musikland	10218
Mx Onda	11498
Myryad	10556

N

Brand	Code
NAD	10156, 10178, 10166, 10037, 10361, 10866, 11156
Naiko	10037, 10606, 11982
Nakimura	10037, 10374
Nanbao	10009, 10264
Nansheng	10264, 10817
Narita	11982
NAT	10226
National	10051, 10208, 10226, 10508
NEC	10047, 10154, 10156, 10051, 10053, 10178, 10030, 11704, 11270, 11170, 10817, 10704, 10661, 10653, 10508, 10499, 10455, 10374, 10264, 10217, 10170, 10036, 10011, 10009
Neckermann	10037, 10200, 10327, 10370, 10418, 10556
NEI	10037, 10163, 10371
Neovia	10865, 10876, 11371
Netsat	10037
NetTV	11755
Neufunk	10009, 10037, 10218, 10556, 10610, 10714
New Tech	10009, 10037, 10217, 10343, 10556
New World	10218
Newave	10093, 10178, 10092, 10009
Nikkai	10009, 10035, 10036, 10037, 10163, 10217, 10218, 10264
Nikkei	10714
Nikko	10178, 10030, 10092
Nikkodo	10178, 10030, 10092
Nishi	10030
Nobliko	10070
Nogamatic	10109
Nokia	10163, 10208, 10346, 10361, 10374, 10480, 10548, 10606, 10610, 10631
Norcent	10748, 10824
Nordic	10217
Nordmende	10037, 10109, 10195, 10287, 10343, 10560, 10714
Normerel	10037
Novatronic	10037, 10374
NTC	10092
Nu-Tec	10455, 10698, 10820
Nyon	10000

O

Brand	Code
Oceanic	10163, 10208, 10361, 10548
Odeon	10264
Okano	10009, 10037, 10264, 10370
Olevia	11144, 11240, 11331, 11610
Omega	10264
Omni	10748, 10698, 10780, 10872
Onida	10053, 11253
Onimax	10714
Onwa	10180, 10218, 10371, 10433, 10602
Opera	10037
Optimus	10154, 10250, 10093, 10180, 10150, 10178, 10030, 10166, 10650
Optoma	10887
Optonica	10093
Orbit	10037
Orcom	11504
Orion	10017, 10236, 10463, 10180, 10178, 11463, 10011, 10037, 10264, 10443, 10556, 10714, 10880, 11196, 11911
Orline	10037, 10218
Ormond	10668, 11037
Osaki	10037, 10217, 10218, 10264, 10374, 10556
Osio	10037
Oso	10218
Osume	10036, 10037, 10218
Otic	11498
Otto Versand	10093, 10036, 10037, 10109, 10195, 10217, 10226, 10343, 10361, 10512, 10556

P

Brand	Code
Pace	10092
Pacific	10037, 10443, 10556, 10714, 11037, 11137
Palladium	10037, 10163, 10200, 10217, 10327, 10370, 10418, 10556, 10714, 11137
Palsonic	10001, 10037, 10217, 10218, 10264, 10418, 10698, 10773, 10778, 11196, 11269, 11904
Panama	10009, 10037, 10217, 10264
Panashiba	10001
Panasonic	10054, 10000, 10156, 10250, 10051, 10236, 10030, 11947, 11946, 11941, 11480, 11310, 11291, 11271, 10853, 10650, 10548, 10508, 10367, 10361, 10226, 10208, 10163, 10108, 10037, 10035
Panavision	10037
Panda	10051, 10706, 10009, 10208, 10226, 10264, 10508, 10698, 10780, 10817, 10821
Pathe Cinema	10163

Brand	Code
Pathe Marconi	10109
Pausa	10009
Paxonic	10060, 10030
PCE	10156, 10060
Penney	10047, 10000, 10156, 10250, 10051, 10060, 10178, 10030, 10035, 10036, 10037, 10070, 10108, 11347
Perdio	10037, 10163
Perfekt	10037
Petters	11523
Philco	10054, 10451, 10463, 10180, 10178, 10030, 10145, 11661, 10037, 10074, 10163, 10370, 10418
Philharmonic	10217
Philips	11454, 10054, 10017, 10000, 10051, 10178, 10030, 10171, 10092, 11961, 11756, 11254, 10690, 10556, 10512, 10374, 10361, 10343, 10200, 10108, 10037, 10009
Phocus	10714
Phoenix	10037, 10163, 10370, 10486
Phonola	10037, 10556
Pilot	10051, 10060, 10178, 10030, 10706, 10011
Pioneer	10166, 10011, 10037, 10109, 10163, 10170, 10287, 10361, 10370, 10486, 10512, 10679, 10760, 10866, 11260
Pionier	10370, 10486, 11556
Plantron	10009, 10037, 10264
Playsonic	10037, 10217, 10714, 10715
Polaroid	10765, 10865, 11276, 11316, 11341, 11498, 11523
Poppy	10009
Portland	10451, 10092, 10374
Powerpoint	10037, 10487, 10698
Prandoni-Prince	10361
Precision	10236, 10180, 10217
Premier	10009, 10264
President	10860
Prima	10761, 10009, 10264, 10783, 10815, 10817, 11269, 11933
Princeton	10700
Prinston	11037
Prinz	10361
Prism	10250, 10051
Profex	10009, 10163, 10361
Profi	10009
Profilo	11556
Profitronic	10037
Proline	10037, 10073, 10625, 10634, 11037
Proscan	11447, 10047, 11347, 11922
Prosco	10156
Prosonic	10037, 10217, 10370, 10371, 10374, 10668, 10714
Protec	10009, 10037, 10217, 10264
Protech	10009, 10037, 10217, 10264, 10418, 10486, 10668, 11037
Proton	10178, 10030, 10001, 10009
Proview	11498
ProVision	10037, 10556, 10714, 11037
Pulsar	10017, 10092
Pulser	10178, 10092
Pvision	10876, 11191
Pye	10037, 10374, 10556
Pymi	10009
Q	
Qingdao	10051, 10208, 10226, 10264, 10817
Quadral	10051, 10218
Quartz	10150, 10178
Quasar	10250, 10051, 10009, 10035, 10650, 10865
Quelle	10011, 10037, 10070, 10074, 10109, 10195, 10200, 10327, 10361, 10512, 10668, 11037
Questa	10036
Questar	10036
R	
R-Line	10037
Rabbit	10047
Radialva	10163, 10218
Radiola	10037, 10217, 10556
Radiomarelli	10037
RadioShack	10047, 10154, 10180, 10150, 10178, 10030, 10037, 11904
Radiotone	10009, 10037, 10264, 10370, 10418, 10648, 10668, 11037
Rank	10070
Rank Arena	10036, 10602
RBM	10070
RCA	11447, 10047, 11454, 10054, 10000, 10051, 10093, 10178, 10030, 10092, 11958, 11953, 11948, 11922, 11917, 11547, 11347, 11247, 11147, 11047, 10679, 10625, 10560, 10090
Realistic	10047, 10154, 10180, 10150, 10178, 10030
Recor	10037, 10418
Rectiligne	10037
Rediffusion	10036, 10163, 10346, 10361, 10548
Redstar	10037
Reflex	10037, 10668, 11037
Relisys	10865, 10876, 10877, 11207, 11298
Remotec	10250, 10093, 10145, 10171, 10037
Reoc	10714
Revox	10037
Rex	10163, 10264
RFT	10037, 10264
Rinex	10773
Roadstar	10009, 10037, 10218, 10264, 10418, 10668, 10714, 11037, 11900
Rolson	11371
Rover	10036, 10877
Rowa	10748, 10009, 10037, 10264, 10587, 10698, 10712, 10817
Royal Lux	10335, 10370
Runco	10017, 10060, 10030
Ruyi	10817
S	
Saba	10250, 10109, 10163, 10287, 10335, 10343, 10361, 10498, 10548, 10560, 10625, 10714
Sagem	10455, 10610, 10618
Saige	10009, 10817
Saisho	10009, 10011, 10163, 10217, 10264
Saivod	10037, 10668, 10712, 11037, 11163, 11556, 11982
Sakai	10163
Sakyno	10455
Salora	10163, 10208, 10361, 10480, 10548, 10631
Salsa	10335
Sampo	10047, 10154, 10093, 10178, 10030, 10171, 10092, 10009, 10036, 10650, 10700, 11755, 11756
Samsung	10047, 10054, 10017, 10154, 10156, 10093, 10060, 10812, 10702, 10178, 10030, 10092, 10814, 10766, 10718, 10618, 10587, 10817, 10821, 11060, 11249, 11312, 11903, 11959, 10556, 10371, 10370, 10362, 10264, 10226, 10217, 10208, 10163, 10090, 10037, 10036, 10035, 10009
Sandra	10217
Sanjian	10264
Sanky	10060, 10030
Sansui	10463, 10060, 10030, 10706, 10037, 10371, 10455, 10602, 10714, 10861, 11371, 11537, 11904, 11911
Santon	10009
Sanyo	10047, 10054, 10154, 10000, 10156, 10463, 10180, 10145, 10171, 11755, 11208, 10704, 10508, 10370, 10264, 10217, 10208, 10170, 10163, 10108, 10088, 10037, 10036, 10011, 10009
Sanyong	10037
Sanyuan	10093, 10009, 10817
Saville	10060
SBR	10037, 10556
Sceptre	11217
Schaub Lorenz	10361, 10374, 10486, 10548, 10606, 10714, 11191
Schneider	11982, 11904, 11137, 11037, 10714, 10668, 10648, 10556, 10394, 10371, 10361, 10352, 10343, 10218, 10217, 10163, 10070, 10037
Scotch	10178
Scotland	10163
Scott	10236, 10180, 10178, 10030
Sears	10047, 10054, 10017, 10154, 10000, 10156, 10051, 10093, 10060, 10053, 10178, 10030, 10171, 10166, 10035, 10036, 10037, 10001, 10208, 11904
Seaway	10634
Seelver	11037
SEG	10009, 10036, 10037, 10217, 10218, 10264, 10362, 10487, 10668, 11037, 11163
SEI	10037, 10163
Sei-Sinudyne	10037
Seleco	10163, 10264, 10346, 10362, 10371
Semivox	10180
Semp	10156
Sencora	10009
Sentra	10035
Serino	10093, 10455, 10610
Shancha	10264, 10817
Shanghai	10009, 10208, 10226, 10264, 10817
Shaofeng	10145, 10817
Sharp	10054, 10093, 10180, 10053, 10030, 10009, 10036, 10200, 10650, 10653, 10668, 11193, 11393, 11917
Shen Ying	10092, 10009
Shencai	10145, 10009, 10264
Sheng Chia	10093, 10236, 10009
Shenyang	10009, 10264, 10817
Sherwood	10009
Shintoshi	10037
Shivaki	10178, 10037, 10374, 10443, 10556
Show	10009, 10418
Siarem	10163
Siemens	10145, 10037, 10195, 10200, 10327
Siera	10037, 10556
Siesta	10370
Signature	10047, 10093, 10030
Silva	10037, 10361, 10648
Silva Schneider	10037, 11556
Silvano	10587
Silver	10036, 10361, 10455, 10715
SilverCrest	11037
Simpson	10178, 10030, 10011
Singer	10060, 10092, 10009, 10037, 10335, 10371, 10433, 11537
Sinotec	10773
Sinudyne	10037, 10163, 10361
Skantic	10163
SKY	10037, 10880, 11504
Sky Brazil	10880
Sky-North	10037
Skygiant	10180
Skyworth	10748, 10009, 10037, 10264, 10698, 10805, 10817, 11115
Sliding	10865, 10880
SLX	10668
Smaragd	10487
Soemtron	10865, 11298
Solar Drape	10000
Solavox	10037, 10163, 10361, 10548
Sole	10813
Sonawa	10218
Songba	10009
Soniko	10037
Sonitron	10208, 10217, 10370
Sonneclair	10037
Sonoko	10009, 10037, 10217, 10264
Sonolor	10163, 10208, 10361, 10548
Sontec	10009, 10037, 10370
Sony	10017, 10154, 11100, 10000, 10150, 10053, 10011, 10036, 10037, 10074, 10353, 10650, 11505, 11651, 11751, 11904
Sound & Vision	10218, 10374
Soundesign	10180, 10178
Soundwave	10037, 10418, 10715
Sova	11952
Sowa	10156, 10051, 10060, 10178, 10092, 10036, 10226
Soyea	10773
Spectra	10009
Spectravision	10156, 10178
Spectroniq	11498
Squareview	10171
SR2000	10154, 10171
Ssangyong	10009
SSS	10180
Staksonic	10009
Standard	10009, 10037, 10217, 10218, 10374, 11037
Standard Components	10009, 10218
Starlite	10236, 10180, 10009, 10037, 10163, 10264
Stenway	10218
Stern	10163, 10264
Stevison	11982
Strato	10009, 10037, 10264
Strong	11149, 11163
Studio Experience	10843
Stylandia	10217
Sunkai	10218, 10455, 10487, 10610, 10865
Sunstar	10009, 10037, 10264, 10371
Sunwatt	10455
Sunwood	10037
Superla	10217

	Brand	Code
	Superscan	10093, 10864, 11944
	Supersonic	10009, 10208, 10455, 10805
	SuperTech	10009, 10037, 10218, 10556
	Supra	10178, 10009, 10374
	Supreme	10000
	Susumu	10218, 10287, 10335
	Sutron	10009
	SV2000	10054
	SVA	10748, 10587, 10865, 10870, 10871, 10872
	Svasa	10455
	Swisstec	10880, 11504
	Sydney	10217
	Sylvania	10047, 10054, 10154, 10000, 10051, 10178, 10030, 10171, 10092, 10036, 10037, 10876, 11271, 11904, 11944
	Symphonic	10000, 10180, 10178, 10171, 11904, 11944
	Synco	10000, 10451, 10093, 10060, 10178, 10092, 10036
	Syntax	11144, 11240, 11331
	Sysline	10037
T	T+A	10447
	Tacico	10178, 10092, 10009
	Tai Yi	10009
	Taishan	10009, 10374, 10817
	Tandberg	10109, 10361, 10367
	Tandy	10093, 10163, 10217, 10218
	Targa	11371
	Tashiko	10092, 10036, 10163, 10170, 10217, 10650
	Tatung	10054, 10154, 10000, 10156, 10051, 10060, 10037, 10036, 10011, 10009, 10217, 11156, 11191, 11248, 11254, 11371, 11556, 11756
	TCL	10706, 10698, 11027, 11537
	TCM	10714, 10808
	Teac	10154, 10178, 10171, 10706, 11755, 11149, 11037, 10714, 10712, 10698, 10668, 10512, 10455, 10418, 10264, 10217, 10170, 10037, 10009
	Tec	10009, 10037, 10163, 10217, 10335
	Tech Line	10037, 10668, 11163
	Techica	10218
	Technica	11982
	Technics	10054, 10250, 10051, 10226, 10556, 10650
	TechniSat	10556, 11267
	Technisson	10714
	Technosonic	10499, 10556
	Technovox	10030, 10217
	Techview	10847
	Techwood	10250, 10051, 10060, 11163
	Tecnimagen	10556
	Teco	10051, 10093, 10178, 10092, 10009, 10036, 10218, 10264, 10653, 11040
	Tedelex	10009, 10208, 10217, 10418, 10606, 10698, 11537
	Teiron	10009
	Tek	10820
	Teknika	10054, 10463, 10180, 10150, 10060, 10178, 10092
	Tele System Electronic	10876
	Teleavia	10287, 10343
	Telecolor	10017
	Telecor	10037, 10163, 10217, 10218, 10394
	Telefunken	10702, 11504, 10821, 10820, 10819, 10714, 10712, 10698, 10625, 10587, 10560, 10498, 10486, 10346, 10343, 10335, 10287, 10109, 10074, 10073, 10037
	Telefusion	10037
	Telegazi	10037, 10163, 10218, 10264
	Telemeister	10037
	Telesonic	10037
	Telestar	10009, 10037, 10556
	Teletech	10009, 10037, 10668, 11037
	Teleton	10036, 10217
	Televideon	10163
	Teleview	10037
	Tempest	10009, 10264, 10455
	Tennessee	10037
	Tensai	10009, 10037, 10217, 10218, 10371, 10374, 10715, 11037
	Tenson	10009
	Tera	10030, 10092
	Tevion	10037, 10556, 10648, 10668, 10714, 10808, 11037, 11137, 11248, 11298, 11498, 11556
	Texet	10009, 10217, 10218, 10374
	Texla	10780
	ThemeScene	10887
	Thomas	10047, 10178, 10001, 11904
	Thomson	11447, 10047, 10037, 10109, 10287, 10335, 10343, 10560, 10625
	Thorn	10035, 10036, 10037, 10073, 10074, 10109, 10163, 10264, 10335, 10343, 10361, 10499, 10512
	Thorn-Ferguson	10073, 10335, 10343, 10499
	Tiane	10093, 10817
	Tiny	11269
	TMK	10236, 10180, 10178
	TML	11756
	TNCi	10017
	Tobishi	10218
	Tobo	10748, 10009, 10264
	Tocom	10156
	Tokai	10009, 10037, 10163, 10217, 10374, 10668, 11037
	Tokaido	11037
	Tokyo	10035
	Tomashi	10218
	Tongguang	10264
	Tongtel	10587, 10780
	Topline	10668, 11037
	Toshiba	10154, 11256, 10156, 10150, 11265, 10060, 11145, 10145, 10166, 11037, 11156, 11163, 11164, 11356, 11508, 11556, 11656, 11704, 11945, 11971, 10845, 10821, 10718, 10650, 10618, 10508, 10264, 10217, 10195, 10109, 10070, 10036, 10035, 10011, 10009
	Totevision	10051
	Towada	10217
	Toyoda	10009, 10264, 10371
	Toyomenka	10178
	Trakton	10217, 10264
	Trans Continens	10037, 10217, 10668, 11037
	TRANS-continents	10556, 10865
	Transonic	10009, 10037, 10264, 10418, 10455, 10512, 10587, 10698, 10712, 10780
	Triad	10218, 10556
	Trident	10217
	Trio	11498
	Tristar	10218, 10264
	Triumph	10037, 10346, 10556
	Truetone	10250, 10051
	Tuntex	10030, 10092, 10009
	TVS	10463
	TVTEXT 95	10556
U	Uher	10037, 10370, 10374, 10418, 10480, 10486
	Ultra	10092
	Ultravox	10037, 10163, 10374
	Unic Line	10037, 10455
	United	10037, 10587, 10714, 10715, 11037, 11982
	Universal	10047, 10037
	Universum	11163, 11037, 10668, 10631, 10618, 10512, 10480, 10418, 10370, 10362, 10361, 10346, 10327, 10264, 10217, 10200, 10195, 10170, 10109, 10074, 10070, 10037, 10036, 10011, 10009
	Univox	10037, 10163
V	V	10864, 10885, 11755, 11756
	V2max	10865
	V7 Videoseven	10880, 11217, 11755
	Vector Research	10030
	Vestel	10037, 10217, 10668, 11037, 11163
	Vexa	10009, 10037
	Victor	10250, 10053, 10036, 10650, 10653
	Videocon	10508
	Videologic	10218
	Videologique	10217, 10218
	Videomac	10009
	VideoSystem	10037
	Videotechnic	10217, 10374
	Videoton	10163
	Vidikron	10054
	Vidtech	10178, 10036
	Viewpia	10876
	Viewsonic	10857, 10864, 10885, 11330, 11578, 11627, 11755
	Viking	10060
	Viore	11207
	Vision	10037, 10217, 10264
	Vizio	10864, 10885, 11755, 11756, 11758
	Vortec	10037
	Voxson	10178, 10037, 10163, 10418
W	Waltham	10037, 10109, 10217, 10418, 10443, 10668, 11037
	Wards	10047, 10054, 10017, 10154, 10000, 10156, 10051, 10093, 10236, 10180, 10060, 10178, 10030, 10166, 11347, 11156, 11147, 10866, 10195, 10001, 10037, 10035
	Warumaia	10374, 10661
	Watson	10009, 10037, 10163, 10218, 10394, 10668, 10714, 11037
	Watt Radio	10163
	Waycon	10156
	Wega	10036, 10037
	Wegavox	10009
	Weipai	10009
	Welltech	10714
	Weltblick	10217
	Welton	10178
	Weltstar	11037
	Westinghouse	10000, 10451, 10885, 10889, 11282, 11577
	Wharfedale	10037, 10556, 10860, 11556
	White Westinghouse	10451, 10236, 10463, 10037, 10623, 10889, 11909
	Windsor	10668, 11037
	Windy Sam	10556
	Wintel	10714
	World	10451, 10236, 10463, 10180
	World-of-Vision	10865, 10877, 10880, 11217, 11298
	Worldview	10455
X	X-View	11191
	Xenius	10634, 10661
	Xiahua	10009, 10264, 10698, 10773, 10817
	Xianghai	10009
	Xiangyang	10264
	Xiangyu	10009
	Xihu	10264, 10817
	Xingfu	10009
	Xinghai	10264
	XLogic	10698, 10860
	Xoceco	11064
	Xoro	11196, 11217
	XR-1000	10154, 10180, 10171
	Xrypton	10037
Y	Yamaha	10030, 10650, 11576
	Yamishi	10037, 10217, 10218, 10455
	Yapshe	10250
	Yingge	10009
	Yokan	10037
	Yoko	10009, 10037, 10217, 10218, 10264, 10370
	Yonggu	10009
	Yorx	10030, 10218
	Youlanasi	10817
	Yousida	10009
	Yuhang	10009
Z	Zanussi	10163, 10217, 10264
	Zenith	10047, 10017, 10000, 10093, 10463, 11265, 10812, 10178, 10030, 11145, 10145, 10171, 10092, 10037, 11904, 11909, 11911
	ZhuHai	10009, 10374

TV/DVD Combination ※1, ※3

※1

	Brand	Code
A	Advent	11933
	Akai	11675
	Akura	11982
	Alba	11037
	Amstrad	11982
	Apex Digital	11943
	Audiovox	11937, 11951, 11952
	Axion	11937, 11958
B	Black Diamond	11037
	Bush	10698, 11037, 11900
C	Centrum	11037
	Crown	11037
D	D-Vision	11982
	Denver	10587
E	Elfunk	11037
F	Ferguson	11037
	Finlux	11556
G	Goodmans	10587, 11037, 11900
H	Hitachi	11960
J	JDV	11982
	Jensen	11933

K	KLH	11962
L	Lenco	10587
	Logik	11037
	Luker	11982
	Luxor	11037
M	Matsui	11037
	Maxim	11982
	Medion	11900
	Mirror	11900
N	Naiko	11982
	Narita	11982
P	Panasonic	11941
	Philips	11454, 10556, 11961
	Powerpoint	10698
	Prima	11933
R	RCA	11948, 11958
	Roadstar	11900
S	Saivod	11982
	Samsung	11903
	Schneider	11982
	SEG	11037
	Sova	11952
	Stevison	11982
	Sylvania	10171
T	Teac	10698
	Technica	11982
	Telefunken	10698
	Thomson	10625
	Transonic	10587
U	United	10587, 11037, 11982
V	Vestel	11037

※4

A	Akai	30695
	Akura	31367
	Alba	30695, 30884
	Amstrad	31367
	Apex Digital	30830
B	Black Diamond	30713, 30884
	Broksonic	30695
	Bush	30713, 30884
C	Centrum	30713
	Citizen	30695
	Crown	30713
D	D-Vision	31367
	DMTech	31271
E	Elfunk	30713, 30884
	Emerson	30675, 31268
	ESA	31268
F	Ferguson	30695, 30713, 30884
	Funai	31268
G	Goodmans	30713
	Grandin	30713
	Grundig	30539, 30695
H	Hitachi	31247
I	Insignia	31268
J	JDV	31367
	JNC	31271
K	Konka	31192
L	Logik	30713, 30884
	Luker	31367
	Luxor	30713
M	Magnavox	31268
	Matsui	30713, 30884
	Maxim	31367
N	Naiko	31367
	Narita	31367
	Neovia	31271
O	Orion	30695
P	Pacific	30695
	Panasonic	31490
	Philips	30539, 30854, 31260
R	RCA	31022
S	Saivod	31367
	Samsung	30899
	Sansui	30695
	Schneider	31367
	SEG	30713, 30884
	Sliding	31115
	Stevison	31367
	Sylvania	30630, 30675, 31268
T	Technica	31367
	Thomson	30551
	Toshiba	30695
U	United	30713, 30884, 31367
	Universum	30713
V	Vestel	30884

TV/VCR Combination ※1, ※2, ※3

※1

A	Aiwa	11904, 11911
	America Action	10180
	Amstrad	10171
	Audiovox	10180
B	Beko	10486
	Black Diamond	11909
	Broksonic	10463, 11911
	Bush	11556
C	Curtis Mathes	10051
D	Daewoo	11909
E	Emerson	10236, 10463, 11909, 11911
F	Ferguson	10073, 10625
	Fidelity	10171
	Funai	11904
G	GE	10047, 10051, 10093, 11917, 11922
	GoldStar	10037
	Goodmans	10374, 11909
	Grundig	10037, 10195, 10556
H	Harley Davidson	11904
	Hinari	10036
	Hitachi	11904
I	Internal	11909
J	JVC	11923
L	LG	10178
	Lloyd's	11904
M	Magnavox	10054, 11904
	Memorex	10250
	Mitsubishi	10093, 10556, 11917
O	Orion	10463, 11911
P	Palsonic	11904
	Panasonic	10250, 10051
	Penney	10051
	Philips	10037, 10556
Q	Quasar	10250, 10051
R	Radiola	10556
	RadioShack	11904
	RCA	10047, 10051, 10093, 11917, 11922
S	Saba	10625
	Samsung	11959
	Sansui	10463, 11904, 11911
	Schneider	10037, 10556, 11904
	Sears	11904
	Sharp	10093, 11917
	Siemens	10037
	Sony	10000, 11505, 11904
	Sylvania	10054
	Symphonic	11904
T	Teac	10178, 10171
	Technics	10556
	Thomas	11904
	Thomson	10625
	Toshiba	11971
W	White Westinghouse	11909
Z	Zenith	11904, 11909, 11911

※2

A	Aiwa	20000, 20352, 20479, 20742, 21137
	Akai	20352
	Alba	20352
	America Action	20278
	Amstrad	20000
	Audiovox	20278
B	Beko	20104
	Bestar	20278
	Blue Sky	20278, 20352, 20742
	BPL	20046
	Broksonic	20002, 20479, 21479
	Bush	20352, 20742
C	Citizen	20278, 21278
	Curtis Mathes	20035, 21035
D	Daewoo	20278, 20637, 21278
	Dantax	20352
E	Emerson	20002, 20278, 20479, 20637, 21278, 21479
F	Ferguson	20000, 20278
	Fidelity	20000
	Firstline	20278
	Funai	20000
G	GE	20060, 20035, 20048, 20240, 20807, 21035, 21060
	GoldStar	20037, 20480, 21237
	Goodmans	20278, 20352, 20637
	Grandin	20278, 20742
	Grundig	20081, 20347, 20352, 20742
H	Hanimex	20352
	Harley Davidson	20000
	Hinari	20352
	Hitachi	20000
	Hypson	20037
I	Internal	20278, 20637
J	JBL	20278
	JMB	20352
K	Kambrook	20037
	Kneissel	20278, 20352
L	LG	20037, 20480, 21237
	Lloyd's	20000
	Loewe	20037
M	Magnasonic	20278, 21278
	Magnavox	20081, 20000, 21781
	Magnin	20240
	Matsui	20352, 20742
	Medion	20352
	Memorex	20162, 20037, 21162, 21237, 21262
	MGA	20240
	Mitsubishi	20048, 20081, 20043, 20807
O	Optimus	20162, 21162, 21262
	Orion	20002, 20352, 20479, 20742, 21479
P	Pace	20352
	Pacific	20742
	Palsonic	20000
	Panasonic	20035, 20162, 21035, 21162, 21262
	Penney	20035, 20037, 20240, 21035, 21237
	Philips	20081
	Portland	20637
Q	Quasar	20035, 20162, 21035, 21162
R	Radiola	20081
	RadioShack	20000
	RCA	20060, 20035, 20048, 20240, 20807, 21035, 21060
S	Saba	20320
	Samsung	20240, 20432, 21014
	Sansui	20000, 20479, 21479
	Sanyo	20240
	Saville	20352
	Schneider	20081, 20000
	Sears	20037, 20000, 21237
	SEG	20637
	Sharp	20037, 20048, 20807
	Shivaki	20037
	Siemens	20081
	Sinudyne	20352
	Sony	20032, 20000, 21232
	Supra	20348
	Sylvania	20081, 21781
	Symphonic	20000
T	Tatung	20352
	Teac	20037, 20000, 20637, 20642
	Technics	20081
	Technosonic	20352
	Telefunken	20278
	Thomas	20000
	Thomson	20278
	Toshiba	20352, 20432, 20845, 21145
U	United	20742
W	White Westinghouse	20278, 20637
Z	Zenith	20000, 20479, 20637, 21479

※3

T	Thomson	30551

TV/VCR/DVD Combination ※1, ※2, ※3

※1

A	Akai	11903
B	Broksonic	11938
E	Emerson	11944
	ESA	11944
M	Magnavox	11944
P	Panasonic	11946, 11947
R	RCA	11953
S	Sharp	11917
	Sylvania	11944
	Symphonic	11944
T	Toshiba	11945

※2

S	Sharp	20807

※3

A	Akai	30899

	Brand	Code
E	Emerson	30821
	ESA	30821
M	Magnavox	30821
P	Panasonic	31362, 31462
R	RCA	31132
S	Sharp	30630
	Superscan	30821
	Sylvania	30821
	Symphonic	30821
T	Toshiba	31045

VCR

	Brand	Code
A	A-Mark	20037, 20240, 20000, 20278, 20046
	ABS	21972
	Admiral	20060, 20048, 20039, 20047, 20104, 20121, 20209, 20479
	Adventura	20037, 20240, 20000
	Aiko	20278
	Aim	20278, 20348, 20642
	Aiwa	20037, 20032, 20000, 20209, 20041, 20348, 20352, 20479, 20742, 21137
	Akai	20037, 20240, 20041, 20106, 20315, 20348, 20352, 20642
	Akura	20041
	Alba	20081, 20000, 20209, 20278, 20315, 20348, 20352
	Alienware	21972
	Allegro	20039, 21137
	Allorgan	20240
	Allstar	20081
	America Action	20278
	American High	20035, 20081
	Amoisonic	20479
	Amstrad	20000, 20278
	Anam	20162, 20037, 20240, 20278, 20226, 20480
	Anam National	20162, 20226, 21162, 21562
	Ansonic	20000
	Aristona	20081
	ASA	20037, 20081
	Asha	20240
	Astra	20035, 20240
	Asuka	20037, 20081, 20000, 20038
	Audiolab	20081
	Audiosonic	20278
	Audiovox	20037, 20278, 20038
	Avis	20000
	AVP	20000, 20352
	Awa	20037, 20043, 20278, 20642
B	Baird	20000, 20104, 20041, 20278, 20046, 20106
	Basic Line	20104, 20278, 20046
	Beaumark	20240
	Beko	20104
	Bell & Howell	20035, 20048, 20039, 20000, 20104, 20046, 20479
	Bestar	20278
	Black Diamond	20642
	Black Panther	20278
	Blaupunkt	20162, 20081, 20226
	Blue Sky	20037, 20209, 20278, 20348, 20352, 20480, 20642, 20742, 21137
	BPL	20046
	Brandt	20041, 20320
	Brandt Electronique	20041
	Brinkmann	20209, 20348
	Broksonic	20184, 20121, 20209, 20002, 20348, 20479, 21479
	Bush	20081, 20000, 20209, 20278, 20315, 20348, 20352, 20642, 20742
C	Calix	20037
	Candle	20037, 20038
	Canon	20035
	Capehart	20002
	Carena	20081, 20209
	Carrefour	20045
	Carrera	20240
	Carver	20035, 20081
	Casio	20000
	Cathay	20278
	CCE	20278
	CGE	20000, 20041
	Changhong	20048, 20081
	Cimline	20209
	Cineral	20278
	CineVision	21137
	Citizen	20035, 20037, 20240, 20000, 20209, 20278, 20479, 21278
	Classic	20037
	Clatronic	20000, 21593
	Colortyme	20060, 20035, 20045, 20278
	Colt	20000
	Combitech	20352
	Condor	20278
	Craig	20037, 20047, 20240
	Criterion	20000
	Crosley	20035, 20081, 20000
	Crown	20037, 20278, 20480
	Curtis Mathes	20060, 20035, 20162, 20240, 20000, 20041, 20278, 20432, 21035
	Cybernex	20240
	CyberPower	21972
	Cyrus	20081
D	Daewoo	20037, 20045, 20104, 20209, 20278, 20046, 20352, 20637, 20642, 21137, 21278
	Dansai	20278
	Dantax	20352
	Daytron	20037, 20278
	De Graaf	20048, 20081, 20042, 20104, 20046
	Decca	20081, 20000, 20067, 20209, 20041, 20352
	Degraff	20048, 20081, 20042, 20104
	Deitron	20278
	Dell	21972
	Denon	20081, 20042
	Derwent	20041
	Diamant	20037
	Diamond	20348
	Digitor	20642
	DirecTV	20739
	Domland	20209
	DSE	20642
	Dual	20081, 20000, 20041, 20278, 20348
	Dumont	20081, 20000, 20104
	Durabrand	20039, 20038, 20642
	Dynatech	20240, 20000
E	Elbe	20278, 20038
	Electrohome	20060, 20037, 20240, 20000, 20043, 20209
	Electrophonic	20037
	Elin	20240
	Elta	20278
	Emerald	20184, 20121
	Emerex	20032
	Emerson	20035, 20037, 20184, 20039, 20240, 20045, 20000, 20121, 20043, 20209, 20002, 20278, 20348, 20479, 20637, 21278, 21479, 21593
	ESA	21137
	ESC	20240, 20278
	EuroLine	21593
F	Ferguson	20000, 20041, 20278, 20320, 20348
	Fidelity	20240, 20000, 20352, 20432
	Finlandia	20037, 20048, 20081, 20000, 20042, 20104, 20043, 20046, 20106, 20226
	Finlux	20081, 20000, 20042, 20104
	Firstline	20037, 20045, 20042, 20043, 20209, 20278, 20348, 20480, 21137
	Fisher	20039, 20047, 20000, 20104, 20046
	Flint	20209, 20348
	Fuji	20035, 20033
	Fujitsu	20037, 20045, 20000
	Fujitsu General	20037
	Funai	20037, 20000, 20278, 21593
G	Galaxi	20000
	Galaxis	20278
	Garrard	20000
	Gateway	21972
	GE	20060, 20035, 20048, 20240, 20000, 20226, 20320, 20807, 21035, 21060
	GEC	20081
	Gemini	20060
	General	20045
	General Technic	20348
	Genexxa	20037, 20000, 20104, 20278
	Go Video	20240, 20432, 20614, 21137
	GoldStar	20035, 20037, 20039, 20000, 20209, 20278, 20038, 20225, 20226, 20480, 21137, 21237
	Goodmans	20037, 20081, 20240, 20000, 20209, 20278, 20348, 20352, 20637, 20642, 20742
	GPX	20037
	Gradiente	20000
	Graetz	20240, 20104, 20041
	Granada	20035, 20037, 20048, 20081, 20240, 20000, 20042, 20104, 20046, 20226
	Grandin	20037, 20000, 20209, 20278, 20742
	Grundig	20081, 20226, 20320, 20347, 20348, 20352, 20742
H	Haaz	20348
	Hanimex	20352
	Hanseatic	20037, 20081, 20209, 20038
	Haojie	20240
	Harley Davidson	20000
	Harman/Kardon	20081, 20038
	Headquarter	20046
	Hewlett Packard	21972
	HI-Q	20035, 20047, 20000
	Hinari	20240, 20209, 20041, 20278, 20352
	Hisawa	20209, 2035
	Hischito	20045
	Hitachi	20035, 20037, 20081, 20240, 20045, 20000, 20042, 20041, 20046, 20089
	Hoeher	20278, 20642
	Hornyphon	20081
	Howard Computers	21972
	HP	21972
	Hughes Network Systems	20042, 20739
	Humax	20739
	Hush	21972
	Hypson	20037, 20000, 20209, 20278, 20352, 20480
	Hytek	20047, 20000
I	iBUYPOWER	21972
	Imperial	20000
	Ingersol	20240, 20209
	Interbuy	20037
	Interfunk	20081, 20104
	Internal	20278, 20637
	International	20037, 20278, 20642
	Intervision	20037, 20000, 20209, 20278, 20348
	Irradio	20037, 20081, 21137
	ITT	20240, 20104, 20041, 20046, 20106
	ITT Nokia	20240, 20104, 20041, 20106
	ITV	20037, 20278
J	Janeil	20240
	JBL	20278
	Jensen	20067, 20041
	JMB	20209, 20348, 20352, 20742
	Joyce	20000
	JVC	20184, 20081, 20045, 20067, 20041, 21162
K	Kambrook	20037
	Karcher	20081, 20278, 20642
	KEC	20037, 20278
	Kendo	20037, 20209, 20278, 20106, 20315, 20348, 20642
	Kenwood	20067, 20041, 20038, 20046
	KIC	20000
	Kimari	20047
	Kneissel	20037, 20209, 20278, 20348, 20352
	Kodak	20035, 20037
	Kolin	20043, 20041
	Kolster	20209
	KTV	20000
	Kuba	20047
	Kuba Electronic	20047
L	Lenco	20278
	LG	20037, 20240, 20045, 20000, 20042, 20209, 20278, 20038, 20225, 20480, 21137, 21237
	Lifetec	20209, 20348
	Linksys	21972
	Lloyd's	20240, 20000, 20038
	Loewe	21062, 20162, 20037, 20081, 21262, 21562
	Logik	20240, 20000, 20209, 20106
	Lumatron	20278, 21137
	Lunatron	21137
	Luxor	20048, 20047, 20104, 20043, 20046, 20106, 20315
	LXI	20037, 20000, 20042, 20067
M	M Electronic	20037, 20240, 20000, 20038
	Magnadyne	20081
	Magnasonic	20037, 20240, 20000, 20278, 21278
	Magnavox	20035, 20037, 20048, 20039, 20081, 20240, 20000, 20226, 20618, 20642, 21593, 21781
	Magnin	20240
	Magnum	20642

	Brand	Code
	Manesth	20081, 20045, 20209
	Marantz	20035, 20081, 20209, 20038
	Mark	20000, 20278
	Marta	20037
	Mastec	20642
	Master's	20278
	Matsui	20037, 20240, 20209, 20278, 20348, 20352, 20742
	Matsushita	20035, 20162, 20081, 20226, 21162
	Media Center PC	21972
	Mediator	20081
	Medion	20209, 20348, 20352, 20642
	MEI	20035
	Memorex	20035, 20162, 20037, 20048, 20039, 20047, 20240, 20000, 20104, 20209, 20278, 20046, 20348, 20479, 21162, 21237, 21262
	Metronic	20081
	Metz	21062, 20162, 20037, 20081, 20226, 20347, 20836, 21162, 21262, 21562
	MGA	20060, 20240, 20043
	MGN Technology	20240
	Micormay	20348
	Micromaxx	20209
	Microsoft	21972
	Midland	20240
	Migros	20000
	Mind	21972
	Minolta	20042
	Mitsubishi	20060, 20048, 20047, 20081, 20000, 20042, 20067, 20043, 20041, 20480, 20642, 20807
	Motorola	20035, 20048
	MTC	20240, 20000
	MTX	20000
	Multitec	20037
	Multitech	20039, 20000
	Murphy	20000
	Myryad	20081
N	NAD	20240, 20104
	Naiko	20348, 20642
	NAP	20039
	National	20226
	Nebula Electronics	20033
	NEC	20035, 20037, 20048, 20104, 20067, 20041, 20278, 20038, 21137
	Neckermann	20081, 20041
	Nesco	20000
	Neufunk	20209
	Newave	20037
	Nikkai	20278
	Nikko	20037, 20278
	Nikkodo	20037, 20278
	Nishi	20240
	Niveus Media	21972
	Noblex	20240
	Nokia	20048, 20081, 20240, 20042, 20104, 20041, 20278, 20046, 20106, 20315
	Nordmende	20067, 20041, 20320
	Northgate	21972
	Nu-Tec	20209
O	Oceanic	20048, 20081, 20000, 20104, 20041, 20046, 20106
	Okano	20209, 20278, 20315, 20348
	Olympus	20035, 20162, 20104, 20226
	Onimax	20642
	Onkyo	20222
	Optimus	21062, 20035, 20162, 20037, 20048, 20047, 20240, 20000, 20104, 20432, 21162, 21262
	Orion	20184, 20240, 20000, 20104, 20121, 20209, 20002, 20278, 20348, 20352, 20479, 20742, 21479
	Orson	20000
	Osaki	20037, 20000
	Otake	20209
	Otto Versand	20081
P	Pace	20352
	Pacific	20000, 20348, 20642, 20742
	Packard Bell	21972
	Palladium	20037, 20209, 20041, 20348
	Palsonic	20000, 20642
	Panama	20035
	Panasonic	21062, 20035, 20162, 20000, 20225, 20226, 20614, 20616, 20836, 21035, 21162, 21262, 21562
	Pathe Cinema	20043
	Pathe Marconi	20041
	Penney	20035, 20162, 20037, 20047, 20081, 20240, 20000, 20042, 20067, 20038, 21035, 21237
	Pentax	20042
	Perdio	20000, 20209
	Philco	20035, 20081, 20000, 20209, 20038, 20226, 20479
	Philips	20035, 20162, 20048, 20081, 20045, 20000, 20209, 20226, 20616, 20618, 20739, 21081, 21181
	Phoenix	20278
	Phonola	20081
	Pilot	20037
	Pioneer	20162, 20081, 20042, 20067
	Polk Audio	20081
	Portland	20278, 20637
	Presidian	21593
	Prinz	20000
	Profitronic	20081, 20240
	Proline	20000, 20278, 20320, 20642
	Proscan	20060, 21060
	Prosco	20278
	Prosonic	20209, 20278
	Protec	20000
	Protech	20081
	ProVision	20278
	Pulsar	20039, 20240, 20278
	Pulser	20240
	Pye	20081, 20000
Q	Qisheng	20060
	Quarter	20046
	Quartz	20035, 20047, 20046
	Quasar	20035, 20162, 20002, 20278, 20226, 21035, 21162
	Quelle	20081
R	Radialva	20037, 20048, 20081
	Radiola	20081
	Radionette	20037, 21137
	RadioShack	20035, 20162, 20037, 20048, 20047, 20240, 20000, 20104, 20046, 21162
	Radix	20037
	Randex	20037
	Rank	20041
	Rank Arena	20041
	RCA	20060, 20035, 20048, 20240, 20045, 20000, 20042, 20106, 20226, 20320, 20807, 20880, 21035, 21060
	Realistic	20035, 20162, 20037, 20048, 20047, 20240, 20000, 20104, 20121, 20278, 20046, 21162
	Reoc	20348
	ReplayTV	20614, 20616
	Rex	20041
	Ricavision	21972
	Rio	21137
	Roadstar	20037, 20081, 20240, 20278, 20038, 20742
	Runco	20039
S	Saba	20041, 20278, 20320
	Saisho	20209, 20348
	Salora	20104, 20043, 20046, 20106
	Sampo	20037, 20048
	Samsung	20060, 20240, 20045, 20000, 20038, 20432, 20739, 21014
	Samtron	20240
	Sanky	20048, 20039
	Sansei	20048
	Sansui	20240, 20000, 20067, 20209, 20041, 20002, 20106, 20348, 20479, 21479
	Sanyo	20048, 20047, 20240, 20000, 20104, 20067, 20209, 20046, 20348, 20479, 21137
	Saville	20240, 20278, 20352
	SBR	20081
	ScanSonic	20240
	Schaub Lorenz	20000, 20104, 20041, 20106, 20315, 20348
	Schneider	20037, 20081, 20240, 20000, 20042, 20278, 20348, 20352, 20642, 21137
	Scott	20184, 20045, 20121, 20043
	Sears	20060, 20035, 20162, 20037, 20048, 20039, 20047, 20033, 20045, 20000, 20042, 20104, 20067, 20043, 20209, 20041, 21237, 20046
	Seaway	20278
	SEG	20081, 20240, 20278, 20637, 20642
	SEI	20081
	Sei-Sinudyne	20081
	Seleco	20037, 20041
	Semp	20045
	Sentra	20278
	Sharp	20037, 20048, 20047, 20032, 20000, 20209, 20807
	Shinco	20000
	Shintom	20039, 20240, 20000, 20104
	Shivaki	20037
	Shogun	20240
	Siemens	20037, 20081, 20104, 20046, 20320, 20347
	Siera	20081
	Signature	20060, 20035, 20037, 20048, 20000, 20046, 20479
	Silva	20037
	Silver	20278
	SilverCrest	20642
	Singer	20037, 20240, 20045, 20348
	Sinudyne	20081, 20209, 20352
	Smaragd	20348
	Sonic Blue	20614, 20616, 21137
	Sonographe	20046
	Sonolor	20048, 20046
	Sontec	20037, 20278
	Sonwa	20642
	Sony	20035, 20048, 20047, 20032, 20033, 20000, 20067, 20046, 20106, 20226, 20636, 21232, 21972
	Soundmaster	20000
	Soundwave	20037, 20209, 20348
	Stack 9	21972
	Standard	20278
	Stern	20278
	STS	20042
	Sunkai	20209, 20278, 20348
	Sunstar	20000
	Suntronic	20000
	Supra	20037, 20278, 20348
	Susumu	20037
	SV2000	20000
	SVA	20000
	Sylvania	20035, 20081, 20000, 20043, 21593, 21781
	Symphonic	20240, 20000, 20002, 21593
	Systemax	21972
T	T+A	20162
	Tagar Systems	21972
	Taisho	20209
	Tandberg	20278
	Tandy	20000, 20104
	Tashiko	20037, 20048, 20081, 20240, 20000
	Tatung	20048, 20081, 20045, 20000, 20067, 20043, 20209, 20041, 20348, 20352
	Tchibo	20348
	TCM	20348
	Teac	20037, 20000, 20067, 20041, 20278, 20637, 20642, 21593
	Technics	20035, 20162, 20037, 20081, 20000, 20226, 21162
	TechniSat	20348
	Technosonic	20352
	Teco	20035, 20037, 20048, 20041, 20038
	Tedelex	20037, 20209, 20348, 20642
	Teknika	20035, 20037, 20000
	Teleavia	20041
	Telecorder	20240
	Telefunken	20209, 20041, 20278, 20320, 20642
	Telerent	20226
	Telestar	20037
	Teletech	20000, 20278
	Tensai	20037, 20000, 20278
	Tevion	20209, 20348, 20479, 20642
	Texet	20278
	Thomas	20000, 20002
	Thomson	20060, 20067, 20041, 20278, 20320
	Thorn	20037, 20104, 20041, 20320
	Tisonic	20278
	Tivo	20618, 20636, 20739, 21996
	TMK	20240, 20000
	TNIX	20037
	Tocom	20240
	Tokai	20037, 20104, 20041
	Topline	20348
	Toshiba	20081, 20240, 20045, 20000, 20042, 20067, 20043, 20209, 20041, 20352, 20432, 20742, 20845, 21008, 21145, 21972, 21996
	Tosonic	20278
	Totevision	20037, 20240
	Touch	21972
	Toyoda	20278

	Brand	Code
	Tradex	20081
	Triad	20278
	Trix	20037
U	Uher	20240
	Ultra	20045, 20278
	Ultravox	20278
	Unitech	20240
	United	20348, 20742, 21593
	Universum	20037, 20081, 20240, 20000, 20104, 20209, 20106, 20348, 21137
V	Vector	20045
	Vector Research	20184, 20038
	Victor	20067, 20041
	Video Concepts	20045
	Video Technic	20000
	Videomagic	20037
	Videosonic	20240, 20000
	Viewsonic	21972
	Villain	20000
	Voodoo	21972
W	Wards	20060, 20035, 20037, 20048, 20039, 20047, 20081, 20033, 20240, 20045, 20000, 20042, 20043, 20041, 20038, 20046, 20479
	Watson	20081, 20352, 20642
	Weltblick	20037
	Wharfedale	20642
	White Westinghouse	20000, 20209, 20278, 20479, 20637
	World	20209, 20002, 20348, 20479
X	XR-1000	20035, 20240, 20000
Y	Yamaha	20041, 20038
	Yamishi	20278
	Yoko	20037, 20240
Z	Zenith	20037, 20039, 20033, 20000, 20209, 20041, 20278, 20479, 20637, 21137, 21479
	ZT Group	21972
	ZX	20209, 20348, 20352

PVR ※2

	Brand	Code
A	ABS	21972
	Alienware	21972
C	CyberPower	21972
D	Dell	21972
	DirecTV	20739
G	Gateway	21972
	Go Video	20614
H	Hewlett Packard	21972
	Howard Computers	21972
	HP	21972
	Hughes Network Systems	20739
	Humax	20739
	Hush	21972
I	iBUYPOWER	21972
L	Linksys	21972
M	Media Center PC	21972
	Microsoft	21972
	Mind	21972
N	Niveus Media	21972
	Northgate	21972
P	Panasonic	20614, 20616
	Philips	20618, 20739
R	RCA	20880
	ReplayTV	20614, 20616
S	Samsung	20739
	Sonic Blue	20614, 20616
	Sony	20636, 21972
	Stack 9	21972
	Systemax	21972
T	Tagar Systems	21972
	Tivo	20618, 20636, 20739
	Toshiba	21008, 21972, 21996
	Touch	21972
V	Viewsonic	21972
	Voodoo	21972
Z	ZT Group	21972

DVD Player

	Brand	Code
1	3D LAB	30503, 30539
	4Kus	31158
A	A-Trend	30714
	Acoustic Solutions	30713, 30730, 31228
	AEG	30770, 30788, 30790, 31923
	AFK	31051, 31152, 31923
	Aim	30672, 30699, 30833
	Airis	30672, 31005, 31224, 31250, 31321, 31345
	Aiwa	30533, 30641
	Akai	30690, 30695, 30705, 30770, 30788, 30790, 30884, 30898, 30899, 31115, 31205, 31233, 31695
	Akashi	30838
	AKI	31005
	Akira	30699, 31321
	Akura	30898, 31051, 31140, 31233, 31367
	Alba	30672, 30539, 30717, 30695, 30699, 30713, 30730, 30783, 30884, 31140, 31530, 31695
	Alco	30790
	Alize	31151
	All-Tel	31451
	Allegro	30869
	Altacom	31224
	Amitech	30784, 30770, 30850
	Amoi	30852
	Amphion Media Works	30872
	Amstrad	30713, 30770, 31151, 31367
	AMW	30872
	Anam	31913
	Ansonic	30759, 30774, 30831
	Apex Digital	30533, 30672, 30717, 30755, 30794, 30796, 30797, 30830, 31004, 31020, 31056, 31061
	Aristona	30539, 30646
	Arrgo	31023
	ASCOMTEC	31923
	Asono	31224
	Aspire Digital	31168
	Atacom	31224
	Audiosonic	30690, 31923
	Audiovox	30717, 30790
	Audioworld	30790
	Autovox	30713
	Auvio	30843
	Awa	30730, 30872
	Axion	30730
B	Base	31451
	Basic Line	30713
	Baze	30898
	BBK	30862, 31224
	Beep	31163
	Bellagio	31004
	Belson	31086, 31923
	Binatone	31923
	Black Diamond	30713, 30833, 30884
	Blaupunkt	30717
	Blu:sens	31233, 31321
	Blue Nova International	31321
	Blue Parade	30571
	Blue Sky	30672, 30651, 30695, 30699, 30713, 30790, 30843, 31423
	Boghe	31004
	Boman	30783, 30898, 31005
	Bose	32023
	Brainwave	30770, 31115
	Brandt	30503, 30651, 30551
	Broksonic	30695
	Bush	30672, 30717, 30690, 30699, 30713, 30723, 30730, 30831, 30833, 30884, 31051, 31140, 31483, 31695, 31832
	Byd:sign	30872
C	C-Tech	30798, 31152
	California Audio Labs	30490
	Cambridge Audio	30751, 31109
	Cambridge Soundworks	30690
	Campomatic Digital	31051
	Cat	30699, 30789, 31421, 31923
	CCE	30730
	Celestial	31020
	cello	31730
	Centrex	30672, 31004
	Centrum	30713, 30789, 31005, 31227, 31923
	CGV	30751, 31115
	Changhong	30627, 31061
	Cinea	30831, 30841
	Cinetec	30713, 30872
	cineULTRA	30699
	CineVision	30833, 30869, 31483
	Citizen	30695
	Clairtone	30571
	Classic	30730, 31730
	Clatronic	30672, 30675, 30788, 31233
	Clayton	30713
	Coby	30730, 30852, 31086, 31321, 31923
	Codex	31233
	Commax	31321
	Conia	30672, 30852, 31321
	Contel	30788
	Continental Edison	30831, 30872
	Craig	30831
	Creative	30503, 30539
	Crown	30690, 30713, 30770, 31115
	Crypto	31228
	Curtis Mathes	31087
	Cybercom	30831
	CyberHome	30714, 30816, 30874, 31023, 31024, 31117, 31129, 31502
	Cytron	30651, 30705, 30774, 31347
D	D-Vision	31115, 31367
	Daenyx	30872
	Daewoo	30490, 30784, 30705, 30714, 30770, 30833, 30869, 30872, 31172, 31483, 31906
	Dalton	31036
	Dansai	30770, 30783, 31115, 31695
	Dantax	30539, 30713, 30723, 30790
	Daytek	30872, 31005
	Dayton	30872
	DCE	30831
	Decca	30770, 31115
	Denon	30490, 30634, 31634, **[32134]***
	Denver	30672, 30699, 30788, 30898, 31056, 31104, 31321, 31923
	Denzel	30665
	Desay	30843, 31212
	Dgtec	30672
	Diamond	30651, 30751, 30768, 30790
	Digihome	30713
	DigiLogic	30713
	digiRED	30717
	Digitech	31832
	Digitor	30651, 30690, 30833, 31005, 31423
	Digitrex	30672, 31004, 31056
	DiK	30831
	Dinamic	30788
	Disney	30675, 30831, 31270
	DiViDo	30705
	DK Digital	30831
	DMTech	30783, 31271
	Dragon	30831
	DreamX	31151
	DSE	30833, 31152, 31730
	Dual	30651, 30665, 30675, 30713, 30730, 30783, 30790, 30831, 31023
	Durabrand	30713, 30831, 31023, 31502
	DVD2000	30521
	DVX	30768
E	E:max	31233, 31321
	EagleTec	30714
	eBench	31152
	ECC	30730
	Eclipse	30723, 30751
	Elfunk	30713, 30850, 30884
	Elin	30770
	Elite	31152
	Ellion	30850, 31421
	Elta	30672, 30690, 30770, 30788, 30850, 31051, 31115, 31151, 31233
	Eltax	31233, 31321
	Emerson	30591, 30675, 30705, 30821, 31268
	Enterprise	30591
	Entivo	30503, 30539
	Enzer	30784, 30770, 31228
	ESA	30821, 31268
	EuroLine	30675, 30788, 31115, 31233
F	Fenner	30651
	Ferguson	30651, 30695, 30713, 30884, 30898, 31695, 31730
	Finlux	30672, 30591, 30741, 30751, 30770, 30783
	Firstline	30651, 30713, 30843, 30869, 31530
	Fisher	30670
	Funai	30675, 30695, 31268
	Fusion	30862
G	Gateway	31158
	GE	30522, 30815, 30717
	General Electric	30717
	Germatic	31051

	Brand	Code
	Global Link	31224
	Global Solutions	30768
	Global Sphere	31152
	Go Video	30573, 30744, 30717, 30715, 30741, 30783, 30833, 30869, 31044, 31075, 31099, 31158, 31483, 31730
	GoldStar	30591, 30741, 30869
	Goodmans	30651, 30690, 30713, 30723, 30730, 30783, 30790, 30833, 31004, 31140, 31423, 31530, 31730, 31923
	GP Audio	31140
	GPX	30699, 30741
	Gradiente	30490, 30651
	Graetz	30665
	Gran Prix	30831, 30898
	Grandin	30713, 31233
	Greenhill	30717
	Grundig	30539, 30651, 30551, 30670, 30686, 30695, 30705, 30713, 30775, 30790, 31004, 31036, 31695, 31730, 31832, 31920
	Grunkel	30770, 30790, 30831
H	H & B	30713, 30841, 30850, 31233, 31421
	Haaz	30751, 31152
	Haier	30843
	Hanseatic	30741, 30783, 30790
	Harman/Kardon	30582, 30702
	HCM	30788
	HDT	30705
	HE	30730, 31163, 31923
	Henss	30713
	HiMAX	30843
	Hitachi	30573, 30664, 30665, 30713, 31247, 31920
	Hiteker	30672, 31923
	Hoeher	30651, 30713, 30831, 31004, 31224
	Home Electronics	30730, 30770
	Home Tech Industries	31224
	Hoyo	30665
	Humax	30646
	Hyundai	30783, 30850, 31061, 31228
I	iLo	31348
	Ingelen	30788
	Ingersol	31023
	Initial	30839, 30717
	Inno Hit	30713
	Insignia	31268
	Integra	30571, 30627, 31634
	Irradio	30869, 31115, 31224, 31233
	IRT	30783
	ISP	30695
J	Jamo	31036
	Jaton	30665
	JBL	30702
	JDB	30730
	JDV	31367
	Jeken	30699
	Jepssen	31250
	JMB	30695
	JNC	30672, 31271
	JSI	31423
	JVC	30503, 30539, 30558, 30623, 30867, 31164, 31597, 31860
	jWin	31051
K	Kansas Technologies	31233, 31530
	Karcher	30783
	Kawasaki	30790
	Kendo	30672, 30699, 30713, 30831
	Kennex	30713, 30770, 30898
	Kenwood	30490, 30534
	Kiiro	30770
	Kiss	30665, 30841, 31523
	KLH	30815, 30717, 30790, 31020
	Kloss	30533
	Koda	31230
	Konka	31192
	Koss	30651, 31061, 31423
	Kreisen	31421
	KXD	31321, 31923
L	Lasonic	30627, 30798, 30789
	Lawson	30768
	Lecson	31533
	Leiker	30872
	Lenco	30651, 30699, 30713, 30770, 30774
	Lenoir	31228
	Lenoxx	30690, 30838
	Lexia	30699, 30768
	LG	30591, 30741, 30790, 30869, 31906
	Lifetec	30651, 30831, 31347
	Limit	30768, 31104
	LiteOn	31058, 31158
	Lodos	30713
	Loewe	30539, 30511, 30741, 30885
	Logik	30713, 30884
	Logix	30705, 30783
	Luker	31367
	Lumatron	30695, 30705, 30713, 30741, 30833, 31115, 31321, 31832
	Lunatron	30741
	Luxman	30573
	Luxor	30713, 31004, 31695, 31730
M	Magnasonic	30651, 30675
	Magnat	31923
	Magnavox	30503, 30539, 30646, 30675, 30713, 30821, 30885, 31140, 31268
	Magnex	30723
	Majestic	31345
	Manhattan	30705, 30713
	Marantz	30503, 30539, 30675
	Mark	30713
	Marquant	30770
	Matsui	30672, 30651, 30695, 30713, 30884, 31004, 31695, 31730
	Maxdorf	30788
	Maxent	31347
	Maxim	30713, 30872, 31367
	Maya	31345
	MBO	30690, 30730, 31730
	McIntosh	31533
	MDS	30713
	Mecotek	30770
	Medion	30651, 30630, 30774, 30783, 30831, 31006, 31270, 31345, 31347, 31423
	MEI	30790
	Memorex	30690, 30695, 30831, 31270
	Metronic	30690
	Metz	30525, 30571, 30713
	MiCO	30723, 30751, 31223
	Micromaxx	31695
	Micromedia	30503, 30539
	Micromega	30539, 31005
	Microsoft	30522, 31708
	Microstar	30831
	Minato	30752
	Minax	30713
	Minerva	30705
	Minoka	30770, 31115
	Mintek	30839, 30717
	Mirror	30752
	Mitsubishi	31521, 30521, 30713, 31403
	Mizuda	30770, 31451
	Monyka	30665
	MPX	30843
	Mustek	30730, 31730
	Mx Onda	30651, 30751, 31223
	Mystral	30831
N	NAD	30741
	Naiko	30770, 31004, 31367
	Narita	31367
	NEC	30741, 30869, 31404
	Neovia	31271
	Nesa	30717
	Neufunk	30665
	Nevir	30770, 30831, 31197
	NexxTech	31402
	Nikkai	31923
	Nintaus	31051, 31202
	Niro	32024
	Norcent	30872, 31923
	Nordmende	30774, 30831
	Noriko	30752
	Nova	31923
	Nowa	30843
	Nu-Tec	31228
O	Okano	30752
	Olidata	30672
	Omni	30690, 30833, 30838, 30862, 31104, 31832
	Onix	30838
	Onkyo	30503, 30627
	Oopla	31158
	Oppo	31224
	Optim	30843
	Optimus	30525, 30571
	Orbit	30872
	Orion	30695, 31233, 31695
	Oritron	30651
	Ormond	30713
P	P&B	31451
	Pacific	30695, 30713, 30759, 30768, 30790, 30831
	Packard Bell	30831
	Palladium	30695, 30713, 31906, 31920
	Palsonic	30672, 30852, 31056, 31321
	Panasonic	30503, 30490, 30571, 30703, 31362, 31462, 31490, 31579, 31762, 31834, 31905, 31908
	Panda	30717, 30789, 31203
	peeKTon	30898, 31224
	Philco	30690, 30862
	Philips	30503, 30539, 30646, 30675, 30854, 30885, 31158, 31260, 31267, 31340, 31354
	Philo	31345
	Phonotrend	30699
	PianoDisc	31024
	Pioneer	30490, 30525, 30571, 30631, 31965
	Plu2	30850
	Pointer	30784
	Polaroid	31020, 31061, 31086
	Polk Audio	30539
	Portland	30770
	Powerpoint	30872, 31005
	Presidian	30675
	Prima	31228
	Prinz	30831
	Prism	30705, 30831
	Pro2	31345
	ProCaster	31004
	Proceed	30672
	Proline	30672, 30651, 30686, 30833, 31004, 31483
	Proscan	30522
	Proson	30713
	Prosonic	30699, 30752
	ProVision	30699, 30730, 31163, 31321, 31923
	Pye	30539, 30646
Q	QONIX	31051
	Qwestar	30651
R	Radionette	30741, 30869, 31906, 32024
	RadioShack	30571
	Raite	30665
	RCA	30522, 30571, 30717, 30790, 30822, 31022, 31132, 31769, 31913, 31965
	Realistic	30571
	REC	30490
	Redstar	30759, 30763, 30770, 30788, 30898, 31345, 31923
	Relisys	31347
	Reoc	30752, 30768
	Revoy	30699, 30841
	Rex	30838
	Richmond	31233
	Rio	30869
	Roadstar	30672, 30690, 30699, 30713, 30730, 30833, 30898, 31051, 31227
	Rocksonic	30789
	Ronin	30872
	Rotel	30558, 30623
	Rowa	30717, 30759, 30872, 31004
	Rownsonic	30789
S	Saba	30651, 3055
	Sabaki	30798
	Saivod	30759, 30831, 31367
	Salora	30741
	Sampo	30752, 31321, 31347
	Samsung	30490, 30573, 30744, 30199, 30820, 30899, 31044, 31075, 31635, 31932
	Sansui	30784, 30695, 30751, 30763, 30768, 31051, 31228, 31230, 31695, 31832
	Sanyo	30670, 30675, 30695, 30713, 30873, 31228
	Scan	30705, 30850
	ScanMagic	30730, 31730
	ScanSonic	31695
	Schaub Lorenz	30770, 30788, 31115, 31151
	Schneider	30539, 30646, 30651, 30705, 30713, 30774, 30783, 30788, 30790, 30831, 30869, 31367
	Schwaiger	30752
	Scientific Labs	30768

	Brand	Codes
	Scott	30672, 30651, 31005, 31036, 31233, 31423
	Seeltech	31224, 31451
	SEG	30798, 30665, 30713, 30763, 30872, 30884, 31483, 31530
	Sensory Science	31158
	Shanghai	30672
	Sharp	30630, 30675, 30713, 30752, 31256, 32015, 32024
	Sharper Image	31117
	Sherwood	30717, 30741, 30770
	Shinco	30717
	Shinsonic	30533, 30839
	Siemssen	31382
	Sigmatek	31005, 31224
	Siltex	31224
	Silva	30788, 30898
	Silva Schneider	30831, 30898
	SilverCrest	31152
	Simaudio	30885
	Singer	30690, 30751, 30768
	Sistemas	30672
	Skantic	30539, 30713
	Skymaster	30730, 30768
	Skyworth	30898
	Sliding	31115
	Slim Art	30784
	SM Electronic	30690, 30730, 30768, 31152
	Smart	30705, 30713
	Sonai	30755
	Sonashi	30831
	Sonic Blue	30573, 30715, 30783, 30869, 31099
	Sony	30533, 31533, 30864, 30573, 30630, 30772, 31033, 31070, 31431, 31433, 31536, 31633, 31769, 31981, 32043
	Sound Color	31233
	Soundmaster	30768
	Soundmax	30768
	Soundwave	30783
	Spectra	30872
	Standard	30651, 30768, 30788, 30831, 30898
	Star Clusters	31152, 31227
	Starlogic	31005
	Starmedia	31005, 31224
	Stevison	31367
	Strong	30713
	Sunkai	30770, 30850
	Sunstech	30831
	Sunwood	30788, 30898
	Superscan	30821
	Supervision	30768, 31152
	SVA	30672, 30717, 30752, 31105
	Sylvania	30630, 30675, 30821, 31268
	Symphonic	30675, 30821, 31268
	Synn	30768
T	Tandberg	30713, 31695
	Tangent	31321
	Targa	31227
	Tatung	30770, 31695
	Tchibo	30741
	TCL	31180
	TCM	30741, 30790
	Teac	30571, 30717, 30675, 30741, 30759, 30768, 30790, 30833, 31006, 31197, 31227
	Tec	30898
	Technica	31367, 31695
	Technics	30490, 30703, 31905
	Technika	30770, 30831, 31115, 31695
	Technisson	31115
	Technosonic	30730, 31051, 31115
	Techwood	30713, 31530
	Tedelex	30690, 30768, 31004, 31228
	Telefunken	30789, 30790, 30833, 31483, 31832, 31923
	Teletech	30713, 30768
	Tensai	30651, 30690, 30770
	Tevion	30651, 30798, 30768, 30833, 30898, 31036, 31227, 31347, 31382, 31483, 31730, 31923
	Theta Digital	30571
	Thomson	30522, 30511, 30551
	Tivo	31503
	Tokai	30784, 30665, 30788, 30790, 30898
	Tom-Tec	30789
	Top Suxess	31224
	Toshiba	30503, 30573, 30539, 30695, 31045, 31154, 31503, 31510, 31769
	TRANS-continents	30831, 30872, 31321, 31327
	Transonic	30730
	Tredex	30843
	TruVision	31451
	Tsinghua Tongfang	31205
	TSM	31224
U	Umax	30690, 31151
	Unimax	30770
	United	30675, 30695, 30699, 30713, 30730, 30788, 30884, 31115, 31152, 31228, 31367, 31832
	Universum	30591, 30713, 30741, 30790, 30869, 31227, 31530, 31913
	Uptek	30763
	upXus	31345
	Urban Concepts	30503, 30539
	US Logic	30839
V	Venturer	30790
	Vestel	30713, 30884, 31530
	Victor	31597
	Vieta	30705
	Viewmaster	30862, 31224
	Voxson	30690, 30730, 30774, 30831
	Vtrek	31228
W	Waitec	31151, 31224, 31233
	Walkvision	30717
	Waltham	31530
	Welkin	30831
	Wellington	30713
	Weltstar	30713
	Wesder	30699
	Wharfedale	30686, 30751, 30752, 30790, 31832
	Wilson	30831, 31233
	Windsor	30713
	Windy Sam	30573
	WIZE	31115
	Woxter	31005, 31151, 31224
X	Xbox	30522, 31708
	Xenius	30790
	XLogic	30768, 31152, 31228
	XMS	30770, 30788
	Xoro	31183, 31250
Y	Yakumo	31004, 31056
	Yamada	30872, 31004, 31056, 31151, 31158
	Yamaha	30490, 30539, 30646, 30545, 31354
	Yamakawa	30665, 30872, 31104
	Yukai	30730, 31730
Z	Zenith	30503, 30591, 30741, 30869, 31906
	Zeus	30784

DVD Recorder

	Brand	Codes
1	4Kus	31158
A	Airis	31321
	Akira	31321
	Alba	31530
	Apex Digital	31056
	Aristona	30646
	Aspire Digital	31168
B	Belson	31086
C	Cat	31421
	cello	31730
	Centrum	31227
	Classic	31730
	Coby	31086
	Commax	31321
	Conia	31321
	CyberHome	31129, 31502
	Cytron	31347
D	Denon	30490
	Denver	31056
	Digitrex	31056
	DSE	31730
	Durabrand	31502
E	E:max	31321
	Ellion	31421
	Eltax	31321
	Emerson	30675
F	Ferguson	31730
	Firstline	31530
	Funai	30675
G	Gateway	31158
	Go Video	30741, 31158, 31730
	Goodmans	31530, 31730
	GPX	30741
	Grundig	31730
H	H & B	31421
	Humax	30646
I	iLo	31348
J	JVC	31164, 31597
K	Kansas Technologies	31530
	Kreisen	31421
	KXD	31321
L	LG	30741
	Lifetec	31347
	LiteOn	31158
	Loewe	30741
	Lumatron	31321
	Luxor	31730
M	Magnavox	30646, 30675
	Matsui	31730
	Maxent	31347
	MBO	31730
	Medion	31347
	MiCO	30751
	Mitsubishi	31403
	Mustek	31730
N	NEC	31404
O	Oopla	31158
P	Palsonic	31056, 31321
	Panasonic	30490, 31579
	Philips	30646, 31158
	Pioneer	30631
	Polaroid	31086
	ProVision	31321
	Pye	30646
R	RCA	30522
	Relisys	31347
	Roadstar	31227
S	Sampo	31347
	Samsung	30490, 31635
	ScanMagic	31730
	Schneider	30646
	SEG	31530
	Sensory Science	31158
	Sharp	30630, 30675
	Sony	31033, 31070, 31431, 31433, 31536
	Star Clusters	31227
	Sylvania	30675
T	Tangent	31321
	Targa	31227
	Teac	31227
	Techwood	31530
	Tevion	31227, 31347, 31730
	Thomson	30551
	Toshiba	31510
U	Universum	31227, 31530
V	Vestel	31530
	Victor	31597
W	Waltham	31530
Y	Yakumo	31056
	Yamada	31056, 31158
	Yamaha	30646
	Yukai	31730
Z	Zenith	30741

プリセットコード	32134		30490
DENON 製 DVD プレーヤー	DVD-555 DVD-700 DVD-900 DVD-1000 DVD-1400 DVD-1500 DVD-1710 DVD-1910 DVD-1930 DVD-2200 DVD-2800	DVD-2800II DVD-2900 DVD-2910 DVD-2930 DVD-3800 DVD-3910 DVD-3930 DVD-A11 DVD-A1 DVD-A1XV	DVD-800 DVD-1600 DVD-2000 DVD-2500 DVD-3000 DVD-3300

[ ]* ：お買い上げ時に設定されているプリセットコードです。
※1 ：これらのコードはTVモードにプリセットしてお使いください。
※2 ：これらのコードはVCRモードにプリセットしてお使いください。
※3 ：これらのコードはDVDモードにプリセットしてお使いください。

株式会社デノンコンシューマー マーケティング

本　　社　　〒104-0033 東京都中央区新川 1-21-2
茅場町タワー 14F

お客様相談センター　TEL：045-670-5555

【電話番号はお間違えのないようにおかけください。】

受付時間　9：30 ～ 12：00、12：45 ～ 17：30
（当社休日および祝日を除く、月～金曜日）

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先（サービスセンター）については、
次の URL でもご確認できます。
http://denon.jp/info/info02.html

後日のために記入しておいてください。	
購入店名：	電話（　　-　　-　　）
ご購入年月日：　　年　　月　　日	

Printed in Japan　00D 511 4705 115